

# 本書の読み方について

本書には、据置の完了した本機を使用可能な状態にするためのインストール作業と、本機の使用方法が記載されています。

搬入・開梱作業と据置作業が完了したら、本書を次の順序でお読みください。

1

はじめに「安全にお使いいただくために」をお読みください。



ポイント

インストール作業を行う前に、次ページからの「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。

「安全にお使いいただくために」には、本機を正しく使用していただくための注意事項が記載してあります。

2

続いて「インストール作業について」をお読みいただき、本機を使用可能な状態にしてください。

「インストール作業について」には、本機とコンピュータとの接続作業と、プリンタドライバのインストール作業が記載されています。

お使いのコンピュータやオペレーティングシステムを確認して、該当する箇所をお読みいただき、接続とインストールを行ってください。

3

インストール作業が完了したら、次の章をお読みいただき、本機を使用してください。

- 本機の紹介
- Windows95/NT4.0 からの印刷
- Macintosh からの印刷
- Windows3.1 からの印刷
- WindowsNT3.5x からの印刷
- 用紙について

また、次の章は必要に応じてお読みください。

- 操作パネルでの設定
- ユーティリティの使い方
- オプションについて
- 付録

# 安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくために、製品をお使いになる前には、必ず本書および製品に添付されております取扱説明書をお読みください。

本書および製品添付の取扱説明書は、製品の不明点をいつでも解決できるように、手元に置いてお使いください。

本書および製品添付の取扱説明書では、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作・お取り扱いについて、次の記号で警告表示を行っています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。



**警告**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

## 安全上のご注意

### **警告**

煙が出たり、変なにおいや音ができるなど異常状態のまま使用しないでください。感電・火災の原因となります。

すぐに電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、販売店または保守サービス実施店にご相談ください。

お客様による修理は危険ですから絶対しないでください。



(取扱説明書で指示されている以外の)分解や改造はしないでください。けがや感電・火災の原因となります。



表示されている電源(AC100V、15A)以外は使用しないでください。

指定外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。

(本機の定格電源は100V/11Aです)



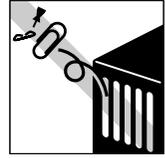
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となります。

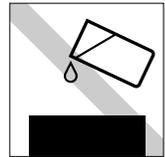


## ⚠ 警告

通風孔など開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。  
感電・火災の原因となります。



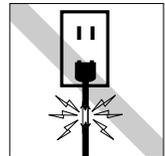
異物や水などの液体が内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。  
感電・火災の原因となります。  
すぐに電源を切り、電源コードをコンセントから抜き、販売店または保守サービス実施店にご相談ください。



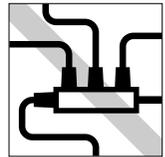
破損した電源コードを使用しないでください。感電・火災の原因となります。  
電源コードを取り扱う際は、次の点を守ってください。

- ・ 電源コードを加工しない
- ・ 電源コードの上に重いものを乗せない
- ・ 無理に曲げたり、ねじったり、たばねたり、引っ張ったりしない
- ・ 熱器具の近くに配線しない

電源コードが破損したら、販売店または保守サービス実施店にご相談ください。



電源プラグは、定格電圧100Vで、定格電流15A以上のコンセントに単独で差し込んでください。また、たこ足配線、テーブルタップやコンピュータなどの裏側にある補助電源への接続はしないでください。  
発熱による火災や感電のおそれがあります。（本機の定格電流は100V/11Aです。）



電源プラグの取り扱いには注意してください。  
取り扱いを誤ると火災の原因となります。  
電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。

- ・ 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない
- ・ 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む



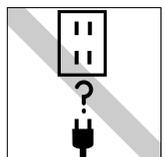
本製品のACインレットに電源プラグを差し込む場合、電源プラグの取り扱いに注意してください。

取り扱いを誤ると火災の原因となります。  
電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。

- ・ 電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない
- ・ 電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む

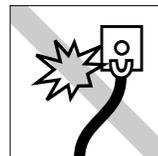


添付されている電源コード以外の電源コードは使用しないでください。  
感電・火災の原因となります。

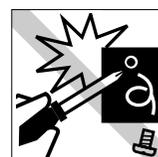


## ⚠ 警告

アース線を接続しない状態で使用しないでください。  
感電・火災の原因となります。



取扱説明書で指示されている以外の分解は行わないでください。  
安全装置が損傷し、レーザー光漏れ・定着器の異常加熱・高圧部での感電などの事故のおそれがあります。



万一、漏電した場合の感電や火災事故を防ぐために、本製品に添付されている緑色のアース線を必ず次のいずれかに取り付けてください。

- ・ 電源コンセントのアース端子
- ・ 銅片などを650mm以上地中に埋めた物
- ・ 接地工事（第3種）を行っている接地端子

ご使用になる電源コンセントのアースを確認してください。アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。



次のような場所には、絶対にアース線を接続しないでください。

- ・ ガス管（引火や爆発の危険があります）
- ・ 電話線用アース線および避雷針（落雷時に大量の電気が流れる可能性があるため危険です）



## ⚠ 注意

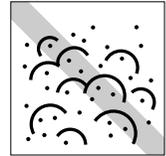
小さなお子さまの手の届く所には、設置、保管しないでください。  
落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。



不安定な場所(ぐらついた台の上や傾いた所など)に置かないでください。  
落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。



湿気やホコリの多い場所に置かないでください。  
感電・火災の危険があります。



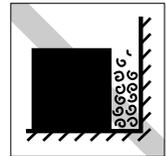
本製品の上に乗ったり物を置かないでください。  
特に、小さなお子さまのいる家庭ではご注意ください。倒れたり、こわれたりして  
けがをする危険があります。



本製品の通風孔をふさがないでください。  
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の危険があります。  
次のような場所には設置しないでください。

- ・ 風通しの悪い狭いところ
- ・ じゅうたんや布団の上
- ・ 毛布やテーブルクロスのような布をかけない

また、壁際に設置する場合は、壁から15cm以上のすき間をあけてください。



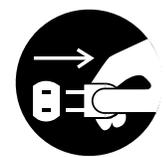
連休や旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



各種コード(ケーブル)は、取扱説明書で指示されている以外の配線をしないでください。  
配線を誤ると、火災の危険があります。



本製品を移動する場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。

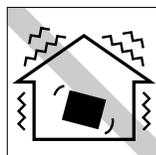


## ⚠ 注意

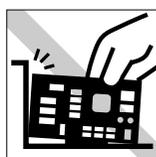
本製品は重いので、開梱や移動の際、1人で運ばないでください。  
必ず4人以上で運んでください。



他の機械の振動が伝わる所など、振動しがちな場所には置かないでください。  
落下によって、そばにいる人がけがをする危険があります。



オプション類を装着するときは、表裏や前後を間違えないでください。  
間違えて装着すると、故障の原因となります。取扱説明書の指示に従って、正しく装着してください。



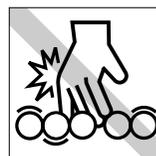
紙詰まりの状態では放置しないでください。  
定着器が加熱し、発煙・発火の原因となります。



使用中に、定着ユニットを引き出したときは定着器部分に触れないでください。  
高温になっているため、火傷のおそれがあります。



電源投入時および印刷中は、排紙ローラ部に指を近づけないでください。  
指が排紙ローラに巻き込まれ、けがをするおそれがあります。用紙は、完全に排紙されてから手にとってください。



使用済みのETカートリッジや廃トナーボックス、定着オイルロールを、火の中に入れてください。  
トナーが飛び散って発火したり、オイルに引火して火傷のおそれがあります。不燃物として処理してください。

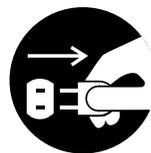


本機の電源を入れたままでコンセントから電源プラグを抜き差ししないでください。  
電源プラグが変形し、発火の原因となることがあります。



## ⚠ 注意

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源ケーブルを引っ張ると、ケーブルが傷付いて、火災や感電の原因となることがあります。



インターフェイスケーブルやオプション製品を接続するときや消耗品を交換するときは、必ず本機の電源スイッチをオフにしてください。感電の原因となることがあります。



# もくじ

本書の読み方について .....	i
安全にお使いいただくために .....	ii
安全上のご注意 .....	ii
もくじ .....	viii
本書中のタブ、マーク、 表記について .....	xiii

## 本機の紹介

本機の特長 .....	2
各部の名称とはたらき .....	6
正面 / 右側面 .....	6
背面 / 左側面 .....	7
本体内部 .....	8
操作パネル .....	8

## インストールについて

コンピュータとの接続 .....	10
Windows環境のコンピュータとの接続 ..	10
Macintosh との接続 .....	11
プリンタドライバとは .....	12
インストール方法のご案内 .....	13
プリンタドライバフロッピーディスク 請求のご案内 .....	14
Windows95/NT4.0 での インストール .....	16
システム条件の確認 .....	16
プリンタドライバのインストール (Windows95/NT4.0) .....	17
Windows95 での インストール後の設定 .....	21
オプション装着時の設定 (Windows95) .....	21

ネットワーク接続時の設定 (Windows95) .....	24
プリンタ接続先 (ポート) の設定 (Windows95) .....	27
ピアトピア使用時の設定 <Windows95> .....	31
WindowsNT4.0 での インストール後の設定 .....	36
オプション装着時の設定 (WindowsNT4.0) .....	36
ネットワーク接続時の設定 (WindowsNT4.0) .....	39
Macintosh でのインストール .....	42
システム条件の確認 .....	42
プリンタドライバのインストール (Macintosh) .....	43
EPSON ネーマー .....	45
プリンタドライバの設定 .....	47
ColorSync のインストール .....	49
Windows3.1/NT3.5x での インストール (モノクロのみ) ...	51
システム条件の確認 .....	51
プリンタドライバのインストール (Windows3.1/NT3.5x) .....	52
Windows3.1/NT3.5x での インストール後の設定 .....	54
オプション装着時の設定 (Windows3.1/NT3.5x) .....	54
ネットワーク接続時の設定 (Windows3.1) .....	58
ネットワーク接続時の設定 (Windows NT3.5x) .....	60
プリンタ接続先 (ポート) の設定 (Windows3.1) .....	62
DOS アプリケーションでの プリンタ設定 .....	64

海外版アプリケーション ソフトウェアを使用する場合 .....	64
国内版アプリケーション ソフトウェアを使用する場合 .....	65
DOS アプリケーションでの 印刷実行の流れ .....	66

## Windows95/NT4.0 からの印刷

印刷の実行 .....	68
印刷の手順 .....	68
印刷の設定 .....	69
プリンタドライバの起動 .....	69
[ 基本設定 ] 画面 .....	70
[ 詳細設定 ] 画面 ( カラー印刷の場合 ) ...	75
[ 詳細設定 ] 画面 ( モノクロ印刷の場合 ) .....	79
[ ユーザー設定 ] 画面 .....	81
[ レイアウト ] 画面 .....	82
[ オーバーレイ ] 画面 .....	83
[ 環境設定 ] 画面 .....	85
[ ユーティリティ ] 画面 .....	89
便利な印刷機能について .....	90
スタンプマーク .....	90
割り付け印刷 .....	93
拡大 / 縮小印刷 .....	94
印刷の中止方法 .....	97

## Macintosh からの印刷

印刷の実行と設定 .....	100
用紙設定の手順 .....	100
フォント設定の手順 .....	102

用紙サイズの登録 / 変更 .....	105
Macintosh での印刷手順 .....	106
カラー印刷の設定について .....	110
ColorSync 2.0 について .....	113
ColorSync とは .....	113
ColorSync を使用するときの 準備作業 .....	113
[ プリンタセットアップ ] 画面 ...	115
便利な印刷機能について .....	116
スタンプマーク .....	116
割り付け .....	117
画像反転印刷 .....	118
印刷の中止方法 .....	119

## Windows3.1 からの 印刷

印刷の実行 .....	122
印刷の手順 .....	122
印刷の設定 .....	124
[ 基本設定 ] 画面 .....	124
[ レイアウト ] 画面 .....	126
[ グラフィックス ] 画面 .....	128
[ フォント ] 画面 .....	130
[ オプション ] 画面 .....	132
[ パネル ] 画面 .....	134
印刷の中止方法 .....	135

## WindowsNT3.5x からの印刷

印刷の実行 .....	138
-------------	-----

印刷の手順 .....	138
印刷の設定 .....	139
[ ページ設定 ] 画面 .....	139
[ オプション ] 画面 .....	140
印刷の中止方法 .....	144

## 用紙について

用紙について .....	146
印刷できる用紙の種類 .....	146
本機で印刷した用紙の扱いについて ...	147
用紙と給紙方法について .....	148
給紙装置の優先順位について .....	149
印刷できる領域 .....	150
用紙の保管 .....	151
用紙のセット方向について .....	151
給紙装置 / 排紙装置について .....	152
用紙経路について .....	152
給紙装置 / 排紙装置の操作方法 ...	153
用紙トレイ .....	153
用紙カセット .....	155
フェイスダウントレイ .....	156
フェイスアップトレイ .....	156
用紙の種類と排紙トレイの関係 .....	157
普通紙のセット .....	158
用紙カセットへの用紙のセット .....	158
用紙トレイへの用紙のセット .....	161
特殊紙への印刷について .....	164
ハガキへの印刷 .....	164
封筒への印刷 .....	166
厚紙 / 不定形紙への印刷 .....	167
ラベル紙への印刷 .....	167

OHP シートへの印刷 .....	168
-------------------	-----

## 操作パネルでの設定

プリンタの設定方法について ...	172
操作パネルについて .....	173
ランプ / ディスプレイ .....	173
スイッチ .....	173
操作パネルでの設定方法 .....	174
操作パネルでの設定変更の注意事項 ...	174
パネル設定モードの種類 .....	174
ワンタッチ設定モード 1 の設定方法 ...	175
ワンタッチ設定モード 2 での 設定方法 .....	177
階層設定モードでの設定方法 .....	179
設定項目の説明 .....	181
インターフェイスの選択 .....	197
節電の設定方法 .....	199
本機の節電機能について .....	199
設定方法 .....	199
ステータスシートの印刷 .....	201
16 進ダンプ印刷 .....	202
リセット / リセットオール について .....	203
リセットについて .....	203
リセットのしかた .....	203
リセットオールについて .....	204
リセットオールのしかた .....	204

## ユーティリティの使い方

EPSON プリンタウィンドウ!2 ( Windows95/NT4.0 ) .....	206
--	-----

EPSON プリンタウィンドウ!2 の 動作環境 .....	206
インストール .....	207
単独でインストールする場合 .....	210
初期設定を変更する場合 .....	212
EPSON プリンタウィンドウ!2 を お使いになる前に ( Windows95 ) .....	212
操作手順 .....	213
プリンター一覧ウインドウ .....	215
プリンタの詳細をみるには .....	216
環境を設定するには .....	219
監視アイコンと簡易表示について .....	220
EPSON プリンタウィンドウ!2 を 停止するには .....	221
EPSON プリンタウィンドウ!2 の削除 ..	222
プリンタウインドウ 2 ( Macintosh ) .....	223
プリンタウインドウ 2 の起動方法 .....	223
ステータスウインドウ .....	224
「ファイル」メニュー .....	226
初期設定ダイアログ .....	227
EPSON BarCode フォント ( Windows95/NT4.0/NT3.5x ) .....	228
BarCode フォントについて .....	228
注意事項 .....	229
インストール .....	231
バーコードの作成 .....	233
各バーコードについて .....	235
EPSON Remote! について .....	242
EPSON Remote! の概要 .....	242
EPSON Remote! ( DOS 版 ) .....	243
システム条件 .....	243

インストール方法 .....	244
EPSON Remote ( DOS 版 ) の使い方 ...	246
EPSON Remote! ( NetWare 版 ) .....	248
NetWare 版 EPSON Remote! について .....	248
システム条件について .....	249
スーパーバイザによるインストール ...	250
一般ユーザーのインストール .....	251
EPSON Remote! ( NetWare 版 ) の 使い方 .....	253
簡易設定ユーティリティの 使い方 .....	257
実行ファイルの作成 .....	257
簡易設定ユーティリティの実行 .....	258

## オプションについて

オプションの紹介 .....	262
オプションの入手方法について .....	262
パラレルインターフェイスケーブル ...	262
用紙カセット .....	263
用紙カセットユニット .....	263
増設メモリ .....	264
フォント ROM モジュール .....	264
フォームオーバーレイ ユーティリティ .....	265
オーバーレイ ROM モジュール .....	265
インターフェイスカード .....	266
Macintosh 接続用オプション .....	267
リファレンスマニュアル .....	268
増設メモリ / ROM モジュールの 取り付け .....	269

インターフェイスカードの 取り付け .....	273
給紙装置の取り付け .....	275

## 付録

プリンタの仕様 .....	278
コントロールコードについて ...	287
ESC/Page コントロールコード .....	287
ESC/P コントロールコード .....	287
用語集 .....	288
アルファベット .....	288
数字 .....	291
アイウエオ .....	291

## 索引

索引 .....	296
数字 .....	296
アルファベット .....	296

# 本書中のタブ、マーク、表記について

## タブ

このタブの付いているページは、Windows をお使いの方のみお読みください。

Win

このタブの付いているページは、Macintosh をお使いの方のみお読みください。

Mac

このタブの付いているページは、DOS をお使いの方のみお読みください。

DOS

## マーク

本書中では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。

マークが付いている記述は、必ずお読みください。

なお、それぞれのマークにはつぎのような意味があります。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、プリンタ本体が損傷する可能性が想定される内容を示しています。



ポイント

お取り扱い上、必ずお守りいただきたいこと(操作)、知っておいていただきたいことを記載しています。必ずお読みください。

## 用語<sup>1)</sup>

分かりにくい用語の説明を、欄外に記載していることを示しています。



関連した内容の参照ページを示しています。

## 表記

Microsoft® Windows® operating system Version 3.1 日本語版

Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版

Microsoft® Windows NT® operating system Version 4.0 日本語版

Microsoft® Windows NT® operating system Version 3.51 日本語版

Microsoft® Windows NT® operating system Version 3.50 日本語版

の表記について

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、

Windows 3.1、Windows 95、Windows NT 4.0、Windows NT 3.5x と表記しています。また、Windows 3.1、Windows 95、Windows NT 4.0、Windows NT 3.5x の総称として「Windows」と表記する場合があります。



# 本機の紹介

---

ここでは本機の特長や、各部の名称と働きについて説明しています。

本機の特長 .....	2
各部の名称とはたらき .....	6

# 本機の特長

本機は、Windows95/NT4.0およびMacintoshでの使用時、各色最大256階調でのフルカラー印刷が可能なカラーレーザープリンタです。

本機の特長は次の通りです。

Windows3.1/NT3.5xおよびDOS上ではモノクロ印刷のみ可能です。

CPGI機能による、高画質のカラー印刷 (Windows95/NT4.0 Macintoshのみ)

EPSON独自のCPGI<sup>\*1</sup>(Color Photo&Graphics Improvement)機能により、三原色の各色最大256階調の表現が可能になり、写真等の微妙な色調やグラデーションのある印刷データをより美しく印刷することができます。

CPGI機能は、プリンタドライバ上で「品質優先」を選択時、有効になります。(Windows95/NT4.0:「印刷モード」で選択、Macintosh:「印字方法」で選択。)



ポイント

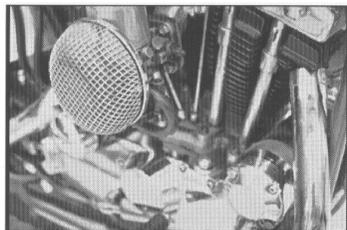
CPGI機能を使用しての印刷は、メモリの増設が必要になる場合があります。

PGI機能による、なめらかな階調表現 (カラー印刷はWindows95/NT4.0 Macintoshのみ)

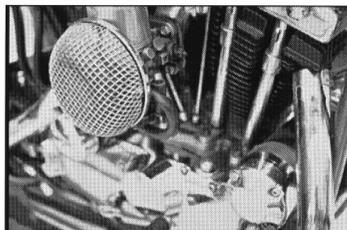
EPSON独自のPGI<sup>\*2</sup>(Photo&Graphics Improvement)機能により、階調表現をより細かく制御して、写真等の微妙な陰影やグラデーションなどのある印刷データを、なめらかな階調表現で印刷できます。

カラー印刷の場合、CPGI機能使用時に比べ印刷品質は低くなりますが、サイズの大きいデータ等を除き、メモリの増設の必要はありません。

PGI機能は、プリンタドライバ上で「速度優先」を選択時、有効になります。(Windows95/NT4.0:「印刷モード」で選択、Macintosh:「印字方法」で選択。)モノクロ印刷の場合、PGI機能によりモノクロの写真やグラデーションなどを、よりなめらかな階調で印刷することができます。



300DPI, PGI無効  
(ハーフトーン処理を有効)



600DPI, PGI有効

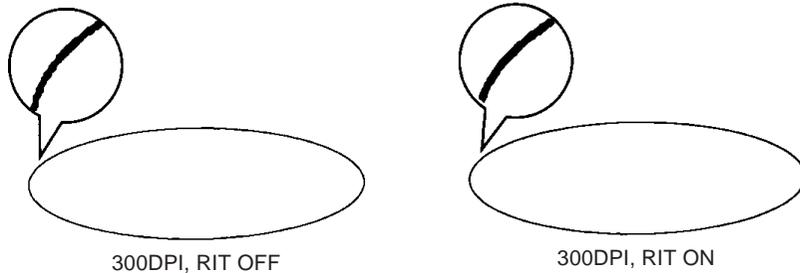
\*1 CPGI : カラーの画像データが持つ微妙な色合いを鮮明に印刷するために、画像を構成する各ドット(点)をさらに分割することでシアン、マゼンタ、イエロー、黒の割合をより細かく制御するEPSON独自の機能。CPGI有効時、各色最大256階調の表現が可能になります。

\*2 PGI : 画像データが持つ微妙な陰影やグラデーションを鮮明に印刷するために、階調表現をより細かく制御するEPSON独自の機能。PGI有効時、階調表現力は無効時の3倍になります。

### RIT 機能による、なめらかな文字や曲線の印刷

RIT<sup>\*1</sup> (Resolution Improvement Technology) 機能は、印刷時に走査線方向を 2400DPI で、紙送り方向を 600DPI の高精度で制御することにより、解像度 1200DPI での印刷に相当するなめらかな印刷を可能にする EPSON 独自の機能です。階調表現をより細かく制御することで、文字の輪郭や曲線等の印刷時、ギザギザのない美しい印刷が可能です。

RIT 機能を使用する / しないは、モノクロ印刷時のみプリンタドライバ上で選択できます。カラー印刷時は、「速度優先」(PGI 機能)で、解像度 300DPI の場合のみ RIT 機能が自動的に使用されます。



### 各種の色補正機能を装備 (Windows95/NT4.0、Macintosh のみ)

印刷の目的、印刷するデータに合わせて最適な色補正を行うことができます。

- ドライバによる色補正  
あらかじめ、写真やグラフィックなど印刷するデータに合わせた色補正の設定が用意されています。  
また、明度やコントラスト、シアン / マゼンタ / イエローの 3 原色を任意に設定して色補正を行うこともできます。
- オートフォトファイン!2 (Windows95/NT4.0 のみ)  
EPSON 独自の画像解析 / 処理技術を用いて、自動的に画像を高画質化する機能です。
- ICM (Windows95 のみ) / ColorSync (Macintosh のみ)  
ディスプレイ上での表示と、プリンタからの印刷結果の微妙な色の違いを補正するカラーマッチング機能です。

\*1 RIT : 印刷時に走査線方向を 2400DPI、紙送り方向を 600DPI の高精度でコントロールすることで、1200DPI 相当の高解像度印刷を実現する EPSON 独自の機能。

印刷内容に合わせて2種類のスクリーン線数を選択可能 (Windows95/NT4.0、Macintoshのみ)

写真等の微妙な色調やグラデーションのある画像を印刷したい場合、小さい文字や細かい線をはっきりと印刷したい場合、それぞれの目的に合わせてスクリーン線数を選択できます。

- 階調優先 : スクリーン線数166LPI。微妙な色調や階調を再現した印刷ができます。
- 解像度優先 : スクリーン線数268LPI。小さい文字や細かい線をはっきりと印刷できます。

スクリーン線数 (階調優先 / 解像度優先) は、プリンタドライバ上で選択します。(Windows95/NT4.0 : 「スクリーン」で選択、Macintosh : 「ハーフトーン種」で選択。)

ハガキ (A6) ~ A3W (ノビ) までの各種サイズの内紙に対応

最大で A3W (ノビ) (483mmx328mm) の用紙への印刷が可能です。

A3W (ノビ) に印刷時、印刷可能領域は 473mm x 318mm となり、A3 (420mmx297mm) より大きい範囲への印刷が可能です。

大幅なスループット向上を実現

カラー印刷時4枚/分、モノクロ印刷時16枚/分(A4サイズ普通紙、解像度600DPI時)の高速エンジンにハイパフォーマンスコントローラを組み合わせ、さらにパラレルインターフェイスIEEE1284 ECPモード対応によりインターフェイスの高速化を図り、大幅なスループット向上を実現しています。

📖 本書「階層設定メニュー / ソウホウコウ」191ページ

### 国際エネルギースタープログラムに対応した省電力設計

節電機能を使用すると、印刷終了後 60 分（30 分、120 分の設定も可）経過すると消費電力 45W 以下になり、消費電力を節約できます。

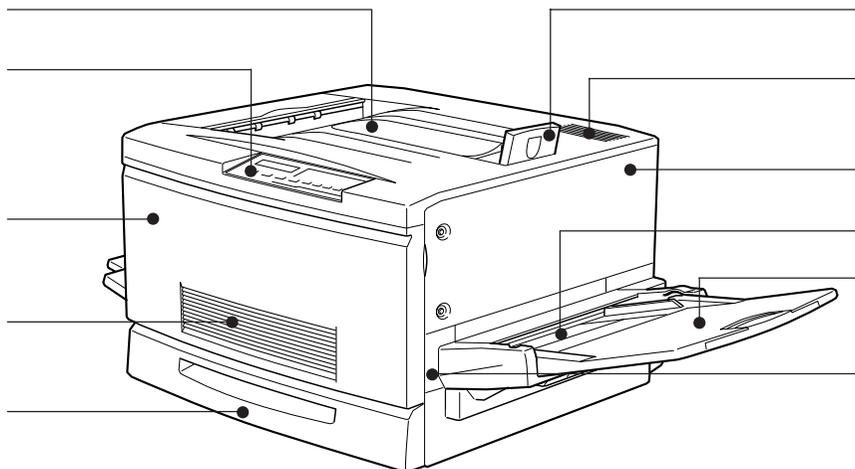
### 各種の印刷機能 / ユーティリティを装備

特定のイメージを重ねて印刷できる「スタンプマーク」（Windows95/NT4.0、Macintosh）や、2 ページ / 4 ページを 1 ページにまとめて印刷する「割り付け印刷」、「拡大 / 縮小機能」などの印刷機能を装備しています。

またコンピュータ上でプリンタの状態を監視できる「EPSON プリンタウインドウ 2」（Windows95/NT4.0）/ 「プリンタウインドウ 2」（Macintosh）や、バーコードを簡単に印刷できる「EPSON バーコードフォント」（Windows95/NT4.0 / NT3.5x）などのユーティリティを装備しています。

# 各部の名称とはたらき

## 正面 / 右側面



### フェイスダウントレイ

印刷された用紙が、印刷面を下にして排紙されます。

### 操作パネル

プリンタの状態を示す液晶ディスプレイやランプ、特別な操作の際に押すスイッチがあります。

### 前カバー

ETカートリッジ、感光体ユニット、廃トナーボックスを交換するときを開けます。通常は閉じて使用します。

### 通風口（正面）

プリンタの加熱を防ぐための空気取り入れ口です。プリンタの据置の際には、通風口をふさがないようにしてください。また通風口のそばに燃えやすい物を置かないでください。

### 用紙カセット

普通紙、上質普通紙がセットできます。（A3、A4、B4、B5、LT、LGL、B）  
用紙は印刷面を下にしてセットします。

### 排紙ストッパー

フェイスダウントレイに排紙された用紙が滑り落ちないように起こします。

### 通風口（上面）

プリンタの加熱を防ぐための空気取り入れ口です。プリンタの据置の際には通風口をふさがないようにしてください。また通風口の上に物を置いたり、内部に異物を入れないようにしてください。

### 右上カバー

オプションの増設メモリやROMモジュールを取り付ける場合に取り外します。

### 用紙トレイ

普通紙、上質普通紙のほか、各種の特殊紙がセットできます。  
用紙は印刷面を上にしてセットします。

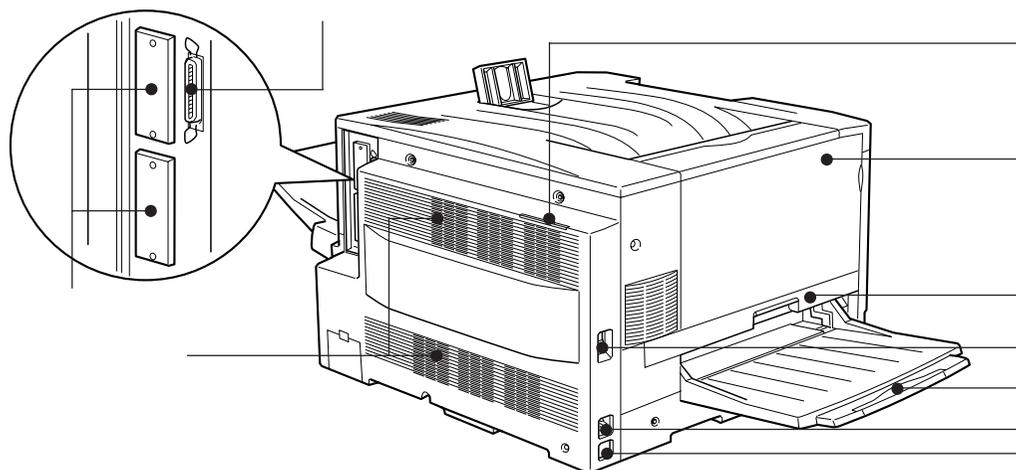
### 延長トレイ

大きいサイズの用紙をセットする場合に、用紙を支えるために使用します。

### 紙送りユニット

給紙時の紙詰まりが発生した場合に、右側に引き出して詰まった用紙を取り除きます。  
通常は閉じて使用します。

## 背面 / 左側面



### パラレルインターフェイスコネクタ

インターフェイスケーブルを接続します。

### コネクタカバー

オプションのインターフェイスカードを差し込むスロットのカバーです。スロットは上 (AUX1) がスロット 1、下 (AUX2) がスロット 2 です。

### 通風口 (背面 / 左側面)

プリンタの加熱を防ぐため、内部で発生する熱を放出します。プリンタの据置の際には、通風口をふさがないようにしてください。また通風口のそばに燃えやすい物を置かないでください。

### 排気フィルタ

通風口からのホコリなどを防ぎます。常に取り付けた状態で使用してください。

### 排紙カバー

排紙時に紙詰まりが発生した場合に、このカバーを開けて詰まった用紙を取り除きます。通常は閉じて使用します。

### 定着ユニット

定着器や定着オイルロールが内蔵されています。定着オイルロールを交換する場合、プリンタ内部での紙詰まりが発生した場合に左側に引き出します。通常は閉じて使用します。

### 電源スイッチ

「|」側を押すと電源がオンになります。「」側を押すと電源がオフになります。

### フェイスアップトレイ

印刷した用紙が、印刷面を上にして排紙されます。使用しないときは上に折りたたみます。

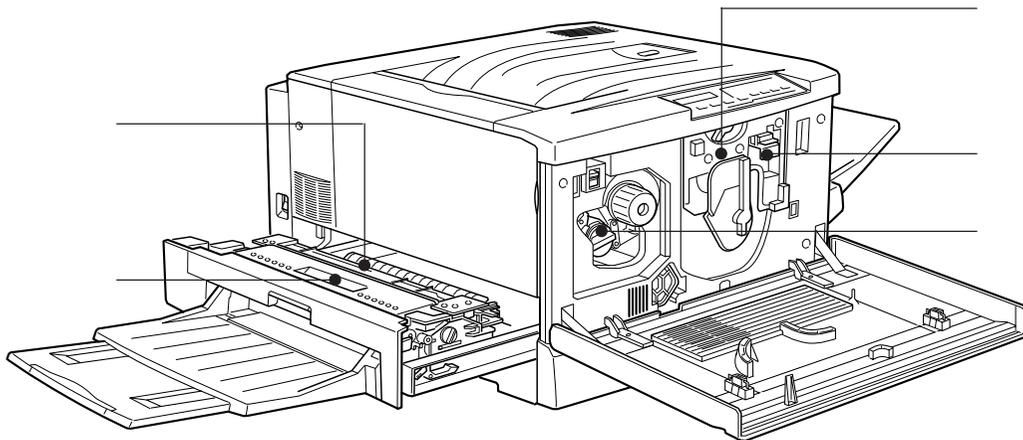
### AC インレット

電源ケーブルのプラグを接続します。

### アース線取り付け部

同梱のアース線をネジで取り付けます。

## 本体内部



### 定着器

用紙にトナーを定着させる装置です。高温になりますので絶対に手を触れないでください。火傷するおそれがあります。

### 定着オイルロール

定着器に潤滑油を供給し、汚れを取り除きます。オイルがなくなったら交換します。

### 感光体ユニット

感光体、感光体クリーナー、廃トナーボックスで構成されたユニットです。感光体に電荷を与えて印刷する画像を作ります。印刷品質が落ちてきたら交換します。

### 廃トナーボックス

印刷時に出る余分なトナーを回収するボックスです。廃トナーでいっぱいになったら交換します。廃トナーボックスは感光体ユニットに組み込まれているため、感光体ユニットを交換すると廃トナーボックスも交換されます。

### ETカートリッジ

印刷用トナーが入っています。黒、イエロー（黄）、シアン（青）、マゼンタ（赤）の4本がセットされます。トナーがなくなったら、その色のETカートリッジを交換します。

## 操作パネル

操作パネルの詳細については、本書「操作パネルについて」173ページを参照してください。

# インストールについて

ここでは本機を使用可能な状態にするためのインストール作業について説明しています。

本機の据置が完了したら、本章を参照してコンピュータとの接続とプリンタドライバのインストールを行ってください。お使いのコンピュータや、Windowsの種類等を確認して、該当する箇所を参照して作業を行ってください。

コンピュータとの接続.....	10
プリンタドライバとは.....	12
インストール方法のご案内.....	13
Windows95/NT4.0 でのインストール.....	16
Windows95 でのインストール後の設定.....	21
WindowsNT4.0 でのインストール後の設定.....	36
Macintosh でのインストール.....	42
Windows3.1/NT3.5x でのインストール.....	51
Windows3.1/NT3.5x でのインストール後の設定...	54
DOS アプリケーションでのプリンタ設定.....	64

# コンピュータとの接続

## Windows 環境のコンピュータとの接続

本機の据置が完了したら、コンピュータとの接続を行います。



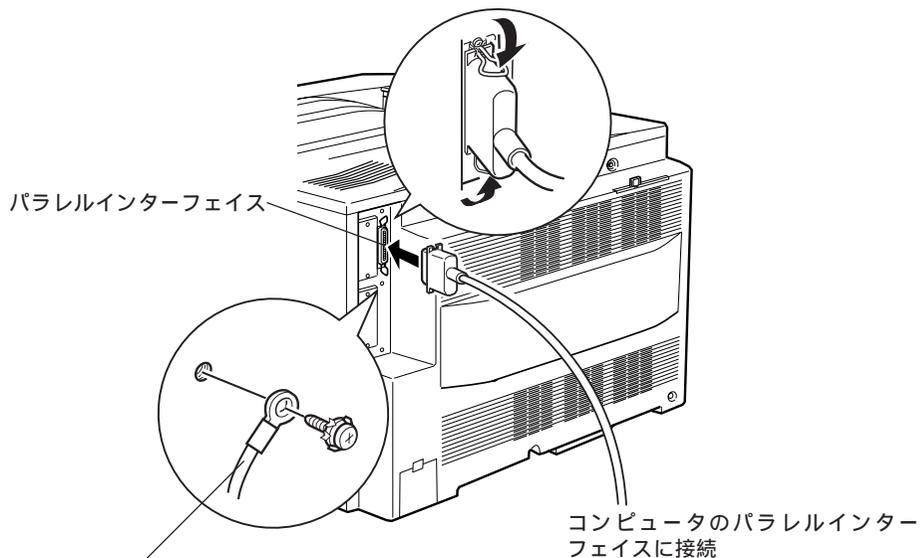
ポイント

- 接続を行う前に、必ずコンピュータとプリンタの電源をオフにしてください。
- コンピュータとの接続に必要なケーブルやインターフェイスカードの種類は、コンピュータの機種や使用環境により異なります。お使いのコンピュータ等の取扱説明書等を参照して確認してください。また、本書の「オプションについて」の次の箇所も参照してください。
  - ☞ 本書「パラレルインターフェイスケーブル」262 ページ
  - ☞ 本書「インターフェイスカード」266 ページ
  - ☞ 本書「Macintosh 接続用オプション」267 ページ

### ローカル接続の場合

コンピュータのパラレルインターフェイスと、本機の背面のパラレルインターフェイスとをケーブルで接続します。

使用するケーブルはコンピュータの種類により異なります。コンピュータの取扱説明書等で確認してください。



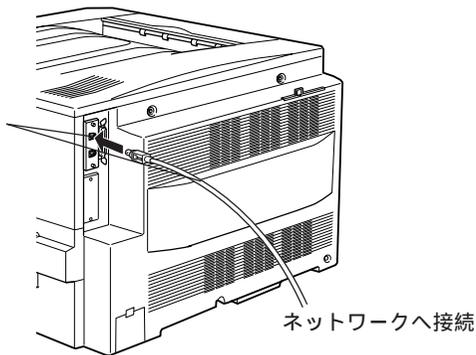
ケーブルにFG線(グラウンド線)が付いている場合、コネクタの下または上にあるFG線取り付けネジを使って固定します。

## ネットワーク接続の場合

ネットワーク環境との接続は、本機に装着したインターフェイスカードとネットワーク側とをケーブルで接続します。

使用するケーブルはインターフェイスカードの種類により異なります。インターフェイスカードの取扱説明書等で確認してください。

インターフェイスカード背面の形状/コネクタや、接続に必要なケーブルは、インターフェイスカードの種類により異なります。



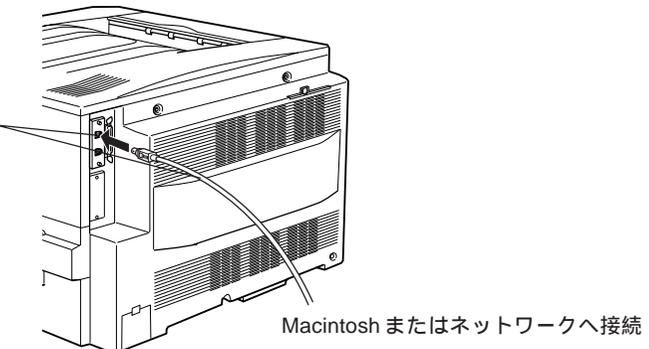
## Macintosh との接続

本機には Macintosh 用のシリアルインターフェイスは設けられていません。

本機を Macintosh に接続する場合は、オプションのインターフェイスカードが必要になります。本機に装着したインターフェイスカードと Macintosh 側とをケーブルで接続します。

使用するケーブルはインターフェイスカードの種類により異なります。インターフェイスカードの取扱説明書等で確認してください。

インターフェイスカード背面の形状/コネクタや、接続に必要なケーブルは、インターフェイスカードの種類により異なります。

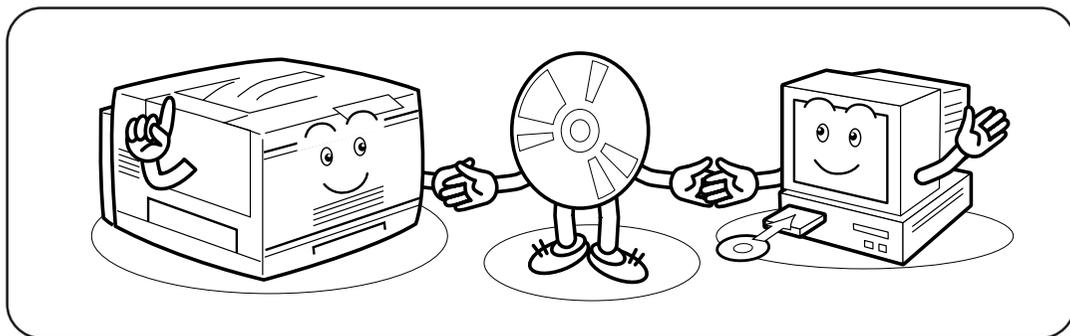


# プリンタドライバとは

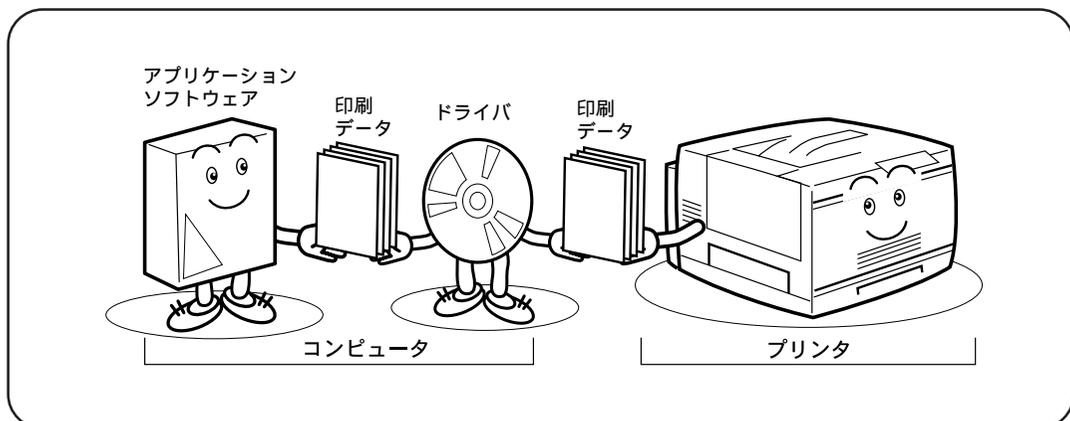
Win

プリンタドライバは、

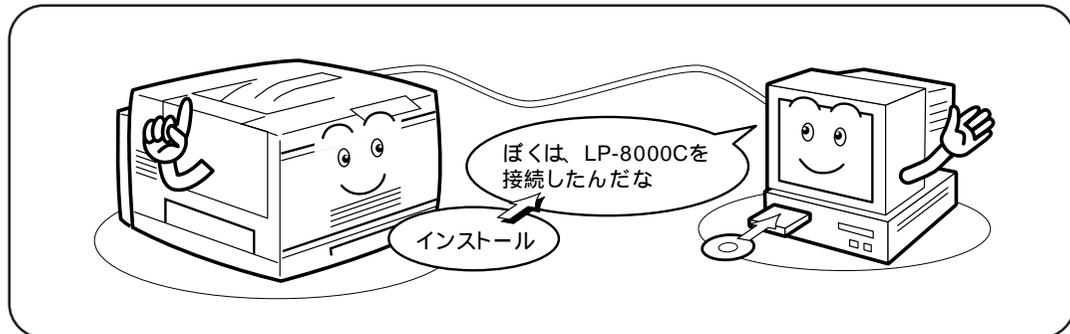
コンピュータとプリンタをソフト的に接続するものです。



プリンタドライバは、印刷するときに印刷データをプリンタへ渡す役割をしています。



また、プリンタドライバをインストールしてはじめてコンピュータは接続されたプリンタがどのようなプリンタか知ることができます。



プリンタドライバとは

# インストール方法のご案内

プリンタドライバのインストール方法は、お使いのコンピュータやオペレーティングシステムによって異なります。

以下の説明を参照して、お使いのコンピュータに該当する手順でインストールしてください。

Win



ポイント

プリンタドライバは、プリンタを使用する度にインストールする必要はありません。

Windows95/NT4.0の場合（カラー/モノクロプリンタとして使用可能）

EPSON ESC/PageプリンタソフトウェアCD-ROMをコンピュータにセットし、表示されるメニュー画面から [ ドライバ・ユーティリティのインストール ] ボタンを選択してインストールします。

☞本書「Windows95/NT4.0でのインストール」16 ページ

Windows95のコンピュータの場合、Windows95のプラグアンドプレイ機能によりプリンタドライバをインストールする方法がありますが、通常はこの方法ではインストールせず、EPSON ESC/PageプリンタソフトウェアCD-ROMのメニュー画面からインストールを行ってください。

Macintosh の場合（カラー/モノクロプリンタとして使用可能）

EPSON ESC/PageプリンタソフトウェアCD-ROMをコンピュータにセットし、表示されるウィンドウ中の「インストーラ」アイコンをダブルクリックしてインストールします。

☞本書「Macintoshでのインストール」42 ページ

Windows3.1/NT3.5xの場合（モノクロプリンタとして使用可能）

EPSON ESC/PageプリンタソフトウェアCD-ROMをコンピュータにセットし、CD-ROMに登録されているインストーラ(SETUP.EXE)を起動してインストールします。

☞本書「Windows3.1/NT3.5xでのインストール」51 ページ

MS-DOSの場合（モノクロプリンタとして使用可能）

使用しているMS-DOSアプリケーションソフト上で、使用するプリンタの機種名を選択します。アプリケーションソフト上に本機の機種名がない場合は、代替りのプリンタの機種名を選択します。

☞本書「DOSアプリケーションでのプリンタ設定」64 ページ

インストールを始める前に、CD-ROMに登録されているReadme.TXTファイルをお読みください。Readme.TXTファイルには、プリンタドライバに関する最新情報が記載されています。



ポイント

本製品のプリンタドライバはCD-ROMにて提供しています。フロッピーディスクからプリンタドライバをインストールする場合は、次のどちらかの方法でフロッピーディスクをご用意ください。

- EPSON ESC/PageカラープリンタソフトウェアCD-ROMをコンピュータにセットし、「フロッピーディスク版セットアップディスクの作成」をダブルクリックします。

表示されるメッセージに従ってセットアップディスクを作成してください。



ダブルクリックします

- 次項の「プリンタドライバフロッピーディスク請求のご案内」をご参照いただき、お申し込みください。実費にて送付いたします。

## プリンタドライバフロッピーディスク請求のご案内

本機に同梱のESC/PageプリンタドライバのメディアはCD-ROMです。3.5インチフロッピーディスクをご希望のお客様は、実費にて送付させていただきますので、お手数ですが以下の方法にてお申し込みください。

### 申込手順

エプソンFAXインフォメーションで、LPシリーズの最新ドライバのご案内に関する資料をご覧ください。

エプソンFAXインフォメーションの問い合わせ先は、裏表紙を参照してください。郵便局に備え付けの振込用紙を使用し、指定口座に代金をお振り込みください。（お振り込みの際の振込手数料は、別途お客様ご負担をお願いいたします）

の資料のなかにある申込用紙に必要事項を記入の上、お振り込みの際に受け取られた払込受領証のコピーを所定場所に貼布し、エプソンディスクサービスにFAXまたは郵送にて送付してください。（払込受領証の原本はお客様にて保管してください）

申込用紙をご送付いただきましてから、約1週間でお客様のお手元に、郵送にてお届けいたします。

- \* 領収書につきましては、振込の際に郵便局から受け取る払込受領証をもって、これに代えさせていただきます。

## エプソンディスクサービス

郵便口座番号 : 00170-2-971687  
加入者名 : エプソン販売株式会社  
ファックス申込の場合 : Fax-No. 03-3291-1143  
郵送申込の場合 : 住所 〒 101-8799 東京都千代田区神田郵便局留  
エプソンディスクサービス

## フロッピーディスクについてのご入金(お振込)・発送のお問い合わせ

TEL.03-3291-1141(土日祝祭日を除く)  
9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00

## 技術的なお問い合わせ

プリンタ、ドライバに関する技術的なお問い合わせは、エプソンインフォメーションセンターにお問い合わせください。

ディスクサービス係では、技術的な質問にはお答えできかねますので、あらかじめご容赦くださいますようお願いいたします。

エプソンインフォメーションセンターの問い合わせ先は、裏表紙を参照してください。

## ご注意

- 提供するメディアは、3.5 インチのみとなりますのでご了承ください。
- 提供するソフトウェアは、エプソン製品と共に使用する場合に限り複製、頒布を許可します。
- 内容を変更すること、利益を得るために再販することは、禁止いたします。
- その他、使用契約については、本機に添付されている使用約款に準じます。
- 一度申し込まれた代金の返金につきましては、場合によっては応じかねますのでご了承ください。
- お申し込みは必ず郵便振込をご利用ください。それ以外の送金をご遠慮ください。

## お知らせ

エプソンディスクサービスにて提供しておりますソフトウェアは、下記のパソコン通信サービスでも入手することができます。(ただし、一部のソフトを除く)

- NIFTY-Serve EPSON Information Forum ( コマンド:GO\_ FEPSONI )
- PC-VAN EPSON 情報コーナー ( コマンド:J\_ EPSON )
- インターネット エプソン販売ホームページ  
( <http://www.i-love-epson.co.jp> )

# Windows95/NT4.0 でのインストール

Win

## システム条件の確認

使用するハードウェアおよびシステムの最低条件は以下の通りです。

### Windows95

オペレーティングシステム	: Windows95 日本語版
CPU	: i486SX® 以上 (推奨 Pentium 以上)
主記憶メモリ	: 8MByte 以上 (推奨 32MByte 以上)
ハードディスク空き容量	: 10MByte 以上 (推奨 200MByte 以上)
ディスプレイ	: VGA (640 × 480) 以上の解像度

### WindowsNT4.0

オペレーティングシステム	: WindowsNT 4.0 日本語版
CPU	: i486® (25MHz) 以上 X86 系または Pentium® (推奨 Pentium 以上)
主記憶メモリ	: 16MByte 以上 (推奨 32MByte 以上)
ハードディスク空き容量	: 20MByte 以上 (推奨 200MByte 以上)
ディスプレイ	: VGA (640 × 480) 以上の解像度



ポイント

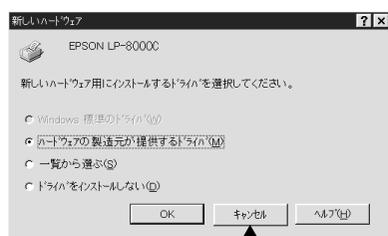
印刷するデータによってはさらに多くのメモリとハードディスクの容量が必要です。

1

コンピュータの電源をオンにし、Windows を起動します。

Windows95をご利用の方で、以下の画面が表示された場合は次の手順に従ってください。

画面1



クリックします

キャンセル ボタンをクリックします。

画面2



クリックします

次へ ボタンをクリックし、次画面で完了 ボタンをクリックします。

2

EPSON ESC/Pageカラープリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。

フロッピーディスクをお使いのお客様はセットアップディスク1をセットします。

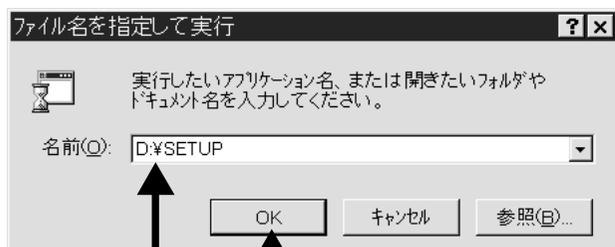
3

「ドライバ・ユーティリティのインストール」をダブルクリックします。



ダブルクリック  
します

- ③の画面が表示されない場合は、以下の手順に従って④に進みます。  
Windows画面左下の「スタート」ボタンをクリックし、「ファイル名を指定して実行(R)」をクリックします。  
セットしたドライブ名と、実行コマンド「SETUP」を半角で入力し、「OK」ボタンをクリックします。



半角で入力して      クリックします

CD-ROM		フロッピーディスク	
セット先	入力	セット先	入力
D ドライブ	D:\SETUP	A ドライブ	A:\SETUP
E ドライブ	E:\SETUP	B ドライブ	B:\SETUP
:	:	:	:

4

- LP-8000C が選択されていることを確認し、「OK」ボタンをクリックしてインストールを実行します。

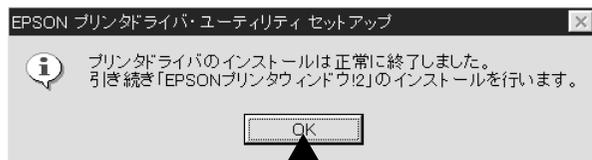


クリックします      確認して

フロッピーディスクの場合、インストール実行中にディスク交換のメッセージが表示されます。メッセージに従ってディスクを交換してください。

5

CD-ROMをセットしている場合、次の画面で**OK**ボタンをクリックします。



クリックします

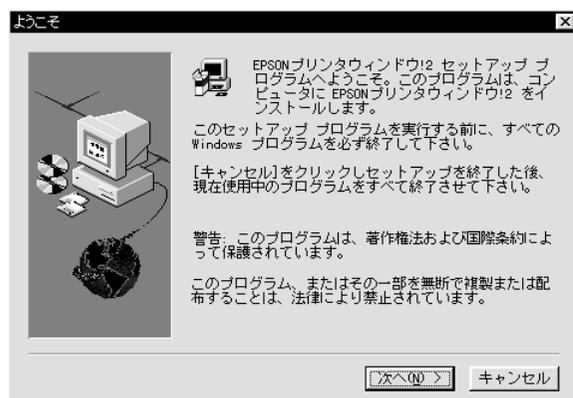
フロッピーディスクの場合、上記の画面は表示されません。インストール終了の画面で**OK**ボタンをクリックしてインストールを終了します。

6

ドライバのインストールが完了すると、以下の画面が表示されます。

続けてEPSONプリンタウィンドウ!2をインストールする場合は以下のページを参照してください。

📖 本書「EPSONプリンタウィンドウ!2のインストール」207ページ



EPSONプリンタウィンドウ!2をインストールしない場合は、**キャンセル**ボタンをクリックして終了します。

後でEPSONプリンタウィンドウ!2を単独でインストールする場合は以下のページを参照してください。

📖 本書「単独でインストールする場合」210ページ

プリンタにオプションを装着している場合や、ネットワーク環境に接続している場合などは、プリンタドライバのインストール後に設定の変更が必要になります。

インストールを終了したら、以下のページを参照してプリンタの使用環境に応じて必要な設定を行ってください。

Windows95の場合：

☞本書「Windows95でのインストール後の設定」21ページ

WindowsNT4.0の場合：

☞本書「WindowsNT4.0でのインストール後の設定」36ページ

# Windows95 でのインストール後の設定

プリンタにオプションを装着している場合、プリンタをネットワークに接続している場合などは、プリンタドライバをインストールした後に設定の変更等が必要になります。

Windows95を使用している場合、以下の説明を参照して、プリンタの使用環境に合わせて必要な設定を行ってください。

## オプション装着時の設定 (Windows95)

プリンタに装着しているオプション<sup>\*1</sup>を使用可能にするには、プリンタドライバのインストール後にWindows上でそれらのオプションの設定をする必要があります。オプションを新たに装着した場合も設定が必要です。オプションを装着していない場合設定の必要はありません。



EPSONプリンタウィンドウ!2が起動している場合は、プリンタの電源がオンになっていることを確認してください。プリンタのオプションやセットされている用紙などの情報を自動的に取得します。

1

画面左下の **スタート** ボタンをクリックし、[設定 (S)]にカーソルを合わせ、[プリンタ (P)]をクリックします。

2

LP-8000C をクリックし、[ファイル(F)]メニューの[プロパティ(R)]をクリックします。

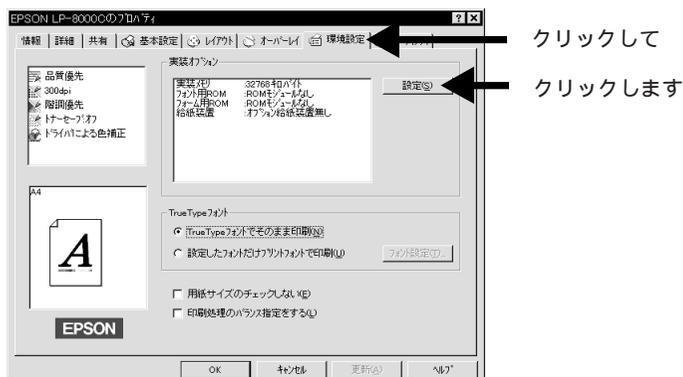


\*1 オプション：ここでは別売のメモリ、フォントROMモジュール、給紙装置を意味します。

3

「環境設定」タブをクリックして以下の画面を表示させ、「実装オプション」の「設定(S)」ボタンをクリックします。

<画面はEPSON プリンタウィンドウ!2をインストールしていない状態です>



ポイント

EPSONプリンタウィンドウ!2が起動され、プリンタの電源がオンになっている場合は、この画面を開くとオプション情報を自動的に取得しますので、「設定(S)」ボタンは表示されません。「実装オプション」に、装着したオプションの名称が表示されていることを確認し、「OK」ボタンをクリックして終了します。

4

[ 実装オプション設定 ] 画面の ~ の項目を設定します。各項目については次ページを参照してください。



### 実装メモリ(M)

増設メモリを装着している場合は、プリンタに実装されているメモリの値を選択します。選択する値は、ステータスシートを印刷し、「実装メモリ容量」の項に印刷される数値です。

📖本書「ステータスシートの印刷」201 ページ

### オプション ROM モジュール(F)

装着したフォント ROM モジュールやフォームオーバーレイ ROM モジュールに合わせて選択します。

プリンタフォントを使用することによって、コンピュータからプリンタへ送るデータ量が軽減し、印刷速度を向上させることができます。

### オプション給紙装置(S)

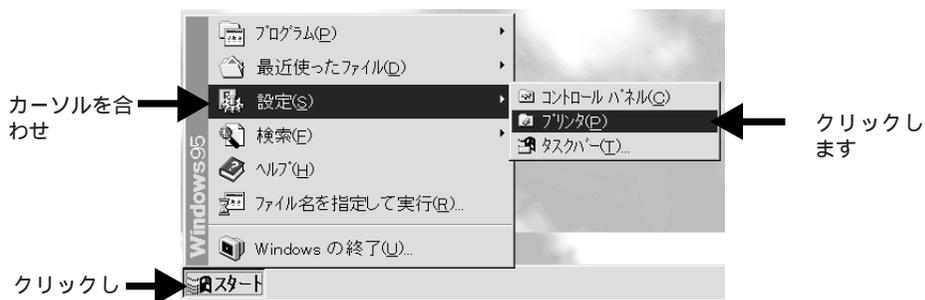
オプションの増設カセットユニットを装着している場合は、「増設カセットユニット」を選択します。

## ネットワーク接続時の設定 (Windows95)

ネットワーク上に接続されたプリンタを使用する場合は、以下の手順に従ってください。

1

画面左下の「スタート」ボタンをクリックし、[設定(S)]にカーソルを合わせ[プリンタ(P)]をクリックします。



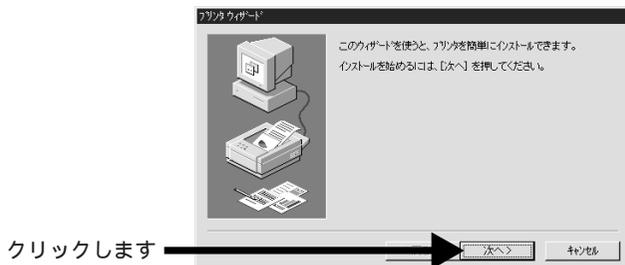
2

[プリンタの追加]アイコンをダブルクリックします。



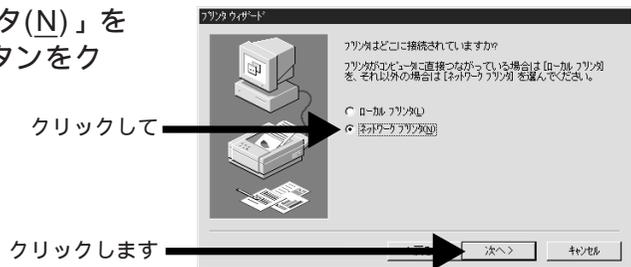
3

「次へ」ボタンをクリックします。



4

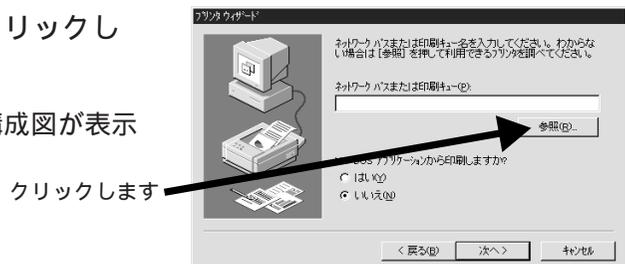
「ネットワークプリンタ(N)」をクリックし、「次へ」ボタンをクリックします。



5

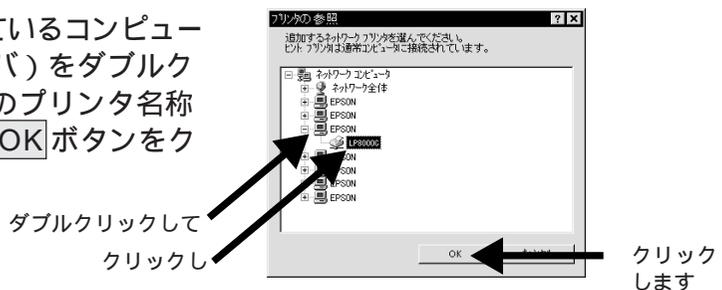
参照 (R) ボタンをクリックします。

ご利用のネットワーク構成図が表示されます。



6

本機が接続されているコンピュータ（またはサーバ）をダブルクリックし、本機のプリンタ名称をクリックしてOKボタンをクリックします。



ポイント

本機が接続されているコンピュータ（またはサーバ）の名称や、プリンタの名称はネットワークにより異なります。ご利用のネットワークの管理者にご確認ください。

7

次へ ボタンをクリックします。



ポイント

接続したコンピュータ（またはサーバ）にプリンタドライバがインストールされていると、⑧の画面は表示されません。この後は、画面の指示に従って実行してください。

8

ディスク使用 (H) ボタンをクリックします。

クリックします



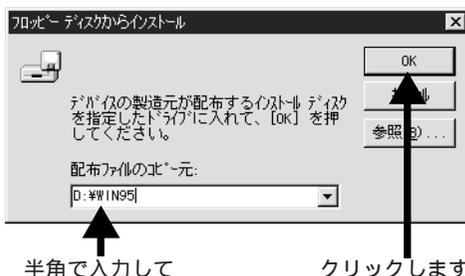
9

EPSON ESC/Pageカラープリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。

フロッピーディスクをお使いの場合は「セットアップディスク1」をセットします。

10

セットしたドライブ名とディレクトリ名を半角文字で入力し、OK ボタンをクリックします。



半角で入力して

クリックします

CD-ROM		フロッピーディスク	
セットしたドライブ	入力	セットしたドライブ	入力
D ドライブ	D:¥WIN95	A ドライブ	A:¥WIN95
E ドライブ	E:¥WIN95	B ドライブ	B:¥WIN95
:	:	:	:

11

接続するプリンタをクリックして、次へ ボタンをクリックします。



選択して

クリックします

12

この後は、画面の指示に従って実行します。

## プリンタ接続先 (ポート) の設定 (Windows95)

プリンタを接続しているコンピュータ側のポートの設定を、必要に応じて変更します。コンピュータにローカル接続している場合は、そのままの設定で使用できますので変更は不要です。

ここでは、プリンタ側のエラー状態を示すメッセージ条件なども変更できます。

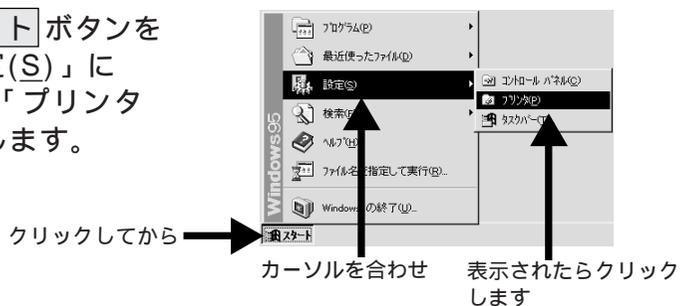


ポイント

- プリンタの接続先を変更すると、プリンタの機能設定が変更されることがあります。
- プリンタの接続先を変更した場合は、必ず各機能の設定を確認してください。

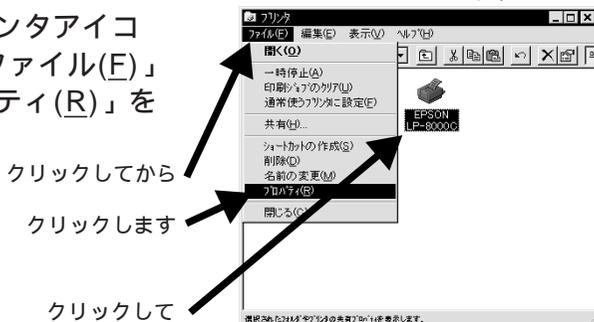
1

画面左下の **スタート** ボタンをクリックし、「設定(S)」にカーソルを合わせ「プリンタ(P)」をクリックします。



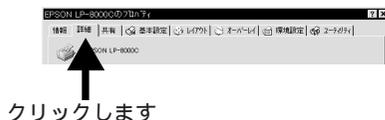
2

設定を変更するプリンタアイコンをクリックし、「ファイル(F)」メニューの「プロパティ(R)」をクリックします。



3

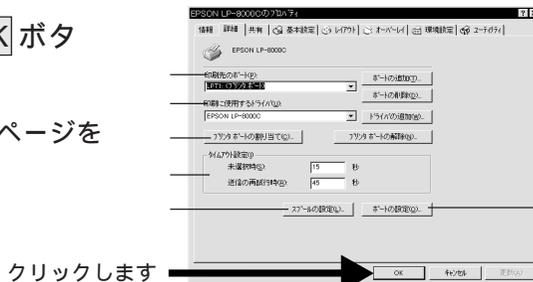
「詳細」タブをクリックします。



4

接続先などを設定し、**OK** ボタンをクリックします。

各項目の説明については次ページを参照してください。



上記の画面で表示されるタブの種類は、使用している環境によって異なる場合があります。



ポイント

### 印刷先のポート(P)

プリンタを接続したポート(インターフェイス)を選択します。

プリンタを、コンピュータのプリンタポートに接続している場合は、通常は「LPT1」に設定します。

PRN : EPSON PC シリーズ / NEC PC-9801/9821 シリーズ標準の 14 ピンプリンタポートに接続している場合の設定です。このPRNが表示されない場合はLPT1 を選択します。

LPT : 通常のプリンタポートの設定です。DOS/Vシリーズなどの標準パラレルプリンタポートに接続している場合は、この中のLPT1 を選択します。

COM : シリアルポートに接続している場合に選択します。このポートに接続する場合は、シリアルポートの通信設定とプリンタの通信条件を合わせる必要があります。

FILE : 印刷データをプリンタではなくファイルに出力します。

**ポートの追加(T)...** ボタン :

新しいポートを追加したり、新しいネットワークパスを指定したりするときにクリックします。

**ポートの削除(D)...** ボタン :

ポートの一覧からポートを削除するときにクリックします。

### 印刷に使用するドライバ(U)

プリンタドライバの種類が表示されます。お使いの機種 of プリンタドライバが選択されていることを確認してください。通常は、設定を変更しないでください。

**ドライバの追加(W)...** ボタン :

プリンタドライバを、追加するときにクリックします。

### プリンタポートの割り当て

ネットワークプリンタと接続している場合に使用できます。

**プリンタポートの割り当て(C)...** ボタン :

ポートをネットワークドライブに割り当てるときにクリックします。

**プリンタポートの解除(N)...** ボタン :

ネットワークドライブに割り当てたポートを削除するときにクリックします。

## タイムアウト設定(L)

通常は変更する必要はありません。

ポートによってはタイムアウト時間は変更できない場合があります。

## 未選択時(S):

プリンタが印刷できる状態になるまで待つ時間を設定します。

ここで指定した時間を経過してもプリンタが印刷できる状態にならないと、エラーが表示されます。

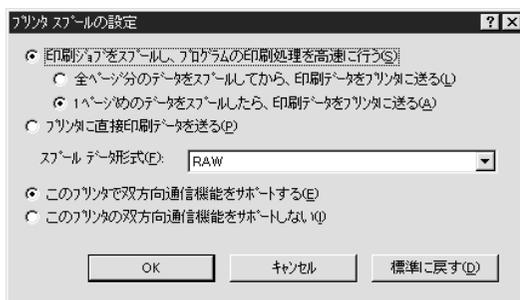
## 送信の再試行時(R):

プリンタが印刷途中でデータを受信できなくなったときに、データの送信を繰り返す時間を設定します。ここで指定した時間を経過してもプリンタがデータを受信できないと、エラーが表示されます。

通常は標準設定のまま使用できますが、印刷データが複雑な場合やネットワークなど複数のコンピュータで共有している場合、エラーが表示されることがあります。そのようなときは、タイムアウト時間、特に[送信の再試行時(R)]を長く設定してください。

## スプールの設定(L)... ボタン

印刷データの「スプール」<sup>\*1</sup>方法の設定を変更する場合にクリックします。通常は変更する必要はありません。



## 印刷ジョブをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う(S):

印刷データをWindowsからプリンタに直接送るため、高速に印刷されます。印刷品質（解像度）には影響ありません。印刷データスプール方法には、次の2つがあります。

- 全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る (L)
- 1ページめのデータをスプールしたら、印刷データをプリンタに送る (A)

\*1 スプール : データを一時的にディスクに保存し、そこからプリンタへデータを送るデータ転送の方法。これにより印刷中もコンピュータ本体は、別の作業をすることができる。

プリンタに直接印刷データを送る(P):  
印刷データをスプールせずに、直接プリンタに送ります。  
このプリンタで双方向通信機能\*1をサポートする(E):  
プリンタとコンピュータの双方向通信機能を使うように指定します。  
EPSON プリンタウィンドウ!2をお使いになる場合は、「サポートする」の  
をクリックして 印をつけて選択します。  
このプリンタで双方向通信機能をサポートしない(!):  
プリンタとコンピュータの双方向通信機能を使わないように指定します。

ポートの設定(O)... ボタン

通常は変更する必要はありません。

MS-DOS の印刷ジョブをスプール(S):

MS-DOS アプリケーションの印刷データを Windows でスプールします。

印刷前にポートの状態をチェック(C):

印刷先のポートが印刷可能な状態なのかどうかを、印刷を行う前にチェック  
します。

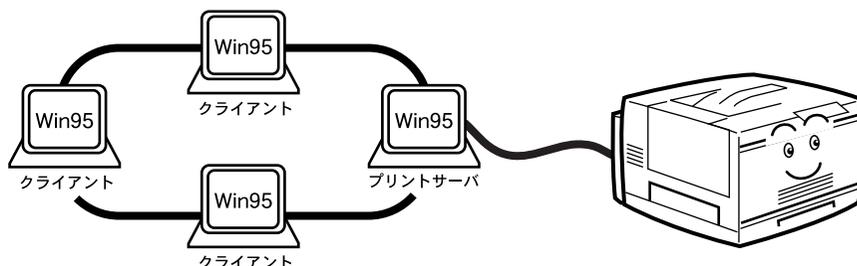
---

\*1 双方向通信機能 : 2つの機器の間で、データの送信 / 受信を同時に行う機能です。

通常は、プリンタはコンピュータからの印刷データを受信して印刷するのみ  
ですが、EPSON プリンタウィンドウ!2のようにプリンタが送信する信号で  
動作するユーティリティソフト等を使用するには、双方向通信機能を有効に  
して、コンピュータがプリンタからの信号を受信できるようにする必要があります。

## ピアトゥピア使用時の設定 <Windows95>

ピアトゥピアは、Windows95のネットワーク環境下で、Windows95の機能を使用してプリンタを共有するための接続方法です。ここでは、ピアトゥピア接続で本機をお使いになる場合のWindows95の設定について説明しています。



ポイント

- 以下の設定方法は、ネットワーク環境が構築されていること、プリントサーバとクライアントが同一ネットワーク管理下にあること、プリンタを使用する全てのコンピュータにプリンタドライバがインストールされていることが前提となります。
- 画面はMicrosoft ネットワークの場合です。

## プリントサーバ側の設定

ピアトゥピア接続では、共有するプリンタ(LP-8000C)を接続するコンピュータがサーバの役割をします。ここでは、そのコンピュータをプリントサーバと呼びます。

# 1

画面左下の **スタート** ボタンをクリックして、カーソルを[設定(S)]に合わせ、[コントロールパネル(C)]をクリックします。

# 2

[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。

ダブルクリックします →



3

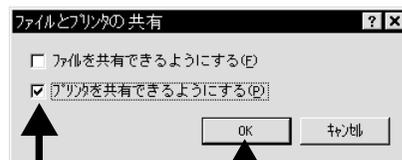
ファイルとプリンタの共有(F)...  
ボタンをクリックします。

クリックします



4

[プリンタを共有できるようにする(P)]のチェックボックスをクリックして、[OK] ボタンをクリックします。



クリックして

クリックします

5

[OK] ボタンをクリックします。



クリックします



ポイント

- 以下の画面が表示された場合は、Windows95のCD-ROMをコンピュータにセットし、[OK] ボタンをクリックして画面の指示に従ってください。



- 再起動を促すメッセージが表示された場合は、再起動してください。その後 ① の手順でコントロールパネルを開き、⑥ から設定してください。

6

[プリンタ]アイコンをダブルクリックします。

ダブルクリックします



7

LP-8000C アイコンを選択して、[ファイル(F)]メニューの[共有(H)]をクリックします。

クリックし

クリックします



クリックして

8

[共有する(S)]をクリックし、必要に応じて各項目を入力します。続いて **OK** ボタンをクリックします。

これでプリンタサーバ側の設定は終了です。

クリックし

クリックします



ポイント

エラーが発生しますので、共有名にはスペースや「 - 」を使用しないでください。

## クライアント側の設定

ここでは、共有するプリンタを利用するユーザをクライアントと呼びます。

**1** 画面左下の **スタート** ボタンをクリックし、カーソルを**[設定(S)]**に合わせ、**[プリンタ(P)]**をクリックします。

**2** **[プリンタの追加]**アイコンをダブルクリックします。

ダブルクリックします



**3** **次へ** ボタンをクリックします。

クリックします



**4** **[ネットワークプリンタ (N)]**をクリックして、**次へ** ボタンをクリックします。

クリックして

クリックします



5

参照(R)... ボタンをクリックします。

ご利用のネットワーク構成図が表示されます。

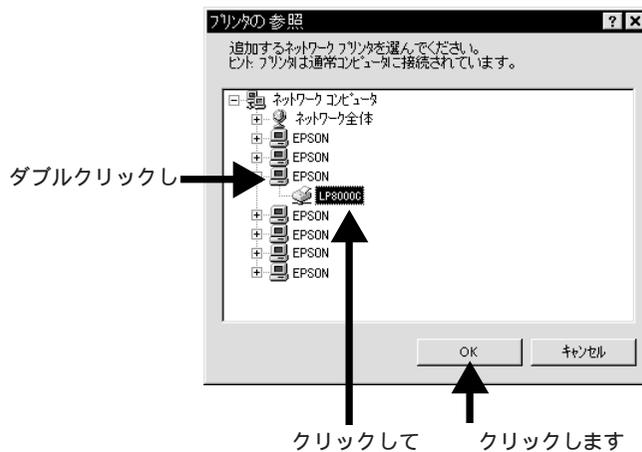


クリックします

6

本機を接続しているコンピュータをダブルクリックし、本機の共有名をクリックして **OK** ボタンをクリックします。

本機の共有名については、プリントサーバ側の設定を確認してください。



ダブルクリックし

クリックして

クリックします

7

この後は、画面の指示に従ってください。

これでクライアント側の設定は終了です。

# WindowsNT4.0 でのインストール後の設定

プリンタにオプションを装着している場合、プリンタをネットワークに接続している場合などは、プリンタドライバをインストールした後に設定の変更等が必要になります。

WindowsNT4.0を使用している場合、以下の説明を参照して、プリンタの使用環境に合わせて必要な設定を行ってください。

## オプション装着時の設定 (WindowsNT4.0)

プリンタに装着しているオプション<sup>\*1</sup>を使用可能にするには、プリンタドライバのインストール後にWindows上でそれらのオプションの設定をする必要があります。オプションを新たに装着した場合も設定が必要です。オプションを装着していない場合設定の必要はありません。



ポイント

- WindowsNT4.0の場合、管理者権限(Administrator)のあるユーザでログオンする必要があります。
- EPSONプリンタウィンドウ<sup>2</sup>がインストールされている場合は、プリンタの電源がオンになっていることを確認してください。プリンタのオプションやセットされている用紙などの情報を自動的に取得します。

1

画面左下の **スタート** ボタンをクリックし、[設定 (S)] にカーソルを合わせ、[プリンタ (P)] をクリックします。

2

LP-8000C をクリックし、[ファイル(F)] メニューの [プロパティ (R)] をクリックします。



3

各項目を設定し、**OK** ボタンをクリックします。

設定画面や設定項目については、次ページからの「プリンタ設定」と「実装オプション設定」を参照してください。

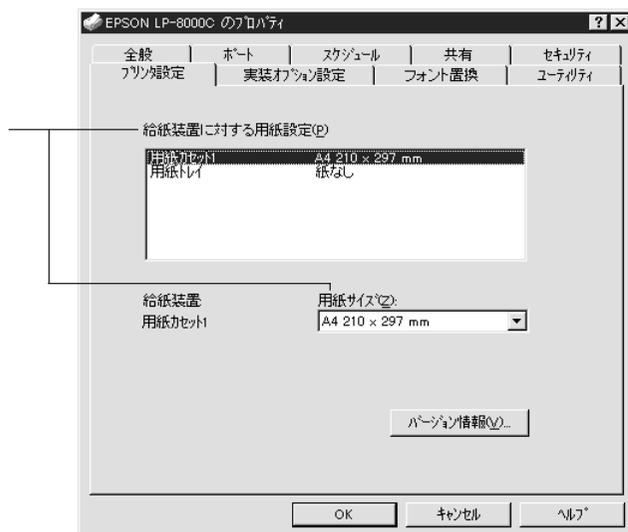
## プリンタ設定 (WindowsNT4.0)

各給紙装置にセットする用紙サイズを選択します。



ポイント

- EPSONプリンタウィンドウ!2がインストールされ、プリンタの電源スイッチがオンになっている場合は、この画面を開くと用紙情報・オプション情報を自動的に取得しますので設定の必要はありません。
- プリンタドライバが取得した情報と管理者権限のユーザの設定が異なる場合、管理者権限のユーザの設定を優先します。設定を実行すると現在のプリンタの状態と異なる設定を登録してしまいますので、警告メッセージが表示される場合は、プリンタの状態を確認してください。



給紙装置に対する用紙設定(S)/用紙サイズ(Z)

給紙装置にセットした用紙のサイズを設定します。給紙装置をクリックして選択し、[用紙サイズ(Z)]のリストボックスの中からセットした用紙サイズをクリックします。

オプションの給紙装置を装着した場合は、次ページでオプションの設定をしてから、用紙サイズを設定してください。

## 実装オプション設定 (WindowsNT4.0)

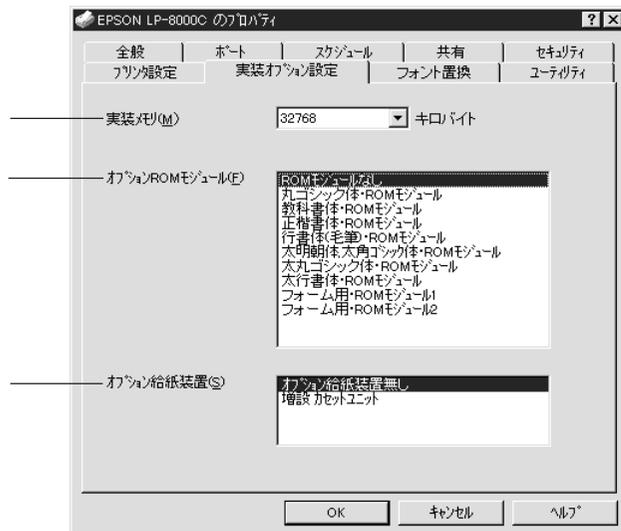
以下の ~ の項目を設定します。オプションを装着していない場合は、設定の必要はありません。



ポイント

EPSONプリンタウィンドウ!2がインストールされ、プリンタの電源がオンになっている場合は、この画面を開くとオプション情報を自動的に取得しますので設定の必要はありません。

<画面はEPSON プリンタウィンドウ!2をインストールしていない状態で>



### 実装メモリ(M)

メモリを増設した場合は、プリンタに実装されているメモリの値を選択します。選択する値は、ステータスシートを印刷し、「実装メモリ容量」の項に印刷される数値です。

📖 本書「ステータスシートの印刷」201 ページ

### オプションROMモジュール(P)

装着したフォントROMモジュールや、フォームオーバーレイROMモジュールに合わせて選択します。

### オプション給紙装置(S)

オプションの増設カセットユニットを装着している場合は、「増設カセットユニット」を選択します。

## ネットワーク接続時の設定 (WindowsNT4.0)

ネットワーク上に接続されたプリンタを使用する場合は、以下の手順に従ってください。

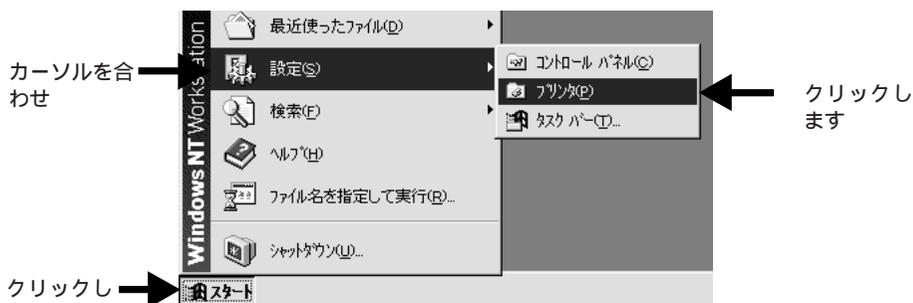


ポイント

WindowsNT4.0の場合、ローカルマシンの管理者権限のあるユーザ (Administrator) でログオンし、インストールしてください。

1

画面左下の **スタート** ボタンをクリックし、**[設定(S)]** にカーソルを合わせ **[プリンタ(P)]** をクリックします。



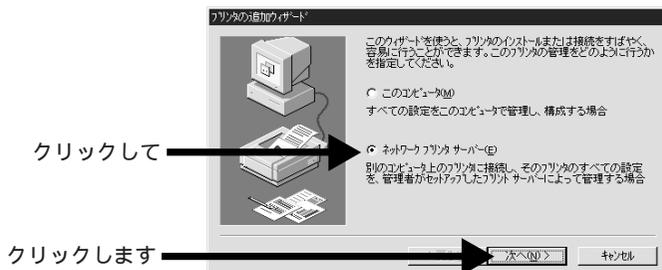
2

**[プリンタの追加]** アイコンをダブルクリックします。



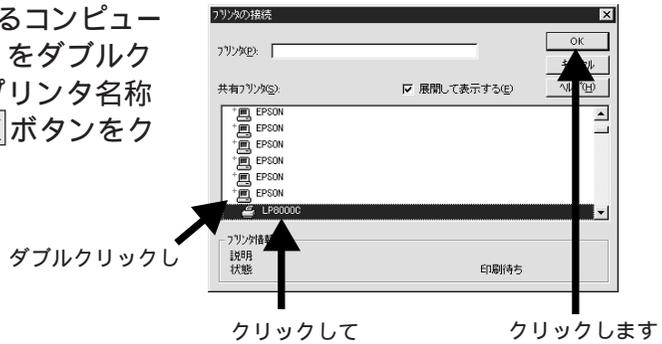
3

**[ネットワークプリンタサーバ (E)]** をクリックし、**次へ (N)** ボタンをクリックします。



4

本機が接続されているコンピュータ（またはサーバ）をダブルクリックし、本機のプリンタ名称をクリックして **OK** ボタンをクリックします。



ポイント

- 本機が接続されているコンピュータ（またはサーバ）の名称や、プリンタの名称はネットワークにより異なります。ご利用のネットワークの管理者にご確認ください。
- 接続したプリンタのプリンタドライバがすでにインストールされている場合は、画面の指示に従って設定してください。

以下の画面が表示された場合は、**OK** ボタンをクリックします。



5

**ディスク使用 (H)** ボタンをクリックします。



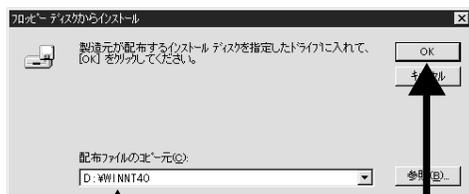
6

EPSON ESC/Pageカラープリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。

フロッピーディスクをお使いの場合は「セットアップディスク1」をセットします。

7

セットしたドライブ名とディレクトリ名を半角文字で入力し、**OK** ボタンをクリックします。



半角で入力して

クリックします

CD-ROM		フロッピーディスク	
セットしたドライブ	入力	セットしたドライブ	入力
D ドライブ	D:¥WINNT40	A ドライブ	A:¥WINNT40
E ドライブ	E:¥WINNT40	B ドライブ	B:¥WINNT40
:	:	:	:

8

接続するプリンタをクリックして、**次へ** ボタンをクリックします。



選択して

クリックします

9

この後は、画面の指示に従って実行します。

# Macintosh でのインストール

## システム条件の確認

Mac

本機のMacintosh用プリンタドライバを使用するための、ハードウェアおよびシステムの最低条件は以下の通りです。(1998年4月現在)  
インストールの前に、お使いのMacintoshのシステム条件を確認してください。



注意

CPUアクセラレータを使用したり、ロジックボードの交換をしてアップグレードしたMacintoshの場合、元のMacintoshが下記「動作可能コンピュータ」の対象製品である場合に限り、ご使用になれます。

- 動作可能コンピュータ : PowerMacintosh® シリーズ  
接続方法 : AppleTalk 接続  
(AppleTalk 接続をするためには、下記の「インターフェイスカード」のいずれかが必要です。)  
インターフェイスカード : LocalTalk I/F セット 2 (型番 : LTIFS2)  
マルチプロトコル Ethernet I/F カード  
(型番 : PRIFNW1)  
100Base マルチプロトコル Ethernet I/F カード  
(型番 : PRIFNW2)  
システム : 漢字 Talk7.5 以上のシステム  
(ただし、QuickDraw GX には対応していません)\*  
ColorSync がインストールされていること  
メモリ容量 : 8MByte 以上  
ハードディスク空き容量 : 1.5MByte 以上



ポイント

- \* QuickDrawGXで本製品を使用することはできません。  
以下の手順で Quick DrawGX を使用停止にしてください。  
caps lock キーを解除しておきます。  
スペースバーを押したままにして Macintosh を起動します。  
(機能拡張マネージャが開きます。)  
QuickDrawGX 拡張機能をクリックして「使用停止」にします。  
(チェック印のない状態になります。)  
機能拡張マネージャを閉じます。
- ColorSyncがインストールされていない場合、本ドライバはインストールできません。本書「ColorSyncのインストール」49ページを参照してColorSyncをインストールしてください。

## プリンタドライバのインストール (Macintosh)

Mac

1

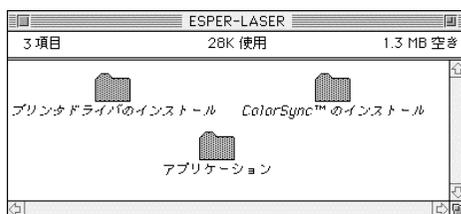
Macintosh を起動した後、EPSON ESC/Pageカラープリンタソフトウェア CD-ROM をセットします。

フロッピーディスクをお使いのお客様は、Macintosh用ディスク1をセットします。

2

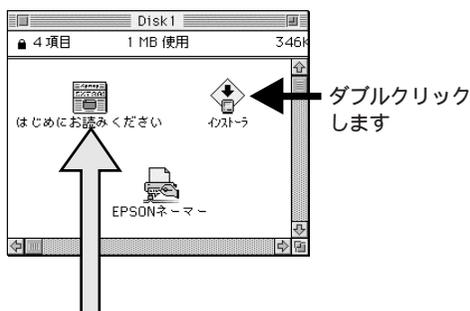
ディスクのウインドウが開きますので、「プリンタドライバのインストール」フォルダをダブルクリックします。

ウインドウが開かない場合は、ディスクのアイコンをダブルクリックしてください。



3

「インストーラ」アイコンをダブルクリックします。



ポイント

上図のウインドウで、「はじめにお読みください」アイコンをダブルクリックして、内容をお読みください。プリンタドライバに関する注意事項、制限事項が記載されています。

4

インストール ボタンをクリックします。

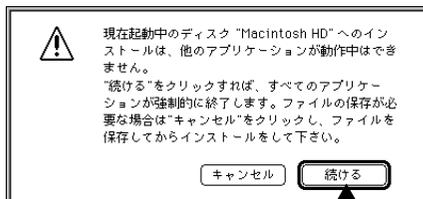


クリックします

5

ダイアログメッセージを確認して、**続ける** ボタンをクリックします。

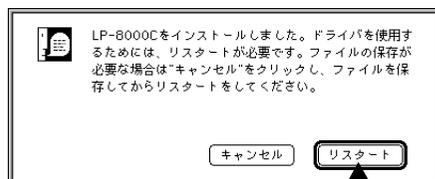
インストールが実行されます。フロッピーディスクをお使いの場合、メッセージに従ってフロッピーディスクを差し替えてください。



クリックします

6

**リスタート** ボタンをクリックします。



クリックします



ポイント

デスクトップにプリンタウインドウ 2 のエイリアスが作成されます。

本書「プリンタウインドウ 2」223 ページ

プリンタウインドウ 2 のエイリアス

## EPSON ネーマー

Mac

EPSONネーマーは、本機とMacintoshをLocalTalk接続している場合に、AppleTalkネットワーク上のプリンタ名を変更するときに必要になります。  
本ユーティリティは、ハードディスクのアイコンを開いたウィンドウの中にインストールします。



ポイント

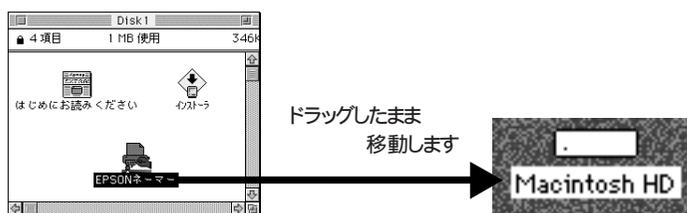
EtherTalk接続の場合、ご使用のEtherTalk接続用インターフェイスカードの種類によってはEPSONネーマーがご使用になれません。EPSONネーマーがご使用になれるかどうかについては、インターフェイスカードに添付の取扱説明書をご参照ください。

1

EPSON ESC/Pageカラープリンタソフトウェア CD-ROM をセットして、「プリンタドライバのインストール (Macintosh)」43 ページの ①、②と同様に操作します。

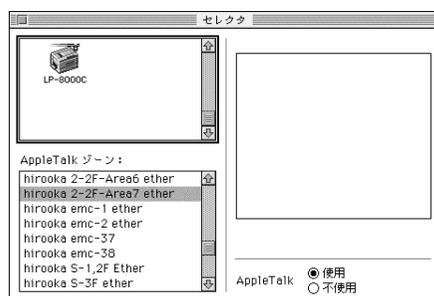
2

ウィンドウ内にある EPSON ネーマーをハードディスクにドラッグしてコピーします。



3

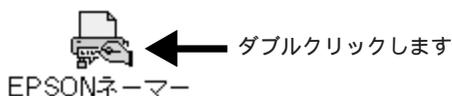
アップルメニューからセレクトアを選択し、AppleTalk の設定が「使用」になっているか確認します。



確認します

4

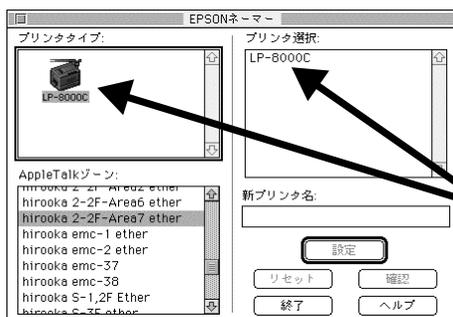
セレクトアを閉じ、ハードディスク内のEPSONネーマーアイコンをダブルクリックして起動します。



5

[プリンタタイプ]でプリンタドライバ (LP-8000C) を、[プリンタ選択]で機種名を選択します。

Mac

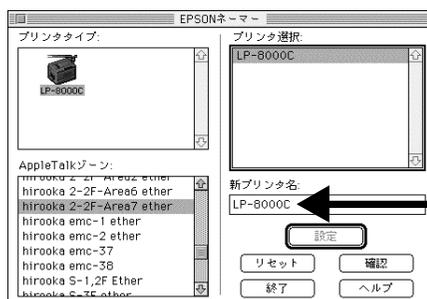


ドライバ、機種名を選択します

- ほかのプリンタで使用していた LocalTalk I/F を転用する場合は、以前使用していたプリンタ名が表示されることがあります。
- 複数の AppleTalk ネットワークがある場合は、AppleTalk ゾーンでプリンタが接続されているゾーンを選択します。
- 複数のプリンタを接続している場合は、[プリンタ選択]に複数のプリンタ名が表示されます。プリンタ名と実際のプリンタの対応が分からないときは、[確認]ボタンをクリックしてください。現在[プリンタ選択]で選択しているプリンタが印刷するので対応状態を確認できます。

6

[新プリンタ名]ボックスにお好きなプリンタ名を入力します。



プリンタ名を入力します



注意

プリンタ名には次の文字を使用しないでください。

: = ~ @ \*

また、漢字・ひらがな・カタカナなどの2バイト文字を使用するとトラブルが発生する場合がありますので、1バイト文字(半角英数文字)のご使用をお勧めします。

7

**設定** ボタンをクリックします。

[プリンタ選択]の名称が新しく入力した名称に変更されます(少し時間がかかります)

8

**終了** ボタンをクリックし EPSON ネーマーを終了します。

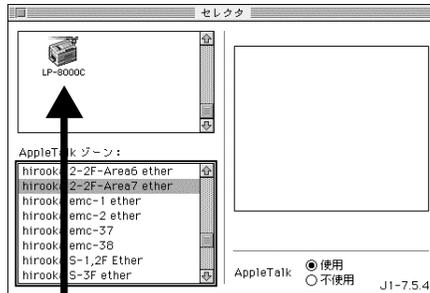
## プリンタドライバの設定

プリンタドライバをインストールした後は、次のようにプリンタドライバの設定をします。

プリンタドライバの設定をしないと印刷はできません。

# 1

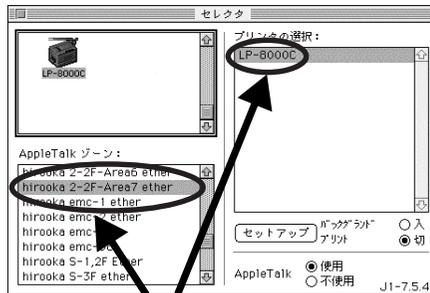
アップルメニューからセレクトアを選択し、プリンタドライバ「LP-8000C」のアイコンをクリックします。



プリンタドライバを選択します

# 2

AppleTalk ゾーンとプリンタ名を選択します。



選択します

- AppleTalk 接続の場合は、EPSONネーマーでプリンタ名が変更されている場合があります。ネットワーク管理者にご確認ください。
- AppleTalk ゾーンの一覧は、ネットワーク上でゾーン設定されている場合のみ表示されます。

3

バックグラウンドプリントをするときは、[バックグラウンドプリント]の「入」をクリックします。



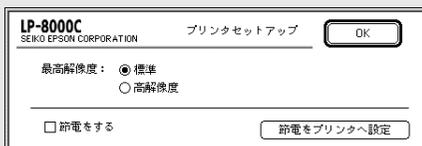
どちらかをクリック  
します

バックグラウンドプリントを「入」にすると、印刷しながら Macintosh でほかの作業ができます。ただし、ご使用の Macintosh によってはマウスカーソルが滑らかに動かなくなったり、印刷時間が延びることがあります。印刷速度を優先する場合は、「切」を選択してください。



ポイント

セレクト画面で **セットアップ** ボタンをクリックすると [プリンタセットアップ] 画面が表示され、節電機能と最高解像度の設定ができます。詳細については、本書「プリンタセットアップ画面」115ページを参照してください。



4

クローズボックス (左上の□) をクリックしてセレクトを閉じます。これで、プリンタドライバが選択できました。

## ColorSyncのインストール

ColorSyncとは、スキャナ等で読む込む原画の色、ディスプレイの画面の表示色、プリンタの印刷色の食い違いを押さえる機能です。

お使いのMacintoshにColorSyncがインストールされていない場合、EPSON ESC/PageカラープリンタソフトウェアCD-ROMからColorSyncをインストールすることができます。



ポイント

以下の作業でインストールされるColorSyncは、ColorSync2.0.1です。また、LP-8000C用のプロファイル(色補正データが記録されたファイル)は、Macintosh用プリンタドライバと共にインストールされます。このため、ColorSync2.0.1以上がインストールされているMacintoshで、本機のプリンタドライバをインストール済みの場合、以下の作業は必要ありません。

1

Macintoshを起動した後、EPSON ESC/PageカラープリンタソフトウェアCD-ROMをセットします。

フロッピーディスクをお使いの方は、Macintosh用ディスク3をセットします。

2

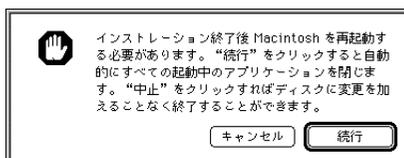
「ColorSync™ インストーラ」フォルダをダブルクリックし、続いて表示される「ColorSync™ インストーラ」アイコンをダブルクリックします。



3

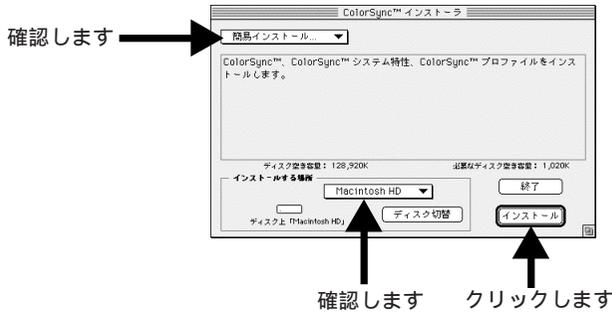
次の画面が表示された場合、起動しているアプリケーションソフトが強制的に終了されても問題がないかを確認して「**続行**」ボタンをクリックします。

アプリケーションソフトを強制的に終了すると作成中のデータが消えてしまう場合等は、「**キャンセル**」ボタンをクリックしてインストールを中断し、アプリケーションソフトを終了してから、ColorSyncをインストールしてください。

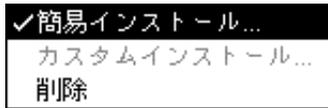


# 4

次の画面で、左上に「簡易インストール」と表示されていることを確認し、左下の「インストールする場所」で ColorSync をインストールしたいディスクを確認します。続いて **インストール** ボタンをクリックすると、インストールが開始されます。



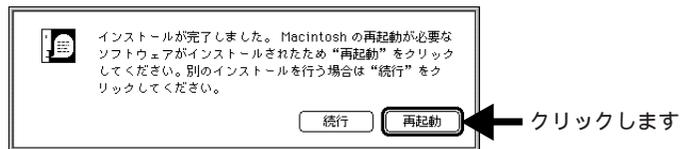
上記の画面で「簡易インストール」の **削除** をクリックすると、「削除」という項目が表示されます。これは、Macintosh にインストールされている LP-8000C 用プロファイルを削除するためのものです。通常の場合、「削除」を選択する必要はありません。



# 5

インストールが正常に終了すると、次の画面が表示されます。

**再起動** ボタンをクリックすると、Macintosh の終了と再起動が行われ、ColorSync が有効になります。



お使いの Macintosh が ColorSync のインストールを必要としない状態の場合、ColorSync のインストールを実行すると「インストールの必要はありません。・・・」と表示されますので、**終了** ボタンをクリックしてインストールを終了します。

# Windows3.1/NT3.5xでのインストール(モノクロのみ)

Windows3.1/NT3.5xでは、モノクロ印刷のみ可能です。

## システム条件の確認

Win

使用するハードウェアおよびシステムの最低条件は以下の通りです。

### Windows3.1

オペレーティングシステム	: Windows3.1 日本語版
CPU	: i386®/16MHz 以上 (i486®/25MHz 以上を推奨します)
主記憶メモリ	: 4MByte 以上
ハードディスク空き容量	: 10MByte 以上
ディスプレイ	: VGA (640 × 480) 以上の解像度

### WindowsNT3.5x

オペレーティングシステム	: WindowsNT3.5x 日本語版
CPU	: i486® (25MHz) 以上 X86 系または Pentium®
主記憶メモリ	: 16MByte 以上
ハードディスク空き容量	: 20MByte 以上
ディスプレイ	: VGA (640 × 480) 以上の解像度



ポイント

印刷するデータによってはさらに多くのメモリとハードディスク容量が必要です。

## プリンタドライバのインストール (Windows3.1/NT3.5x)

インストーラ (SETUP.EXE) を実行して、プリンタドライバをインストールします。



ポイント

- Windows NT3.5x プリンタドライバのインストールは、ご利用の環境のシステム管理者の方が実行してください。
- 画面は Windows NT3.5x の場合です。

1

コンピュータの電源をオンにし、Windows を起動します。

2

EPSON ESC/Pageカラープリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。

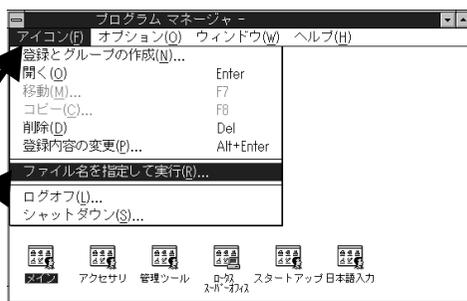
フロッピーディスクをお使いのお客様は、「セットアップディスク 1」をコンピュータにセットします。

3

プログラマナーの「アイコン(F)」メニューから「ファイル名を指定して実行(R)...」をクリックします。

クリックして

クリックします

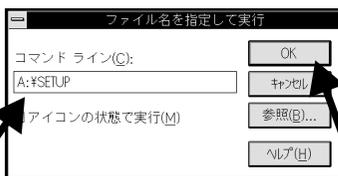


4

セットした CD-ROM ドライブ名と、実行コマンド「SETUP」を半角文字で入力し、OK ボタンをクリックします。

入力して

クリックします

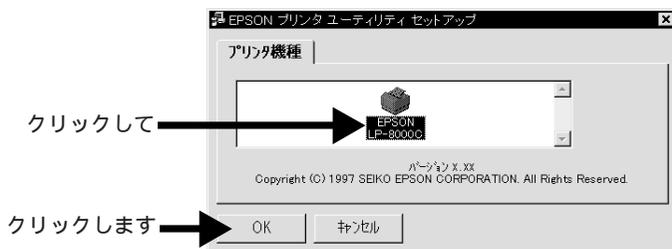


CD-ROM		フロッピーディスク	
セットしたドライブ	入力	セットしたドライブ	入力
D ドライブ	D:¥SETUP	A ドライブ	A:¥SETUP
E ドライブ	E:¥SETUP	B ドライブ	B:¥SETUP
:	:	:	:

5

LP-8000C をクリックして選択し、**OK** ボタンをクリックして、インストールを実行します。

フロッピーディスクの場合は、ディスクの交換メッセージに従ってディスクを交換します。



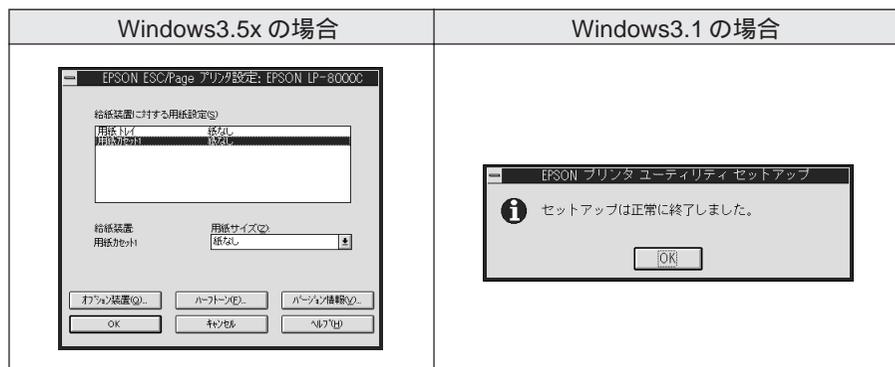
6

Windows NT3.5x をご利用の場合は、[プリンタ設定][オプション装置]を設定し、**OK** ボタンをクリックします。

☞ 本書「[プリンタ設定](WindowsNT3.5x)」56 ページ

☞ 本書「[オプション装置](WindowsNT3.5x)」57 ページ

Windows3.1 をご利用の場合は、終了画面が表示されますので **OK** ボタンをクリックします。



プリンタにオプションを装着している場合や、ネットワーク環境に接続している場合などは、プリンタドライバのインストール後に設定の変更が必要になります。

インストールを終了したら、以下のページを参照してプリンタの使用環境に応じて必要な設定を行ってください。

- ☞ 本書「オプション装着時の設定 (Windows3.1/NT3.5x)」54 ページ
- ☞ 本書「ネットワーク接続時の設定 (WindowsNT3.5x)」60 ページ
- ☞ 本書「ネットワーク接続時の設定 (Windows3.1)」58 ページ
- ☞ 本書「プリンタ接続先の設定 (Windows3.1)」62 ページ

# Windows3.1/NT3.5x でのインストール後の設定

プリンタにオプションを装着している場合、プリンタをネットワークに接続している場合などは、プリンタドライバをインストールした後に設定の変更等が必要になります。

Windows3.1/NT3.5x を使用している場合、以下の説明を参照して、プリンタの使用環境に合わせて必要な設定を行ってください。

## オプション装着時の設定 (Windows3.1/NT3.5x)

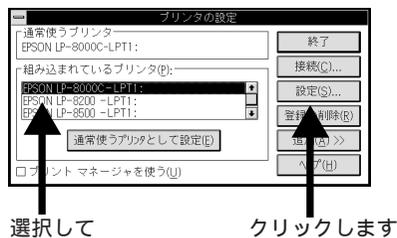
インストールの実行後、給紙装置とオプションの設定をします。オプションを新たに装着した場合も設定が必要です。

1

メイングループのコントロールパネル内にあるプリンタアイコンをダブルクリックします。

2

プリンタを選択し、**設定(S)** ボタンをクリックします。

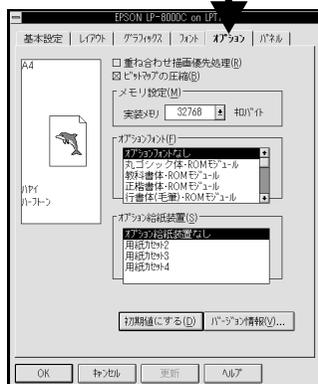


選択して                      クリックします

3

[オプション]タブをクリックして次の画面を表示します。

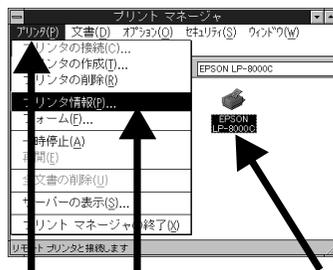
クリックします



各項目の詳細については、本書「オプション(Windows3.1)」55ページを参照して設定してください。

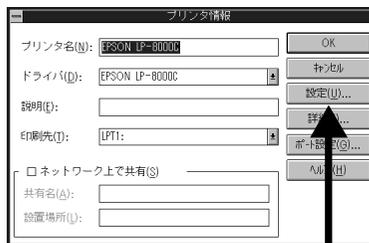
## WindowsNT3.5xの場合

LP-8000Cアイコンをクリックし、[プリンタ(P)]メニューの[プリンタ情報(P)]をクリックします。



クリックし                      クリックします                      クリックして

**設定(U)** ボタンをクリックし、[プリンタ設定][オプション装置]画面を表示します。



クリックします

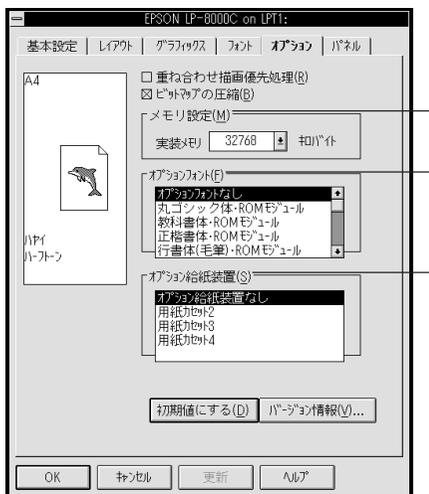
[プリンタ設定][オプション装置]の詳細については、本書56ページ、57ページを参照してください。

4

各項目を設定し、**OK** ボタンをクリックします。

## [ オプション ] 画面 ( Windows 3.1 )

以下の ~ の項目を設定します。オプションを装着していない場合は、設定の必要はありません。



### メモリ設定(M)

メモリを増設した場合は、プリンタに実装されているメモリの値を選択します。選択する値は、ステータスシートを印刷し、「実装メモリ容量」の項に印刷される数値です。

📖 本書「ステータスシートの印刷」201 ページ

### オプションフォント(F)

装着したフォント ROM モジュールに合わせて選択します。

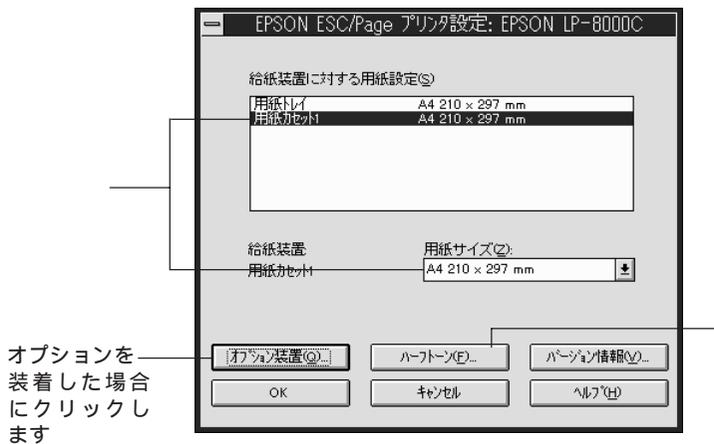
プリンタフォントを使用することによって、コンピュータからプリンタへ送るデータ量が軽減し、印刷速度を向上させることができます。

### オプション給紙装置(S)

オプションの増設カセットユニットの用紙カセットを3つとも使用する場合は、「用紙カセット2」～「用紙カセット4」を全て選択します。

増設カセットユニットの用紙カセットを1つずつ選択することもできます。

Win [ プリンタ設定 ] 画面 ( WindowsNT3.5x )



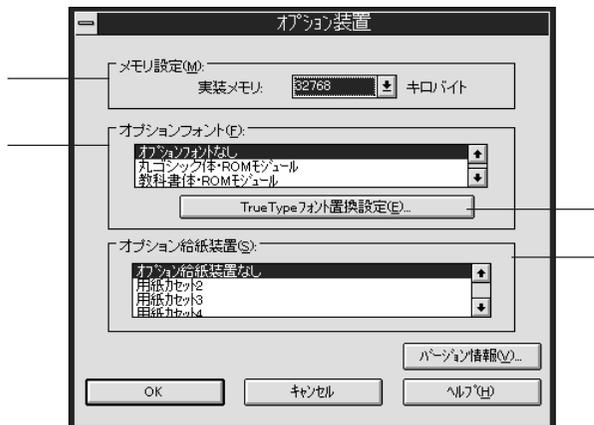
給紙装置に対する用紙設定(S)  
給紙装置にセットした用紙のサイズを設定します。給紙装置をクリックして選択し、[用紙サイズ(Z)]のリストボックスの中からセットした用紙サイズをクリックします。

ハーフトーン(F)  
[デバイスカラー/ハーフトーン情報]メニューが表示されます。通常は設定の必要はありません。詳細はヘルプを参照してください。

オプション装置(O)  
プリンタに増設メモリ、給紙装置、フォントROMモジュールなどのオプションを設置している場合にクリックします。クリックすると、[オプション装置]画面が表示されます。

## [ オプション装置 ] 画面 ( WindowsNT3.5x )

オプションを装着していない場合は、設定の必要はありません。



### メモリ設定(M)

メモリを増設した場合は、プリンタに実装されているメモリの値を選択します。選択する値は、ステータスシートを印刷し、「実装メモリ容量」の項に印刷される数値です。

📖 本書「ステータスシートの印刷」201 ページ

### オプションフォント(F)

装着したフォント ROM モジュールに合わせて選択します。

### TrueType フォント置換設定 (E)

TrueType フォントをプリンタフォントに置き換えて印刷する場合にクリックします。

プリンタフォントを使用することによって、コンピュータからプリンタへ送るデータ量が軽減し、印刷速度を向上させることができます。

### オプション給紙装置(S)

オプションの増設カセットユニットの用紙カセットを3つとも使用する場合は、「用紙カセット2」～「用紙カセット4」を全て選択します。

増設カセットユニットの用紙カセットを1つずつ選択することもできます。

## ネットワーク接続時の設定 (Windows3.1)

ネットワーク上に接続された本機をお使いになる場合は、以下の手順に従ってください。



ポイント

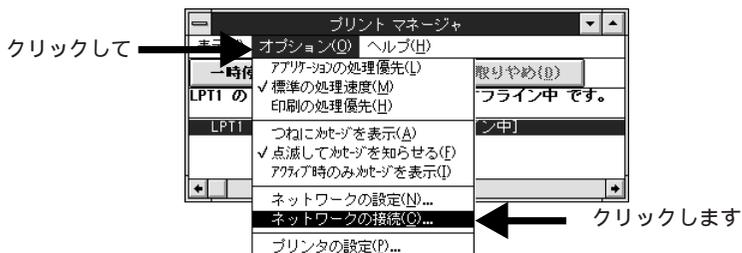
接続を実行する前に、プリンタドライバがインストールされているかご確認ください。

1

メイングループ内の[プリントマネージャ]アイコンをダブルクリックします。

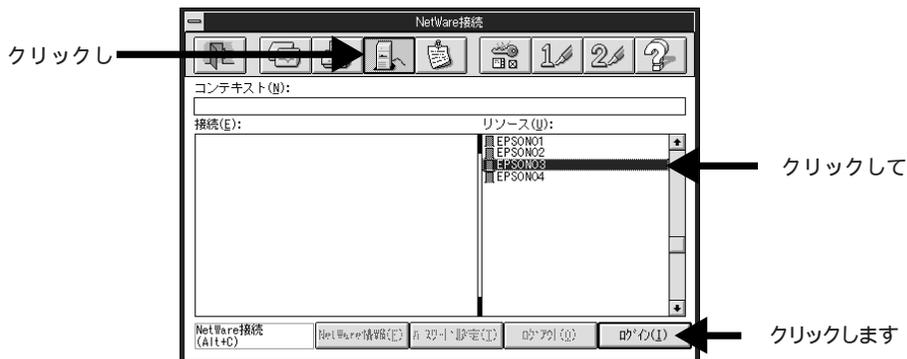
2

[オプション(O)]メニューの[ネットワークの接続(C)]をクリックします。



3

[ ] ボタンをクリックし、「リソース(U)」メニューの中から本機が接続されているサーバをクリックします。続いて [ログイン(L)] ボタンをクリックします。





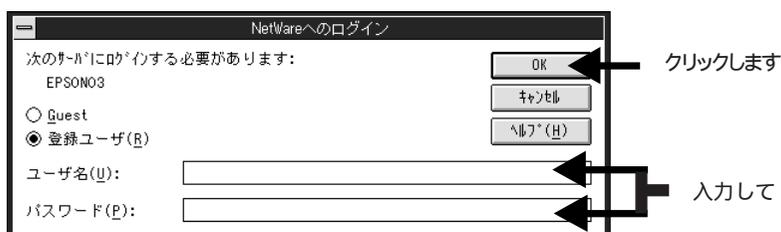
ポイント

すでにサーバと接続されている場合は「接続(E)」の一覧に表示されます。プリンタが接続されているサーバをクリックして ⑤ に進みます。

4

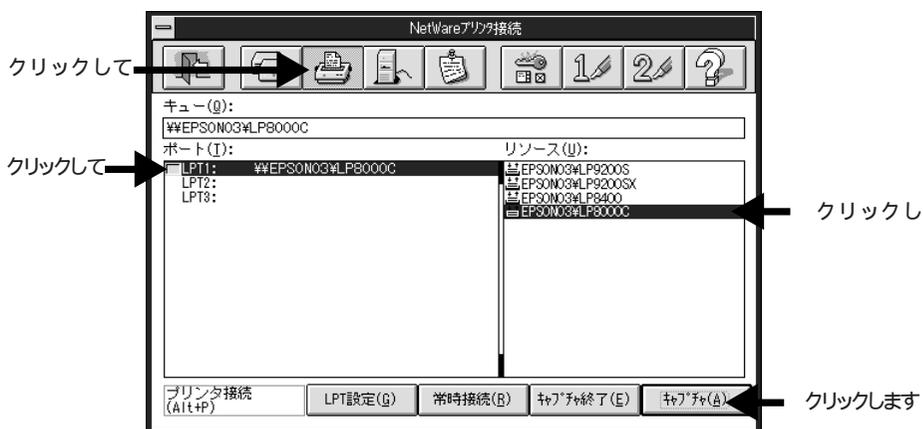
「ユーザ名(U)」「パスワード(P)」を入力して **OK** ボタンをクリックします。

ログインできない場合は、ご利用のネットワーク管理者にご相談ください。



5

 ボタンをクリックし、「リソース(U)」メニューの中から本機のプリンタ名称をクリックします。続いて「ポート(T)」メニューの中から本機を接続するポートを選択し、**キャプチャ(A)** ボタンをクリックします。



これでネットワーク上のプリンタと接続されました。

## ネットワーク接続時の設定 ( Windows NT3.5x )

ネットワーク上に接続された本機をお使いになる場合は、以下の手順に従ってください。



ポイント

接続を実行する前に、プリンタドライバがインストールされているかご確認ください。

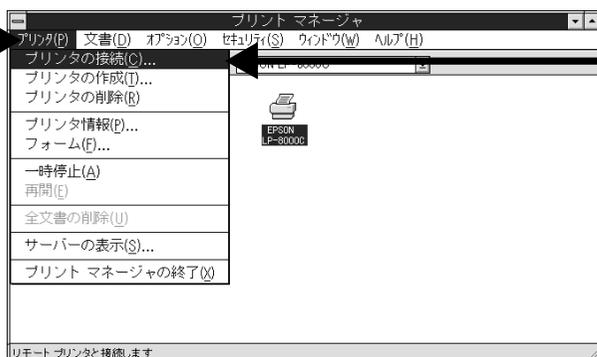
1

メイングループ内の[プリントマネージャ]アイコンをダブルクリックします。

2

「プリンタ(P)」メニューをクリックし、「プリンタの接続(C)...」をクリックします。

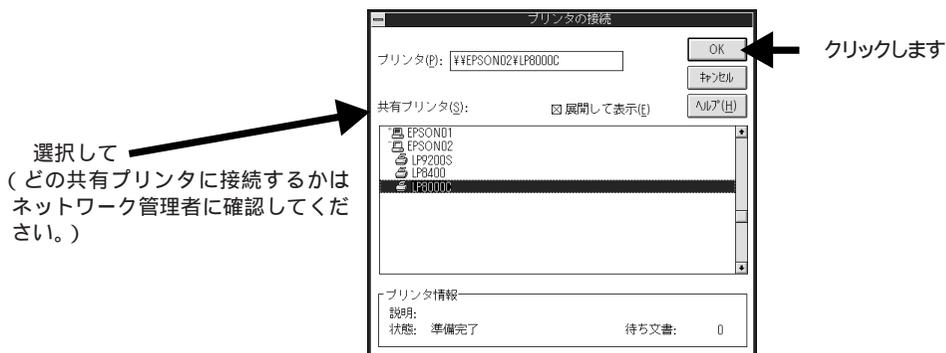
クリックして



クリックします

3

共有プリンタ(S)の一覧から接続するコンピュータまたはサーバをダブルクリックして本機のプリンタ名称をクリックします。続けて **OK** ボタンをクリックします。



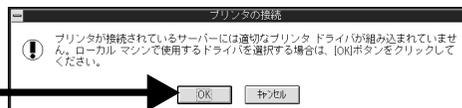
ポイント

接続するコンピュータ(サーバ)の名称、プリンタの名称はネットワークにより異なります。ご利用のネットワーク管理者にご相談ください。

4

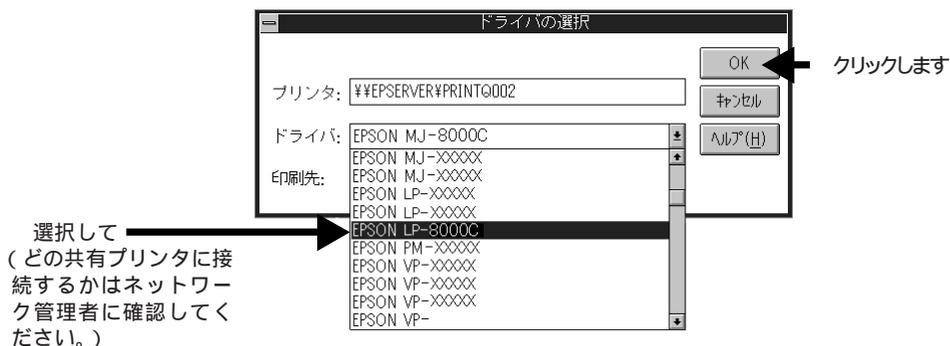
**OK** ボタンをクリックします。

クリックします



5

[ドライバ:]一覧の中から、本機のプリンタ名称をクリックし、**OK** ボタンをクリックします。



ポイント

プリンタドライバがインストールされていない場合は、一覧の中にプリンタ名が表示されません。プリンタドライバをインストールして再度接続してください。  
[本書「プリンタドライバのインストール\(Windows3.1/NT3.5x\)」](#) 51ページ

## プリンタ接続先（ポート）の設定 (Windows3.1)

プリンタを接続しているコンピュータ側のポートの設定を、必要に応じて変更します。コンピュータのプリンタポートに接続している場合は、そのままの設定で使用できますので、変更は不要です。

ここでは、プリンタ側のエラー状態を示すメッセージ条件なども変更できます。



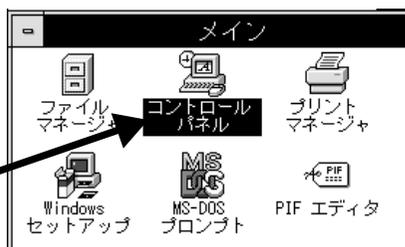
ポイント

- プリンタの接続先を変更すると、プリンタの機能設定が変更されることがあります。
- プリンタの接続先を変更した場合は、必ず各機能の設定を確認してください。

# 1

メイングループ内の「コントロールパネル」アイコンをダブルクリックします。

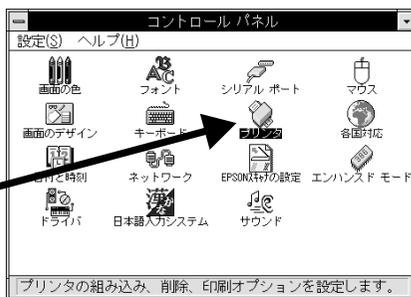
ダブルクリックします



# 2

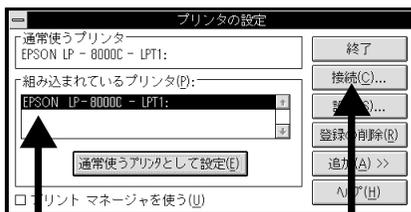
コントロールパネル内の「プリンタ」アイコンをダブルクリックします。

ダブルクリックします



# 3

設定を変更するプリンタをクリックし、**接続(C)...** ボタンをクリックします。

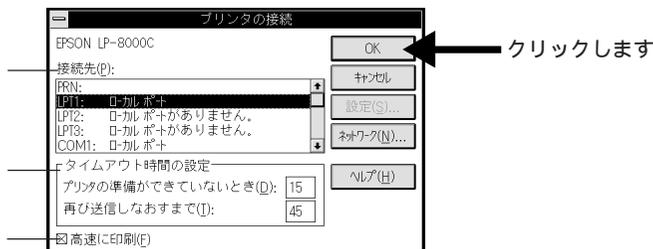


クリックして

クリックします

## 4

接続先などを設定し、**OK** ボタンをクリックします。



画面の詳細は以下の通りです。

#### 接続先(P)

プリンタを接続したポート(インターフェイス)を接続します。各項目の詳細は以下のページをご覧ください。

📖 本書「プリンタ接続先の設定 / 印刷先のポート」28 ページ



ポイント

プリンタを、コンピュータのプリンタポートに接続している場合は、「LPT1」を選択してください。

#### タイムアウト時間の設定

- ポートによって、タイムアウト時間は変更できない場合があります。
- タイムアウト時間の設定はプリントマネージャを使用している場合に有効になります。

#### プリンタの準備ができていないとき(D):

プリンタが印刷可能状態になるまでの時間を設定します。この時間を過ぎて印刷可能状態にならないとエラーが表示されます。

#### 再び送信しなすまで(T):

プリンタが印刷途中でデータを受信できなくなったときに、データの送信を繰り返す時間を設定します。この時間を過ぎてデータを受信できない場合はエラーが表示されます。

通常は標準設定のままで使用できますが、印刷データが複雑な場合やネットワーク環境で複数のコンピュータが共有している場合、エラーが表示されやすくなります。そのようなときはタイムアウト時間、特に[再び送信しなすまで(T)]を長く設定してください。

#### 高速に印刷(F)

通常はチェックボックスをチェックしたままにしてください。このボックスをチェックしていると、印刷データを Windows からプリンタに直接送るため高速に印刷されます。印刷品位(解像度)には影響ありません。チェックしないと DOS を経由して印刷されるので印刷時間が長くなります。

# DOS アプリケーションでのプリンタ設定

本プリンタをDOSアプリケーションで使用する場合は、モノクロ印刷のみ可能です。

DOSアプリケーションの場合、プリンタドライバのインストールは必要ありません。アプリケーション上でプリンタの機種名を選択することで、そのプリンタが使用可能になります。



ポイント

不適切なプリンタ機種名を選択した場合や、他のプリンタドライバで代用する場合は、本プリンタの機能を100%利用できない場合があります。

設定項目の名称や設定方法は、ご使用のアプリケーションソフトウェアによっても異なりますが、多くの場合「プリンタ名の選択・設定」、「プリンタ設定」などの項目でプリンタ名を指定するようになっています。

詳しくはお使いのアプリケーションソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

## 海外版アプリケーションソフトウェアを使用する場合

海外版ソフトウェアを使用する場合は、次の優先順位でプリンタ名を選択します。

1	LQ-850/1050
2	LQ-510/1010
3	LQ-800/1000
4	LQ-1500

- お使いのアプリケーションソフトウェアに関するお問い合わせは、各アプリケーションソフトウェアの販売会社などへお願いします。
- 画面とは違う文字を印刷するなど、正しく印刷されないときは、プリンタモードをESC/Pモードにしてください。
- 1行目の印刷位置が上すぎる場合は、プリンタの給紙位置の設定を22mmにしてください。
- 半角の記号がカタカナになる場合は、文字コード表を拡張グラフィックスにしてください。

 本書「階層設定モードでの設定方法」179ページ

## 国内版アプリケーションソフトウェアを使用する場合

DOS

1

DOS アプリケーションを起動します。

2

DOS アプリケーションを操作して、プリンタの機種名を設定する画面を表示します。

使用しているDOSアプリケーションの取扱説明書を参照して実行してください。

3

LP-8000C を選択します。

LP-8000C がない場合は、次の優先順位でプリンタ機種名を指定します。

ESC/Page プリンタが選択できる場合

ESC/Page プリンタが選択できない場合

1	LP-9200SX/9200S/9200
2	LP-8400/8300/8200
3	LP-9000
4	LP-1600
5	LP-8000/8000S/8000SE/8000SX
6	LP-8500
7	ESC/Page
8	LP-1500/1500S/2000/3000
9	LP-7000/7000G

1	ESC/P-24-J84 <sup>*1,*2</sup>
2	VP-1000/4800/3000 <sup>*1,*2</sup>
3	ESC/P-24-J83 <sup>*1,*2</sup>
4	VP-135K/130K <sup>*1,*2</sup>
5	上記プリンタが見つからない場合は、PC-PR201Hなどのプリンタを選択します。 <sup>*1,*3</sup>

\*1： 1行目の印刷位置が上すぎる場合は、プリンタの給紙位置の設定を22mmにしてください。

半角の記号がカタカナになる場合は、文字コード表を拡張グラフィックスにしてください。

\*2： 画面とは違う文字を印刷するなど、正しく印刷されないときは、プリンタモードをESC/Pにしてください。

\*3： PC-PR201H を選択した場合、プリンタモードはESC/PS(購入時設定)でなければ印刷できません。

📖 本書「階層設定モードでの設定方法」179ページ

- プリンタモードは、基本的にESC/PS(購入時設定のまま)で使用してください。画面とは違う文字を印刷するなど、正しく印刷されない場合に限り変更してください。

- 連続紙用のデータを印刷する場合は、操作パネルでの連続紙の指定が必要です。

📖 本書「階層設定モードでの設定方法」179ページ

## DOS アプリケーションでの印刷実行の流れ

1

レイアウトを指定して、文書を作成します。

文書を作成する前に、まず作成する文書のレイアウト（用紙サイズ、方向など）をアプリケーションソフトウェア上で指定します。アプリケーションによって手順が異なりますので、アプリケーションの取扱説明書を参照してください。

2

印刷の設定をします。

印刷する用紙サイズや方向、給紙装置などを、アプリケーションソフトウェア上で設定します。アプリケーションで設定できないときは、操作パネルまたはEPSON Remote!でプリンタの設定を変更します。

🔗 本書「階層設定モードでの設定方法」179 ページ

🔗 本書「EPSON Remote!について」242 ページ

	設定方法	
	アプリケーション*1	操作パネル
印刷前に必ず設定する項目	給紙方法、用紙サイズ、用紙方向	—
必要に応じて設定する項目	コピー枚数、縮小、解像度	トレイ用紙サイズ

\*1 ソフトウェアで設定できないときは、操作パネルまたはEPSON Remote!で設定します。

3

印刷を実行します。

アプリケーションソフトウェアから印刷を実行します。

# Windows95/NT4.0 からの印刷

ここでは、Windows95/NT4.0 からの印刷について説明しています。

Windows95/NT4.0 ではカラー印刷が可能です。

印刷の実行 .....	68
印刷の設定 .....	69
便利な印刷機能について .....	90
印刷の中止方法 .....	97

# 印刷の実行

ここでは、Windows95/NT4.0 アプリケーションでの、基本的な印刷実行の手順について説明します。



プリンタドライバをインストールしてから行ってください。  
本書「Windows95/NT4.0でのインストール」16ページ

画占率の高いデータの印刷時や連続印刷時、印刷の途中で動作を一時的に休止する場合があります。これは良好な印刷品質を保つために、プリンタが内部機能の自動調整を行うためです。自動調整が終わると、印刷を自動的に再開します。

## 印刷の手順

印刷の手順はお使いのアプリケーションソフトウェアによって異なります。詳細は各アプリケーションソフトウェアの取扱説明書を参照してください。ここでは、Windows95/NT4.0に添付の「ワードパッド」を例に説明します。

Windows95/NT4.0 「ワードパッド」の起動方法  
画面左下の「スタート」ボタンをクリックし、[プログラム(P)]にカーソルを合わせ、さらに[アクセサリ]にカーソルを合わせ、[ワードパッド]をクリックします。

1

「ワードパッド」を起動し、印刷データを作成します。

2

[ファイル(F)]メニューをクリックし、[印刷(P)...]をクリックします。



クリックしてから      クリックします

3

お使いのプリンタが選択されていることを確認し、各項目を設定します。

- プロパティ(P)... ボタンをクリックするとプリンタドライバの[基本設定]が開きます。
- OK ボタンをクリックすると、印刷を実行します。



確認して      印刷を実行します

印刷条件を設定するときにクリックします

# 印刷の設定

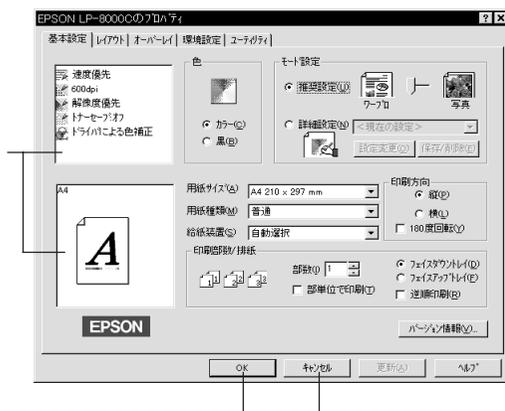
印刷に関する各種の設定は、プリンタドライバ上で行うことができます。

## プリンタドライバの起動

Win

前ページの③で **プロパティ(P)** ボタンをクリックするとプリンタドライバが起動します。

プリンタドライバの起動直後は [ 基本設定 ] 画面が開いています。画面上部のタブをクリックすることで表示される画面を切り替えます。



印刷  
の  
設定

### 情報表示画面

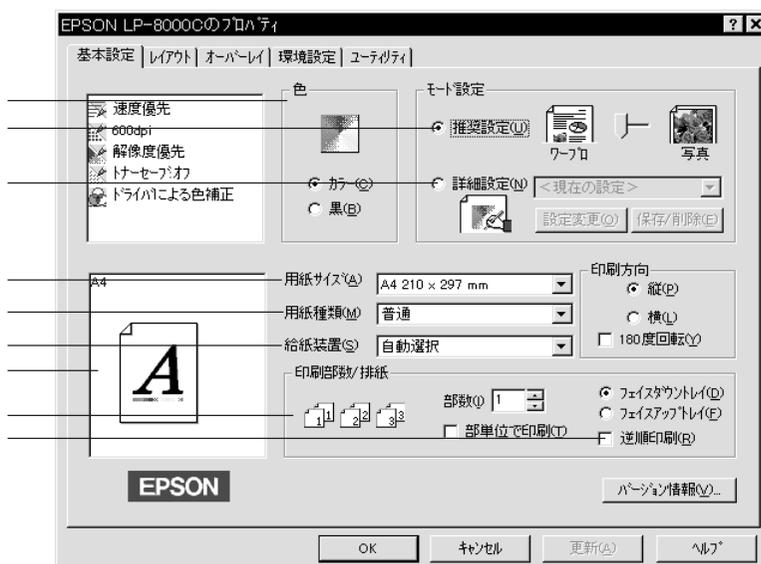
現在の印刷に関する設定や、用紙に関する設定が表示されます。プリンタドライバ上で設定を変更すると、この部分の表示も変わります。

### **OK** ボタン

設定の変更内容を保存して、設定画面を終了します。

### **キャンセル** ボタン

設定の変更内容を保存せずに、設定画面を終了します。



## 色

カラー印刷を行うか、モノクロ印刷を行うかを選択します。

「黒(B)」を選択すると、モノクロ印刷のみ可能です。

## 推奨設定 (U)

「色」を「カラー(C)」に設定時のみ、スライドバーを動かして選択できます。

「写真」は写真やグラデーションのある画像のように、無段階に色調が変化するデータを印刷する場合に選択します。

「ワープロ」は、文字データを含むデータを印刷する場合に選択します。

設定	解像度	印刷モード	スクリーンモード	色補正
写真	300DPI	品質優先	階調優先	自然な色合い
ワープロ	600DPI	速度優先	解像度優先	自動

- 「印刷モード」が「品質優先」の場合、CPGI機能が使用されます。「速度優先」の場合、PGI機能が使用されます。
- 「スクリーンモード」が「解像度優先」の場合、スクリーン線数は268LPIになります。「階調優先」の場合、スクリーン線数は166LPIになります。

## 詳細設定 (N)

印刷処理に関する各項目を設定します。

「色」を「カラー(C)」に設定時、リストボックスからあらかじめ登録されている、次の印刷処理の設定を選択できます。

設定	解像度	印刷モード	スクリーンモード	カラー調整
プレゼン	300DPI	品質優先	解像度優先	自動
グラフィック	300DPI	品質優先	解像度優先	鮮やかな色合い
テキスト	300DPI	速度優先	解像度優先	自動
オートフォトファイン!2	300DPI	品質優先	階調優先	オートフォトファイン!2
ICM(Windows95のみ)	300DPI	品質優先	階調優先	ICM
高品質プレゼン	600DPI	品質優先	解像度優先	自動
高品質グラフィック	600DPI	品質優先	解像度優先	鮮やかな色合い
高品質写真	600DPI	品質優先	階調優先	自然な色合い

- 「印刷モード」が「品質優先」の場合、CPGI機能が使用されます。「速度優先」の場合、PGI機能が使用されます。
- 「スクリーンモード」が「解像度優先」の場合、スクリーン線数は268LPIになります。「階調優先」の場合、スクリーン線数は166LPIになります。

「色」を「黒(B)」に設定時は、リストボックスには<現在の設定>のみ表示されます。

**設定変更(O)** ボタン

クリックすると「詳細設定」画面が開き、印刷処理についての細かい設定が行えます。

 本書「詳細設定画面(カラー印刷の場合)」75ページ

 本書「詳細設定画面(モノクロ印刷の場合)」79ページ

**保存/削除(E)** ボタン

[「詳細設定」画面で設定した内容に名前を付けて保存したり、または削除するときをクリックします。

本ボタンをクリックすると「ユーザー設定」画面が開きます。

 本書「ユーザー設定」81ページ



ポイント

- 「高品質プレゼン」、「高品質グラフィック」、「高品質写真」は、解像度600DPIで印刷を行います。これらを選択して印刷する場合は、メモリの増設をお勧めします。
- 印刷時に「ページエラー」や「メモリオーバー」などのメモリ不足を示すエラーが発生するときは、解像度が300DPI、または印刷モードが速度優先の設定を選択するとエラー発生を回避できる場合があります。

## 用紙サイズ (A)

スクロールバーの をクリックして、リストボックスの中から印刷したい用紙サイズを選択します。

- 「ユーザ定義サイズ」を選択した場合

「用紙サイズ」で「ユーザ定義サイズ」を選択した場合、次の画面が表示されます。

はじめに「単位」を選択し、「用紙幅 (W)」と「用紙長さ (L)」で任意の用紙サイズを設定してください。設定できる用紙サイズの範囲は[用紙サイズの定義]画面に表示されます。



ポイント

アプリケーションソフト上の用紙サイズとプリンタドライバ上の用紙サイズは必ず一致させてください。サイズが異なる場合、アプリケーションソフトウェアによっては、間違ったサイズで印刷することがあります。

## 用紙種類 (M)

スクロールバーの をクリックして、リストボックスの中から印刷したい用紙の種類を選択します。

普通紙 / EPSON 製カラーレーザープリンタ用上質普通紙の場合は「普通」を、EPSON 製カラーレーザープリンタ用 OHP シートの場合は「OHP シート」を選択します。これ以外の場合は「厚紙」を選択してください。

## 給紙装置 (S)

スクロールバーの をクリックして、リストボックスの中から使用する給紙装置を選択します。

「自動選択」

プリンタドライバで指定する用紙サイズと同じ用紙がセットしてある給紙装置を探し、その給紙装置から自動的に給紙します。

通常はこの設定にします。

「用紙トレイ」

用紙トレイ (本体右側のトレイ) から給紙します。

### 「用紙カセット 1」

本体に標準装備の用紙カセットから給紙します。

### 「用紙カセット 2」～「用紙カセット 4」

オプションの増設カセットユニットの用紙カセットから給紙します。

増設カセットユニットは3個の用紙カセットを装備しており、一番上のカセットから順に「用紙カセット 2」～「用紙カセット 4」の名前が割り当てられています。



ポイント

「自動選択」に設定されている場合、プリンタは次の順序で給紙装置にセットされている用紙のサイズを調べます。

「用紙カセット 1」 「用紙トレイ」

オプションの増設カセットユニットが装着されている場合、次の順序で用紙サイズを調べます。

「用紙カセット 1」 「用紙カセット 2」 「用紙カセット 3」 「用紙カセット 4」 「用紙トレイ」

また、最初に見つけた給紙装置の用紙がなくなると、同じサイズの用紙がセットされている、他の給紙装置に自動的に切り換えて給紙します。

### 印刷方向

「縦 (P) / 横 (L)」

用紙に対する印刷方向を指定します。

「180度回転 (Y)」

印刷イメージを180度回転して印刷します。

[オーバーレイ]画面で「フォームオーバーレイ (O)」に✓(チェック)を付けている場合、本項目は選択できません。

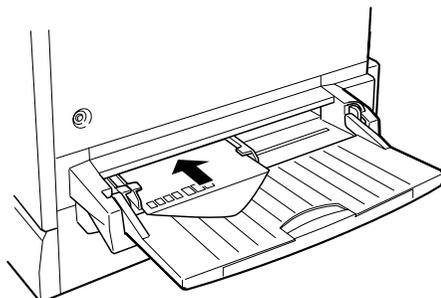
👉「180度回転印刷」96ページ



ポイント

本機で封筒に印刷する場合、封筒のフラップ(閉じ口)を開き、給紙方向に対し後ろに向けてセットする必要があります。

このため、封筒に印刷する場合は「180度回転 (Y)」を選択してください。



## 印刷部数 / 排紙

## 「部数(L)」

印刷の部数（コピー数）を入力、またはスクロールバーの をクリックして設定します。最大 255 まで入力可能です。

## 「部単位で印刷 (I)」

入力した部数で、一部ごとに印刷します。

## 「フェイスダウントレイ(D)/フェイスアップトレイ(E)」

排紙トレイを選択します。

フェイスダウントレイは本体上面の排紙トレイです。印刷面を下にして排紙します。

フェイスアップトレイは本体左側の排紙トレイです。印刷面を上にして排紙します。



ポイント

- 「フェイスアップトレイ」選択時、複数のページを印刷する場合は、「逆順印刷」も選択してください。  
印刷面を上に向けて排紙するため1ページ目が一番下に、最終ページが一番上となってしまいます。
- 「フェイスダウントレイ」に排紙可能な用紙は、B5サイズ以上の普通紙/EPSON製カラーレーザープリンタ用上質普通紙です。  
これ以外の用紙の場合は「フェイスダウントレイ」を選択しても、自動的にフェイスアップトレイに排紙されます。

## 逆順印刷 (R)

最終ページから、通常とは逆の順番で印刷します。



ポイント

「逆順印刷」は、通常の印刷にくらべ、コンピュータのハードディスクを多く使用します。ハードディスクの空き領域を十分に確保してください。

## [ 詳細設定 ] 画面 ( カラー印刷の場合 )

「基本設定」画面で[ 詳細設定(N) ]を選択し、[ 設定変更(O) ] ボタンをクリックすると次の「詳細設定」画面が表示されます。

「基本設定」画面で「色」を「カラー(C)」に設定している場合、[ 詳細設定 ] 画面は次のようになります。



カラー印刷の場合、RIT機能は解像度「300DPI」、印刷モード「速度優先」のときのみ有効になります。

### 色

カラー印刷を行うか、モノクロ印刷を行うかを選択します。

「黒(B)」を選択時、画面は次項「[ 詳細設定 ] 画面 (モノクロ印刷の場合)」の状態になります。

### 印刷モード(P)

CPGI機能を使用するか(品質優先)、PGI機能を使用するか(速度優先)を選択します。

印刷モードにより、一部の機能が使用できない場合があります。

#### 「速度優先」

PGI機能を使用したカラー印刷を行います。「品質優先」に比べ、印刷の画質は低くなりますが、印刷に要する時間が短くなります。

本モード選択時、「オートフォトファイン!2」は選択できません。

## 「品質優先 (PC)」

CPGI 機能を使用したカラー印刷を行います。

「速度優先」に比べ印刷に要する時間はかかりますが、高品質の印刷結果を得ることができます。本モードでは、印刷の処理を主にコンピュータ側 (プリンタドライバ側) で行います。コンピュータ側の処理能力に余裕がある場合、本モードを選択すると、プリンタ側の負荷を軽くすることができます。

本モード選択時、「設定したフォントだけプリンタフォントで印刷」「フォームオーバーレイ」は選択できません。

## 「品質優先 (プリンタ)」

CPGI 機能を使用したカラー印刷を行います。

「速度優先」に比べ印刷に要する時間はかかりますが、高品質の印刷結果を得ることができます。本モードでは、印刷の処理を主にプリンタ側で行います。



ポイント

「環境設定」画面で「印刷処理のバランスを指定する (L)」に✓ (チェック) を付けないと、「品質優先 (PC)」「品質優先 (プリンタ)」は選べません。この場合、表示は「品質優先」となり、「品質優先 (プリンタ)」と同じ処理になります。

## 「CRT優先」

通常の場合、本モードを選択する必要はありません。他の印刷モードで印刷した場合に、画面通りの印刷結果が得られない場合に選択します。

印刷データを全てイメージデータとしてプリンタに送るため、他の印刷モードに比べ、印刷に時間がかかります。

本モード選択時、「割り付け」、「スタンプマーク」、「オートフォトファイン!2」、「設定したフォントだけプリンタフォントで印刷」、「フォームオーバーレイ」、「中央合わせ」は選択できません。また「EPSON BarCode フォント」も使用できません。

## 解像度 (U)

スライダーを動かして、解像度を 300DPI/600DPI から選択します。

解像度は DPI (1 インチあたりのドット数) で表示します。「600DPI」を選択すると印刷の表現力は向上しますが、印刷時間は長くなります。印刷品質と印刷時間を考えて選択してください。



ポイント

印刷できなかつたり、メモリ関連のエラーメッセージが表示される場合は、アプリケーションソフト側でデータの容量や色数を減らすか、解像度を 300DPI に、または印刷モードを「速度優先」に変更してください。

## スクリーン (E)

階調表現と解像度のどちらを優先して印刷するかを選択します。「印刷モード」が「速度優先」、「解像度」が「300DPI」の場合、自動的に「解像度優先」になるため本項目は選択できなくなります。

### 「階調優先」

スクリーン線数 166LPI で、なめらかな階調表現を優先して印刷します。  
色調や色の濃淡が無段階に変化する連続階調、写真やグラデーションのあるデータの印刷時に指定します。

### 「解像度優先」

スクリーン線数 268LPI で、高い解像度を優先して印刷します。  
細かい線や細かい模様のあるデータの印刷時に指定します。

## トナーセーブ (T)

をクリックして  (チェック) 印を付けるとトナーセーブ機能が有効になり、トナーの消費量を少なくして印刷します。  
試し刷りの場合など、印刷品質にこだわらない場合に指定します。



ポイント

カラー印刷の場合、トナーセーブ機能を有効にすると色の濃度を低くして印刷するため、薄い色や細かい線などは印刷されない場合があります。

## [ ドライバによる色補正 (O) ]

「色補正方法 (M)」の中から選択した設定内容に従い、印刷するデータの色バランスを整えます。通常は「自動」を選択してください。

- 「自動」 : 文書内の オブジェクト<sup>\*1</sup> に対して最適な色処理をします。通常はこの設定でご使用ください。
- 「自然な色あい」 : より自然な発色状態になるように色処理を行います。
- 「鮮やかな色あい」 : 彩度 (鮮やかさ) を上げ、色味を強くする処理を行います。
- 「色補正なし」 : ドライバによる色補正を行いません。ICM 用 プロファイル<sup>\*2</sup> を作成する際の、基準色を印刷するときを選択します。通常は選択しないでください。

## 各スライドバーについて

ポップアップメニューの下にある6つのスライドバーを調整することにより、お好みに合わせて色バランスを変更することが可能です。

巻末カラーページ「イメージ補正」(11) ページ

「カラーコントロールの調整」(12) ページ

- 「明度 (G)」 : 画像の明るさをスライドバーで調整できます。調整範囲は、標準を 0 として、- 25 ~ 25% の間で、マイナス ( - ) 方向には暗く、プラス ( + ) 方向には明るくなります。明度は画像全体の明るさを調整しますので、全体的に暗い画像や明るい画像に対して有効です。

\*1 オブジェクト : 色補正を行う際に対象となるもの。

\*2 プロファイル : 色補正データが記録されているファイル。

「コントラスト (A)」: 画像の明暗比をスライドバーで調整できます。調整範囲は、標準を0として、-25～25%の間です。コントラストを上げると、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。逆にコントラストを落とすと、画像の明暗の差が少なくなります。明暗の差をはっきりさせたいときや、逆に明暗の差をなくしたいときに有効です。

「彩度 (S)」: 画像の彩度(色のあざやかさ)をスライドバーで調整できます。調整範囲は、標準を0として、-25～25%の間です。彩度を上げると、色味が強くなります。逆に彩度を落とすと、色味がなくなり、無彩色化されてグレーに近くなります。色をはっきりさせたいときや、逆に色味を落としたいときに有効です。

「シアン (N)」: それぞれの強さだけをスライドバーで調整できます。

「マゼンタ (G)」: 調整範囲は、標準を0として、-25～25%の間です。

「イエロー (Y)」

	< - > ←————— 0 —————→ < + >	
シアン	赤みが強くなります。	青緑(シアン)が強くなります。
マゼンタ	緑色が強くなります。	赤紫(マゼンタ)が強くなります。
イエロー	青色が強くなります。	黄色(イエロー)が強くなります。

#### [オートフォトファイン!2 (F)]

ビデオ、デジタルカメラ、フィルムスキャナ、スキャナなどから取り込んだ画像やPhotoCDのデータなどを自動的に補正して印刷したい場合にクリックします。コントラスト、彩度、カラーバランスが適切でないデータに最適な補正を加え、高画質化して印刷します。ただし、画像のサイズやコンピュータの性能によっては印刷時間が長くなります。また、データ自体を補正するものではありません。

詳細な説明と印刷サンプルを巻末カラーページに掲載してありますので、参照してください。

☞ 巻末カラーページ「オートフォトファイン!2」(9) ページ

#### [ICM (!)](Image Color Matching)(Windows95のみ)

ディスプレイ上の表示と実際の印刷出力の色合いを合わせるときに選択します。色合わせについての説明を巻末カラーページに掲載してありますので、参照してください。

☞ 巻末カラーページ「より高度な色合わせについて」(13) ページ

## [ 詳細設定 ] 画面 (モノクロ印刷の場合)

「基本設定」画面で[ 詳細設定(N) ]を選択し、**設定変更(O)** ボタンをクリックすると次の「詳細設定」画面が表示されます。

「基本設定」画面で「色」を「黒(B)」に設定している場合、[ 詳細設定 ]画面は次のようになります。



### 色

カラー印刷を行うか、モノクロ印刷を行うかを選択します。

「カラー(C)」を選択時、画面は前項「[ 詳細設定 ]画面(カラー印刷の場合)」の状態になります。

### 印刷モード (P)

プリンタの印刷モードを選択します。通常は「標準」で印刷してください。

「標準」

モノクロ印刷の場合、通常は本モードを選択します。

「CRT優先」

通常の場合、本モードを選択する必要はありません。「標準」で印刷した場合に、画面通りの印刷結果が得られない場合に選択します。

印刷データを全てイメージデータとしてプリンタに送るため、印刷に時間がかかります。

本モード選択時、「割り付け」,「スタンプマーク」,「フォント置き換え」,「フォームオーバーレイ」,「中央合わせ」は選択できません。また「EPSON BarCode フォント」も使用できません。

## 解像度 (U)

スライダーを動かして、解像度を 300DPI/600DPI から選択します。解像度は DPI (1 インチあたりのドット数) で表示します。「600DPI」を選択すると印刷の表現力は向上しますが、印刷時間は長くなります。印刷品質と印刷時間を考えて選択してください。



ポイント

印刷できなかつたり、メモリ関連のエラーメッセージが表示される場合は、アプリケーションソフト側でデータの容量や色数を減らすか、解像度を 300DPI に変更してください。

## トナーセーブ (T)

をクリックして  (チェック) 印を付けるとトナーセーブ機能が有効になり、トナーの消費量を少なくして印刷します。

試し刷りの場合など、印刷品質にこだわらない場合に指定します。

トナーセーブ機能有効時は、文字の輪郭は通常の場合と同様に印刷し、輪郭以外の部分は濃度を押さえて印刷します。

## RIT (R)

「色」を「黒 (B)」に設定している場合のみ表示されます。

RIT 機能<sup>\*1</sup> は、斜線や曲線を印刷する場合、輪郭のギザギザをなくしてなめらかに印刷する機能です。

をクリックして  (チェック) 印を付けると有効になります。

大きい文字などの印刷時に RIT を有効にすると、よりきれいに印刷できます。



ポイント

グラデーション (無段階に階調が変化する画像) を印刷する場合、RIT が有効になっていると意図した通りの印刷結果が得られない場合があります。このような場合は、RIT を無効にしてください。

## ドライバによる色補正

モノクロ印刷の場合、明度とコントラストのみ調整可能です。

「明度 (G)」

画像の明るさをスライダーで 5 段階に調整できます。

「コントラスト (A)」

画像の明暗比 (モノクロの粗密) をスライダーで 4 段階に調整できます。

\*1 RIT 機能：印刷時に走査線方向を 2400DPI、紙送り方向を 600DPI の高精度でコントロールすることで、1200DPI 相当の高解像度印刷を実現する EPSON 独自の機能。

## [ ユーザー設定 ] 画面

[ 詳細設定 ] 画面で設定した内容は、[ ユーザー設定 ] 画面で現在の設定に名前を付けて保存することができます。(最大保存件数：10件)

[ ユーザー設定 ] 画面は、[ 基本設定 ] 画面で「詳細設定 (N)」をクリックし、**保存 / 削除 (E)** ボタンをクリックすると表示されます。



- 設定名** : 手動設定にて設定した内容を保存する名称を入力します。
- 設定リスト** : 保存した設定名の一覧を表示します。
- 保存 (S) ボタン** : 設定した内容を保存します。「設定名」を入力してからクリックしてください。
- 削除 (D) ボタン** : 設定リストの中から削除したい設定名を選択し、クリックします。
- キャンセル (C) ボタン** : ユーザー設定を保存せずに終了します。

ユーザー設定した内容は、「基本設定」の「詳細設定」を選択し、 ボタンをクリックするとリストボックスの中に表示されます。



レイアウト画面の詳細は「便利な印刷機能について」(90ページ)を参照してください。



- 拡大 / 縮小** : 拡大 / 縮小印刷を設定します。
- 「なし (N)」 : 等倍 (100%) で印刷します。
- 「任意倍率 (M)」 : 50 ~ 200% の倍率を指定して印刷します。
- 「フィットページ (F)」 : 「用紙サイズ (A)」 で選択したサイズに合わせて、自動的に倍率を設定して印刷します。
- 「配置」 : 「左上合わせ」を指定すると、フィットページで縮小したデータと用紙の左上角を合わせて印刷します。「中央合わせ」を指定すると、フィットページで縮小したデータと用紙の中心を合わせて印刷します。



ポイント

カラー印刷時に拡大 / 縮小印刷を行うと、カラーの色合いが変わることがあります。

- 割り付け (R)** : 2ページまたは4ページ分の連続したデータを縮小し、1枚の用紙に割り付けて印刷することができます。
- スタンプマーク (S)** : あらかじめ用意したパターンを印刷データに重ねあわせて印刷する機能です。
- オフセット** : 用紙の上端または左端に対して、印刷する画像の位置を -5mm ~ +6mm の範囲で指定します。

## [ オーバーレイ ] 画面

本画面は、フォームオーバーレイ印刷を行う場合に使用します。フォームオーバーレイとは、ここで指定したフォーム（書式）と、アプリケーションソフトで作成したデータを重ね合わせて印刷する機能です。「フォームオーバーレイ(O)」をクリックし、「フォーム(F)」または「詳細(T)」ボタンで使用するフォームデータを選択してアプリケーションソフトから印刷を実行すると、アプリケーションソフトのデータと選択したフォームデータが1枚の用紙に重ね合わされて印刷されます。この機能を利用することにより、あらかじめ印刷された帳票を用意しなくても高速に印刷することができます。



本ドライバにはフォームデータは添付されていません。カラーのフォームデータの作成、編集等を行うには、オプションのフォームオーバーレイユーティリティ EPSON Form!3 が必要です。詳細についてはEPSON Form!3 に添付の取扱説明書を参照してください。EPSON製モノクロレーザープリンタ用オプションのEPSON Form!2 で作成したフォームデータは、モノクロ印刷でのみ使用可能です。EPSON Form!2 のフォームデータでフォームオーバーレイ印刷を行う場合、本ドライバの [ 基本設定 ] 画面または [ 詳細設定 ] 画面で、「色」を「黒(B)」に設定してください。

### フォームオーバーレイ (O)

をクリックして✓(チェック)印を付けると、フォームオーバーレイ機能が有効になります。

## フォーム (F)

EPSON Form!3 で作成したフォームデータ (カラー) は、本項目のリストボックスから選択できます。

EPSON Form!2 で作成したフォームデータ (モノクロ) は、本項目に表示されません。EPSON Form!2 のフォームデータを使用する場合は、本項目で「フォーム名称なし」を選択し、**詳細 (T)** ボタンをクリックして [ フォーム指定 ] 画面で選択します。

## 詳細 (T)

「フォーム (F)」でフォームデータの名称を選択している場合、本ボタンをクリックすると [ フォーム名詳細 ] 画面が表示され、フォームデータの情報を確認できます。詳細については EPSON Form!3 に添付の取扱説明書を参照してください。

「フォーム (F)」で「フォーム名称なし」を選択している場合、本ボタンをクリックすると [ フォーム指定 ] 画面が表示されます。EPSON Form!2 で作成したフォームデータを使用する場合、この画面でフォームデータを選択します。



フォームデータがハードディスク等に登録されている場合は「ファイル指定 (F)」をクリックして、ディスク上のフォームデータのファイル名を入力または選択します。

フォームデータがROMモジュールに登録されている場合は「ROMモジュール指定 (R)」をクリックして、ROMモジュール上のフォームデータの番号を入力または選択します。



ポイント

フォームオーバーレイROMモジュールに登録されたフォームデータを選択するには、プリンタドライバ上で、フォームオーバーレイROMモジュールが、使用するオプションとして設定されていなければなりません。

☞ 本書「オプション装着時の設定 (Windows95)」21 ページ

☞ 本書「オプション装着時の設定 (WindowsNT4.0)」36 ページ

## [ 環境設定 ] 画面



## 実装オプション

現在プリンタに装着されているオプションで、使用可能な状態になっているものが表示されます。

本書「印刷の手順」68ページのようにアプリケーションソフトからプリンタドライバを起動した場合、本画面では、オプションの使用可能/不可能を切り替えることはできません。

新しく装着したオプションを使用可能にする場合や、オプションの使用可能/不可能を切り替える場合は、Windowsの画面左下の「スタート」ボタンをクリックし、[設定(S)]にカーソルを合わせ、[プリンタ(P)]をクリックして、[プリンタ]画面からプリンタドライバを起動して設定します。

この場合の手順については次のページを参照してください。

☞ 本書「オプション装着時の設定 (Windows95)」21ページ

☞ 本書「オプション装着時の設定 (WindowsNT4.0)」36ページ

## TrueType フォント

TrueType フォント<sup>\*1</sup>をプリンタフォント<sup>\*2</sup>で置き換えて印刷するかを設定します。TrueType フォントをプリンタフォントで置き換えると、コンピュータからプリンタへ送られる印刷データが少なくなるため、印刷時間が短くなります。

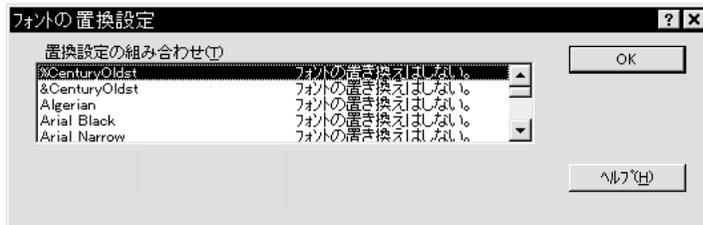
TrueType フォントでそのまま印刷 (N)  
TrueType フォントのプリンタフォントへの置き換えをせず、TrueType フォントで印刷します。

設定したフォントだけプリンタフォントで印刷 (U)  
TrueType フォントを、[ フォント設定 (I) ] で設定されている内容に従ってプリンタフォントに置き換えて印刷します。

### フォント設定 (I) ボタン

このボタンをクリックすると [ フォントの置換設定 ] 画面が表示されます。本書「印刷の手順」68 ページの手順でプリンタドライバを起動した場合、[ フォントの置換設定 ] 画面では、フォントの置き換えを設定することはできません。

フォントの置き換えの設定は、次ページの手順で行います。



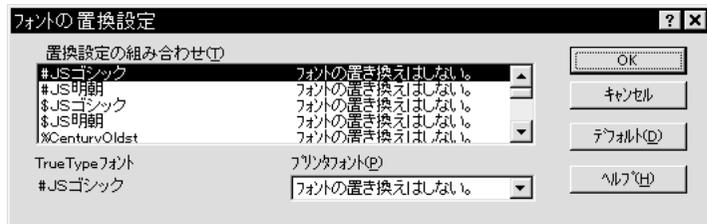
\*1 TrueType フォント : 米 Apple 社が開発したアウトラインフォント技術を使用したフォント。  
ぎざぎざのない出力を可能にしている。

\*2 プリンタフォント : ここでは、プリンタ本体が装備しているフォントを指す。

- Windows95のフォント置き換えの設定

Windows95の場合、本書「オプション装置の設定 (Windows95)」21ページの ~ の手順でプリンタドライバを起動し、[環境設定]画面で

**フォント設定(T)** ボタンをクリックして、下図の[フォントの置換設定]画面を表示させ、下記の手順で設定します。



「置換設定の組み合わせ(T)」の中から、置き換えられる TrueType フォントをクリックして選択します。

「プリンタフォント(P)」のリストボックスの中から、置き換えるプリンタフォントをクリックして選択します。

置き換えるフォントを全て設定したら、**OK** ボタンをクリックして終了します。

- WindowsNT4.0のフォント置き換えの設定

WindowsNT4.0でフォント置換を設定するには、本書「オプション装置の設定 (WindowsNT4.0)」36ページの ~ の手順でプリンタドライバを起動し、「フォント置換」タブをクリックして次の画面を表示させ、Windows95の場合と同様にして設定します。



用紙サイズのチェックをしない (E)

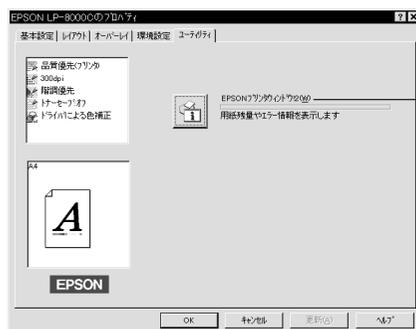
印刷時に、用紙サイズのチェックを行わないようにします。

本項目を選択すると、用紙サイズエラーが表示されなくなります。

印刷処理のバランス指定をする (L)

本項目に  (チェック) を付けると、「詳細設定」画面 (カラー印刷時) の「印刷モード (P)」で「品質優先 (PC)」 / 「品質優先 (プリンタ)」が選択できます。 (チェック) が付いていない場合は、「品質優先」になります。

## [ ユーティリティ ] 画面



## EPSONプリンタウィンドウ!2(W)

プリンタの状態やトナー残量等がモニターできるEPSONプリンタウィンドウ!2 が起動します。

EPSONプリンタウィンドウ!2をインストールしていない場合は機能しませんのでご注意ください。

📖 本書「EPSONプリンタウィンドウ!2」206 ページ



ポイント

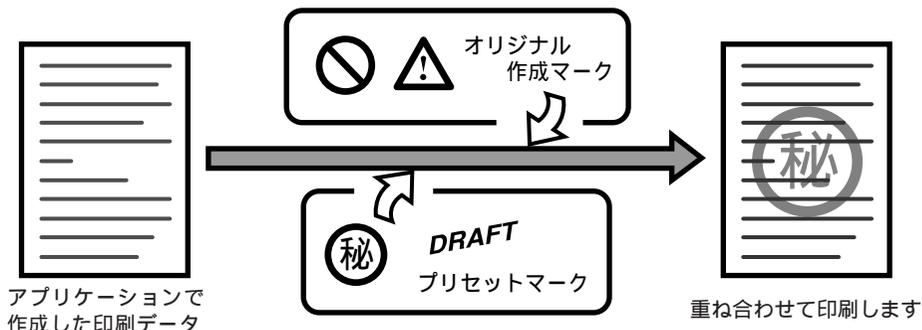
EPSONプリンタウィンドウ!2が起動している場合、プリンタの電源がをオンにして、プリンタドライバ上で[環境設定]画面(Windows95) [実装オプション設定]画面(WindowsNT4.0)を表示させると、装着されているオプションが自動的に使用可能になります。

ただし、本画面からEPSONプリンタウィンドウ!2を起動した場合は、いったんプリンタドライバを終了しないと、この機能は動作しません。

# 便利な印刷機能について

Win

## スタンプマーク



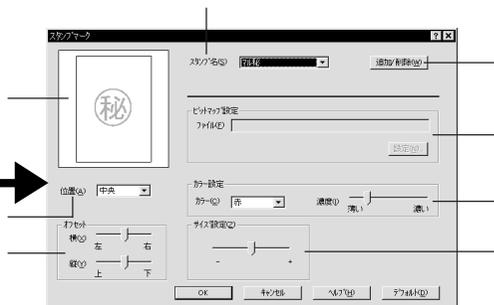
印刷データに「秘」などのイメージを重ね合わせて印刷します。「スタンプマーク(W)」のチェックボックスをチェックして「スタンプマーク設定(K)」をクリックするとスタンプマークの設定が行えます。

「1ページ目のみ印刷(P)」のチェックボックスをチェックすると、1ページ目だけにスタンプマークを印刷し、2ページ目以降はスタンプマークを印刷しません。



ポイント

[基本設定]画面で「逆順印刷(R)」を選択している場合、「1ページ目のみ印刷(P)」は選択できなくなります。



ポイント

印刷する色によってはスタンプマークと印刷データの重なる部分の色が混ざるため、画面上と異なる色で表示される場合があります。

プレビュー部 : 選択しているスタンプマークが表示されます。

スタンプ名(S) : 印刷するスタンプマークの名前をリストボックスから選択します。

追加 / 削除 (W) : クリックすると [ユーザー設定] 画面が表示され、新しく作成したスタンプマーク (BMP<sup>\*1</sup> 画像ファイル) の、スタンプ名の登録 / 削除が行えます。

 本書「オリジナルマークの登録方法」92 ページ

ビットマップ設定 : **追加 / 削除 (D)** ボタンをクリックし、「ユーザー設定」画面でスタンプマークの名前を登録すると選択可能になります。

ファイル (F) : 「ユーザー設定」画面で登録したスタンプ名で呼び出すスタンプマークのファイル名を入力します。

設定 (N) : 新しく作成 / 登録したスタンプマークのファイルを探す場合にクリックします。

カラー設定 : スタンプマークの色に関する設定を行います。

カラー (C) : スタンプマークの印刷色をリストボックスから選択します。

濃度 (!) : スタンプマークの色の濃さを調節します。

新しく作成 / 登録したスタンプマークは、濃度設定はできません。

サイズ設定 (Z) : 印刷するスタンプマークの拡大 / 縮小を調節します。

位置 (A) : スタンプマークの印刷位置をリストボックスから選択します。

オフセット : 「位置 (A)」で選択した印刷位置を基準に、オフセット量を調節します。

横 (X) / 縦 (Y) : 各方向のオフセット量を調節します。



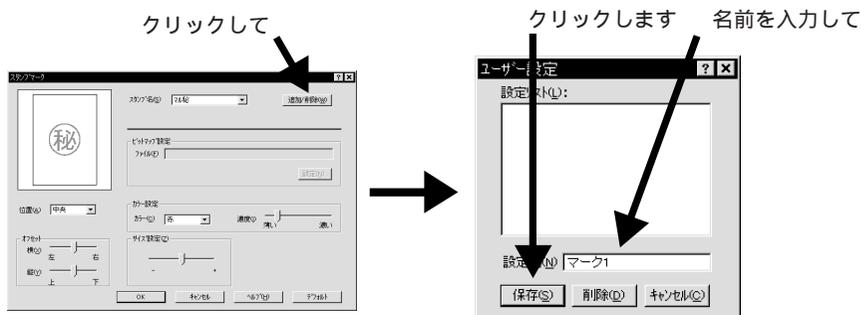
ポイント

「サイズ設定 (Z)」、「位置 (A)」、「オフセット」を指定する場合、スタンプマークが印刷可能範囲を超えないように注意してください。

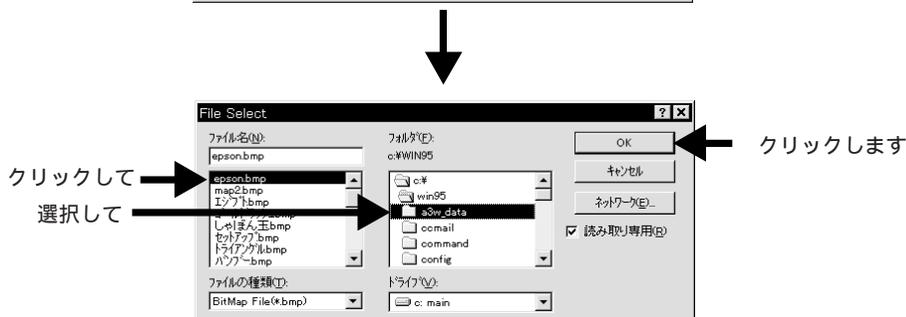
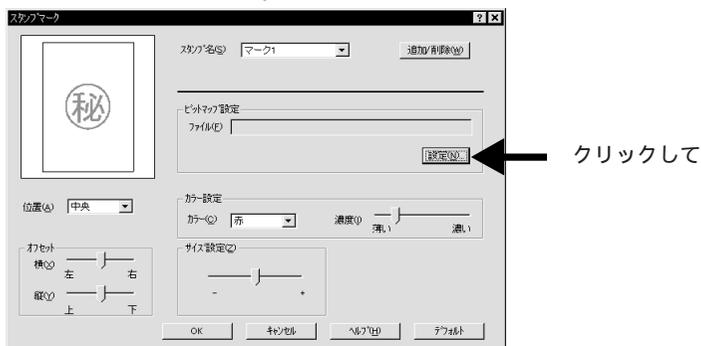
\*1 BMP : 画像データを保存する際のファイル形式の 1 つ。

## オリジナルマークの登録方法

- 1 アプリケーションソフトでオリジナルマークを作成し、BMP形式で保存します。
- 2 「スタンプマーク」画面で「追加/削除(W)」ボタンをクリックし、「設定名(N)」にスタンプマークの名前を入力して「保存(S)」ボタンをクリックします。

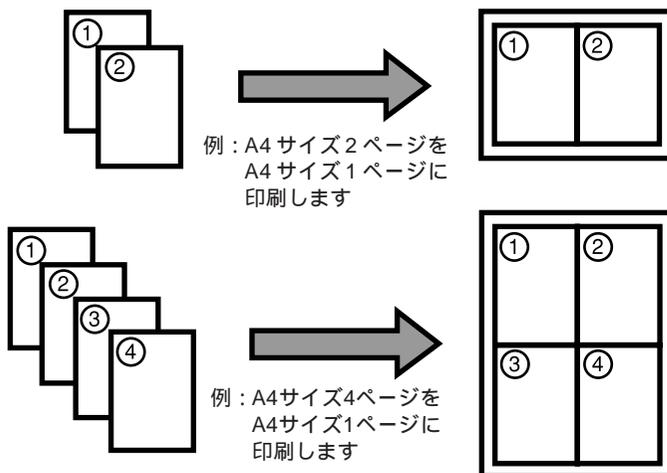


- 3 「ビットマップ設定」の「設定(N)」ボタンをクリックして、マークを保存したディレクトリを選択し、登録するマークのファイルをクリックして、「OK」ボタンをクリックします。



これでマーク名のリストにオリジナルマークが登録されました。

## 割り付け印刷

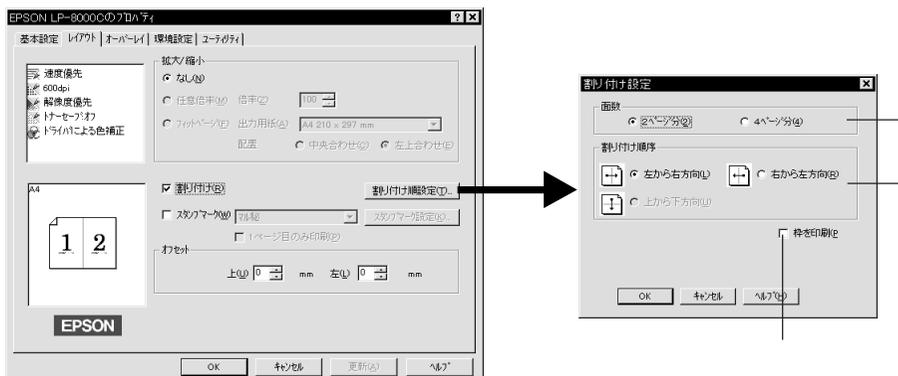


2 ページまたは 4 ページの連続したデータを自動的に縮小して、1 ページにまとめて印刷できます。**割り付け順設定(T)** ボタンをクリックすると割り付け順序の設定ができます。



ポイント

- 拡大 / 縮小の設定をしている場合、割り付け印刷はご利用になれません。
- 印刷可能領域いっぱいに印刷データを作成すると、レイアウトが変わる場合がありますのでご注意ください。

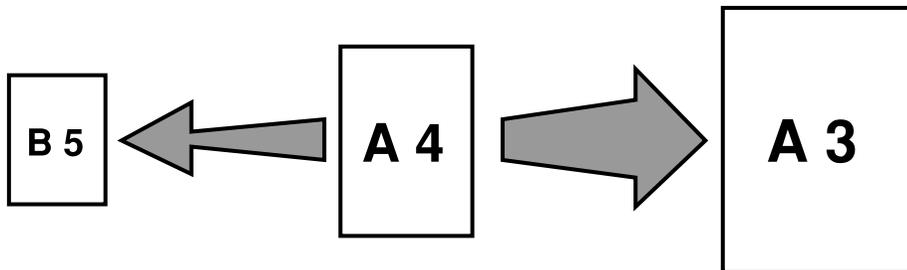


1 ページに 2 ページまたは 4 ページのどちらを割り付けるか選択します。割り付ける順番を選択できます。[基本設定]画面の「印刷方向」が「横(L)」で、「面数」が「2 ページ分(2)」の場合は、割り付け順序は 1 種類のみになります。

割り付けたページごとに枠線を描くかどうかを選択します。

## 拡大 / 縮小印刷

印刷データを、印刷する用紙に合わせて自動的に拡大 / 縮小して印刷(フィットページ)します。また任意の倍率で50% ~ 200%まで1%単位で設定できます。



ポイント

- 拡大 / 縮小印刷をした場合、カラーの色合いが変化することがあります。
- 割り付け印刷時は、拡大 / 縮小印刷はできません。
- 印刷可能領域いっぱい印刷データを作成すると、レイアウトが変わる場合がありますのでご注意ください。

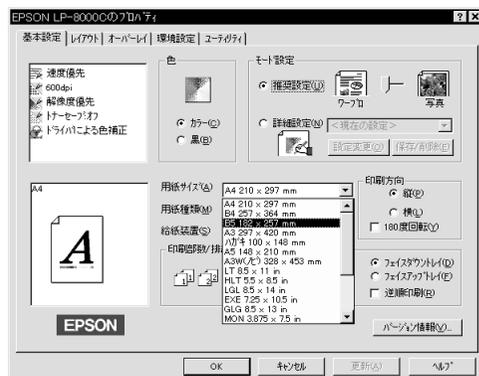
1

プリンタの **電源** スイッチをオンにして、用紙をセットします。

2

アプリケーションソフトから、プリンタドライバの [ 基本設定 ] 画面を開き、「用紙サイズ(A)」のリストボックスから用紙サイズを選択します。

用紙サイズは、印刷データを作成したアプリケーションソフトで設定したサイズを入力してください。



3

「レイアウト」画面の [拡大 / 縮小] を設定します。

チェックボックスをチェックして選択します。

- 指定した用紙サイズに倍率 : 「フィットページ (F)」をクリックして「出力用紙」のリストボックスの中から、プリンタにセットされている用紙サイズを選択します。印刷データを用紙の中央に印刷するか、用紙の左上に印刷するかを「配置」で選択します。
- 倍率を指定するとき : 「任意倍率 (M)」をクリックし、  ボタンをクリックして倍率を設定してください。印刷データを用紙の左上に配置して印刷します。

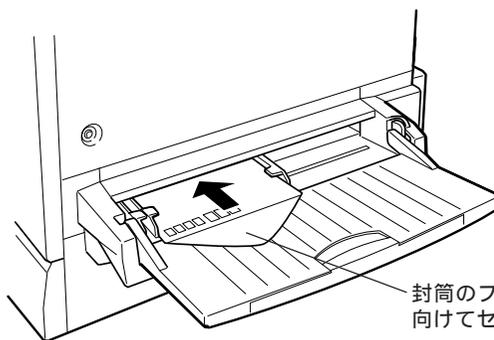


4

印刷を実行します。

## 180 度回転印刷

本プリンタで封筒に印刷する場合、紙送りの機構上、封筒のフラップ（閉じ口）を開いて給紙方向に対し後ろに向けてセットしなければなりません。このため封筒に印刷するときは、「180度回転」させて上下を逆に印刷する必要があります。



1

プリンタドライバの [ 基本設定 ] 画面を開き、「印刷方向」の「180度回転 (Y)」をクリックして✓ (チェック印) を付けます。



クリックします

2

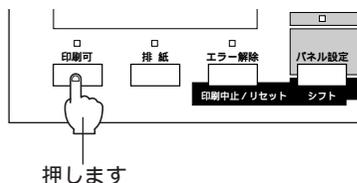
アプリケーションソフトから印刷を実行します。

# 印刷の中止方法

1

プリンタの **印刷可** スイッチを  
押します。

印刷可ランプが消灯し、印刷不可状  
態になります。



コンピュータ上の印刷処理が続いているときは、以下の方法で削除します。  
画面右下のタスクバー上のプリンタアイコンをダブルクリックします。  
中止したい印刷データをクリックして選択し、[プリンタ(P)]メニューの[印刷  
ジョブのクリア(U)]をクリックします。



2

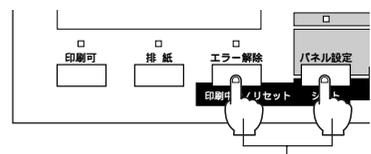
データランプが点滅しなくなり、点灯していることを確認します。

データランプの点滅中は、データを受信しています。データを受信し終えるま  
でお待ちください。

3

**シフト** スイッチと **エラー解除**  
スイッチを同時に押します。

受信データが消去されます。上記ス  
イッチを5秒以上押しと電源投入時  
の状態まで初期化(リセットオール)  
されますのでご注意ください。



**シフト**( **パネル設定** )スイッチを押したまま  
**エラー解除**スイッチを押します

Win

印刷の中止方法



# Macintoshからの印刷

ここでは、Macintoshからの印刷方法について説明します。  
Macintoshでは、カラー印刷が可能です。

印刷の実行と設定 .....	100
カラー印刷の設定について .....	110
ColorSync2.0について .....	113
[プリンタセットアップ]画面 .....	115
便利な印刷機能について .....	116
印刷の中止方法 .....	119

# 印刷の実行と設定

ここでは、Macintoshでの印刷の設定方法や実行の手順について説明します。

画占率の高いデータの印刷時や連続印刷時、印刷の途中で動作を一時的に休止する場合があります。これは良好な印刷品質を保つために、プリンタが内部機能の自動調整を行うためです。自動調整が終わると、印刷を自動的に再開します。

## 用紙設定の手順

実際に印刷データを作成する前に、プリンタドライバ上で用紙サイズなどを設定します。

アプリケーションソフトウェアによっては、独自の用紙設定ダイアログを表示することがあります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。



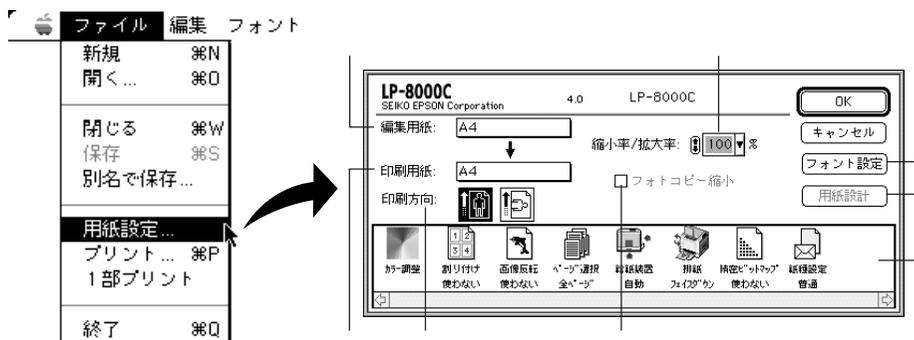
ポイント

用紙設定をする前にセレクトでLP-8000C用プリンタドライバを選択してください。

📖 本書「プリンタドライバの設定」47ページ

1

[ファイル]メニューから[用紙設定](または[プリンタの設定]など)を選択します。



各項目の内容については、次ページを参照してください。

2

各項目を設定します。

表示されている設定条件で良ければ、設定する必要はありません。

3

OK ボタンをクリックして終了します。

## 用紙設定ダイアログ

### 編集用紙

作成する書類のアプリケーション上の用紙サイズを設定します。

### 印刷用紙

実際に印刷する用紙サイズを設定します。編集用紙と異なるサイズを指定したときは印刷用紙に合わせて自動的に縮小 / 拡大されて印刷します。

### 印刷方向

用紙の挿入方向に対する印刷方向を、縦横のいずれかで選択します。

### 縮小 / 拡大率

印刷するときの縮小 / 拡大率を 25 ~ 400% の範囲で 1% 単位で設定します。

### フォトコピー縮小

用紙の中央に指定された縮小率で印刷します。縮小率 / 拡大率が 99% 以下のときのみ有効です。

### フォント設定

フォントの置換条件を設定するダイアログを開きます。設定に関しては次ページを参照してください。

🔗 本書「フォント設定の手順」102 ページ

### 用紙設計

不定型サイズ (名称未設定) の用紙を設定するダイアログを開きます。定形用紙が選択されている場合は、無効です。

🔗 本書「用紙サイズの登録 / 変更」105 ページ

### 各種設定アイコン

各種の印刷オプションの設定を行うためのアイコンです。

アイコンをクリックすると、印刷オプションの設定が切り替わったり、印刷オプションの設定画面が表示されます。

「画像反転」、「精密ビットマップ」以外のアイコンは [印刷ダイアログ] でも表示されるため、印刷の直前で印刷オプションの設定を変更できます。

各アイコンの設定内容については、次の章を参照してください。

🔗 本書「印刷ダイアログ」107 ページ

## フォント設定の手順

Mac

フォントの置き換えは、Macintoshのディスプレイ上で表示されているフォントをプリンタに内蔵されているフォントで置き換えて印刷する機能です。この機能を使用すると、印刷速度が速くなります。

印刷ダイアログの「印字方法」が「品質優先」に設定されている場合、フォントの置き換えはできません。

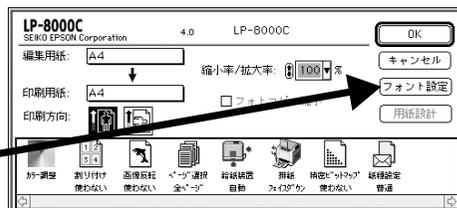


ポイント

フォントの置き換えをして印刷を実行した場合、TrueTypeフォントを印刷する場合などに比べて印刷速度は速くなりますが、ディスプレイ上で見たままの印刷結果が得られなくなる場合があります。

1

用紙設定ダイアログの「フォント設定」ボタンをクリックします。

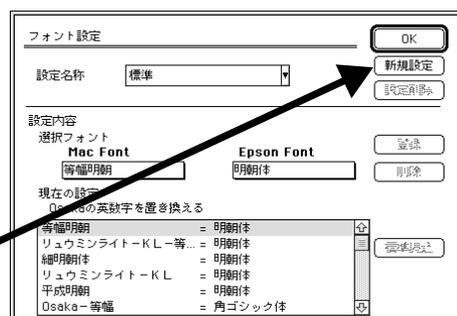


クリックします

2

新規設定 ボタンをクリックします。

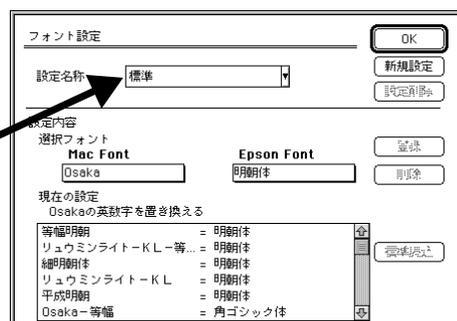
すでに登録されているファイルを変更する場合は、設定名称のリストボックスから選択し ④ へ進みます。



クリックします

3

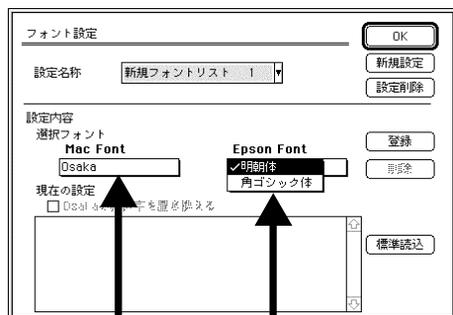
[設定名称]に任意の名称を入力します。



入力します

4

[MacFont]から置換したい TrueType フォントを、[Epson Font]から置換するプリンタ フォントを選択します。



選択して

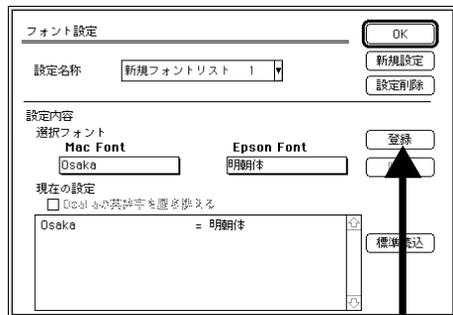
選択します

標準以外のフォント設定では、Osakaフォントに限り、漢字フォントと英数字フォントを別々に設定できます。

5

**登録** ボタンをクリックします。

[現在の設定]に登録されます。



クリックします

ほかに置換したいフォントがある場合には、**4** と **5** を繰り返します。

6

**OK** ボタンをクリックします。

これで、フォントの置換方法が保存されました。保存した置換方法を使用する場合は[設定名称]のリストボックスから設定した名称を選択してください。

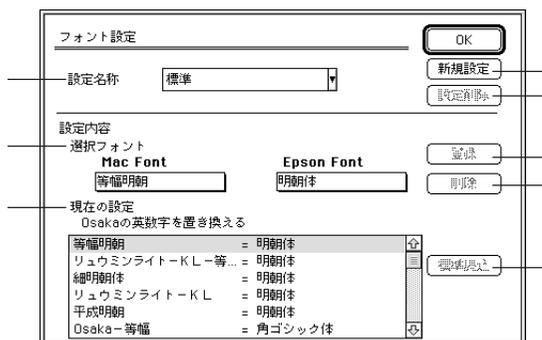


ポイント

登録したフォント置換の設定は、印刷ダイアログで「プリンタフォント使用」のチェックボックスをチェックしたときに有効になります。

## フォント設定ダイアログ

Mac



### 設定名称

フォントの置き換え条件を登録するファイル名称です。登録したファイルを使用する場合は、リストボックスから選択して、**OK** ボタンをクリックします。

### 新規設定 ボタン

登録ファイルを新規に作成します。

### 設定削除 ボタン

指定した登録ファイルを削除します。

### 選択フォント

フォントの置き換え条件を対応させます。

Mac Font : Macintoshのシステムにインストールされているフォントです。

Epson Font : プリンタに搭載されているフォントです。

### 現在の設定

現在のフォントの設定状況がリストで表示されます。クリックすると「選択フォント」に表示されるので、設定を変更できます。

### 標準読み込み ボタン

標準のフォント置き換えの設定を読み込んで、「現在の設定」リストに表示します。標準の設定を元にして変更するときなどに便利です。

### 登録 ボタン

変更した設定を、表示されている「設定名称」に登録します。

### 削除 ボタン

「現在の設定」で指定しているフォントの設定を削除します。

## 用紙サイズの登録 / 変更

Mac

用紙設計ダイアログでは、新しい用紙サイズを登録したり、以前に登録した用紙サイズを変更できます。

1

用紙設定ダイアログの[編集用紙]から名称未設定 1 ~ 5 のいずれかを選択します。

変更する場合は、[編集用紙]から以前に設定した変更したい用紙を選択し、**用紙設計** ボタンをクリックします。

2

新規作成する名称を入力します。

入力します

3

サイズを入力します。

必要に応じて単位を「センチ / インチ」で切り替えます。

入力します

4

マージン(余白)を必要に応じて変更して、**OK** ボタンをクリックします。



ポイント

- 本機の最小印字領域は縦横 50mm ずつです。
- 本機の最小マージンは、上下左右とも 5mm ずつです。設定したマージン(余白)がプリンタの印刷領域を超える場合は、画面の一部しか印刷されなかったり、2 ページに分かれて印刷されることがあります。
- 一部のアプリケーションソフトでは、設定した印刷領域外に、印刷データを作成できる場合があります。この場合、印刷領域外のデータは、印刷されませんのでご注意ください。
- 「用紙サイズ」は、プリンタドライバ上では縦 14cm ~ 90cm、横 9cm ~ 50cm まで入力できますが、本機が実際に扱えるサイズは縦 9cm ~ 45.3cm、横 9cm ~ 32.8cm です。  
縦 45.3cm、横 32.8cm を超える値を設定した場合、印刷データが「印刷用紙」の用紙サイズに納まるよう、「縮小 / 拡大率」を設定してください。

印刷の実行と設定

## Macintosh での印刷手順

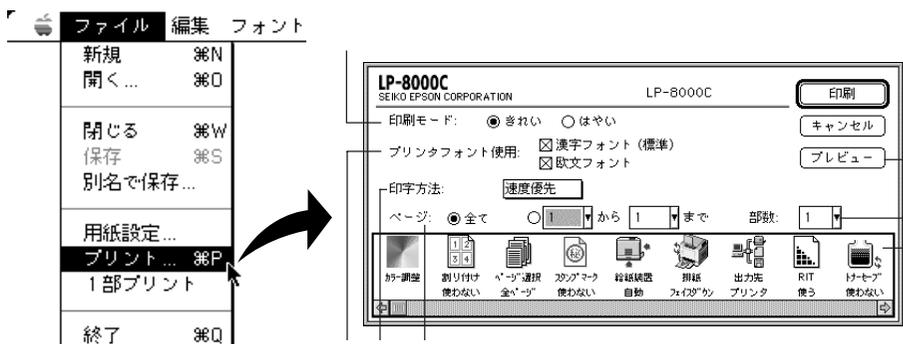
Mac

印刷する前に、印刷部数などを設定します。印刷関係の項目は以下のダイアログボックスで設定します。

アプリケーションソフトウェアによっては、独自の印刷ダイアログを表示する場合があります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

1

[ファイル]メニューから[プリント](または[印刷])を選択します。



2

各項目を設定します。

表示されている内容で良ければ設定する必要はありません。

3

**印刷** ボタンをクリックして、印刷を実行します。

## 印刷ダイアログ

### 印刷モード

印刷品質（解像度）を「はやい」（300DPI）、「きれい」（600DPI）から選択します。「きれい」を選択してもプリンタのメモリ容量によっては印刷できない場合があります。

### プリンタフォント使用

フォント置換をする / しないを設定します。チェックするとTrueTypeフォントをプリンタフォントに自動的に置き換えて印刷します。

📖 本書「フォント設定の手順」102ページ

### 印字方法

グラフィックスイメージの処理方法を選択します。通常は「速度優先」を選択してください。

速度優先：通常は、この設定で印刷します。

「速度優先」では、PGI機能を使用してカラー印刷を行います。

「品質優先」に比べると印刷品質は低くなりますが、印刷に要する時間は短くなります。

品質優先：より高品質な印刷結果を求める場合に選択します。

「品質優先」では、CPGI機能を使用してカラー印刷を行います。

「速度優先」に比べると印刷品質は高くなりますが、印刷に要する時間は長くなります。

また「品質優先」を選択する場合は、メモリの増設をお勧めします。

モノクロ：モノクロでの印刷を行う場合に選択します。

「モノクロ」では、ハーフトーン処理により中間色やグレースケールをモノクロの階調化して印刷します。

### ページ

印刷するページの範囲を設定します。

### 部数

印刷する部数を設定します（1～255）。

### プレビュー

印刷イメージを確認できるプレビューダイアログが表示されます。

## 各種設定アイコン

各アイコンをクリックして選択します。

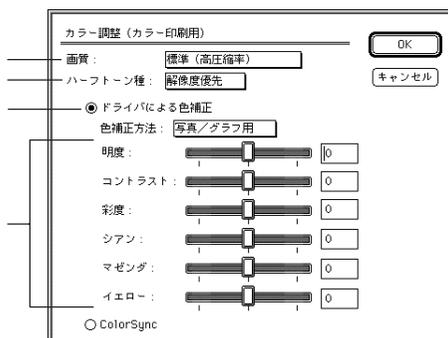
 カラー調整	カラー調整 カラー印刷に関する詳細な設定を行います。 アイコンをクリックすると、画像の品質や色の調整を設定できます。 本書「カラー印刷の設定について」110ページ
 割り付け	割り付け 2ページまたは4ページ分の連続したデータを、1枚の用紙に入るように縮小し、割り付けて印刷することができます。アイコンをクリックすると、割り付けるページ数と割り付けの順序が設定できます。
 画像反転	画像反転 印刷する画像を、用紙に対して上下または左右に反転して印刷できます。 アイコンをクリックすると反転する方向を選択できます。 本機で封筒に印刷する場合、封筒のフラップ（閉じ口）を開き、給紙方向に対し後ろに向けてセットする必要があります。このため封筒に印刷する場合は上下反転を指定してください。 本アイコンは「用紙設定ダイアログ」のみに表示されます。
 ページ選択	ページ選択 印刷するページを「全ページ」「奇数ページ」「偶数ページ」から選択します。
 スタンプマーク	スタンプマーク 印刷データに「  」等のイメージを重ね合わせて印刷します。 アイコンをクリックすると、スタンプマークに関する設定ができます。 本アイコンは「印刷ダイアログ」のみに表示されます。 本書「スタンプマーク」116ページ
 給紙装置	給紙装置 給紙装置の設定をします。アイコンをクリックするとプリンタのイラストが表示されます。設定したい給紙装置をクリックしてください。この際、用紙設定ダイアログの[印刷用紙]サイズも変更した給紙装置にセットされている用紙サイズに変更されます。
 排紙	排紙 アイコンをクリックすると、フェイスアップトレイに排紙するか、フェイスダウントレイに排紙するかが切り替わります。 次の用紙はフェイスダウントレイには排紙できません。これらの用紙の場合、自動的にフェイスアップトレイに排紙されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ハガキ/封筒/厚紙/EPSON製カラーレーザープリンタ用OHPシート/ラベル紙</li> <li>B5サイズ未満の普通紙/EPSON製カラーレーザープリンタ用上質普通紙</li> </ul>
 精密ビットマップ	精密ビットマップ 印刷するサイズを通常より4%縮小することで、画像の輪郭のギザギザを少なくします。 本アイコンは「用紙設定ダイアログ」のみに表示されます。アイコンをクリックすると、精密ビットマップを使用するかしないかを設定できます。
 出力先	出力先 印刷データの出力先を「プリンタ」「PICTファイル」「ESC/Pageファイル」の中から選択することができます。 本アイコンは「印刷ダイアログ」のみに表示されます。

 <p>RIT</p>	<p>RIT          小さなポイントの文字や細かい曲線などギザギザの出やすい部分をはっきり、なめらかに印刷するEPSON独自の機能です。モノクロ印刷時、アイコンをクリックすると「使う / 使わない」を設定できます。          カラー印刷時は、アイコンをクリックしても設定はできません。カラー印刷時は印刷モードが「はやい」( 300DPI )で、印字方法が「速度優先」( PGI機能 )の場合にRITが有効になります。          本アイコンは「印刷ダイアログ」のみに表示されます。</p>
 <p>トナーセーブ</p>	<p>トナーセーブ          色の階調表現や濃度を抑えトナーを節約します。内容確認など、印刷品質を必要としない場合にご使用ください。アイコンをクリックすると「使う / 使わない」が切り替わります。</p>
 <p>紙種設定</p>	<p>紙種設定          印刷する紙の種類を「普通」「厚紙」「OHPシート」の中から選択します。EPSON製カラーレーザープリンタ用上質普通紙や普通紙の場合は「普通」を選択してください。          EPSON製カラーレーザープリンタ用OHPシートの場合は「OHPシート」を選択してください。「はがき」「封筒」など厚手の紙の場合は、アイコンをクリックして、「厚紙」を選択してください。</p>
 <p>プリンタ情報</p>	<p>プリンタ情報          アイコンをクリックすると、プリンタの情報( メモリ、オプションの装着状態など )が表示されます。</p>

# カラー印刷の設定について

カラー印刷に関する設定は、用紙設定ダイアログや印刷ダイアログの下部に表示される各種設定アイコンの中の、「カラー調整」アイコンをクリックして行います。

「カラー調整」アイコンをクリックすると次のダイアログが表示されます。



各項目の意味は次の通りです。

## 画質

印刷の画質を「標準 (高圧縮率)」、「高画質」、「最高画質 (低圧縮率)」の中から選択します。

画質を高くすると印刷に要する時間が長くなります。印刷する画像や、印刷の目的に応じて選択してください。

## ハーフトーン<sup>\*1</sup>種

ハーフトーン処理の方法を選択します。

「解像度優先」：色調や階調の変化よりも、解像度を優先したハーフトーン処理を行います。

細い線や細かい模様などがある画像を印刷するのに適しています。

「階調優先」：色調や階調の変化の表現を優先したハーフトーン処理を行います。

写真やグラデーションなど、色調や階調が無段階に変化する画像を印刷するのに適しています。

<sup>\*1</sup> ハーフトーン：色の階調表現

### ドライバによる色補正

「色補正方法」の中から選択した設定内容に従い、印刷する書類の色バランスを整えます。

ポップアップメニューからは、次の5項目が選択できます。

- 「写真 / グラフ用」 : 写真やグラデーションのある画像のように、無段階に色調が変化するデータを印刷する場合に選択します。
- 「グラフ用」 : グラフィックなどの、色調の変化が少ないデータを印刷する場合に選択します。
- 「自然な色あい」 : より自然な発色状態になるように色処理を行います。
- 「あざやかな色あい」 : 彩度(あざやかさ)を上げ、色味を強くする色処理を行います。
- 「色補正なし」 : ドライバによる色補正を行いません。ColorSync用プロファイルを作成する際の、基準色を印刷するときに選択します。通常は選択しないでください。

### 各スライドバーについて

「色補正方法」の下にある6つのスライドバーを調整することにより、お好みに合わせて色バランスを変更することが可能です。

📖 巻末カラーページ「イメージ補正」(11) ページ

「カラーコントロールの調整」(12) ページ

ColorSync™ を選択したときは設定できません。

- 「明度」 : 画像の明るさをスライドバーで調整できます。調整範囲は、標準を0として、-25 ~ 25%の間で、マイナス(-)方向には暗く、プラス(+ )方向には明るくなります。明度は画像全体の明るさを調整しますので、全体的に暗いものや明るいものに対して有効です。
- 「コントラスト」 : 画像の明暗比をスライドバーで調整できます。調整範囲は、標準を0として -25 ~ 25%の間です。コントラストを上げると、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。逆にコントラストを落とすと、画像の明暗の差が少なくなります。明暗の差をはっきりさせたいときや、逆に明暗の差をなくしたいときに有効です。

- 「彩度」 : 画像の彩度(色のあざやかさ)をスライダーで調整できます。調整範囲は、標準を0として - 25 ~ 25%の間です。彩度を上げると、色みが強くなります。逆に彩度を落とすと、色みがなくなり、無彩色化されてグレーに近くなります。色をはっきりとさせたいときや、逆に色みを落としたいときに有効です。
- 「シアン」 : それぞれの強さだけをスライダーで調整できます。
- 「マゼンタ」 : 調整範囲は、標準を0として、 - 25 ~ 25%の間です。
- 「イエロー」

	< - > <----- 0 -----> > < + >
シアン	赤みが強くなります。 青緑(シアン)が強くなります。
マゼンタ	緑色が強くなります。 赤紫(マゼンタ)が強くなります。
イエロー	青色が強くなります。 黄色(イエロー)が強くなります。

## ColorSync

ColorSyncによるカラーマッチングを行います。

- 色合わせについての説明を巻末カラーページに掲載してありますので、参照してください。  
[📄 巻末カラーページ「より高度な色合わせについて」\(13\)ページ](#)
- ColorSyncについての詳細は、「ColorSync 2.0について」を参照してください。  
[📄 「ColorSync 2.0について」113ページ](#)

## 各種ボタン

- OK** ボタン : 設定した内容を有効にして[印刷]ダイアログに戻ります。
- キャンセル** ボタン : 設定した内容を無効にして[印刷]ダイアログに戻ります。

# ColorSync 2.0 について

本機のプリンタドライバは、ColorSync 2.0 に対応しています。

## ColorSyncとは

スキャナ・ディスプレイ・プリンタの色の表現は、それぞれのメーカー・モデル毎に異なるため、原画とディスプレイ表示、および印刷結果の色を一致させることは非常に困難でした。

例えば、ディスプレイには赤っぽく表示するディスプレイもあれば、逆に青っぽく表示するディスプレイもあります。これに対してプリンタは、ディスプレイの表示色に合わせて印刷をしているわけではないので、ディスプレイ上に表示される色と、プリンタから印刷される色との間で食い違いが生じてしまうわけです。

これに対応して、機器間のカラーマッチング（色合わせ）を行い、原画とディスプレイ表示、および印刷結果を一致させるための方法の1つがColorSyncと呼ばれるものです。

- 原画と印刷結果の色合わせを行うためには、画像入力機器・画像取り込みアプリケーションソフトがColorSyncに対応している必要があります。スキャナなどから画像を取り込む際にColorSyncの指定ができる場合は、指定してください。
- 巻末カラーページにカラーマッチングについての説明を記載しておりますのであわせてご覧ください。  
📄 巻末カラーページ「より高度な色合わせについて」(13) ページ

## ColorSyncを使用するときの準備作業

ColorSyncを使用する場合は、以下の手順により、お使いのディスプレイのシステム特性を設定する必要があります。

1

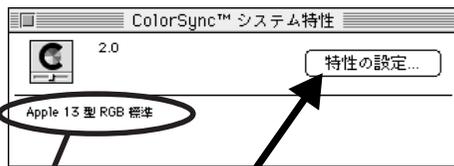
コントロールパネル内の「ColorSync™ システム特性」アイコンをダブルクリックします。



ダブルクリックします

2

ご使用のディスプレイタイプが選択されているかを確認します。選択されていない場合は、「特性の設定...」ボタンをクリックします。



確認します

ご使用のディスプレイが選択されていない場合は、クリックします

## 3

お使いのディスプレイタイプを一覧の中から選択し、「選ぶ」ボタンをクリックします。

ディスプレイタイプが一覧の中にない場合は、最適なシステム特性について、ディスプレイメーカーへお問い合わせください。



クリックします

以上で準備作業は終了です。

実際にColorSyncのカラーマッチングを使用して印刷をする場合は、プリンタドライバのカラー調整ダイアログで「ColorSync™」を選択して印刷を実行してください。

📖 本書「カラー印刷の設定について」110ページ



ポイント

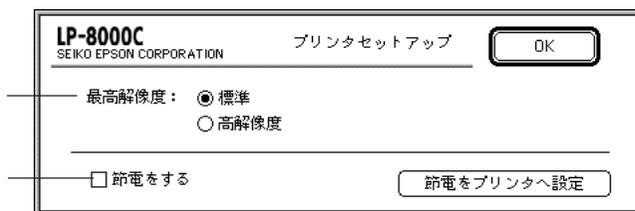
- ColorSyncを使用して色合わせを行う場合は、RGBの画像データを使用してください。CMYK、Labなどのデータでは、正しく色合わせを行うことができません。
- ColorSyncを使用して印刷したにもかかわらず、ディスプレイ上の色合いと印刷結果が異なる場合は、次の理由が考えられます。
  - 1) ディスプレイ調整(モニタキャリブレーション)が正しく行われていない。
  - 2) ディスプレイの経年変化(劣化)により、色表示にズレが生じている。
 このような場合は、巻末カラーページのカラーマッチングについての記載を参照して、印刷した結果に合わせるようにディスプレイの調整(モニタキャリブレーション)を行ってください。  
 📖 「より高度な色合わせについて」(13)ページ
- 一部のアプリケーションソフトウェアでは、ソフトウェア上でColorSyncの設定が行えます(AdobePageMaker6.5J、Photoshop4.0J、Illustrator7.0Jなど)。ソフトウェア上でColorSyncの設定を行う場合は、プリンタドライバでは「ColorSync」を選択せず、[ドライバによる色補正] - [色補正なし]を指定してください。

# [プリンタセットアップ]画面

[セレクト]ダイアログボックスで本機のプリンタドライバを選択している場合、[セレクト]ダイアログボックスで **セットアップ** ボタンをクリックすると [プリンタセットアップ] ダイアログが表示されます。

[プリンタセットアップ]ダイアログボックスでは、最高解像度と節電機能について設定できます。

Mac



## 最高解像度

印刷の実行時、プリンタドライバは、本機がどの解像度に対応しているかをアプリケーションソフト側に伝えます。「最高解像度」はこの値を次のように切り替えます。

**標準** : 本機の解像度を72DPI/300DPIとしてアプリケーションソフト側に伝えます。

**高解像度** : 本機の解像度を72DPI/600DPIとしてアプリケーションソフト側に伝えます。



ポイント

「最高解像度」は、実際に印刷する際の解像度を指定するものではありません。実際の印刷は、[印刷]ダイアログの「印刷モード」で指定した解像度で行われます。

「最高解像度」は、使用しているアプリケーションソフトが対応している解像度に合わせて設定してください。

また、アプリケーションソフトによっては、「印刷モード」を「きれい」(600DPI)に設定していると、印刷時にエラーが発生する場合があります。この場合、「最高解像度」を「標準」に設定すると、「きれい」(600DPI)のままでも正常に印刷できるようになります。

## 節電をする

節電機能を有効にすると、印刷待機時の電力消費が少なくなります。ただし、印刷開始時にウォームアップをするため、印刷開始が遅くなる場合があります。

「節電をする」の左側のチェックボックス(□)をクリックし、続いて

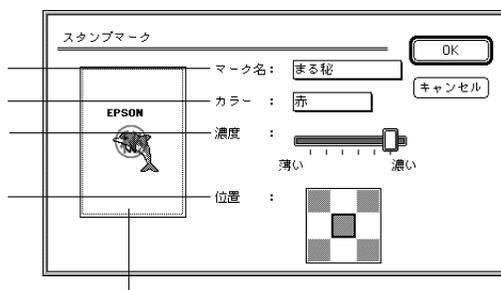
**節電をプリンタへ設定** ボタンをクリックすると、節電機能が有効になります。

# 便利な印刷機能について

## スタンプマーク

Mac

印刷データに「秘」などのイメージを重ね合わせて印刷します。「印刷」ダイアログ下部の各種設定アイコンの中から「スタンプマーク」アイコンをクリックすると、次の画面が表示され、スタンプマーク印刷の設定が行えます。



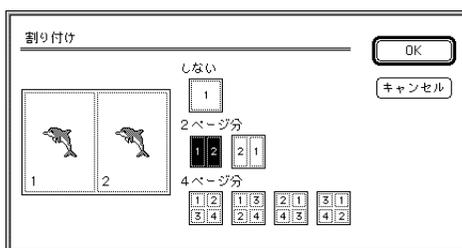
- マーク名 : マークをポップアップメニューから選択します。  
「なし」を選択すると、スタンプマーク印刷を行いません。
- カラー : マークの印刷カラーが選択できます。ただし、新規に登録したマークの色指定はできません。
- 濃度 : 印刷する際のマークの濃さを調整できます。
- 位置 : 中央 / 右上 / 右下 / 左上 / 左下のグレーの四角をクリックして、マークの位置を指定します。
- プレビュー部 : 印刷するマークのイメージが表示されます。  
ここに表示されるイメージをドラッグすることで、マークの印刷位置やサイズを任意に変更できます。

## スタンプマークの追加 / 削除

各スタンプマークは、「システムフォルダ」中の「EPSON Print4」の「初期設定」フォルダ中に PICT 形式のファイルで登録されています。アプリケーションソフトで任意のマークを作成して PICT ファイルとして保存し、上記の「初期設定」フォルダの中にそのファイルを登録することで、スタンプマークを追加できます。スタンプマークを削除するときは、上記の「初期設定」フォルダから削除したいスタンプマークの PICT ファイルを削除します。

## 割り付け

2ページまたは4ページの連続したデータを、1ページにまとめて印刷できます。「印刷」ダイアログ、または「用紙設計」ダイアログ下部の各種アイコンの中から「割り付け」アイコンをクリックすると、次の画面が表示され、割り付け印刷の設定が行えます。



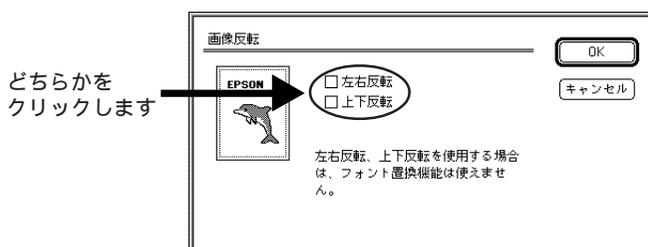
1枚の用紙に割り付けるページ数とページの順序をクリックして選択します。「印刷方向」が「横」の場合、2ページ分のページの順序は1種類になります。「しない」を選択すると、割り付け印刷を行いません。

## 画像反転印刷

Mac

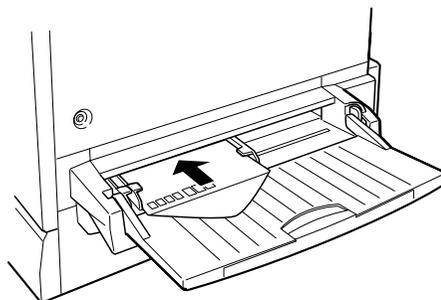
「印刷」ダイアログ、または「用紙設計」ダイアログ下部の各種アイコンの中から「画像反転」アイコンをクリックすると次の画面が表示されます。

「左右反転」、「上下反転」をクリックして、画像反転の方向を選択します。



本機で封筒に印刷する場合、紙送りの機構上、封筒のフラップ(閉じ口)を開いて給紙方向に対し後ろに向けてセットしなければなりません。

このため封筒に印刷するときは、「画像反転」ダイアログで「上下反転」を選択して上下を逆に印刷してください。



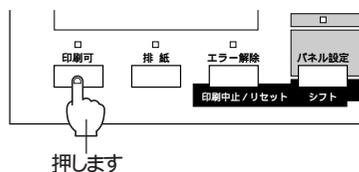
便利な印刷機能について

# 印刷の中止方法

1

プリンタの **印刷可** スイッチを押します。

印刷可ランプが消灯し、印刷不可状態になります。



Mac

Macintosh が印刷処理を続行しているときは、コマンド ( ⌘ ) キーを押しながらピリオド ( . ) キーを押して、印刷を中止します。

2

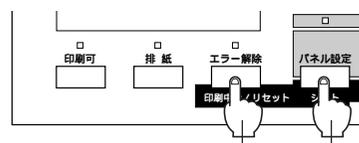
データランプが点滅しなくなり、点灯していることを確認します。

データランプの点滅中は、データを受信しています。データを受信し終えるまでお待ちください。

3

**シフト** スイッチと **エラー解除** スイッチを同時に押します。

受信データが消去されます。



**シフト** スイッチ ( **パネル設定** スイッチ ) を押したまま **エラー解除** スイッチを押します



ポイント

**シフト** スイッチと **エラー解除** スイッチを5秒以上押し続けると、電源投入時の状態まで初期化 (リセットオール) されますのでご注意ください。  
📖 本書「リセットオールについて」204ページ

印刷の中止方法



# Windows3.1 からの印刷

ここでは、Windows3.1 からの印刷方法について説明しています。

Windows3.1 では、モノクロ印刷のみ可能です。

印刷の実行 .....	122
印刷の設定 .....	124
印刷の中止方法 .....	135

# 印刷の実行

ここでは、Windows3.1 アプリケーションでの、印刷の設定のしかたと実行の手順について説明します。



プリンタドライバをインストールしてから行ってください。  
本書「Windows3.1/NT3.5xでのインストール」51 ページ

画占率の高いデータの印刷時や連続印刷時、印刷の途中で動作を一時的に休止する場合があります。これは良好な印刷品質を保つために、プリンタが内部機能の自動調整を行うためです。自動調整が終わると、印刷を自動的に再開します。

## 印刷の手順

印刷の手順はお使いのアプリケーションソフトウェアによって異なります。詳細は各アプリケーションの取扱説明書を参照してください。

ここでは、Windows3.1 に添付の「ライト」を例に説明します。

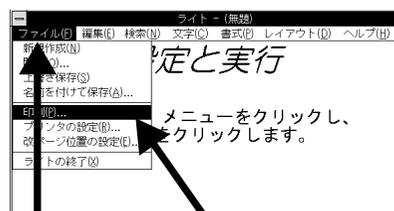
Windows3.1 「ライト」の起動方法：  
プログラムマネージャの[アクセサリ]グループの[ライト]アイコンをダブルクリックします。

1

「ライト」を起動し、印刷データを作成します。

2

[ファイル(F)]メニューをクリックし、[印刷(P)...]をクリックします。



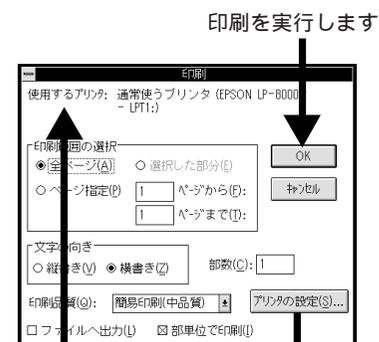
クリックしてから      クリックします

3

お使いのプリンタが選択されていることを確認し、各項目を設定します。

- **プリンタの設定(S)...** ボタンをクリックすると印刷条件を設定することができます。
- **OK** ボタンをクリックすると、印刷を実行します。

- **オプション(O)...** ボタンをクリックするとプリンタドライバの[基本設定]が開きます。



確認します

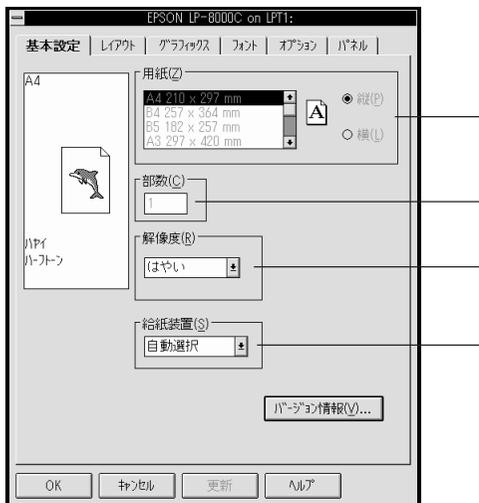


クリックします

# 印刷の設定

## [ 基本設定 ] 画面

Win

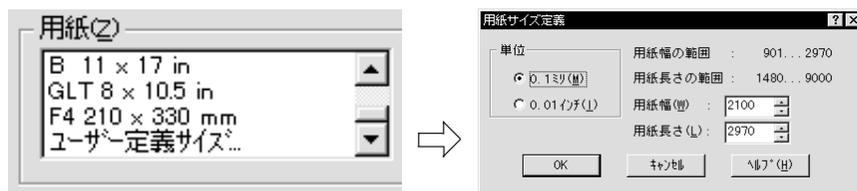


### 用紙(Z)

作成した印刷データの用紙のサイズをクリックして選択します。目的の用紙サイズが表示されていない場合は、スクロールバーの をクリックして表示させます。

ユーザー定義サイズについて：

用紙(Z)の一覧から「ユーザー定義サイズ」を選択することにより、任意の用紙サイズを設定することができます。



ポイント

アプリケーションソフト上の文書サイズとプリンタドライバ上の用紙サイズは必ず一致させてください。サイズが異なる場合、アプリケーションソフトウェアによっては、間違ったサイズで印刷することがあります。

### 縦(P)/横(L)(用紙の向き):

印刷データの印刷する方向を縦・横のいずれかをクリックして選択します。

### 部数(C)

印刷する部数を設定します。最大 255 まで入力可能です。

### 解像度(R)

解像度を「はやい(300DPI)/きれい(600DPI)」から選択します。

解像度はDPI(1インチあたりのドット数)で表示します。「きれい」を選択すると印刷の表現力は向上しますが、印刷時間は長くなります。



ポイント

メモリ関連のエラーメッセージが表示される場合は、解像度を「はやい」に設定してください。

### 給紙装置(S)

「用紙トレイ」「用紙カセット1」「自動選択」およびオプションの給紙装置の中から選択します。オプション給紙装置は、オプションの設定をしないと表示されません。

オプションの増設カセットユニットを装着し、オプションの設定をすると「用紙カセット2」～「用紙カセット4」と表示されます。

📖 本書「オプション装着時の設定(Windows3.1/NT3.5x)」54ページ

「自動選択」を選択すると、設定した用紙サイズのセットされている給紙装置を自動的に選択し給紙します。



### 拡大 / 縮小印刷(I)

拡大または縮小して印刷することができます。

ボタンをクリックすると、拡大縮小機能が有効になり以下の項目が設定できます。

### 出力用紙(P)

プリンタにセットした実際に印刷する用紙サイズをリストボックスから選択すると、自動的に拡大 / 縮小率を設定します。ただし[任意倍率 (F)]を選択すると任意の倍率で印刷します。

### 任意倍率(F)

チェックボックスをチェックすると 50% ~ 200% までの任意の倍率を設定できます。



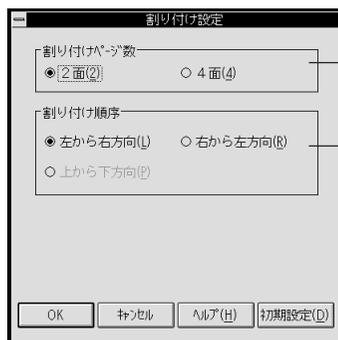
ポイント

拡大縮小を有効にした場合、割り付け(N)は選択できません。

### 割り付け(N)

2 ページ、または 4 ページ分の連続したデータを、用紙のサイズに合わせて自動的に縮小し、1 枚の用紙に割り付けて印刷することができます。ボタンをクリックすると、**割り付け設定(S)** ボタンが有効になります。

**割り付け設定(S)** ボタンをクリックすると、[割り付け設定]メニューが表示されます。



#### 割り付けページ数

1枚の用紙に割り付ける面数(ページ数)を選択します。

#### 割り付け順序

割り付けた面(ページ)を、どのような順番で配置するのかを選択します。  
面数、用紙の向き(縦・横)によって、選択できる割り付け順序の種類が異なります。

#### フォーム(O)

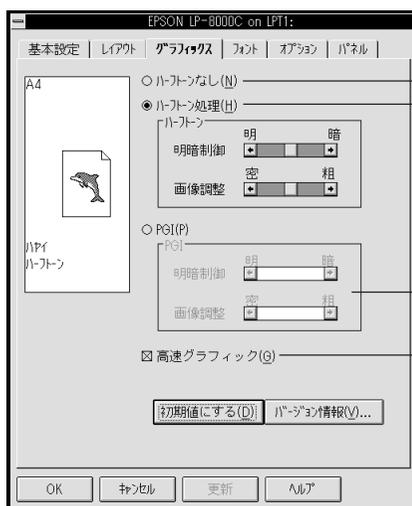
モノクロのフォームオーバーレイユーティリティ「EPSON Form!2」で作成したフォームデータを使用するときにクリックします。ボタンをクリックすると、**フォーム設定(R)** ボタンが有効になります。

**フォーム設定(R)** ボタンをクリックすると[フォーム設定]ダイアログボックスが表示されます。

詳細はEPSON Form! 2 に添付の取扱説明書を参照してください。

#### 逆方向から印刷(G)

印刷データを180度回転して印刷する場合にクリックします。封筒などに印刷する場合、フラップ(閉じ口)を開いて、フラップのある側を後ろに向けてセットする必要があるため、封筒への印刷時に指定します。



### ハーフトーンなし(N)

ハーフトーン処理をしません。グレースケールや中間色を表現できませんので、濃淡や色調のない画面になります。

### ハーフトーン処理(H)

ボタンをクリックすると、グラフィックイメージのハーフトーン処理を行います。

PGIまたは、[オプション]画面内の「重ね合わせ描画優先処理」をチェックしていると、ハーフトーン処理は選択できません。また、ハーフトーン処理をチェックしていると、PGIは選択できません。

📖 本書「[オプション]画面」132ページ

「明暗制御」、「画像調整」では、印刷の明暗、印刷の粗密をスライドバーで調整できます。



ポイント

画面調整を密にして印刷した紙をコピーすると、中間色の部分がきれいにコピーされないため、コピーをとる場合は、画像調整は密にしないことをお勧めします。

### PGI(P)

ボタンをクリックすると、PGI(Photo and Graphics Improvement)処理を行います。

ハーフトーン処理または、[オプション]画面内の「重ね合わせ描画優先処理」をチェックしていると、PGIは選択できません。また、PGIをチェックしていると、ハーフトーン処理は選択できません。

グラデーションなどの無段階に階調が変化する画像を印刷するときは、PGIを有効にすると、よりきれいに印刷できます。

ただし、印刷内容によってはメモリの不足で印刷できないことがあります。



ポイント

アプリケーションソフトウェアで独自のハーフトーン処理を行っている場合、PGIを有効にすると意図した印刷結果が得られないことがあります。この場合はPGIを選択しないでください。

「明暗制御」、「画像調整」では、印刷の明暗、印刷の粗密をスライダーで調整できます。



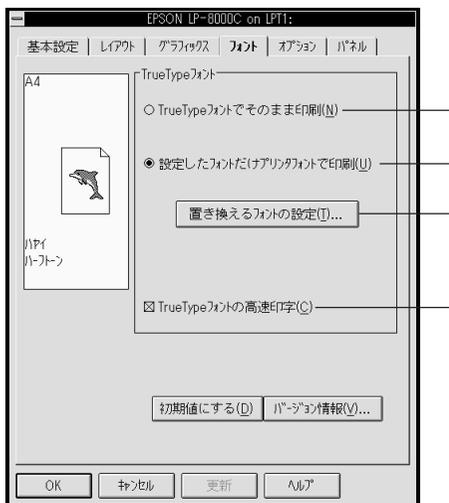
ポイント

画像調整を密にして印刷した紙をコピーすると、中間色の部分がきれいにコピーされないため、コピーをとる場合は、画像調整は密にしないことをお勧めします。

### 高速グラフィック(G)

グラフィックス(円や矩形などを重ねて描いた図形)を高速に印刷する機能です。この機能を使用してグラフィックスが正常に印刷されなかった場合は、使用しないでください。

TrueTypeフォント\*1をプリンタフォント\*2で置き換えて印刷するかどうかを設定します。TrueTypeフォントをプリンタフォントで置き換えると、コンピュータからプリンタに送る印刷データが少なくなるので、印刷時間が短くなります。



TrueType フォントでそのまま印刷(N):  
TrueType フォントをプリンタフォントに置き換えません。

設定したフォントだけプリンタフォントで印刷(U):  
TrueTypeフォントを[置き換えるフォントの設定(T)]の設定に従って置き換えて印刷します。

置き換えるフォントの設定(T):  
このボタンをクリックすると、次の画面が表示され、フォントの置き換えの組み合わせを設定できます。



\*1 TrueType フォント : 米 Apple 社が開発したアウトラインフォント技術を使用したフォント。  
ぎざぎざのない出力を可能にしている。

130 \*2 プリンタフォント : ここでは、プリンタ本体が装備しているフォントを指す。

「TrueTypeフォント(T)」の中から置き換えるフォントをクリックして選択し、「プリンタフォント(P)」の中から置き換えるフォントをクリックして選択します。置き換えるフォントを全て設定したら、**OK** ボタンをクリックして終了します。

オプションのフォントROMモジュールをプリンタに装着している場合に、フォントROMモジュールのフォントを使用するには、[オプション]設定が必要です。

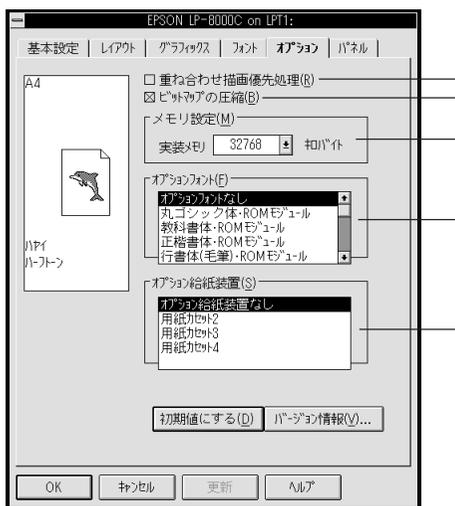
#### TrueTypeフォントの高速印字(C)

一度印刷したTrueTypeフォントをプリンタのメモリに記録する機能です。同じ文字を2回目以降に印刷するときはメモリに記録されたデータを使用するので、処理時間が短くなります。



ポイント

最適なTrueTypeフォントの高速印字をするには、[オプション]メニューの[メモリ設定]で適切なメモリサイズを設定する必要があります。[メモリ設定]が適切でない場合、正常に印刷できない場合があります。



### 重ね合わせ描画優先処理(R)

グラフィックスや文字などを重ね合わせている場合に、思い通りの印刷ができないときに□をクリックして☑をつけます。通常はチェックしない(□のまま)の状態で使用してください。

このチェックボックスをチェックすると、全てのデータをイメージとして印刷しますので時間がかかります。印刷に問題があるときのみ使用してください。

### ビットマップの圧縮(B)

TrueType フォントやイメージデータを多く含む文書を印刷する場合に、データを圧縮して転送することで転送時間を短縮する機能です。

### メモリ設定(M)

プリンタに実装されているメモリサイズを設定します。

プリンタに増設メモリを取り付けた場合や、取り外しをした場合には必ず設定してください。

メモリサイズはステータスシートを印刷し、シート下部に印刷される「実装メモリ容量」の数値を入力します。

📄 本書「ステータスシートの印刷」201 ページ

#### オプションフォント(F)

オプションのフォントROMモジュールを使用する場合に、使用するフォントROMモジュールを選択します。ここで選択していない場合は、フォントROMモジュールが装着されていても、フォントROMモジュールのフォントは使用できません。

#### オプション給紙装置(S)

オプションの給紙装置を指定します。ここで指定すると[基本設定]の給紙装置に加えられます。指定しないと、オプション給紙装置からの印刷はできません。

「用紙カセット2」～「用紙カセット4」は、オプションの増設カセットユニットの3つの用紙カセットを示します。

増設カセットユニットの用紙カセットを3つとも使用する場合、「用紙カセット2」～「用紙カセット4」を全て選択します。

増設カセットユニットの用紙カセットを1つずつ選択することもできます。



#### 用紙サイズのチェックをしない(F)

印刷時に用紙サイズのチェックを行わないように設定します。本項目を有効にすると、用紙サイズエラーが表示されなくなります。

#### オフセット

印刷開始位置の上(垂直位置)と左(水平位置)を設定します。本機の場合、有効範囲は-5mm ~ +6mmです。これ以外の値を設定しても無効になります。

#### 紙種(P)

厚紙への印刷を行う場合に設定します。通常は「普通」を使用してください。

#### RIT(Resolution Improvement Technology)(R)

斜線や曲線などのギザギザをなめらかに印刷するEPSON独自の輪郭補正機能です。□をクリックして☑を付けると、RIT機能が有効になります。大きな文字を印刷するときは、RITを有効にすると、よりきれいに印刷できます。



ポイント

グラデーション(無段階に階調が変化する画像)を印刷する場合、RITがONの状態だと意図した印刷結果が得られないことがあります。この場合はRIT機能を使用しないでください。

#### トナーセーブ(T)

文字の輪郭部分は通常の濃度で、輪郭以外の部分は濃度を抑えることでトナーを節約します。□をクリックして☑を付けると、トナーセーブ機能が有効になります。試し刷りをするときなど、印刷品質にこだわらない場合などにご利用ください。

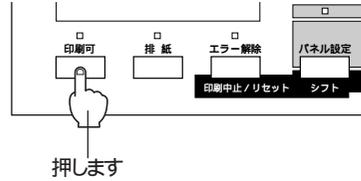
# 印刷の中止方法

Win

1

プリンタの **印刷可** スイッチを  
押します。

印刷可ランプが消灯し、印刷不可状  
態になります。



コンピュータ上の印刷処理が続いているときは、以下の方法で削除します。  
プリントマネージャアイコンをダブルクリックします。  
削除する印刷データをクリックして [ 取りやめ (D) ] をクリックします。



クリックして

クリックします

2

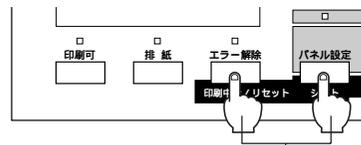
データランプが点滅しなくなり、点灯していることを確認します。

データランプの点滅中は、データを受信しています。データを受信し終えるま  
までお待ちください。

3

**シフト** スイッチと **エラー解除**  
スイッチを同時に押します。

受信データが消去されます。上記ス  
イッチを5秒以上押すと電源投入時  
の状態まで初期化(リセットオール)  
されますのでご注意ください。



シフト( **パネル設定** )スイッチを押したまま  
**エラー解除**スイッチを押します

印刷の中止方法



# WindowsNT3.5x からの印刷

ここでは、WindowsNT3.5xからの印刷方法について説明しています。

WindowsNT3.5x では、モノクロ印刷のみ可能です。

印刷の実行 .....	138
印刷の設定 .....	139
印刷の中止方法 .....	144

# 印刷の実行

ここでは、WindowsNT3.5x アプリケーションでの、印刷の設定のしかたと実行の手順について説明します。

Win

画占率の高いデータの印刷時や連続印刷時、印刷の途中で動作を一時的に休止する場合があります。これは良好な印刷品質を保つために、プリンタが内部機能の自動調整を行うためです。自動調整が終わると、印刷を自動的に再開します。

## 印刷の手順

印刷の手順はお使いのアプリケーションソフトウェアによって異なります。詳細は各アプリケーションの取扱説明書を参照してください。ここではWindowsNT3.5xに添付の「ライト」を例に説明します。

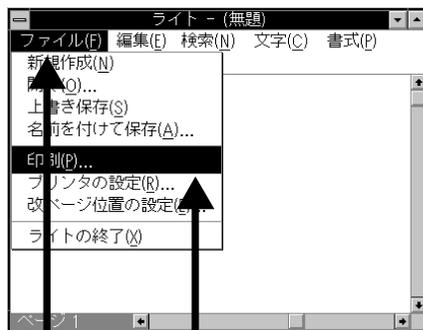
WindowsNT3.5x「ライト」の起動方法：  
プログラムマネージャの「アクセサリ」グループの「ライト」アイコンをダブルクリックします。

1

「ライト」を起動し、印刷データを作成します。

2

[ファイル(F)]メニューをクリックし、[印刷(P)...]をクリックします。



クリックして      クリックします

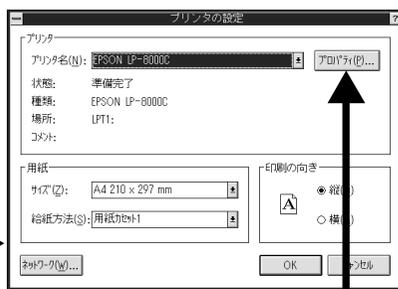
3

お使いのプリンタが選択されていることを確認し、各項目を設定します。

**プリンタの設定(S)...** をクリックすると印刷条件を設定することができます。  
**プロパティ(P)...** をクリックするとプリンタドライバの設定画面が表示されます。  
**OK** をクリックすると、印刷を実行します。



印刷を実行します

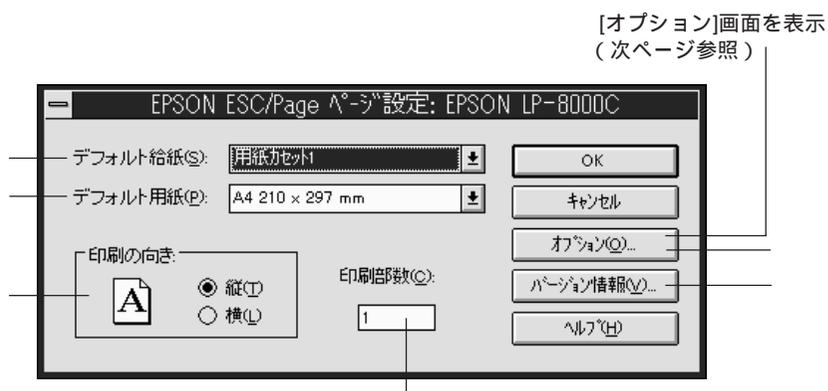


プリンタドライバを表示します

# 印刷の設定

## [ ページ設定 ] 画面

Win



### デフォルト給紙(S)

印刷時に使用する給紙装置を設定します。オプションの給紙装置を選択したい場合は、あらかじめオプションの設定をする必要があります。オプションの増設カセットユニットを装着し、オプションの設定をすると、「用紙カセット2」～「用紙カセット4」と表示されます。

📖 本書「オプション装着時の設定 (Windows3.1/NT3.5x)」54 ページ

### デフォルト用紙(P)

印刷に使用する用紙のサイズを設定します。アプリケーションソフトウェアで作成した用紙サイズと必ず一致させてください。

### 印刷の向き

文章を印刷する方向を、縦/横どちらかクリックします。横を選択した場合、用紙を横置きにしたときと同じ出力イメージになります。

### 印刷部数(C)

印刷する枚数を入力します。最大 255 まで入力可能です。

### バージョン情報(V)

プリンタドライバのバージョン情報を表示します。

### オプション(O)

[ オプション ] 画面を表示します。

📖 本書「[ オプション ] 画面」140 ページ



### 解像度(R)

印刷の解像度を、300DPI(印刷速度が速い)か600DPI(印刷結果がきれい)のいずれかから選択します。

### グラフィックスオプション(G)...

[グラフィックスオプション設定]を表示します。グラフィックの詳細な設定が行えます。

**ハーフトーン(F)**  
ハーフトーン処理(グレースケールや中間色の表現)を行います。[ハーフトーン調整] ボタンをクリックすると、グラフィックスの詳細な設定が行えます。PGI(P)を選択している場合は、選択できません。

**PGI(P)...**  
PGI処理(写真など無段階に階調が変化する画像を、より階調性豊に表現)を行います。明暗調整、画像調整(粗密)が設定できます。ハーフトーン(F)を選択している場合は、選択できません。

**高速グラフィック(G)**  
グラフィックス(円や矩形などを重ねて描いた図形)を高速に印刷します。

## テキストオプション(T)

[テキストオプション設定]を表示します。フォントに関する設定が行えます。

**フォントキャッシング(C)**  
一度印刷したTrueTypeフォントをプリンタのメモリに記録するため、印刷時間が短くなります。

**ユーザ設定置換(T)**  
TrueTypeフォントを、[オプション装置]画面で設定したプリンタフォントに置き換えて印刷します。

**フォント置換設定の表示(W)**  
クリックすると、[オプション装置]で設定した置換設定の組み合わせを表示します。

**漢字ベースライン調整(K)**  
漢字プリンタフォントのベースラインを調整します。この機能を有効にすると、プリンタフォントとTrueTypeフォントが混在している場合に、バランスが良くなります。

本書  
「オプション装置画面」57ページ

## ビットマップの圧縮(B)

TrueType フォントやグラフィックスを多く含む文書を印刷する場合、印刷データを圧縮して印刷することで印刷時間を短縮します。

## 重ね合わせ描画の特殊処理(K)

グラフィックや文字などを重ね合わせている場合で、思い通りの印刷結果が得られない場合にクリックします。この機能を有効にすると、グラフィックスオプション設定とテキストオプション設定が無効になります。また印刷に時間がかかるため、印刷に問題がある場合のみチェックしてください。

## 用紙トレイ優先(Y)

本機では、この機能は使用できません。

## ユーザー定義サイズ(X)...

[用紙サイズ定義]を表示します。不定形紙の用紙サイズを設定します。

印刷する用紙サイズの幅と長さを入力し[OK]ボタンをクリックします。

### 拡大 / 縮小印刷 (I)

拡大 / 縮小印刷をする場合は、チェックボックスをクリックしてチェックします。

**拡大 / 縮小設定 (Z)** ボタンをクリックすると拡大 / 縮小の設定が行えます。

**選択されている用紙サイズ**  
[ページ設定]画面の[デフォルト用紙]で選択されている用紙サイズが表示されます。  
📄 本書「[ページ設定]画面」139ページ

**出力する用紙サイズ (P)**  
プリンタにセットした用紙をリストボックスから選択します。選択すると自動的に拡大 / 縮小率が設定されます。

**任意倍率 (F)**  
チェックボックスをクリックしてチェックし、リストボックスから倍率 (50 ~ 200%) を選択します。

**拡大 / 縮小設定**

選択されている用紙サイズ:  
A4 210 × 297 mm

出力する用紙サイズ (P):  
A4 210 × 297 mm

任意倍率 (F): 100 %

OK    キャンセル    ヘルプ (H)



ポイント

拡大 / 縮小印刷 (I) と、割り付け印刷 (N) は、同時に使用することはできません。

### 割り付け印刷 (N)

2 ページまたは 4 ページ分の連続したデータを自動的に縮小し、1 ページにまとめて印刷します。**割り付け設定 (C)...** ボタンをクリックすると割り付け印刷の設定が行えます。拡大 / 縮小印刷を実行する場合は使用できません。

**割り付けページ数**  
1 枚の用紙に割り付けるページ数を選択します。文書サイズは、用紙のサイズに合わせて自動的に縮小されます。

**割り付け順序**  
ページ内に割り付ける文書の順序を選択します。

本機ではこの機能は使用できません。

**割り付け設定**

割り付けページ数  
 2ページ分 (2)     4ページ分 (4)

割り付け順序  
 左から右方向 (E)     右から左方向 (W)  
 上から下方向 (V)

製本する (Q)  
 開き方  
 右開き (R)     左開き (L)

OK    キャンセル    デフォルト (D)    ヘルプ (H)

### 逆方向から印刷 (V)

印刷データを 180 度回転して印刷する場合にクリックします。封筒に印刷する場合に、フラップ (閉じ口) を開いて、フラップのある側を後ろに向けてセットする必要があるため、封筒への印刷時に指定します。

### フォーム(O)

モノクロのフォームオーバーレイユーティリティ「EPSON Form!2」で作成したフォームデータを使うときに指定します。[フォーム設定]画面でファイルを設定してください。詳しくは「EPSON Form! 2」に添付の取扱説明書を参照してください。

### 両面印刷(W)

本機では使用できません。

### パネル設定(P)...

[パネル設定]ダイアログボックスを表示します。

**用紙サイズのチェックをしない(F)**  
印刷時に用紙サイズのチェックを行わないように設定します。チェックすると用紙サイズエラーが表示されません。

**オフセット**  
用紙の印刷開始位置(用紙の上側と左側)を設定します。設定できる範囲は-5 ~ +6mmです。それ以外の値は無効になります。

**紙種(P)**  
厚紙へ印刷を行う場合に設定します。通常は「普通」を使用してください。

**RIT(R)...**  
RIT処理(ギザギザの少ない美しい印刷)を行います。大きな文字を印刷するときにクリックすると、よりきれいに印刷できます。

**トナーセーブ(T)**  
トナー消費量を大幅に削減して印刷します。試し印刷など、印字品質を問わない印刷時などにクリックしてください。

パネル設定

用紙サイズのチェックをしない(F)

オフセット  
上(U)  mm  
左(L)  mm

紙種(P)

RIT(R)

トナーセーブ(T)

OK    キャンセル    テキスト(F)    ヘルプ(H)

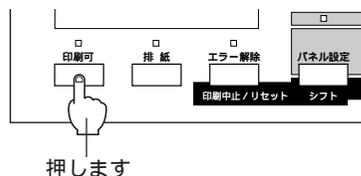
# 印刷の中止方法

Win

1

プリンタの **印刷可** スイッチを押します。

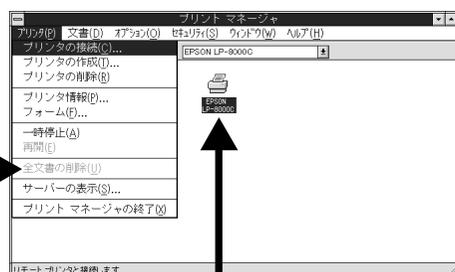
印刷可ランプが消灯し、印刷不可状態になります。



押します

コンピュータ上の印刷処理が続いているときは、以下の方法で削除します。  
メイングループのプリントマネージャアイコンをダブルクリックします。  
LP-8000Cのアイコンをダブルクリックします。  
[プリンタ(P)]メニューの[全文書の削除(U)]をクリックします。

クリックします



ダブルクリックして

2

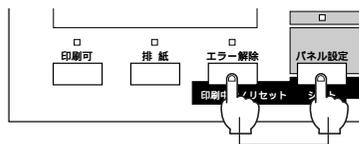
データランプが点滅しなくなり、点灯していることを確認します。

データランプの点滅中は、データを受信しています。データを受信し終えるまでお待ちください。

3

**シフト** スイッチと **エラー解除** スイッチを同時に押します。

受信データが消去されます。



シフト ( **パネル設定** ) スイッチと押したまま  
**エラー解除** スイッチを押します

**シフト** スイッチと **エラー解除** スイッチを5秒以上押すと、電源投入時の状態まで初期化 (リセットオール) されますのでご注意ください。

📖 本書「リセットオールについて」204ページ



ポイント

印刷の中止方法

# 用紙について

---

ここでは、印刷できる用紙、用紙のセット方法、印刷する際の諸注意等について説明しています。

用紙について .....	146
給紙装置 / 排紙装置について .....	152
給紙装置 / 排紙装置の操作方法 .....	153
普通紙のセット .....	158
特殊紙への印刷について .....	164

# 用紙について

本機は、ここで紹介する用紙に印刷することができます。これ以外の用紙は使用しないでください。

## 印刷できる用紙の種類

### EPSON 製の用紙

次の用紙が使用できます。

	使用可能な用紙	型番	説明
普通紙	EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙	LPCPPA3W (A3W(ノビ)サイズ) LPCPPA3 (A3サイズ) LPCPPB4 (B4サイズ) LPCPPA4 (A4サイズ)	本機での印刷時、最良の印刷品質を得ることができる用紙です。 用紙トレイ、用紙カセットのどちらからでも給紙できます。
特殊紙	EPSON カラーレーザープリンタ用OHPシート	LPCOHP1 (A4サイズ)	セイコーエプソン製の、本機専用のOHPシートです。用紙トレイからの給紙のみ可能です。



注意

上記以外の EPSON 製専用紙は本機で使用しないでください。  
プリンタ内部での紙詰まりや故障の原因となります。

### 一般の用紙

EPSON 製の専用紙以外では、次の用紙が使用できます。

	使用可能な用紙	説明
普通紙	コピー用紙	一般の複写機などで使用する用紙です。
	上質紙	紙厚は 60 ~ 105g/m <sup>2</sup> の範囲内のものが使用可能です。
	再生紙 <sup>*1</sup>	紙厚は 60 ~ 105g/m <sup>2</sup> の範囲内のものが使用可能です。
特殊紙	官製ハガキ <sup>*2</sup>	通常の官製ハガキが使用可能です。
	封筒	のりやテープが付いていない封筒が使用可能です。
	ラベル紙 <sup>*3</sup>	台紙全体がラベルで覆われている、レーザープリンタ用のラベル紙が使用可能です。
	厚紙	紙厚は 105 ~ 220g/m <sup>2</sup> の範囲内のものが使用可能です。
	不定型紙	用紙サイズ 90mmx139.7mm ~ 328mmx453mm、紙厚 60 ~ 105g/m <sup>2</sup> の範囲のものが使用可能です。

\* 1 : 再生紙は、一般の室温以上の環境下になると、印刷品質が低下したり、紙詰まりなどの不具合が発生することがありますのでご注意ください。

\* 2 : 絵入りのハガキなどを給紙すると、絵柄裏移り防止用の粉が給紙ローラに付着し給紙できなくなる場合がありますので、ご注意ください。  
このような場合は給紙ローラをクリーニングしてください。

 困ったときにお読みください「給紙ローラのクリーニングについて」67 ページ

\* 3 : 台紙全体がラベルなどで覆われていないラベル紙は、プリンタ内部でのラベルのはがれにより故障の原因となるため、使用しないでください。



ポイント

- 特殊紙への印刷の際は、各用紙ごとにご注意いただく事項が異なりますので「特殊紙への印刷について」を参照ください。  
📖 本書「特殊紙への印刷について」164 ページ
- 用紙を大量に購入する場合は、必ず事前に試し印刷をして印刷の状態をご確認ください。



注意

以下の用紙は、本機では使用しないでください。印刷不良、紙詰まり、またプリンタの故障などの原因になります。

- 本機で印刷済みの用紙
- 他のカラーレーザープリンタ / モノクロレーザープリンタ用 OHPシート、他のカラー複写機 / モノクロ複写機用 OHPシート
- インクジェットプリンタ用特殊紙（スーパーファイン紙・光沢紙・光沢フィルムなど）
- 他のカラーレーザープリンタ、モノクロレーザープリンタで印刷済みの用紙
- 熱転写プリンタ、インクジェットプリンタで印刷済みの用紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙、酸性紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙
- 濡れている（湿っている）用紙
- 表面に特殊コートが施された用紙、表面加工されたカラー用紙
- 表面が平滑すぎる（ツルツル、スベスベしすぎる）用紙、粗すぎる用紙（ザラ紙、繊維質の用紙など）、表と裏で粗さが大きく異なる用紙
- バインダ用の穴やミシン目のある用紙
- 折り目、カール、波うち、破れのある用紙
- 形状が不規則な用紙、裁断角度が直角でない用紙
- 簡単にはがれてしまうラベル紙、台紙全体がラベルなどで覆われていないラベル紙
- 糊、ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いた用紙
- 静電気で密着している用紙
- 貼り合わせた用紙
- 凸凹や留め金のある用紙、封筒
- 高温（約 150℃）で変質するインクが使われている用紙

## 本機で印刷した用紙の扱いについて

本機で印刷した用紙について、次の点に注意してください。



注意

本機で印刷した用紙は、本機や他のプリンタで使用しないでください。印刷不良、紙詰まり、プリンタの故障などの原因になります。

## 用紙と給紙方法について

本機の給紙装置で使用できる用紙の種類は次の通りです。

特殊紙を使用する場合は、必ず用紙トレイにセットしてください。

給紙装置	用紙種類	用紙サイズ	紙厚	容量	
標準 装 備 の 給 紙 装 置	用紙トレイ <sup>*1</sup>	普通紙 EPSON カラーレーザー プリンタ用上質普通紙	A3W (ノビ) <sup>*2</sup> , A3, A4, A5, B4, B5, Letter(LT), Half-Letter(HLT), Legal(LGL), Executive(EXE), GovernmentLegal(GLG), GovernmentLetter(GLT), Ledger(B), F4,	60 ~ 105g/m <sup>2</sup>  150 枚 (または 総厚 16mm)	
	特 殊 紙	官製ハガキ	100mmx148mm	190 g/m <sup>2</sup>	75 枚
		封筒 <sup>*3</sup>	Monarch(MON), Commercial-10(C10), DL	60 ~ 105 g/m <sup>2</sup>	20 枚
		ラベル紙	ハガキ大 ~ A4	105 ~ 220g/m <sup>2</sup>	75 枚
		厚紙	ハガキ大 ~ A4	105 ~ 220g/m <sup>2</sup>	75 枚
		不定型紙	90mmx139.7mm ~ 328mmx453mm	60 ~ 105 g/m <sup>2</sup>	150 枚(または 総厚 16mm)
		EPSONカラーレーザー プリンタ用 OHP シート	A4	140g/m <sup>2</sup>	75 枚
用紙カセット	普通紙 EPSON カラーレーザー プリンタ用上質普通紙	A3, A4, B4, B5, Letter(LT),Legal(LGL), Ledger(B)	60 ~ 105g/m <sup>2</sup>  250 枚 (または 総厚 28mm)		
オ プ シ ヨ ン	用紙カセット (A3W(ノビ)用) LPCYC1W <sup>*4</sup>	普通紙 EPSON カラーレーザー プリンタ用上質普通紙	A3W (ノビ) <sup>*2</sup>	60 ~ 105g/m <sup>2</sup>  250 枚 (または 総厚 28mm)	
	増設カセット ユニット LPCWC1	普通紙 EPSON カラーレーザー プリンタ用上質普通紙	A4, B4, B5, A3, Letter(LT),Legal(LGL), Ledger(B)	60 ~ 105g/m <sup>2</sup>  250 枚(または 総厚 28mm) x3 段	

\*1 用紙幅が 304.8mm を超える場合 (A3W (ノビ) など) 用紙トレイ左側の折りたたみ式用の紙ガイドを倒してください。

\*2 本機で使用可能な A3W (ノビ) サイズは、328mm x 453mm です。  
A3 ノビサイズ (329mm x 483mm) とはサイズが異なります。

\*3 封筒をセットする場合、必ずフラップ (封筒の閉じ口) を開き、フラップを給紙方向に対し後ろに向けてセットしてください。  
封筒の詳細については、本書「封筒への印刷」(P166) を参照してください。

\*4 用紙カセット (A3W (ノビ)): LPCYC1W は、本機に標準装備の用紙カセットと差し替えて使用します。増設カセットユニットには装着できません。

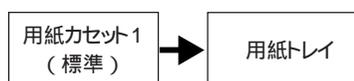
## 給紙装置の優先順位について

本機は各給紙装置にセットされている用紙のサイズを調べ、印刷データと一致するサイズの用紙がセットされている給紙装置を見つけると、その給紙装置から給紙します。

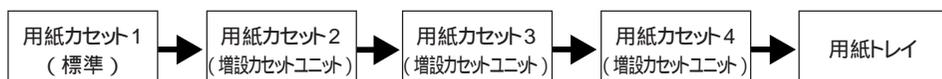
また、最初に見つけた給紙装置の用紙がなくなると、他の給紙装置を調べて同じサイズの用紙がセットされている給紙装置から自動的に給紙します。

給紙装置を調べる順序は次の通りです。

- 標準状態



- 増設カセットユニット（オプション）装着時



全ての給紙装置に、印刷するデータの用紙サイズの用紙をセットすれば標準で400枚（用紙カセット1+用紙トレイ）、オプションの増設カセットユニットを装着して最大で1,150枚の連続給紙が可能です。



ポイント

用紙サイズや給紙装置の指定をアプリケーションソフト上でやっている場合、アプリケーションソフト上での設定がプリンタドライバでの設定より優先される場合があります。

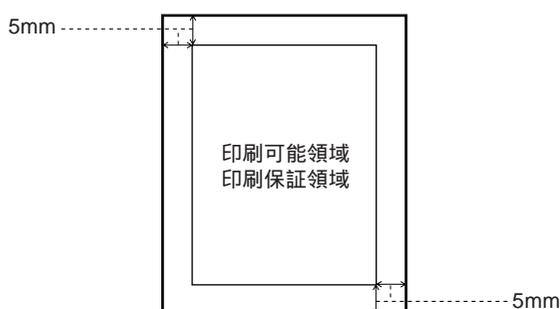
## 印刷できる領域

本機の印刷できる領域には次の2種類があります。

- 印刷保証領域：印刷の実行と印刷品質（画質等）を保証する領域です。
- 印刷可能領域：印刷の実行のみを保証する領域です。

A6～A3の定形紙、90mm×139.7mm～328mm×453mm未満の不定形紙  
印刷可能領域と印刷保証領域は同じです。

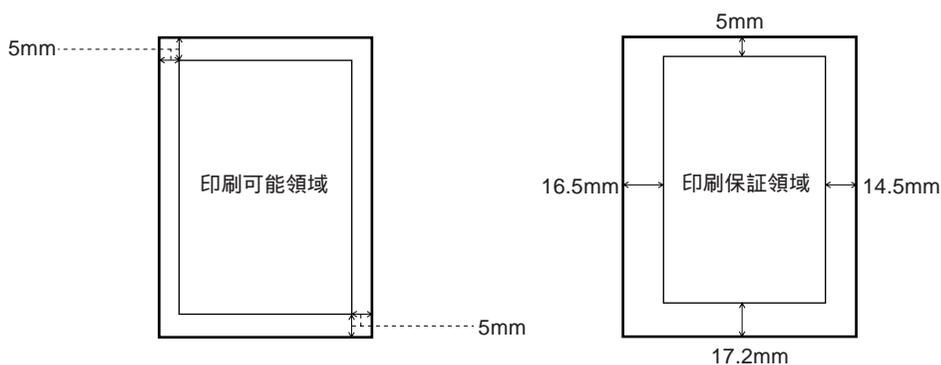
用紙の各端面から5mmを除く範囲に印刷できます。



A3W（ノビ） 328mm×453mm（不定形紙の最大値）

印刷可能領域は用紙の各端面から5mmを除く範囲です。

印刷保証領域は印刷可能領域よりも狭くなります。



アプリケーションソフトウェアによっては、印刷保証領域が、上記より小さくなる場合があります。

## 用紙の保管

用紙は以下の点に注意して保管してください。

- 直射日光を避けて保管してください。
- 湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙を濡らさないでください。
- 用紙を立てたり、斜めにしないで、水平な状態で保管してください。
- ホコリがつかないように、包装紙などに包んだり、箱に入れて保管してください。

## 用紙のセット方向について

用紙のサイズや種類によって、セットする向きが異なります。

次の用紙は、給紙方向に対して横長の状態でセットしてください。

	給紙装置	用紙種類	用紙サイズ
給紙方向に対し横長の状態でセットする用紙	用紙トレイ	普通紙 EPSONカラーレーザープリンタ用上質普通紙	A4, A5, B5, Letter(LT), Half-Letter(HLT), Executive(EXE), GovernmentLetter(GLT)
		封筒	Monarch(MON), Commercial-10(C10), DL
		EPSONカラーレーザープリンタ用OHPシート	210mmx297mm
	用紙カセット	普通紙 EPSONカラーレーザープリンタ用上質普通紙	A4, B5, Letter(LT)
	増設カセットユニット	普通紙 EPSONカラーレーザープリンタ用上質普通紙	A4, B5, Letter(LT)



ポイント

封筒のセット方向については、必ずフラップ（閉じ口）を開き、フラップが後端になるようにしてください。

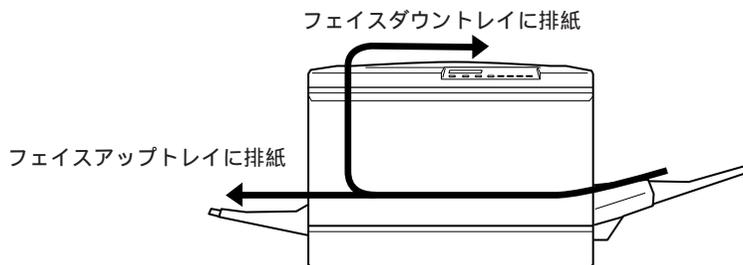
# 給紙装置 / 排紙装置について

本機が標準で装備している給紙装置 / 排紙装置について説明します。

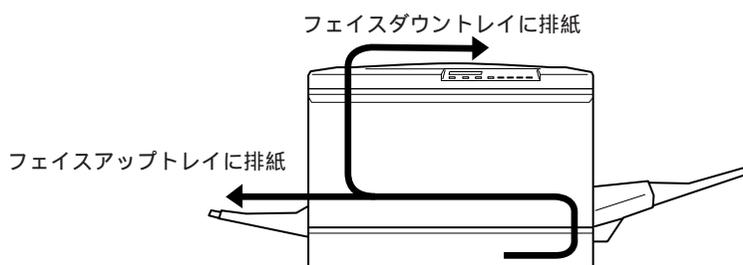
## 用紙経路について

プリンタ内部の用紙経路は、給紙装置 / 排紙装置の組み合わせで次のようになります。

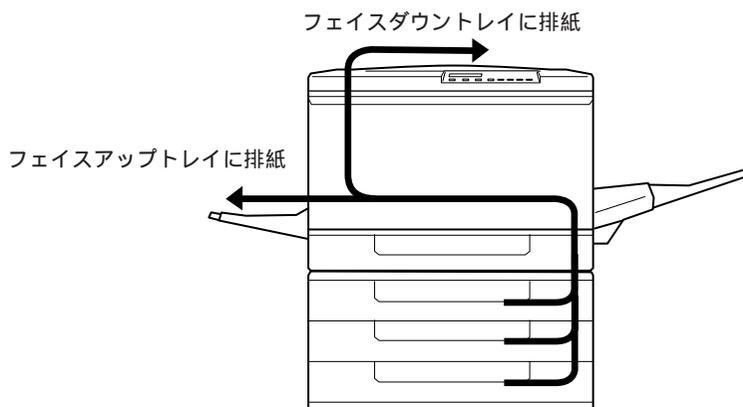
### 用紙トレイからの用紙経路



### 用紙カセットからの用紙経路



### 増設カセットユニット (オプション) からの用紙経路



特殊紙は用紙トレイからのみ給紙できます。  
B5 サイズより小さい用紙、ハガキ、封筒、ラベル紙、厚紙、セイコーエプソン製カラーレーザープリンタ用 OHP シートは、フェイスダウントレイへの排紙はできません。自動的にフェイスアップトレイに排紙されます。

# 給紙装置 / 排紙装置の操作方法

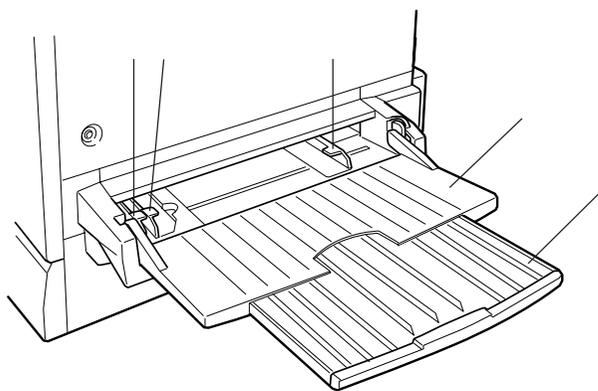
各給紙装置 / 排紙装置の基本的な操作方法について説明します。

## 用紙トレイ

用紙トレイには、印刷する面を上に向けて用紙をセットします。

用紙トレイは、セットする用紙のサイズに合わせて延長トレイの引き出し部を引き出して使用します。

A3W(ノビ)など、A3サイズを超えるサイズ of 用紙をセットする場合は、用紙トレイ左側の折りたたみ式 of 用紙ガイドを倒してセットします。



### 延長トレイ

用紙トレイを使用しないときは、上に折りたたむことができます。

### 引き出し部

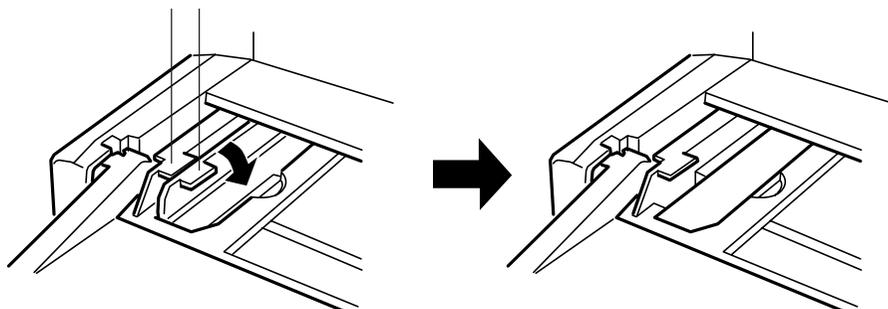
セットする用紙のサイズに応じて、用紙が確実に乗るように引き出します。

### 用紙ガイド(左)

用紙トレイ左側の折りたたみ式 of 用紙ガイドです。

A3サイズ以下の用紙の場合、用紙の左端をこの用紙ガイドに合わせてセットします。

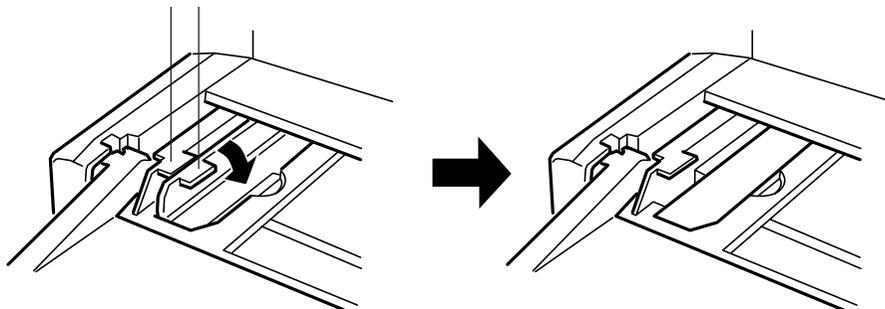
A3W(ノビ)サイズ、またはA3より幅の広い用紙の場合、この用紙ガイドは倒して収納します。



### A3W(ノビ)用紙ガイド

用紙トレイ左側の固定式用紙ガイドです。

A3W(ノビ)サイズ、またはA3より幅の広い用紙の場合、この用紙ガイド(左)は倒して収納し、用紙の左端をこの用紙ガイドに合わせてセットします。



### 用紙ガイド(右)

用紙をセットした後、この用紙ガイドを用紙の右側面に軽く当たるよう移動し、用紙がまっすぐに給紙されるようにします。



ポイント

- 用紙トレイの場合、用紙の印刷面を上に向けてセットしてください。
- セイコーエプソン製上質普通紙の印刷面は、用紙の包装紙の開封面側(包装紙の合わせ目のある側)です。
- 特殊紙は用紙トレイにセットしてください。用紙カセットからの特殊紙の印刷はできません。

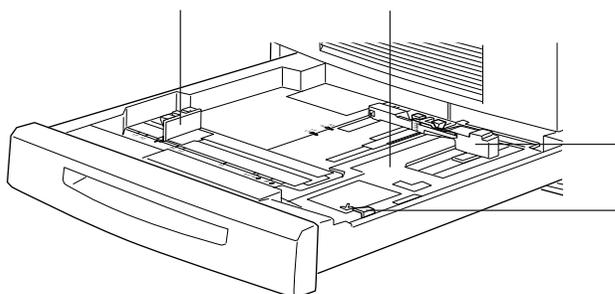


注意

本機や他のプリンタで印刷した用紙はセットしないでください。印刷不良、紙詰まり、プリンタの故障などの原因になります。

## 用紙カセット

用紙カセットには、印刷する面を下に向けて用紙をセットします。  
用紙カセットは定形サイズの普通紙/EPSONカラーレーザープリンタ用上質普通紙のみ使用可能です。



### 用紙ガイド（横）

用紙カセット底面の目盛りに合わせてセットします。

目盛りに合っていない場合、プリンタが用紙サイズを正しく認識できません。

### 用紙ガイド（縦）

用紙の側面に軽く当て、用紙がまっすぐに給紙されるようにします。

### 金属板

用紙をセットする前に、手で押し下げてロックされた状態にします。

### ツメ

用紙をセットするとき、このツメの下にはいるようにセットします。



ポイント

- 用紙カセットの場合、用紙の印刷面を下に向けてセットしてください。
- セイコーエプソン製上質普通紙の印刷面は、用紙の包装紙の開封面側（包装紙の合わせ目のある側）です。
- 特殊紙は用紙トレイにセットしてください。用紙カセットからの特殊紙の印刷はできません。

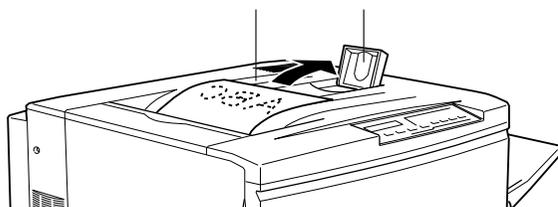


注意

本機や他のプリンタで印刷した用紙はセットしないでください。  
印刷不良、紙詰まり、プリンタの故障などの原因になります。

## フェイスダウントレイ

プリンタ本体の上面がフェイスダウントレイです。  
印刷した用紙が、印刷面を下にして排紙されます。



### フェイスダウントレイ

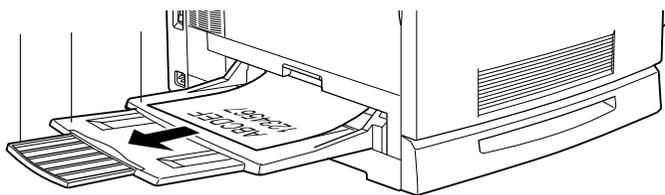
印刷面を下にして排紙されます。

### 排紙ストッパー

大きいサイズの内紙の場合に、排紙された用紙がすべり落ちないように、必要に応じて起こします。

## フェイスアップトレイ

プリンタ左側の折りたたみ式の排紙トレイです。  
印刷した用紙が、印刷面を上に向けて排紙されます。



### フェイスアップトレイ

使用しないときは、上に折りたたむことができます。

### 引き出し部 1

B4、Legalの内紙の場合に引き出します。

A4以下、Letter (LT) 以下の用紙の場合、引き出す必要はありません。

### 引き出し部 2

A3、A3W (ノビ)の内紙の場合に引き出します。

## 用紙の種類と排紙トレイの関係

フェイスアップトレイとフェイスダウントレイに排紙可能な用紙と、各トレイで保持できる用紙枚数は次の通りです。

排紙トレイ	排紙可能な用紙	保持できる用紙枚数
フェイスダウントレイ	B5 サイズ (182mm x257mm) 以上の普通紙/EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙	250 枚 (紙厚 60 ~ 105g/m <sup>2</sup> )
フェイスアップトレイ	制限なし	150 枚 (A4 未満、紙厚 60 ~ 105g/m <sup>2</sup> ) 50 枚 (A4 以上、紙厚 60 ~ 105g/m <sup>2</sup> )



注意

B5 サイズ (182mmx257mm) 未満の用紙および特殊紙は、サイズや紙厚によりフェイスダウントレイへの排紙はできません。

次の用紙は常にフェイスアップトレイへ排紙してください。

フェイスアップトレイへの排紙のみ可能な用紙	普通紙/EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙	・ A5, Half-Letter(HLT)
	特殊紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ EPSON 製カラーレーザープリンタ用 OHP シート</li> <li>・ ハガキ</li> <li>・ 封筒</li> <li>・ 厚紙</li> <li>・ 不定形紙 (給紙方向に対し、長さ 182mm 未満、幅 210mm 未満)</li> </ul>



ポイント

フェイスアップトレイを使用して複数ページの印刷をする場合、プリンタドライバ上で逆順印刷を指定して印刷してください。  
逆順印刷を指定せずに複数ページをフェイスアップで印刷すると、1 ページ目が一番下に、最終ページが一番上になって出力されます。

# 普通紙のセット

ここでは、用紙カセットと用紙トレイへの用紙のセット方法を、普通紙 / EPSON 製カラーレーザープリンタ用上質普通紙の場合を例に説明します。特殊紙をセットする場合は、用紙の種類によって注意事項があります。164 ページ「特殊紙への印刷について」を参照してください。

## 用紙カセットへの用紙のセット

用紙カセットにセットできる用紙は次の通りです。

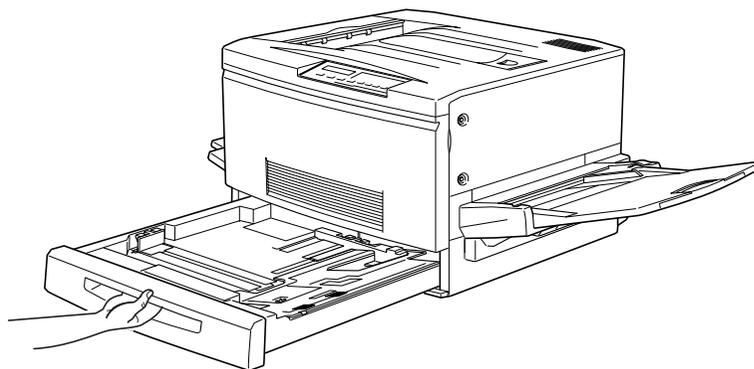
- 用紙種類 : 普通紙 / EPSON 製カラーレーザープリンタ用上質普通紙
- 用紙サイズ : A4、A3、B5、B4、Letter (LT)、Legal (LGL)、Ledger (B)

1

**電源** スイッチをオン ( | ) にします。

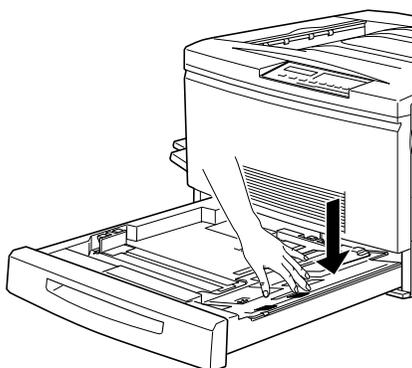
2

用紙カセットを手前に止まるまで引き出します。



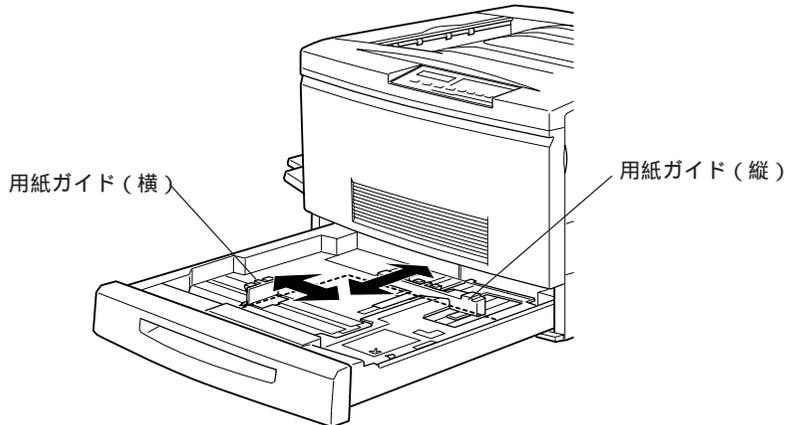
3

用紙カセット内部の金属板をカチッと音がして固定されるまで押し下げます。



4

用紙ガイド（縦）/（横）を、用紙がセットできるようにずらします。

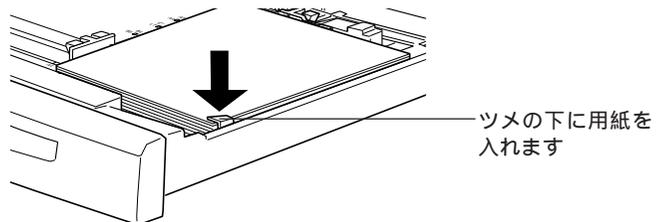


5

用紙をセットします。

用紙の四隅をそろえ、印刷する面を下に向けて、用紙カセットの右側のツメの下に差し込むようにしてセットします。

このとき、用紙カセット右側のツメの上に用紙が乗り上げないように注意してください。



ポイント

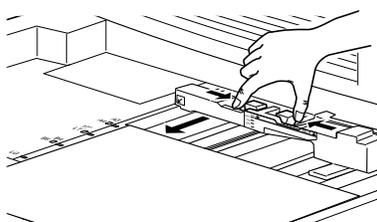
用紙のセット時には、次の点に注意してください。

- 折り目やシワの入った用紙は取り除いてください。
- 最大セット枚数以上の用紙をセットしないでください。
- 用紙の端が右側のツメの上に乗らないようにセットしてください。
- 通常の場合、A4サイズ以下の用紙は給紙方向に対して横長の状態でセットします。A4サイズより大きい用紙は給紙方向に対して縦長の状態でセットします。

6

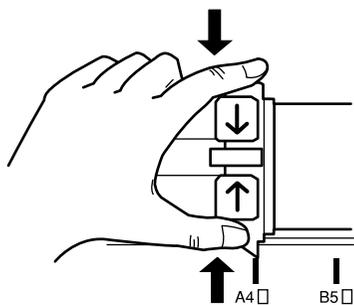
用紙ガイド（縦）を用紙の幅に合わせてずらします。

用紙ガイド（縦）が用紙の側面に軽く当たる状態にしてください。



7

用紙ガイド（横）をずらして、用紙カセット底面の用紙サイズ目盛りに合わせます。

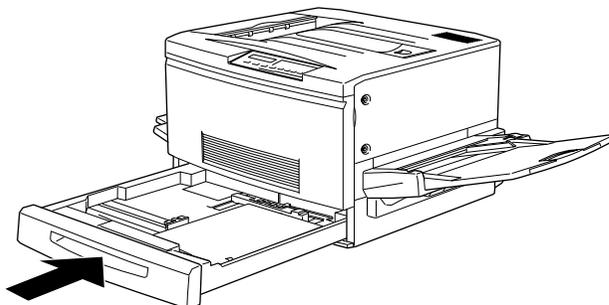


ポイント

用紙ガイド（横）は、必ず用紙カセット底面の用紙サイズ目盛りに合わせてください。用紙ガイド（横）は、用紙カセットの用紙サイズをプリンタ側に知らせる働きがあります。用紙ガイド（横）が用紙サイズ目盛りに合っていない場合、プリンタ側は用紙サイズを正しく把握できないため正常な印刷が行えません。

8

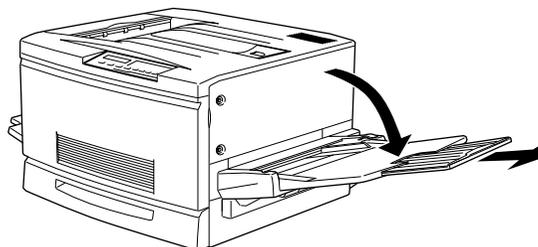
用紙カセットをプリンタ側に押し込みます。



## 用紙トレイへの用紙のセット

1

セットする用紙のサイズに応じて、用紙トレイの延長部を引き出します。



2

用紙ガイド（左）を確認します。

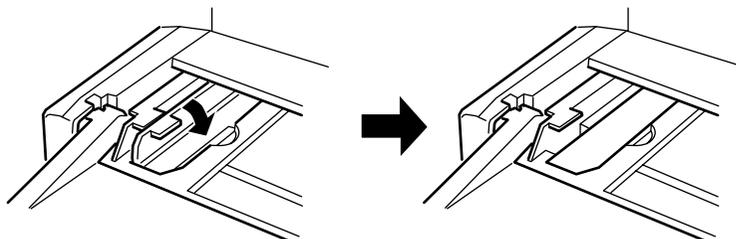
A3W（ノビ）のサイズの場合、用紙ガイド（左）を倒します。

A3W（ノビ）以外の用紙の場合、用紙ガイド（左）は起こした状態で使用します。



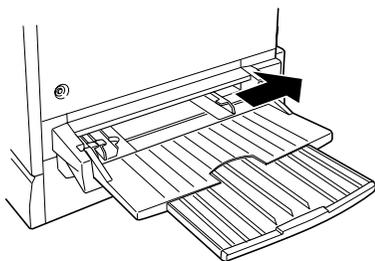
ポイント

用紙ガイド（左）を倒した状態で A3W（ノビ）以外の用紙をセットすると、印刷位置がずれるため正常な印刷が行われません。



**3**

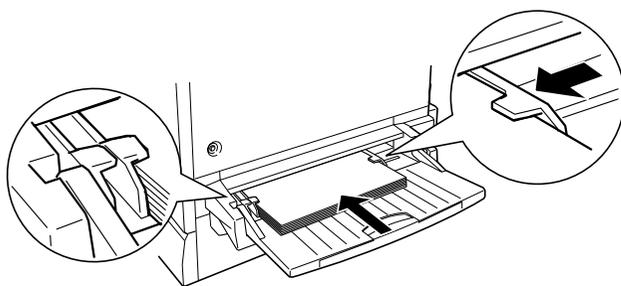
用紙ガイド（右）を、用紙のサイズより広くなるようにずらします。

**4**

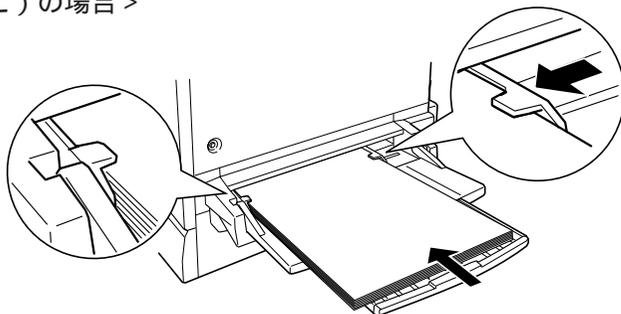
用紙の四隅をそろえ、印刷する面を上に向け、左側面を用紙ガイド（左）に沿わせて用紙の束を給紙トレイに差し込み、用紙ガイド（右）を用紙の端に合わせてずらします。

このとき、用紙ガイドの上に用紙が乗り上げないように注意してください。用紙ガイド（右）は、用紙の端に軽く当たる状態にしてください。

< A3W（ノビ）以外の場合 >



< A3W（ノビ）の場合 >





ポイント

用紙のセット時には、次の点に注意してください。

- 折り目やしワの入った用紙は取り除いてください。
- 最大セット枚数以上の用紙をセットしないでください。
- 用紙の端が左右のツメの上に乗らないようにセットしてください。
- 通常の場合、A4サイズ以下の用紙は給紙方向に対して横長の状態でセットします。
- A4サイズより大きい用紙は給紙方向に対して縦長の状態でセットします。

5

セットした用紙のサイズに合わせて、「トレイ用紙サイズ」の設定を変更します。

用紙トレイの場合、セットする用紙のサイズに合わせて、操作パネルで「トレイ用紙サイズ」を設定する必要があります。

📖 本書「ワンタッチ設定モード2での設定方法」177ページ

# 特殊紙への印刷について

ここでは、ハガキなど、特殊紙への印刷方法について説明します。

特殊紙を使用する場合、コンピュータ上で印刷実行を指示してから、プリンタの印刷開始までに時間がかかることがあります。  
これは、特殊紙への良好な印刷を行うために、プリンタ内部で印刷機能の調整が行われるためです。

## ハガキへの印刷



注意

以下のハガキは使用しないでください。故障や印刷不良などの原因になります。

- インクジェットプリンタ用の専用ハガキ
- 私製ハガキ
- 箔押し、エンボス加工など表面に凹凸のあるハガキ
- 絵ハガキなどの厚い(220g/m<sup>2</sup>以上)ハガキ
- 本機や他のプリンタで一度印刷したハガキ
- 大きく反っているハガキ(反りを修正してご使用ください)
- 絵入りハガキを給紙すると、絵柄裏移り防止用の粉が給紙ローラに付着して、給紙できなくなる場合があります。

☞ 困ったときにお読みください「給紙ローラのクリーニングについて」67ページ

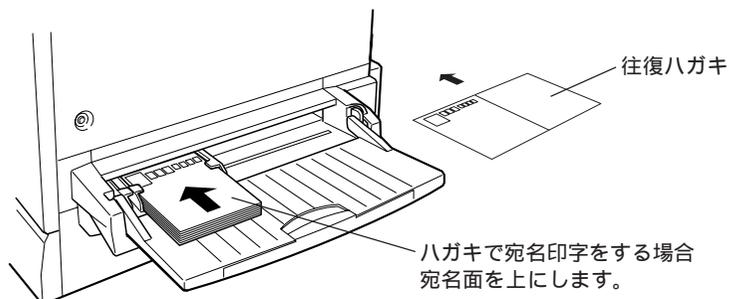
給紙方法/セット可能枚数	用紙トレイ/75枚
操作パネルの設定 (「トレイ紙サイズ」の設定)	[ハガキ]に設定
プリンタドライバの設定	Windows [基本設定]画面[用紙サイズ(A)] [ハガキ100x148mm] [用紙種類(M)] [厚紙] [給紙装置(S)] [用紙トレイ] Macintosh [用紙設定]ダイアログ[印刷用紙] [ハガキ100x148mm] [給紙装置] [用紙トレイ]



ポイント

- 往復ハガキは用紙中央に折り目がないものを使用してください。
- 往復ハガキに印刷する場合は、アプリケーションソフトウェアで用紙サイズを、200mmx148mmに設定してください。アプリケーションソフトウェアで任意の用紙サイズを指定できない場合は、往復ハガキへの印刷はできません。
- 奥までしっかりセットしても給紙されなかった場合は、先端を数mm上に反らせてセットしてください。
- 印刷する面を上に向けてセットしてください。
- 用紙トレイから給紙してください。(用紙力セットからの給紙はできません)。
- ハガキや封筒に印刷する前に、同じサイズの用紙で試し印刷をして印刷位置や印刷方向などの確認をしてください。

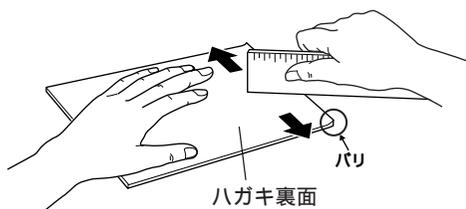
## 給紙のしかた



## ハガキの「バリ」除去について

ハガキによっては、裏面に「バリ」(裁断時のかえり)が大きいために、給紙できない場合があります。印刷する前にハガキ裏面を確認し「バリ」がある場合には以下の方法に従って除去してください。

ハガキを水平なところに置いて、定規などを「バリ」がある部分に垂直にあてて矢印方向に1～2回こすり、「バリ」を除去します。



注意

- 「バリ」除去の際に発生した紙粉をよく払ってから給紙してください。
- ハガキに紙粉が付着したまま給紙すると、用紙が給紙できなくなるおそれがあります。万一用紙を給紙しなくなった場合は、給紙ローラをクリーニングしてください。  
🔗 困ったときにお読みください「給紙ローラのクリーニングについて」67ページ

## 封筒への印刷

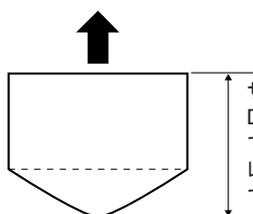
封筒の品質は、製造メーカーによって異なります。大量の封筒を購入するまえには、必ず試し印刷をして、印刷の状態を確認してください。



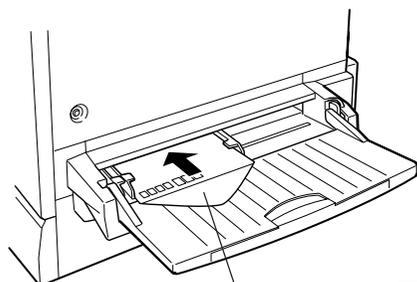
注意

以下の封筒は使用しないでください。故障や印刷不良などの原因になります。

- 封の部分に糊付け加工が施されている封筒
- 箔押し、エンボス加工など表面に凹凸のある封筒
- リボン、フックなどが付いている封筒
- 本機や他のプリンタで一度印刷した封筒
- 二重封筒
- 高温で変質する可能性のあるインクで印刷がされている封筒



サイズが MON、C10、DL で、封を開いた状態で、この寸法が 143mm 以上のものが使用可能です。



封のついている面を後ろ側にします

給紙方法/セット可能枚数	用紙トレイ/20枚
操作パネルの設定 ( [トレイ紙サイズ] の設定 )	[ MON ] [ C10 ] [ DL ] の中から使用する用紙サイズを設定。
プリンタドライバの設定	Windows [ 基本設定 ] 画面 [ 用紙サイズ(A) ] [ MON ] [ C10 ] [ DL ] [ 用紙種類(M) ] [ 厚紙 ] [ 給紙装置(S) ] [ 用紙トレイ ] Macintosh [ 用紙設定 ] ダイアログ [ 印刷用紙 ] [ Monarch ] [ Commercial-10 ] [ DL ] [ 給紙装置 ] [ 用紙トレイ ]



ポイント

- 封筒の定形サイズは、Monarch (MON)、Commercial-10 (C10)、DL の 3 つ (洋形封筒のみ) です。
- 封筒のフラップ (閉じ口) を開いた状態で、フラップを後ろにしてセットしてください。
- 封 (閉じ口) を後ろに向けてセットするため、プリンタドライバ上で 180° 回転印刷を指定してください。
- 奥までしっかりセットしても給紙されなかった場合は、先端を数 mm 上に反らせてセットしてください。

## 厚紙 / 不定形紙への印刷

給紙方法/セット可能枚数	用紙トレイ/75枚(厚紙)/150枚(不定形紙)
操作パネルの設定 ([トレイ紙サイズ]の設定)	使用する用紙サイズを設定。
プリンタドライバの設定	Windows [基本設定]画面/[用紙サイズ(A)] 任意のサイズを設定 [給紙装置(S)] [用紙トレイ]  Macintosh [用紙設定]ダイアログ/[印刷用紙] 任意のサイズを設定 [給紙装置] [用紙トレイ]



ポイント

- アプリケーションソフトウェアで任意の用紙サイズを指定できない場合は、不定形紙への印刷はできません。
- [用紙種類(M)]は、紙厚 105g/m<sup>2</sup> 以下の場合は[普通]を、105g/m<sup>2</sup> 以上の場合は[厚紙]を選択してください。
- 印刷する面を上に向けて給紙してください。
- 220g/m<sup>2</sup> 以下のものを使用してください。

## ラベル紙への印刷



注意

以下のラベル紙は使用しないでください。故障の原因になります。

- 簡単にはがれてしまうラベル紙
- 一部がはがれているラベル紙
- 糊がはみ出しているラベル紙
- 台紙全体がラベルで覆われていない(台紙がむき出しになっている)ラベル紙
- インクジェットプリンタ用のラベル紙

給紙方法/セット可能枚数	用紙トレイ/75枚
操作パネルの設定 ([トレイ紙サイズ]の設定)	使用する用紙サイズを設定。
プリンタドライバの設定	Windows [基本設定]画面/[用紙サイズ(A)] 任意のサイズを設定 [用紙種類(M)] [厚紙] [給紙装置(S)] [用紙トレイ]  Macintosh [用紙設定]ダイアログ/[印刷用紙] 任意のサイズを設定 [給紙装置] [用紙トレイ]



ポイント

- ラベルが貼ってある面を上に向けてセットしてください。
- レーザープリンタ用またはコピー機用のものを使用してください。

## OHP シートへの印刷

### 使用可能な OHP シートについて

本機ではEPSON製カラーレーザープリンタ用OHPシート(型番:LPCOHPS1)のみ印刷可能です。(以下、「専用 OHP シート」と記載)



注意

専用 OHP シート以外の OHP シートがセットされた場合、プリンタ内部機構の損傷を防ぐために給紙動作を強制的に停止しますので、本機では使用しないでください。  
また専用 OHP シートの向きや裏表を間違えてセットした場合も、同様に給紙動作を強制的に停止します。

給紙方法/セット可能枚数	用紙トレイ/75枚
操作パネルの設定 ([トレイ紙サイズ]の設定)	A4に設定
プリンタドライバの設定	Windows [基本設定]画面/[用紙サイズ(A)] [A4] [用紙種類(M)] [OHPシート] [給紙装置(S)] [用紙トレイ] Macintosh [用紙設定]ダイアログ/[印刷用紙] [A4] [紙種設定] [OHPシート] [給紙装置] [用紙トレイ]



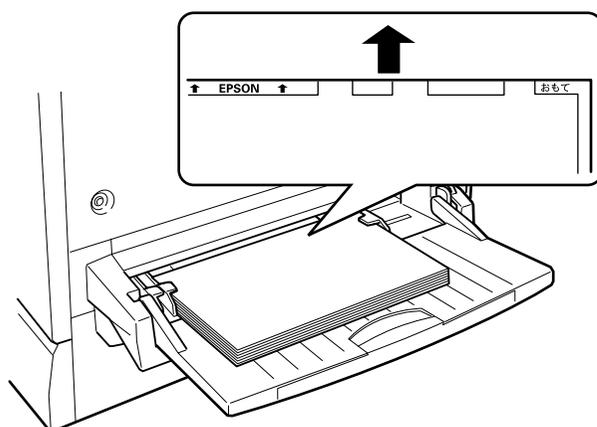
ポイント

- 専用の OHP シート (型番 : LPCOHPS1) を使用してください。
- OHP シートは、手の脂が付かないように、手袋をはめるなどしてお取り扱いください。OHP シートに手の脂が付着すると、印刷不良の原因になる場合があります。
- 印刷直後の OHP シートは熱くなりますのでご注意ください。

## 専用 OHP シートのセット

専用 OHP シート (型番: LPCOHPS1) には、下図のように目印が付いています。専用 OHP シートをセットする場合、必ず次の点を守ってください。

- 必ず用紙トレイにセットしてください。
- 必ず専用 OHP シートの目印のある箇所を、下図の方向に向けてセットしてください。



## 「OHP シートガタダシクアリマセン」と表示された場合

次の場合、本機は操作パネルの液晶ディスプレイに「OHP シートガタダシクアリマセン」と表示して、給紙を途中で停止します。

- 専用 OHP シートを、向き (方向 / 裏表) を間違えてセットした場合
- 専用 OHP シート以外の OHP シートをセットした場合

この場合、プリンタを印刷可能状態に戻すには次のようにしてください。

給紙口から、用紙詰まりを起こしている OHP シートを引き出して取り除きます。

本体右側面の紙送りユニットを一度引き出して、OHP シートが詰まっていないかを確認し、紙送りユニットを閉じます。

OHP シートが専用 OHP シートであるか、向き (方向 / 表裏) に間違いがないかを確認して、用紙トレイにセットし直します。



ポイント

上記の場合、必ず紙送りユニットを一度引き出し、閉じてください。  
給紙口での用紙詰まりが発生した場合、紙送りユニットを引き出して閉じることで用紙詰まりのエラー状態を解除します。



# 操作パネルでの設定

ここでは、操作パネルの設定方法について説明しています。

プリンタの設定方法について .....	172
操作パネルについて .....	173
操作パネルでの設定方法 .....	174
設定項目の説明 .....	181
インターフェイスの選択 .....	197
節電の設定方法 .....	199
ステータスシートの印刷 .....	201
16 進ダンプ印刷 .....	202
リセット / リセットオールについて .....	203

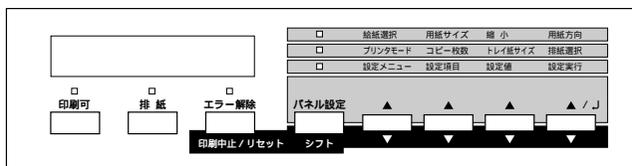
# プリンタの設定方法について

プリンタの設定は、以下の方法で実行できます。通常の印刷に必要な設定は、プリンタドライバまたはアプリケーション上で設定できますが、それ以外の設定は操作パネル上から実行する必要があります。

## 操作パネルからの設定

- 本機に用意された全ての設定は、操作パネルから実行できます。
- 通常の印刷に必要な設定は、プリンタドライバ上から実行できますがドライバにない項目については、操作パネルから設定する必要があります。

📖 本書「操作パネルでの設定方法」174ページ



## プリンタドライバからの設定

- 通常の印刷に必要な設定は、プリンタドライバ上から実行できます。

📖 本書「Windows95/NT4.0からの印刷」

67ページ

「WindowsNT3.1からの印刷」 121ページ

「WindowsNT3.5xからの印刷」 137ページ

「Macintoshからの印刷」 99ページ



## 「EPSON Remote!」からの設定

- MS-DOSから印刷する場合は、パネル設定ユーティリティ「EPSONRemote!」からプリンタの設定ができます。

📖 本書「EPSON Remote!について」242ページ

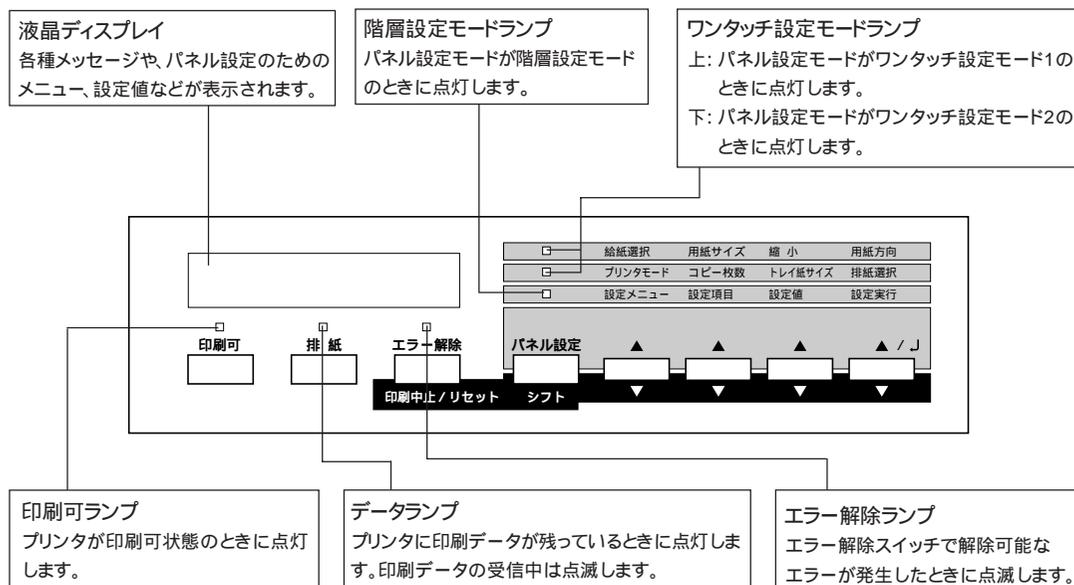


# 操作パネルについて

操作パネル上のランプ、スイッチの名前と機能を説明します。

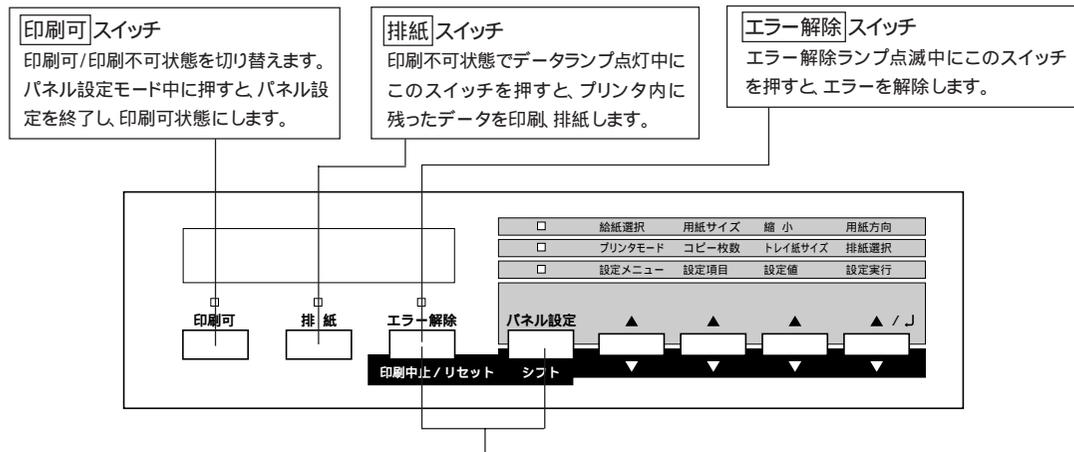
## ランプ/ディスプレイ

操作パネル上のランプ、ディスプレイで現在のプリンタの状態がわかります。



## スイッチ

操作パネルのよく使うスイッチと、各スイッチの機能は以下の通りです。



印刷中止/リセットスイッチ( **シフト** + **エラー解除** を同時に押します )

- 印刷を中止し、現在稼働中のインターフェイスで受信した印刷データを消去し(リセット)同時にエラーも解除します。キャッシュに保存されたフォントや外字、フォームデータは記憶したままです。
- 約5秒間押し続けると、全てのインターフェイスの受信データを消去しプリンタを初期化します(リセットオール)。キャッシュフォントや外字、フォームデータも消去します。

📖 本書「リセット/リセットオールについて」203ページ

# 操作パネルでの設定方法

ここでは操作パネルでの設定変更の方法について説明します。

## 操作パネルでの設定変更の注意事項

操作パネルで設定変更を行う場合、次の点に注意してください。

- 項目によっては、プリンタを接続するインターフェイス(パラレル、オプション)ごとに設定が必要な場合があります。このような項目の場合、項目の設定変更の前に、どのインターフェイスに対して設定変更を行うかを選択する必要があります。

📖 本書「インターフェイスの選択」197ページ

- 一部の項目、および設定値については、それに関係するオプションが装着されているときのみ表示されます。

下記のメニューは、プリンタの状態を表示するのみで、設定値は変更できません。

	設定メニュー	設定項目
現在のプリンタの状態を表示する項目	キョウツウメニュー	カセット1ヨウシサイズ カセット2ヨウシサイズ カセット3ヨウシサイズ カセット4ヨウシサイズ
	キョウツウメニュー2	Yトナーザンリョウ Mトナーザンリョウ Cトナーザンリョウ Kトナーザンリョウ ノペインサツマイスウ

下記のメニューは、プリンタの持つ機能を実行するためのものです。設定値は変更できません。

	設定メニュー	設定項目
特定の処理を行うための項目	テストインサツメニュー	ステータスシート ROMモジュールAジョウホウ ROMモジュールBジョウホウ

## パネル設定モードの種類

操作パネルでの設定変更には、次の3つのモードがあります。

ワンタッチ設定モード1/2は、使用頻度の高い項目の設定変更を簡単に行うためのモードです。

階層設定モードは、全ての項目の設定変更を行うためのモードです。

モード	設定項目
ワンタッチ設定モード1	給紙選択 用紙サイズ 縮小 用紙方向
ワンタッチ設定モード2	プリンタモード コピー枚数 トレイ用紙サイズ 排紙選択
階層設定モード	すべての設定項目 📖 本書「設定項目の説明」181ページ

## ワンタッチ設定モード1の設定方法



ポイント

ワンタッチ設定モード1の設定項目は、「はじめメニュー」で選択されているインターフェイスに対して有効になります。

初期設定は「パラレルヨウ」(パラレルインターフェイス)です。プリンタを他のインターフェイスに接続している場合は、インターフェイスを選択してから設定を変更してください。

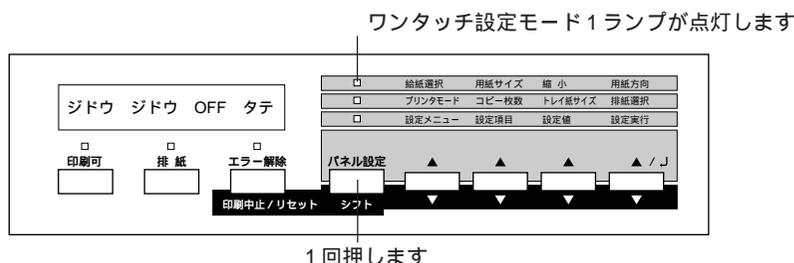
本書「インターフェイスの選択」197ページ

設定項目	設定項目の説明と注意事項
給紙選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>印刷時にどの給紙装置から給紙するか選択します。</li> <li>「ジドウ」に設定すると、アプリケーションソフト側で指定している用紙サイズと同じサイズの用紙がセットされている給紙装置から、給紙します。</li> </ul>
用紙サイズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>アプリケーションソフトで作成した印刷データの用紙サイズを選択します。</li> <li>「ジドウ」に設定すると、「給紙装置」で設定した給紙装置にセットされている用紙のサイズが指定されたこととなります。</li> <li>「給紙装置」と「用紙サイズ」の両方を「ジドウ」に設定すると、アプリケーションソフト側の設定に従って給紙されます。アプリケーションソフト側で設定していない場合は、用紙カセット1にセットされている用紙が給紙されます。</li> </ul>
縮小	<ul style="list-style-type: none"> <li>印刷データを約80%にして印刷します。</li> </ul>
用紙方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>「用紙方向」は、用紙に対して縦方向、横方向のどちらで印刷するかを指定する項目です。用紙を縦にセットするか、横にセットするかを指定する項目ではありません。</li> </ul>

ディスプレイに「インサツカノウ」と表示されている状態から、次の手順で操作します。

1

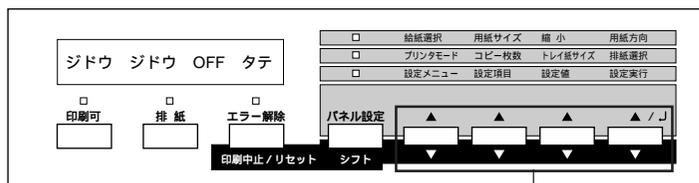
**パネル設定** スイッチを1回押します。



## 2

設定を変更したい項目が割り当てられているスイッチを押します。

各スイッチを押すごとに、下表の順番で設定値が切り替わります。



いずれかのスイッチを押して  
設定を変更します

スイッチ( 割り当てられている設定項目 )	設定値
設定メニュースイッチ( 給紙装置 )	ジドウ トレイ カセット1 カセット2* カセット3* カセット4*
設定項目スイッチ( 用紙サイズ )	ジドウ A4 A3 A5 B4 B5 ハガキ LT HLT LGL GLT GLG B EXE F4 MON C10 DL A3W( ノビ )
設定値スイッチ( 縮小 )	OFF 80%
設定実行スイッチ( 用紙方向 )	タテ ヨコ

「給紙装置」の「カセット2」～「カセット4」は、オプションの増設カセットユニットを装着している場合のみ表示されます。

シフトスイッチを押しながらそれぞれのスイッチを押すと、上表と逆の順番に設定値が切り替わります。

## 3

設定を変更したら、印刷可スイッチを押します。

ワンタッチ設定モードが終了し、印刷可ランプが点灯して印刷可状態になります。

## ワンタッチ設定モード2での設定方法



ポイント

ワンタッチ設定モード2の設定項目は、「はじめメニュー」で選択されているインターフェイスに対して有効になります。

初期設定は「パラレルヨウ」(パラレルインターフェイス)です。プリンタを他のインターフェイスに接続している場合は、インターフェイスを選択してから設定を変更してください。

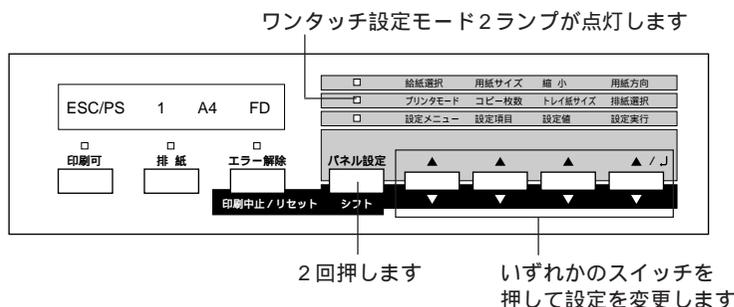
📖 本書「インターフェイスの選択」197ページ

設定項目	設定項目の説明と注意事項
プリンタモード	<ul style="list-style-type: none"> <li>プリンタが動作するモードを設定します。各モードの詳細は以下のページを参照してください。 📖 本書「プリンタモードメニュー」186ページ</li> <li>「プリンタモード」の初期設定は「ESC/PS」です。コントロールコードがESC/PかPC-PR201Hかを自動判別するため、基本的には変更する必要はありません。</li> <li>変更する必要があるのは次のような場合です。 ESC/Pに変更する : 国内版DOSアプリケーションソフトウェアを使用していて、画面とは違う文字が印刷される場合または、海外版DOSアプリケーションソフトウェアを使用する場合 ESC/Pageに変更する : 自作プログラムを使用する場合など</li> </ul>
コピー枚数	<ul style="list-style-type: none"> <li>印刷する枚数を設定します。(1~255)</li> </ul>
トレイ用紙サイズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>用紙トレイにセットした用紙サイズに合わせて設定します。 A3W(ノビ)、A3、B4、B5、A4、LT、官製はがき、A5、HLT、LGL、GLT、GLG、B、EXE、F4、MON、C10、DL</li> </ul>
排紙選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>印刷した用紙を、フェイスダウントレイ(本体上面の排紙トレイ)に排紙するか、フェイスアップトレイ(本体左側の排紙トレイ)に排紙するかを設定します。 B5サイズ未満の用紙、および特殊紙(サイズは無関係)は、設定に関わらずフェイスアップトレイに排紙されます。</li> </ul>

ディスプレイに「インサツカノウ」と表示されている状態から、次の手順で操作します。

1

**パネル設定** スイッチを2回押します。



2

設定を変更したい項目が割り当てられているスイッチを押します。  
スイッチを押すごとに、下表の順番で設定値が切り替わります。

スイッチ(割り当てられている設定項目)	設定値
<b>設定メニュー</b> スイッチ(プリンタモード)	ESC/PS ESC/P ESC/Page
<b>設定項目</b> スイッチ(コピー枚数)	1 ~ 255
<b>設定値</b> スイッチ(トレイ紙サイズ)	A4 A3 A5 B4 B5 ハガキ LT HLT LGL GLT GLG B EXE F4 MON C10 DL A3W(ノビ)
<b>設定実行</b> スイッチ(排紙選択)	FD FU

**シフト** スイッチを押しながらそれぞれのスイッチを押すと、上表と逆の順番に設定値が切り替わります。

3

設定の変更が終了したら、**印刷可** スイッチを押します。

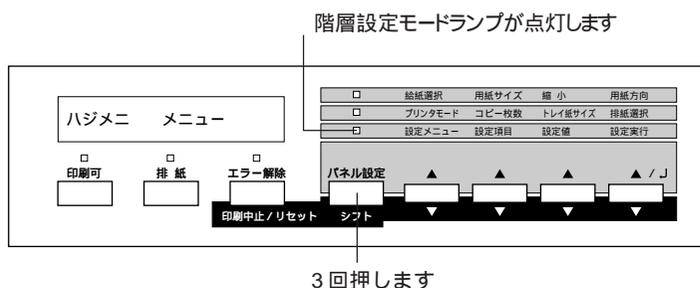
ワンタッチ設定モードが終了し、印刷可ランプが点灯して印刷可状態になります。

## 階層設定モードでの設定方法

ディスプレイに「インサツカノウ」と表示されている状態から、次の手順で操作します。

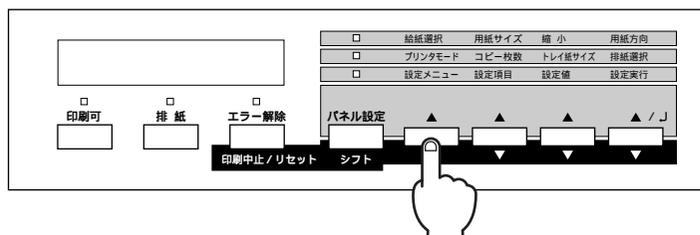
**1** 本書 181 ページ「設定項目の説明」を参照して、変更したい設定項目がどの設定メニューにあるかを確認します。

**2** **パネル設定** スイッチを 3 回押します。



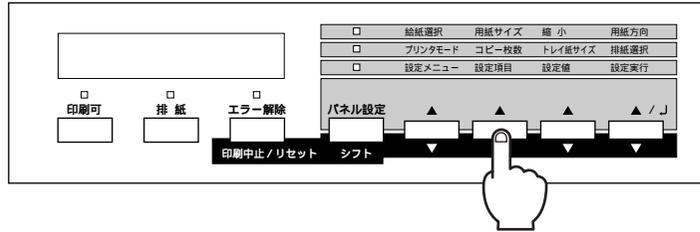
このときディスプレイには「ハジメニメニュー」と表示されます。

**3** **1** で確認した設定メニューの名前が表示されるまで、**設定メニュー** スイッチを押します。

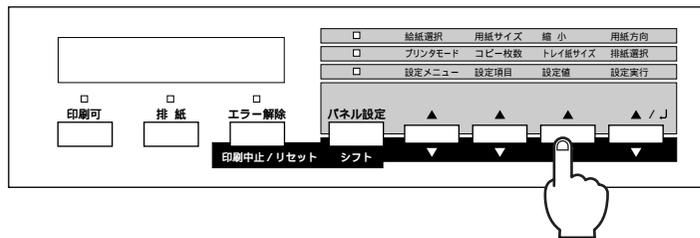


**4**

① で確認した設定項目の名前が表示されるまで、**設定項目** スイッチを押します。

**5**

変更したい設定値が表示されるまで、**設定値** スイッチを押します。



**シフト** スイッチを押しながら **設定値** スイッチを押すと、上表と逆の順番に設定が切り替わります。

**6**

**設定実行** スイッチを押します。

変更した設定値が有効になります。

**設定実行** スイッチを押さないと、設定値が有効になりません。必ず押してください。

**7**

**印刷可** スイッチを押します。

ディスプレイの表示が「インサツカノウ」になり、階層設定モードが終了します。

# 設定項目の説明

本機は、用途に合わせてさまざまな設定ができます。ここでは、設定変更できる項目と、各項目の内容について説明します。



ポイント

操作パネルのディスプレイ上では、漢字やひらがなはすべてカタカナで表示されます。

■で表示された項目は、プリンタドライバで設定可能な項目です。この項目の設定は、プリンタドライバの設定が優先されます。

設定メニュー	設定項目	参照ページ
ハジメメニュー	設定選択	183
シヨキカメニュー	設定初期化 = パラレル用	183
	設定初期化 = オプション1用*1	183
	設定初期化 = オプション2用*1	183
	設定初期化 = 全設定	183
テストインサツメニュー	ステータスシート	184
	ROMモジュールA 情報*2	184
	ROMモジュールB 情報*2	184
キョウツウメニュー	I/F切り替え	184
	I/Fタイムアウト	184
	節電	185
	トレイ用紙サイズ	185
	カセット1用紙サイズ	185
	カセット2用紙サイズ*3	185
	カセット3用紙サイズ*3	185
カセット4用紙サイズ*3	185	
	表示言語	185
キョウツウメニュー2	Yトナー残量	186
	Mトナー残量	186
	Cトナー残量	186
	Kトナー残量	186
	のべ印刷枚数	186
プリンタモードメニュー	プリンタモード	186
インサツメニュー	給紙	187
	用紙サイズ	187
	用紙方向	187
	排紙	188
	コピー枚数	188
	縮小	188
	解像度	188
	イメージ補正	188
	白紙節約	189
	自動排紙	189
デバイスメニュー	RIT	189
	トナーセーブ	189
	上オフセット	189
	左オフセット	189
	紙種	190
	用紙サイズフリー	190
	自動エラー解除	191
	ページエラー回避	191

設定メニュー	設定項目	参照ページ
パラレルI/Fセッテイメニュー	ACK幅	191
	双方向	191
	受信バッファ	192
オプションI/F1セッテイメニュー*1	受信バッファ	192
オプションI/F2セッテイメニュー*1	受信バッファ	192
ESC/PSカンキョウメニュー	連続紙	193
	文字コード	194
	給紙位置	194
	各国文字	194
	ゼロ	194
	用紙位置	194
	右マージン	194
	漢字書体	195
ESC/Pageカンキョウメニュー	復帰改行	195
	改ページ	195
	CR	195
	LF	195
	FF	195
	エラーコード	196
	フォントタイプ	196
	フォームオーバーレイ*4	196
	フォーム番号*4	196

\*1 オプションのインターフェイスカード装着時のみ表示され、選択できます。

\*2 オプションのROMモジュールが装着されていて、ROMモジュール内に情報があるときに表示され、印刷できます。フォントROMモジュール装着時は表示されません。

\*3 オプションの増設カセットユニット装着時のみ表示されます(表示のみ)。

\*4 オプションのフォームオーバーレイROMモジュールが装着され、そのROMモジュールにフォームデータが登録されているときに表示され、選択できます。

## はじめメニュー

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	セッテイセンタク	パネル設定モードでの、設定変更の対象となるインターフェイスを選択します。
設定値	パラレルヨウ(初期設定)	パラレルインターフェイスのパネル設定を選択します。
	オプション1ヨウ	スロット1に装着したインターフェイスカードのパネル設定を選択します。(オプションのインターフェイスカード装着時のみ)
	オプション2ヨウ	スロット2に装着したインターフェイスカードのパネル設定を選択します。(オプションのインターフェイスカード装着時のみ)

## シヨキカメニュー

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	セッテイシヨキカ = パラレルヨウ	パラレルインターフェイスのパネル設定値を初期化します。
設定値		設定値はありませんので、 <b>設定実行</b> スイッチを押して実行します。
設定項目	セッテイシヨキカ = オプション1ヨウ	スロット1( AUX1 )に装着したインターフェイスカードのパネル設定値を初期化します。(オプションのインターフェイスカード装着時のみ)
設定値		設定値はありませんので、 <b>設定実行</b> スイッチを押して実行します。
設定項目	セッテイシヨキカ = オプション2ヨウ	スロット2( AUX2 )に装着したインターフェイスカードのパネル設定値を初期化します。(オプションのインターフェイスカード装着時のみ)
設定値		設定値はありませんので、 <b>設定実行</b> スイッチを押して実行します。
設定項目	セッテイシヨキカ = ゼンセッテイ	すべてのインターフェイスのパネル設定値を初期化します。
設定値		設定値はありませんので、 <b>設定実行</b> スイッチを押して実行します。



ポイント

設定を実行すると、自動的にプリンタがリセットされます。

## テストインサツメニュー

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	ステータスシート	現在のプリンタ設定の一覧(ステータスシート)を印刷します。
設定値		設定値はありませんので、 <b>設定実行</b> スイッチを押して実行します。

設定項目	ROMモジュールA ジョウホウ (ROMモジュール Bジョウホウ)	ROMモジュール用ソケット A/Bに装着されているオプションのROMモジュールにROMモジュール情報が存在するときだけ表示され、ROMモジュール情報を印刷します。
設定値		設定値はありませんので、 <b>設定実行</b> スイッチを押して実行します。

## キョウツウメニュー (すべてのインターフェイスに共通の設定項目です。)

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	I/F キリカエ	自動切り替えモードか、単一のインターフェイスだけがデータを受信してプリンタを動作させるモードかのどちらかを指定します。単一のインターフェイスだけがプリンタを動作させるモードを選択した場合、他のインターフェイスはデータ受信を一切行いません。
設定値	シドウ(初期設定値)	インターフェイス自動切り替えモードになります。
	パラレル	パラレルインターフェイスからのデータのみを受信します。
	オプション1	スロット1(AUX1)に装着したインターフェイスカードからのデータのみを受信します。(オプションのインターフェイスカード装着時のみ)
	オプション2	スロット2(AUX2)に装着したインターフェイスカードからのデータのみを受信します。(オプションのインターフェイスカード装着時のみ)
設定項目	I/F タイムアウト	インターフェイスを自動切り替えで使用しているときの、タイムアウト時間を設定します。タイムアウト時間とは、あるインターフェイスからのデータの受信が途切れたのち、別のインターフェイスに切り替わるまでの時間のことです。ただし、タイムアウト時間中も別のインターフェイスはデータを受信し、受信バッファにデータを蓄えています。タイムアウト時間経過後にインターフェイスが切り替わります。タイムアウト時間経過後は強制的にインターフェイスが切り替わるため、作成途中でデータの受信が途切れていたページは、その時点で排紙されます。
設定値	20 ~ 600 ビョウ	10 秒単位で設定可能。(初期設定 60ビョウ)

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	セツデン	頻繁に印刷をしない場合などに、印刷待機中のプリンタの消費電力を節約するための機能です。最後の印刷の終了から指定した時間の半分が経過すると「節電レベル1」状態になり、さらに時間が経過して指定した時間になると「節電レベル2」状態になります。 ☞本書「本機の節電機能について」199ページ
設定値	60 プン( 初期設定 ) OFF 30 プン 120 プン	それぞれ、「節電レベル2」状態になるまでの時間を指定します。「OFF」にすると、節電機能を使用しません。

☞本書「節電の設定方法」199ページ

設定項目	トレイヨウシサイズ	用紙トレイにセットした用紙サイズを指定または表示します。
設定値	A4、A3、A5、B4、B5、ハガキ、LT(Letter)、HLT( Half Letter )、LGL( Legal )、GLT( Government Letter )、GLG( Government Legal )、B( Ledger )、EXE( Executive )、F4、MON( Monarch )、C10( Commercial 10 )、DL、A3W( ノビ )	

設定項目	カセット1ヨウシサイズ	カセット1( 標準装備のカセットユニット )にセットされている用紙のサイズをディスプレイに表示します。
設定値		表示のみで変更はできません。[印刷可]スイッチを押して終了します。

設定項目	カセット2ヨウシサイズ カセット3ヨウシサイズ カセット4ヨウシサイズ	増設カセットユニットの3段の用紙カセットにセットされている用紙のサイズを液晶ディスプレイに表示します。上段の用紙カセットから順番に、「カセット2」~「カセット4」の番号が割り当てられています。( オプションの増設カセットユニット装着時のみ )
設定値		表示のみで変更はできません。[印刷可]スイッチを押して終了します。



ポイント

用紙カセットにセットされた用紙のサイズは、プリンタが自動的に認識するため「カセット\*ヨウシサイズ」は表示のみになります。

設定項目	ヒョウジゲンゴ	ディスプレイの表示を、日本語にするか、英語にするかを選択します。
設定値	ニホンゴ( 初期設定 ) ENGLISH	日本語で表示します。 英語で表示します。

## キョウツウメニュー 2 (すべてのインターフェイスに共通の設定項目です。)

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	Yトナーザンリョウ	各ETカートリッジのトナーの残量を表示します。 表示 E F:100% トナー残量 > 75% E F: 75% トナー残量 > 50% E F: 50% トナー残量 > 25% E F: 25% トナー残量 > 0% E F: トナー残量 = 0% Y/M/C/Kは、次のようにトナーの色を示します。 ●Y:イエロー ●C:シアン ●M:マゼンタ ●K:黒
	Mトナーザンリョウ	
	Cトナーザンリョウ	
	Kトナーザンリョウ	
設定値		表示のみでは変更できません。印刷可スイッチを押して終了します。



ポイント

トナーの消費量は印刷の状態により異なるため、液晶ディスプレイの表示と実際の残量の間には誤差が生じる場合があります。液晶ディスプレイ上の表示はトナー残量の目安としてご覧ください。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	ノベインサツマイスウ	プリンタを購入してから現在にいたるまでに印刷した累計枚数をディスプレイに表示します。
設定値		表示のみでは変更はできません。印刷可スイッチを押して終了します。

## プリンタモードメニュー

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	プリンタモード	プリンタが動作するモードを設定します。
設定値	ESC/PS(初期設定)	ESC/Pスーパーモードになります。通常はこの設定で使用してください。 DOSアプリケーションソフトウェアを使用する場合は、コンピュータから送られてきたコマンド(コントロールコード)がESC/Pであるか、PC-PR201Hであるかを自動判別します。 たいいていのDOSアプリケーションでは、ESC/Pageモードへの移行がサポートされていますので、この設定で使用できます。
	ESC/P	ESC/P( VP-1000 )エミュレーションモードになります。 海外版DOSアプリケーションソフトウェアを使用する場合や、国内版DOSアプリケーションソフトウェアで、画面とは違う文字が印刷される場合などに設定します。
	ESC/Page	ESC/Pageモードになります。通常は設定する必要がありません。

## インサツメニュー

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	キュウシ	給紙方法を選択します。
設定値	ジドウ(初期設定)	印刷時に指定したサイズ of 用紙がセットしてある給紙装置から自動的に給紙します。
	トレイ	用紙トレイから給紙します。
	カセット1	標準カセットユニット of 用紙カセットから給紙します。
	カセット2	増設カセットユニット of 一番上 of 用紙カセットから給紙します。(オプション of 増設カセットユニット 装着時のみ)
	カセット3	増設カセットユニット of 二番目 of 用紙カセットから給紙します。(オプション of 増設カセットユニット 装着時のみ)
カセット4	増設カセットユニット of 一番下 of 用紙カセットから給紙します。(オプション of 増設カセットユニット 装着時のみ)	



ポイント

「キュウシ」「ヨウシサイズ」ともに「ジドウ」を選択している場合は、アプリケーションソフトウェア of 給紙装置選択に従って給紙します。ソフトウェア上で指定されない場合は、カセット1から給紙します。  
「キュウシ」に「トレイ」を選択した場合は、「トレイ用紙サイズ」をセットしてある用紙のサイズに設定してください。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	ヨウシサイズ	アプリケーションソフトウェアで作成した書類(これから印刷する書類) of 用紙のサイズを設定します。
設定値	ジドウ(初期設定)、A4、A3、A5、B4、B5、ハガキ、LT(Letter)、HLT(Half Letter)、LGL(Legal)、GLT(Government Letter)、GLG(Government Legal)、B(Ledger)、EXE(Executive)、F4、MON(Monarch)、C10(Commercial 10)、DL、A3W(ノビ)	

設定項目	ヨウシホウコウ	用紙方向を選択します。「タテ」のとき、用紙の長辺を縦方向として印刷します。「ヨコ」のとき、用紙の長辺を横方向として印刷します。
設定値	タテ(初期設定)	印刷結果が縦長になる用紙方向で印刷します。(ポートレート)
	ヨコ	印刷結果が横長になる用紙方向で印刷します。(ランドスケープ)



ポイント

「ヨウシホウコウ」の選択は、プリンタにセットする用紙の向きを変更・指定することではありません。用紙に対する印刷の向きを指定するものです。用紙のセット方向については、本書「用紙のセット方向について」151ページを参照してください。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	ハイシ	印刷した用紙を、フェイスダウントレイに排紙するか、フェイスアップトレイに排紙するかを設定します。
設定値	FD(初期設定)	フェイスダウントレイ(本体上面の排紙トレイ)に排紙します。
	FU	フェイスアップトレイ(本体左側の排紙トレイ)に排紙します。



ポイント

- FU(フェイスアップトレイ)に排紙する場合、用紙は印刷面が上を向いて排紙されます。このためFUを選択した場合は、プリンタドライバ上で「逆順印刷」を有効にしてください。「逆順印刷」を有効にしない場合、1ページ目が一番下に、最終ページが一番上になってしまいます。
- フェイスダウントレイへの排紙が不可能な用紙の場合、FDに設定しても自動的にフェイスアップトレイに排紙されます。

設定項目	コピーマイスウ	同じデータを複数枚印刷する場合に、印刷する枚数を設定します。印刷するデータが何ページもある場合、ここで設定した枚数を印刷したあと、次のページのデータを印刷します。
設定値	1 ~ 255(初期設定:1)	

設定項目	シュクショウ	印刷データを約80%に縮小して印刷します。
設定値	80%	80%縮小で印刷します。
	OFF(初期設定)	100%で印刷します。

設定項目	カイソウド	印刷の解像度の選択をします。
設定値	ハイイ(初期設定)	300DPIで印刷します。
	キレイ	600DPIで印刷します。



ポイント

設定を「キレイ(600DPI)」にした場合、印刷するデータの容量が大きいと、メモリの不足で印刷ができないことがあります。このときは、「ハイイ(300DPI)」で印刷してください。「キレイ(600DPI)」で印刷するためには、プリンタのメモリ増設が必要です。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	イメージホセイ	イメージデータ補正方式を選択します。
選択	1(初期設定)	標準の補正方式。
	2	ESC/P または ESC/PS モードのとき: 罫線が途切れるときに設定します。 ESC/Page モードのとき: 本機に対応していないドライバを使用していて、グラフィックに問題があるときに設定します。

設定項目	ハクシセツヤク	印刷するデータがないまま排紙コマンド(FF=0CH等)が送られた場合に、白紙ページを印刷しないようにし、用紙を節約します。
設定値	スル(初期設定)	白紙ページを印刷しません。
	シナイ	そのまま白紙ページを印刷(排紙)します。
設定項目	ジドウハイシ	印刷データによっては、最後に排紙コマンドを送らない場合があります。そのような場合、この自動排紙を行う設定にしておくことにより、I/Fタイムアウトで設定した時間、プリンタが次のデータを受信しなかった場合に、プリンタ内に残っているデータを自動的に印刷して、排紙します。
設定値	スル(初期設定)	プリンタ内にデータがある場合、タイムアウト時間経過後、自動排紙します。
	シナイ	プリンタ内にデータが残っていても、自動排紙しません。

## デバイスメニュー

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	RIT (Resolution Improvement Technology)	斜線や曲線などのギザギザをなめらかにする輪郭補正機能(RIT)のON/OFFを選択します。
設定値	ON(初期設定)	輪郭を補正します。
	OFF	輪郭を補正しません。
設定項目	トナーセーブ	トナーの消費量を削減します
設定値	シナイ(初期設定)	トナーセーブ機能を使用しません。
	スル	トナーセーブ機能を使用します。



ポイント

トナーセーブを「スル」にすると、カラー印刷時は色の表現能力を低く押さえて印刷し、トナー使用量を約30%削減します。モノクロ印刷時は輪郭部分(右、下)のみを濃く、その他の部分を薄く印刷してトナー使用量を約50%削減します。

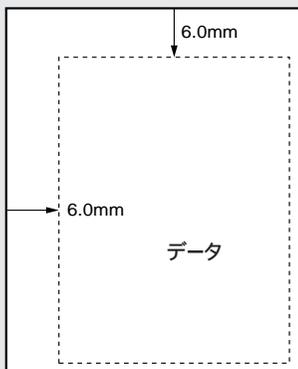
設定項目	ウエオフセット	用紙の上端に対して、印刷の開始位置を-5.0mmから+6.0mmの範囲で設定できます。ただし設定値によっては、印刷結果がソフトウェア側のマージン設定に対してずれることがあります。また、0mm以外の設定では、用紙によっては印刷内容の一部が印刷されないことがあります。
設定値	-5.0 ~ +6.0mm (0.5mm単位)	(初期設定:0mm)

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	ヒダリオフセット	用紙の左端に対して、印刷の開始位置を-5.0mmから+6.0mmの範囲で設定できます。ただし設定値によっては、印刷結果がソフトウェア側のマージン設定に対してずれることがあります。また、0mm以外の設定では、用紙によっては印刷内容の一部が印刷されないことがあります。
設定値	-5.0 ~ +6.0mm (0.5mm単位)	(初期設定:0mm)



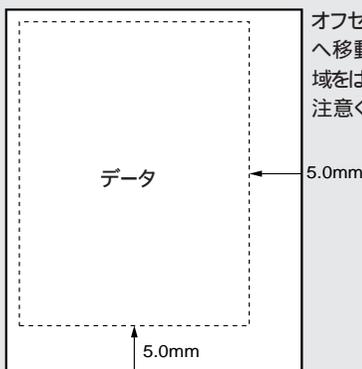
ポイント

例 1) ウエオフセット 6.0mm、ヒダリオフセット 6.0mm に設定の場合



オフセットを設定しデータが各方向へ移動することで、データが印刷領域をはみだす場合がありますのでご注意ください。

例 2) ウエオフセット -5.0mm、ヒダリオフセット -5.0mm に設定の場合



オフセットを設定しデータが各方向へ移動することで、データが印刷領域をはみだす場合がありますのでご注意ください。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	カミシュ	紙の種類を選択します。
設定値	フツウ( 初期設定 )	普通紙、EPSON製カラーレーザープリンタ用上質普通紙を使用するときに選択します。
	アツガミ	ハガキ、封筒、ラベル紙などの特殊用紙や厚紙を使用するときに選択します。なお、用紙サイズをハガキか封筒サイズにした場合には、自動的にアツガミのときと同じ処理が行われます。( 表示は変わりません )。
	OHPシート	EPSON製カラーレーザープリンタ用OHPシートを使用するときに選択します。

設定項目	ヨウシサイズフリー	「ヨウシコウカン xxxxx yyyy」と「ヨウシサイズエラー」のエラーを表示するかしないかを設定します。
設定値	OFF( 初期設定 )	上記2つのエラーと警告を検出した場合、ディスプレイにメッセージを表示します。
	ON	上記2つのエラーと警告を表示しません。

ヨウシサイズフリーを「ON」にすると、印刷速度は「OFF」の場合の半分以下になります。



ポイント

設定項目	ジドウエラーカイジョ	エラーが発生したときに、自動的にエラー状態を解除するか、そのまま動作を一時停止するかを設定します。
選択	シナイ(初期設定)	「ページエラーオーバーラン」、「ヨウシコウカン」、「メモリオーバー メモリガタリマセン」のエラーが発生したときに、エラー解除スイッチを押してエラー状態を解除しないかぎりプリンタの動作は停止し、処理を再開しません。
	スル	上記のエラーが発生したときに、メッセージを約5秒間表示後、エラーを自動的に解除して動作を継続します。
設定項目	ページエラーカイヒ	複雑なデータ(文字数、図形などが非常に多いデータ)を印刷するとき、印刷動作に対し画像データ作成が追いつかないため、ページエラーが発生する可能性があります。このとき、送られてきた画像データに相当するメモリやバッファを確保し、あらかじめ描画してから印刷動作を開始するようにして、ページエラーを回避することができます。ただし、場合によっては印刷の所要時間が長くなりますので、通常の使用ではOFFに設定し、ページエラーが発生するときだけONに設定します。
設定値	ON	ページエラー回避機能を使用します。
	OFF(初期設定)	ページエラー回避機能を使用しません。



ポイント

ページエラー回避をONにすると、「メモリオーバー メモリガタリマセン」エラーも回避できる場合があります。なお、ONにしても「メモリオーバー メモリガタリマセン」エラーが発生した場合は、メモリを増設してください(受信バッファの設定を「サイショウ」にすると、メモリを増設しなくてもエラーを回避できる場合があります)。

## パラレルI/Fセッテイメニュー (パラレルインターフェイスの設定項目です。)

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	ACKハバ	パラレルインターフェイスのACK信号のパルス幅を選択します。
設定値	ヒョウジュン	約10 $\mu$ Sに設定します。
	ミジカイ(初期設定)	約1 $\mu$ Sに設定します。
設定項目	ソウホウコウ	パラレルインターフェイスの双方向通信(IEEE 1284準拠)のモード設定を行います。
設定値	ニプル(初期設定)	双方向通信について、ニプルモードに対応します。
	ECP	双方向通信について、ECPモードに対応します。
	OFF	双方向通信を行いません。



ポイント

「ニブル」「ECP」は、どちらも双方向通信のモードです。  
「ECP」に設定して使用するには、コンピュータのパラレルインターフェイス  
やアプリケーションソフトがECPモードに対応している必要があります。  
コンピュータやアプリケーションソフトで特に指定がない場合は「ニブル」に  
設定してください。

設定項目	ジュシンバッファ	受信バッファを設定します。
設定値	ヒョウジュン(初期設定)	搭載メモリを印刷描画用、データ受信用にバランス良く配分します。
	サイダイ	搭載メモリをデータ受信を重視して配分します。コンピュータ側の印刷処理は早く終わりますが、印刷時にメモリ不足になる可能性があります。
	サイショウ	搭載メモリを印刷描画を重視して配分します。大きいサイズのデータが印刷できますがコンピュータ側での印刷処理の時間が長くなります。



ポイント

「ジュシンバッファ」の設定を変更した場合は、設定後に必ずリセットオールまたは電源の再投入をしてください。

本書「リセットオールについて」204ページ

## オプションI/F1セッテイメニュー・オプションI/F2セッテイメニュー

スロット1/2に装着したオプションインターフェイスの設定項目です。(オプションのインターフェイスカード装着時のみ)

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	ジュシンバッファ	受信バッファを設定します。
設定値	ヒョウジュン(初期設定)	搭載メモリを印刷描画用とデータ受信用にバランス良く配分します。
	サイダイ	搭載メモリをデータ受信を重視して配分します。
	サイショウ	搭載メモリを印刷描画を重視して配分します。

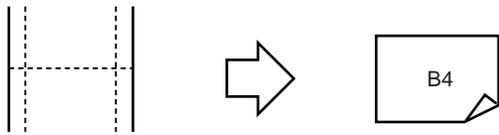
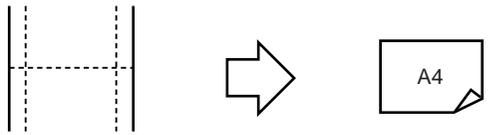
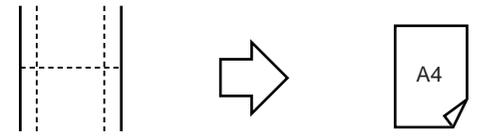


ポイント

「ジュシンバッファ」の設定を変更した場合は、設定後に必ずリセットオールまたは電源の再投入をしてください。

## ESC/PS キャンキョウメニュー

ESC/PS、またはESC/Pモードで選択できる設定項目です。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	レンゾクシ	<ul style="list-style-type: none"> <li>ESC/PSモードまたはESC/Pモードで有効です。</li> <li>連続紙用の印刷データを、単票用紙(カット紙)に縮小して印刷するかどうかを選択します。</li> </ul>
設定値	OFF(初期設定)	縮小しません。
	F15 B4ヨコ	<p>15インチ×11インチの連続紙へのデータをB4横長の用紙に縮小して印刷します。</p> 
	F15 A4ヨコ	<p>15インチ×11インチの連続紙へのデータをA4横長の用紙に縮小して印刷します。</p> 
	F10 A4タテ	<p>10インチ×11インチの連続紙へのデータをA4縦長の用紙に縮小して印刷します。</p> 

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	モジコード	<ul style="list-style-type: none"> <li>ESC/P用ソフトウェアを使用しているときに有効です。</li> <li>英数カナ文字コードを切り替えます。</li> </ul>
設定値	カタカナ(初期設定)	カタカナコード表を選択します。
	グラフィック	拡張グラフィックコード表を選択します。
設定項目	キュウシイチ	<ul style="list-style-type: none"> <li>ESC/P用ソフトウェアを使用しているときに有効です。</li> <li>用紙の印刷開始位置を選択します。</li> </ul>
設定値	8.5mm(初期設定)	8.5mmにします。
	22mm	22mmにします。
設定項目	カッコモジ	<ul style="list-style-type: none"> <li>ESC/PSモードでPC-PR201H用ソフトウェアを使用しているときに有効です。</li> <li>英数カナ文字コード表の一部の記号をどの国に対応するかを選択します。</li> </ul>
設定値	二ホン(初期設定) アメリカ、イギリス、 ドイツ、スウェーデン	
設定項目	ゼロ	<ul style="list-style-type: none"> <li>ESC/PSモードまたはESC/Pモードで有効です。</li> <li>英数カナ文字コードの「0」の書体を選択します。</li> </ul>
設定値	0(初期設定)	「0」を選択します。
	∅	「∅」を選択します。
設定項目	ヨウシイチ	<ul style="list-style-type: none"> <li>ESC/PSモードでPC-PR201H用ソフトウェアを使用しているときに有効です。</li> <li>横方向の印字範囲(136桁)の幅のなかで、用紙をどの位置に合わせるかを選択します。中央を選択した場合は、さらにオフセット量を選択できます。アプリケーションソフトウェアのプリンタ設定でPC-PR201H、シートフィーダを使用にしたときは、「チュウオウ」を選択してください。</li> </ul> <p>なお、アプリケーションソフトウェアの左右マージン設定によっては、左右の一部が印刷されない場合があります。このときは、アプリケーションソフトウェアで左右マージンを大きく設定してください。</p>
設定値	ヒダリ(初期設定)	左合わせに設定します。
	チュウオウ	中央合わせに設定します。
	チュウオウ-5	中央合わせで、オフセット量を-5mmにします。
	チュウオウ+5	中央合わせで、オフセット量を+5mmにします。
設定項目	ミギマージン	<ul style="list-style-type: none"> <li>ESC/PSモードまたはESC/Pモードで有効です。</li> <li>右マージンを選択します。</li> </ul>
設定値	ヨウシハバ(初期設定)	使用する用紙の印刷可能領域いっぱいになります。
	136ケタ	用紙サイズに関係なく136桁(13.6インチ)にします。136桁に満たない用紙に印刷するときは、用紙の印刷可能領域を超える部分を切り捨てます。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	カンジショタイ	<ul style="list-style-type: none"> <li>•ESC/PSモードまたはESC/Pモードで有効です。</li> <li>•漢字に使用する書体を選択します。</li> </ul>
設定値	ミンチョウ( 初期設定 )	明朝体を選択します。
	ゴシック	角ゴシック体を選択します。
	セイカイショ*	正階書体を選択します。
	マルゴシック*	丸ゴシック体を選択します。
	キョウカショ*	教科書体を選択します。
	ギョウショ*	行書体を選択します。

\* オプションのフォントROMモジュールを装着すると、「セイカイショ」「マルゴシック」「キョウカショ」「ギョウショ」の4種類が表示されます。装着したフォントROMモジュール名を選択してください。

## ESC/Page カンキョウメニュー

ESC/Page モードで選択できる設定項目です。各インターフェイスごとに設定できます。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	フッキカイギョウ	印刷データが右マージン位置を超えたときに、自動的に復帰改行して次の行の先頭から印刷を続けるかを選択します。
設定値	スル( 初期設定 )	自動復帰改行動作をします。
	シナイ	自動復帰改行動作をしません。

設定項目	カイページ	印刷データが改行のため下マージン位置を超えたときに、自動的に改ページして次のページに印刷を続けるかを選択します。
設定値	スル( 初期設定 )	自動改ページ動作をします。
	シナイ	自動復帰改行動作をしません。

設定項目	CR	CRの動作を選択します。
設定値	CRノミ( 初期設定 )	CR( 復帰 )動作のみを行います。
	CR+LF	CR( 復帰 )と同時にLF( 改行 )動作も行います。

設定項目	LF	LF( 改行 )の動作を選択します。
設定値	CR+LF( 初期設定 )	LF( 改行 )と同時にCR( 復帰 )動作も行います。
	LFノミ	LF( 改行 )動作のみを行います。

設定項目	FF	FF( 改ページ )の動作を選択します。
設定値	CR+FF( 初期設定 )	FF( 改ページ )と同時にCR( 復帰 )動作も行います。
	FFノミ	FF( 改ページ )動作のみを行います。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	エラーコード	文字コード表にない文字を受けたときの処理を選択します。
設定値	OFF(初期設定)	無視します。
	ON	スペースに置き換えます。
設定項目	フォントタイプ	「幅」対「高さ」が1対2の文字サイズが指定されたとき、2バイト系文字の全角フォントと半角フォントの優先度を選択します。
設定値	1(初期設定)	15ポイント未満は半角フォントを優先し、15ポイント以上は全角文字を優先して印刷します。
	2	全角フォントを優先して印刷します。
	3	半角フォントを優先して印刷します。
設定項目	フォームオーバーレイ*	フォームオーバーレイを実行するかを選択します。オプションのフォームオーバーレイROMモジュールが装着され、そのROMモジュールにフォームデータが登録されているときに表示され、選択できます。
設定値	OFF(初期設定)	フォームオーバーレイを実行しません。
	ON	フォームオーバーレイを実行します。ここで設定すると、ESC/Pモードでも実行されます。
設定項目	フォームパンゴウ*	実行するフォームオーバーレイの番号を選択します。フォームデータが書き込まれたフォームオーバーレイROMモジュールが装着されている場合に表示されます(オプション装着時)。
設定値	1 ~ 512	フォームオーバーレイROMモジュールをROMモジュール用ソケットA/B両方に装着している場合、フォームデータの番号はソケットA ソケットBの順番で設定されず。

\* フォームデータの作成/使用方法や、フォームオーバーレイROMモジュールへの登録方法については、「EPSON Form!3」、「EPSON Form!2」、「フォームオーバーレイROMモジュール」に添付の取扱説明書を参照してください。

# インターフェイスの選択

本機は、給紙装置、用紙サイズなどの各種設定をインターフェイスごとに設定することができます。初期設定値はパラレルインターフェイスに設定されていますので、パラレル以外に接続した場合はプリンタの設定を行う前にインターフェイスの選択が必要です。

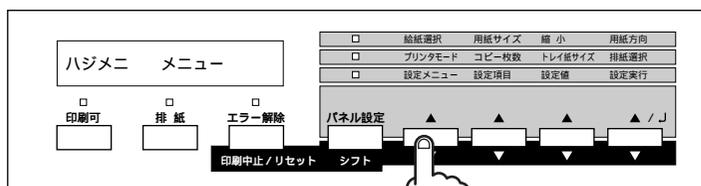


ポイント

パラレルインターフェイスに接続している場合は設定の必要はありませんが、以下の手順で設定されているインターフェイスをご確認ください。

1

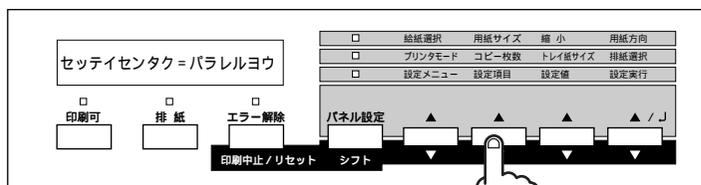
**設定メニュー** スイッチを1回押して、ディスプレイに「はじめメニュー」を表示させます。



1回押します

2

**設定項目** スイッチを1回押して、「セッテイセンタク=パラレルヨウ」を表示させます。



1回押します

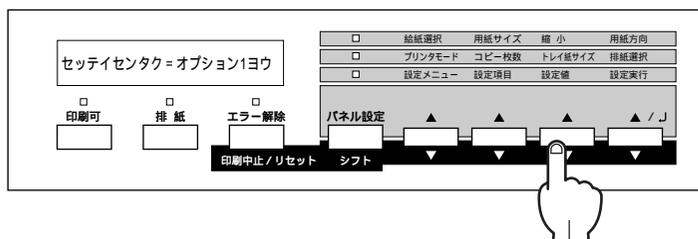
3

**設定値** スイッチを押して設定を変更します。

**設定値** スイッチを押すごとに、設定できるインターフェイスが順に表示されます。

→パラレルヨウ オプション1ヨウ\* オプション2ヨウ\*

\* オプションのインターフェイスカード装着時のみ表示

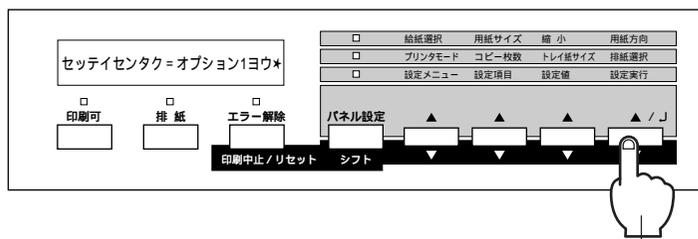


目的のインターフェイスが表示されるまで数回押します

4

**設定実行** スイッチを押します。

選択したインターフェイスに、\* (アスタリスク) マークがつきます。

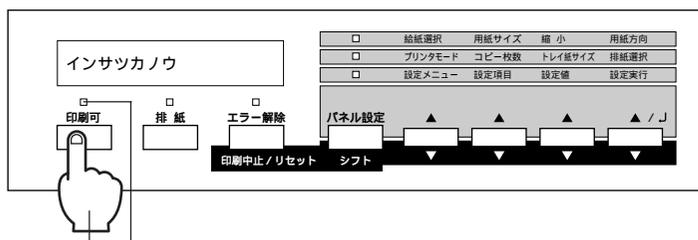


1回押します

5

**印刷可** スイッチを押します。

印刷可ランプが点灯し、印刷可状態になります。



1回押して点灯させます

# 節電の設定方法

節電機能を使用すると、印刷待機時の消費電力を節約することができます。

## 本機の節電機能について

本機は「節電レベル1」と「節電レベル2」の2つの節電状態があります。

節電状態	節電状態になるまでの時間	説明
節電レベル1	設定した時間の半分 (初期設定の場合:30分)	プリンタ内部の定着器の温度を低くする等の処理により、節電を行います。節電レベル2状態より消費電力は高い状態ですが、印刷再開時のウォーミングアップに要する時間は短くなります。
節電レベル2	設定した時間 (初期設定値:60分)	プリンタ内部の定着器の温度を低くする等の処理により、節電を行います。節電レベル1状態より消費電力は低くなりますが、印刷再開時のウォーミングアップに要する時間は長くなります。

## 設定方法

節電機能の設定は、「節電レベル2」状態になるまでの時間を指定することで行います。

設定の手順は次の通りです。

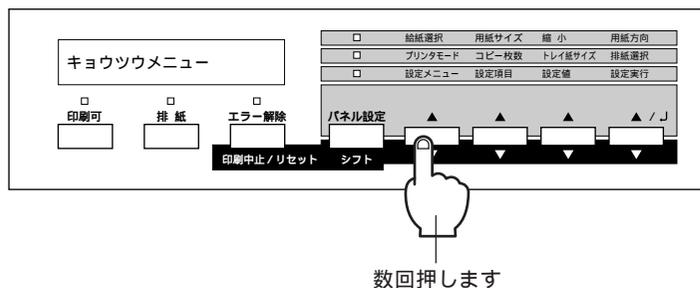


ポイント

- 初期設定値は、節電状態（節電レベル2）に入るまでの時間が60分に設定されています。
- 変更した設定は、全てのインターフェイスに対して有効です。
- 節電状態のときは、印刷するデータを受け取るとまずウォーミングアップを行いますので、印刷開始までしばらく時間がかかります。

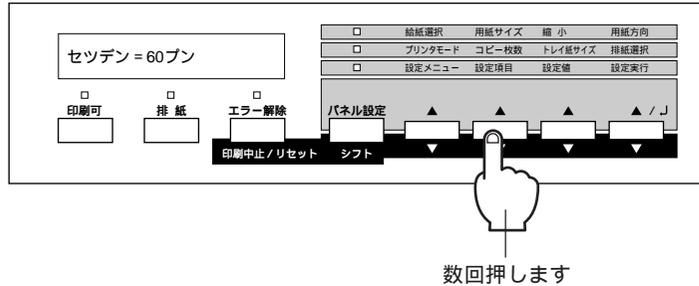
1

**設定メニュー** スイッチを数回押して、ディスプレイに「キョウツウメニュー」を表示させます。



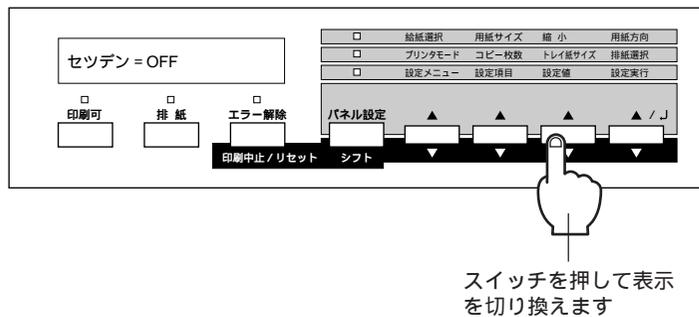
**2**

**設定項目** スイッチを数回押しして、ディスプレイに「セツデン = 60 プン」を表示させます。

**3**

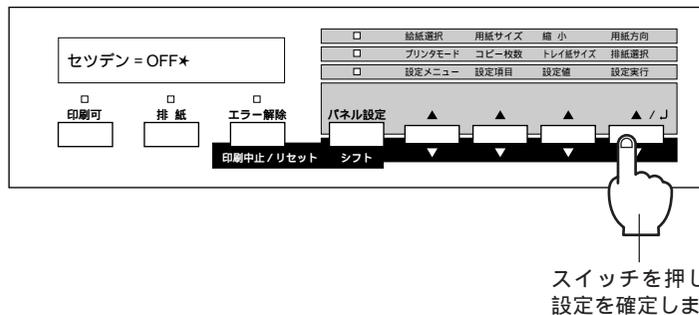
**設定値** スイッチを押し、設定を変更します。

**設定値** スイッチを押すたびに、値が切り替わります。  
60 プン 120 プン OFF 30 プン

**4**

**設定実行** スイッチを押して設定を確定します。

設定を確定（実行）すると、\*（アスタリスクマーク）が表示されます。

**5**

**印刷可** スイッチを押します。

印刷可ランプが点灯し、印刷可状態になります。

# ステータスシートの印刷

ステータスシートは、プリンタの現在の状態や設定値を印刷したものです。ステータスシートを印刷することにより、プリンタの現在の情報が得られます。



ポイント

ステータスシートの印刷は、次の場合に行います。

- プリンタの動作に異常がないかを確認する場合
- プリンタの現在の設定状態を確認したい場合
- プリンタにオプションを装着した場合(装着したオプションが正しく認識されていれば、ステータスシートの印刷内容に、そのオプションが追加されます。)

# 1

**電源** スイッチをオン( )にし、印刷可状態にします。

印刷可ランプが点灯します。

プリンタに用紙がセットされていない場合は、用紙トレイか用紙カセットにA4サイズ用の紙をセットしてください。



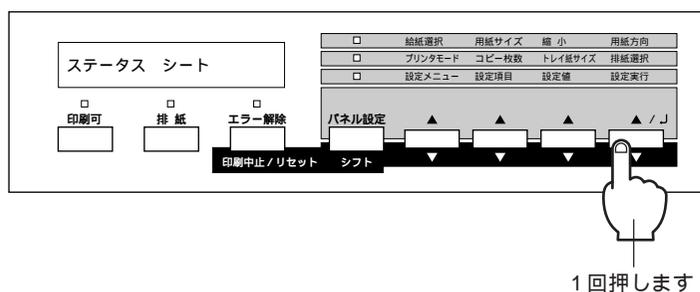
ポイント

パネル設定で設定された給紙装置に用紙がセットされているか確認してください。セットされていない場合は用紙をセットするか給紙装置を変更してください。  
📖 本書「ワンタッチ設定モード1の設定方法」175ページ

# 2

**設定実行** スイッチを押します。

ディスプレイに「ステータスシート」と表示されます。



# 3

もう一度 **設定実行** スイッチを押し、ステータスシートを印刷します。

- ディスプレイの表示が点滅し、ステータスシートが印刷されます(印刷を始めるまで十数秒間がかかります)。
- 印刷が終了すると印刷可ランプが点灯します。

ステータスシートがうまく印刷されないときは、「困ったときにお読みください」を参照してください。

# 16 進ダンプ印刷

16 進ダンプは、コンピュータから送られてきたデータを 16 進数とそれに対応する英数文字で印刷する機能です。コンピュータからプリンタへ正しくデータが送られているかどうか確認できるので、自作プログラムのチェックなどに使うと便利です。

1

**電源** スイッチがオフ( )であることを確認します。

プリンタに用紙がセットされていない場合は、用紙トレイが用紙カセットに A4 サイズの用紙をセットしてください。

2

**排紙** スイッチを押しながら、**電源** スイッチをオン( )にします。

ディスプレイに「ヘキサダンプモード」と表示されるまで **排紙** スイッチを押し続けます。

スイッチから手を離すとディスプレイに以下のように表示され、16 進ダンプモードに入ります。

ヘキサダンプ

3

コンピュータからプリンタへデータを送ります。

プリンタは送られてきたデータを 16 進数とそれに対応する英数文字などで印刷します。



ポイント

印刷中は電源をオフ( )にしないでください。用紙詰まりの原因になります。

4

印刷が終了したら、データランプが消灯していることを確認します。

データランプが点灯している場合、プリンタ内に印刷されていないデータが残っています。この場合は **印刷可** スイッチを押して印刷不可状態にした後、**排紙** スイッチを押すと、プリンタ内のデータが印刷されて排紙されます。

5

16 進ダンプの印刷が終了したら、16 進ダンプモードを解除します。

**電源** スイッチをオフにする、またはリセットオールすると、次の電源オンからは通常のモードで起動します。

# リセット / リセットオールについて

## リセットについて

リセットを行うと、プリンタは印刷を中止します。  
また、現在稼働中のインターフェイスに対して、メモリに保存された印刷データの破棄と、エラーの解除を行います。キャッシュ\*1されたフォントは記憶しています。  
次のような場合に、リセットしてください。

- 同一のデータを複数枚コピー印刷している時の、印刷のキャンセル
- 不正なデータ（画面とは違う文字など）が印刷され始めたときの、印刷の中止
- ディスプレイに「リセットシテクダサイ」と表示されたとき

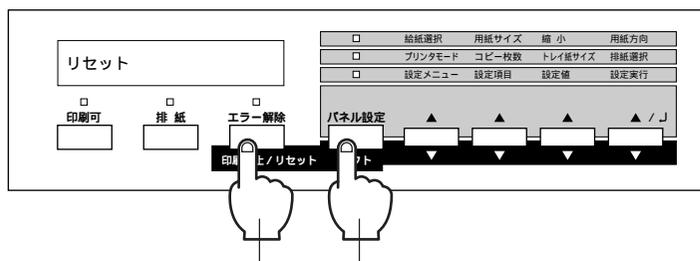
## リセットのしかた

**シフト** スイッチ( **パネル設定** スイッチ兼用 )を押したまま **エラー解除** スイッチを押します。



ポイント

両方のスイッチを5秒以上押したままにするとリセットオールされてしまいますので、注意してください。



**シフト** ( **パネル設定** ) スイッチを押したまま  
**エラー解除** スイッチを押します



ポイント

プリンタが印刷データの処理をしているとき、あるいは一部のDOSアプリケーションで印刷中もしくは印刷データ待ちのときにパネル設定を変更すると、「リセットシテクダサイ」と表示されることがあります。このときに正しくリセットを行わないとパネル設定で変更した内容が有効になりません。設定の変更は印刷データ処理終了後、またはリセット後に実行してください。

\*1 キャッシュ：一度印刷したフォントをメモリに記録しておき、再びそのフォントが必要な時はメモリに記録したフォントを使用することで印刷を高速化する手法。

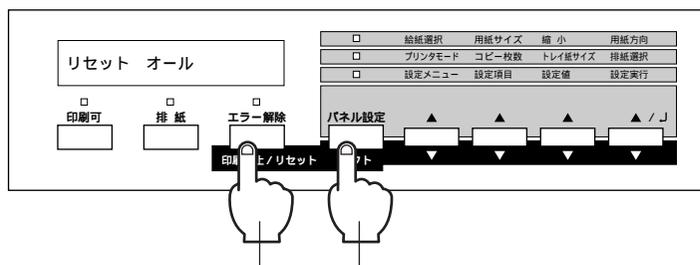
## リセットオールについて

リセットオールを行うと、プリンタは印刷の中止を行います。  
プリンタは[電源]スイッチをオンにした直後の状態まで初期化され、全てのインターフェイスに対してメモリに保存された印刷データとキャッシュに保存されたフォントを消去します。  
次のような場合に、リセットオールを行ってください。

- いずれかのインターフェイスの[受信バッファサイズ]の設定を変更した場合

## リセットオールのしかた

[シフト]スイッチ( [パネル設定] スイッチ兼用)を押したまま [エラー解除] スイッチを、ディスプレイに「リセットオール」と表示されるまで(約5秒間)押し続けます。



[シフト] ( [パネル設定] ) スイッチを押したまま  
[エラー解除] スイッチを液晶ディスプレイに  
「リセットオール」と表示されるまで(5秒間)  
押し続けます

# ユーティリティの使い方

ここでは、ユーティリティの使い方について説明しています。

EPSON プリンタウィンドウ!2(Windows95/NT4.0) ...	206
プリンタウィンドウ 2(Macintosh) .....	223
EPSON BarCode フォント(Windows95/NT4.0/NT3.5x) ..	228
EPSON Remote!について .....	242
EPSON Remote!(DOS 版) .....	243
EPSON Remote!(NetWare 版) .....	248
簡易設定ユーティリティの使い方 .....	257

# EPSON プリンタウィンドウ!2 (Windows95/NT4.0)

EPSON プリンタウィンドウ!2 は、プリンタの状態を監視して、エラーメッセージやトナー残量などを表示できるユーティリティです。常時起動させておけば、プリンタのエラーなどをコンピュータ上で知ることができます。

## EPSON プリンタウィンドウ!2 の動作環境

### 対象機種

IBM PC-AT 互換機 (双方向通信機能<sup>\*1</sup>のある機種)<sup>\*2</sup>

NEC PC-9821 シリーズ (双方向通信機能<sup>\*1</sup>のある機種)<sup>\*3</sup>

<sup>\*1</sup>お使いのコンピュータの平行インターフェイスが、双方向通信機能に対応しているかは、各コンピュータメーカーにお問い合わせください。

<sup>\*2</sup>ケーブルは「PRCB4N」を使用してください。

<sup>\*3</sup>ケーブルは「PRCB5N」を使用してください。



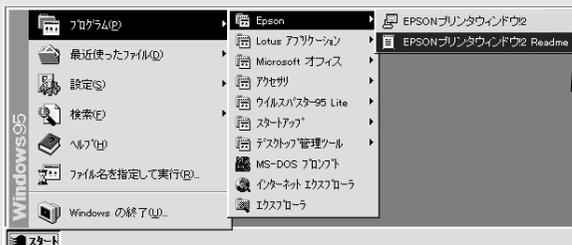
ポイント

- ・ ネットワーク上で EPSON プリンタウィンドウ!2 を使用する場合、オプションのインターフェイスカードに添付の EPSON プリンタウィンドウ!2 の取扱説明書も参照してください。
- ・ オプションのインターフェイスカード: PRIFNW1、PRIFNW2 の場合、本機に同梱の EPSON プリンタウィンドウ!2 とインターフェイスカードに添付の EPSON プリンタウィンドウ!2 の両方をインストールしてください。
- ・ NEC の PC-9821 シリーズをお使いの場合、Windows NT4.0 でのローカルプリンタの監視はできません。
- ・ EPSON PC シリーズ (NEC PC-9801 シリーズ互換機) では使用できません。



ポイント

- ・ 推奨ケーブル以外のケーブル、プリンタ切換機、ソフトウェアのコピー防止のためのプロテクタ (ハードウェアキー) などを、コンピュータとプリンタの間に装着すると、双方向通信やデータ転送が正常にできない場合があります。
- ・ EPSON プリンタウィンドウ!2 に関する最新情報が EPSON フォルダの「EPSON プリンタウィンドウ!2 README」に記載されています。内容をご確認ください。



クリックします

### プリンタポート

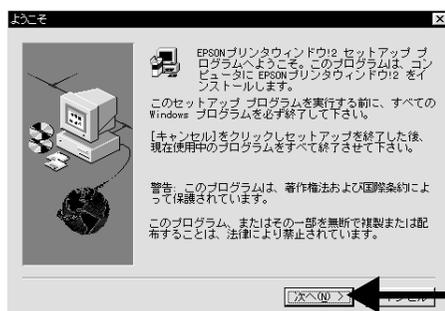
ローカル接続の場合、接続ポートは「LPT1」を使用してください。

## インストール

「EPSON プリンタウィンドウ!2」は、プリンタドライバのインストール終了後、引き続きインストールされます。プリンタドライバのインストール終了後 ❶ の画面が表示されましたら次の手順に従ってインストールを進めてください。

1

次へ ボタンをクリックします。



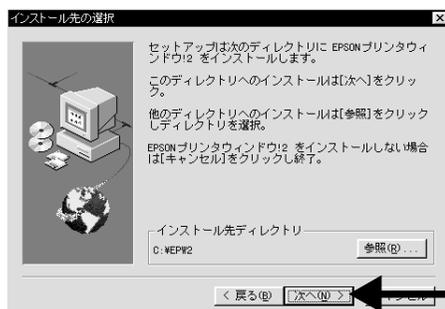
クリックします

2

次へ ボタンをクリックします。

インストール先のディレクトリを変更する場合は **参照** ボタンをクリックし、ディレクトリを選択してください。

EPSONプリンタウィンドウ!2がすでにインストールされている状態で再度インストールを実行した場合、この画面は表示されません。



クリックします

監視するプリンタを選択し、**次へ** ボタンをクリックします。

NetWareがインストールされていない場合、この画面は表示されません。



ポイント

- 「ローカルプリンタを監視する」  
パソコンとプリンタを直接接続する形態で「ローカル接続」と呼び、ローカル接続されたプリンタをローカルプリンタと呼びます。ここでは、ローカルプリンタを監視するかどうかの設定を行います。
- 「NetWare共有プリンタを監視する」  
ネットワーク上にプリンタを接続して共有する形態を「ネットワーク接続」と呼び、その共有されたプリンタを監視するかどうかの設定を行います。  
「ネットワーク接続」を行うためにはオプションのインターフェイスカードが必要です。詳細はインターフェイスカードに同梱の取扱説明書を参照してください。

4

NetWare共有プリンタを監視するための設定です。通常は変更しないでください。**次へ** ボタンをクリックします。

- 設定を変更する場合は、必ずネットワーク管理者に相談の上変更してください。
- NetWareがインストールされていない場合この画面は表示されません。

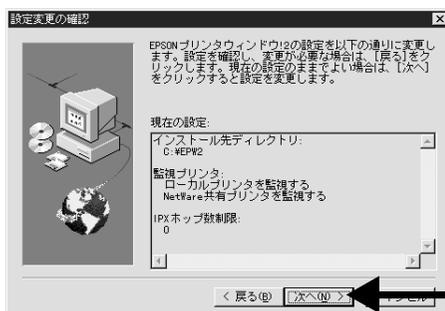


注意

NetWareを使用しているお客様でネットワークの中にダイヤルアップルータ等がある場合に回線接続がされ課金される恐れがあります。最大ホップ数の変更の場合は十分ご注意ください。

5

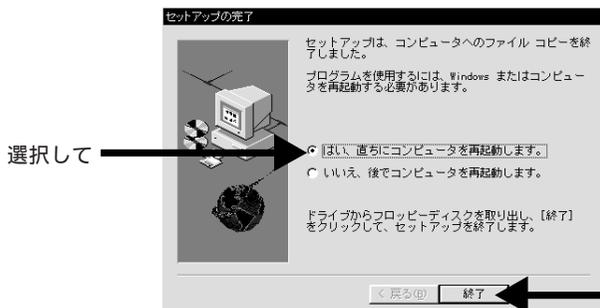
設定した項目を確認し、**次へ** ボタンをクリックします。



6

「はい」を選択し**終了**ボタンをクリックしてください。

コンピュータが再起動すると、EPSONプリンタウィンドウ!2が使用可能になります。



## 単独でインストールする場合

Windows95/NT4.0でプリンタドライバをインストールすると、インストール終了時にEPSONプリンタウィンドウ!2のインストールプログラムが表示されます。このときにEPSONプリンタウィンドウ!2をインストールせずに作業を終了した場合、以下の手順でEPSONプリンタウィンドウ!2だけをインストールすることができます。



ポイント

WindowsNT4.0の場合、ローカルマシンの管理者権限(Administrator)のあるユーザーでログオンする必要があります。



**1** EPSON ESC/Pageカラープリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。

フロッピーディスクをお使いの方は「EPSONプリンタウィンドウ!2セットアップディスク1」をセットします。



ポイント

CD-ROMをセットすると、以下の画面が表示されます。矢印で示すボタンをクリックして**2**へ進みます。



クリックします



**2** **スタート** ボタンをクリックし、「ファイル名を指定して実行(R)」をクリックします。



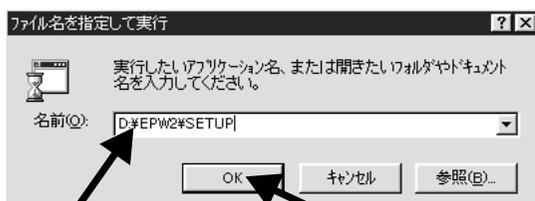
クリックします

クリックして

3

CD-ROMまたはフロッピーディスクをセットしたドライブ名と実行コマンドを半角文字で入力し、**OK** ボタンをクリックします。

CD-ROM		フロッピーディスク	
セットしたドライブ	入力	セットしたドライブ	入力
Dドライブ	D:¥EPW2¥SETUP	Aドライブ	A:¥SETUP
Eドライブ	E:¥EPW2¥SETUP	Bドライブ	B:¥SETUP
:	:	:	:



コマンドを入力して

クリックします

画面はCD-ROMをDドライブにセットした場合です。

4

この後は、207ページの「インストール」の手順に従ってインストールを進めます。



注意

「EPSONプリンタウィンドウ!2」をインストールすると「EPSONプリンタウィンドウ」は上書きされ、スタートアップフォルダから削除されます。



ポイント

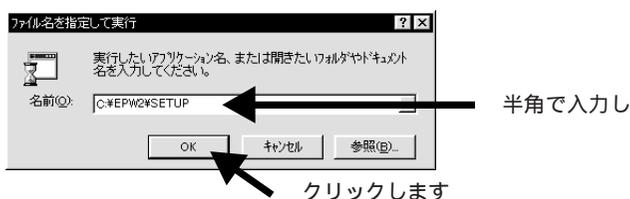
「EPSONプリンタウィンドウ!2」がインストールされている状態で、お使いのプリンタ以外のEPSON製のプリンタドライバをインストールすると「EPSONプリンタウィンドウ!2」が正常に動作しなくなる場合があります。このようなときは「単独でインストールする場合」の手順に従って再度インストールしてください。

## 初期設定を変更する場合

インストール時に設定した情報を変更する場合は以下の手順に従ってください。

1

「ファイル名を指定して実行」画面を開き、EPSONプリンタウィンドウ!2をインストールしたドライブ名と実行コマンドを半角文字で入力し、**OK** ボタンをクリックします。



EPSON プリンタウィンドウ!2 を C ドライブにインストールした場合  
C:\\*EPW2\\*SETUP



「EPW2」以外のディレクトリにEPSONプリンタウィンドウ!2をインストールした場合は、上記の「EPW2」の代わりにインストールしたディレクトリ名を入力してください。

2

この後は画面の指示に従って、設定を変更します。

## EPSON プリンタウィンドウ!2 をお使いになる前に (Windows95)

EPSON プリンタウィンドウ!2 は双方向通信機能を利用して動作します。Windows95 をご使用の場合、EPSON プリンタウィンドウ!2 を使用する前に Windows95 上で「このプリンタで双方向通信をサポートする」が選択されていることを確認してください。

📖 本書「プリンタ接続先(ポート)の設定(Windows95)」の「このプリンタで双方向通信をサポートする」30 ページ



EPSON プリンタウィンドウ!2 を使用中に「このプリンタの双方向通信をサポートしない」に設定すると、印刷実行時にプリンタポートへの書き込みエラーが発生します。EPSON プリンタウィンドウ!2 使用時は常に双方向通信機能を有効にしてください。

## 操作手順

ここでは「EPSON プリンタウィンドウ!2」の基本的な操作の手順を説明しています。

# 1

プリンタの **電源** スイッチをオン ( ) にし、タスクバーの右端にある「監視」アイコンをダブルクリックします。



ダブルクリックします



ポインタ

「EPSON プリンタウィンドウ!2」はスタートメニューからも起動できます。  
**スタート** ボタンをクリックし、[プログラム(P)]-[EPSON]にカーソルを合わせます。  
 [EPSON プリンタウィンドウ!2]をクリックします。

カーソルを  
合わせて

クリックして



クリックします

# 2

目的のプリンタをクリックし選択します。

表示された画面は「プリンター一覧」ウインドウです。ここでは設定されたプリンタの状態が表示されます。



クリックします

本書「プリンター一覧ウインドウ」215 ページ

3

プリンタの詳細をみるには

「プリンタ詳細」アイコンをクリックします。



クリックします

4

プリンタの詳細な状態を確認後  
OK ボタンをクリックします。



クリックします

 詳しくは 216 ページへ

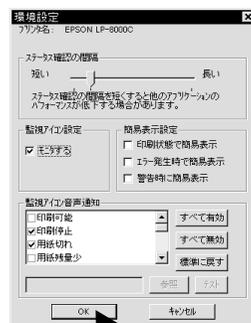
環境を設定するには

「環境設定」アイコンをクリックします。



クリックします

環境設定後 OK ボタンをクリック  
します。



クリックします

 詳しくは 219 ページへ



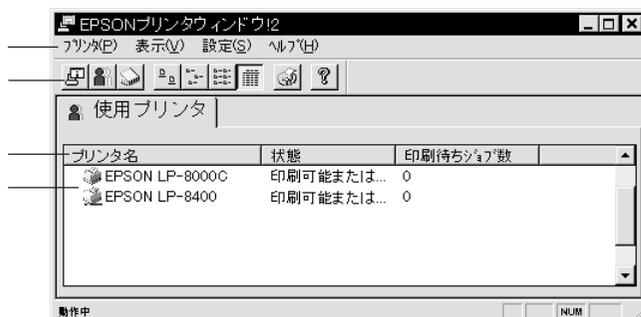
ポイント



環境設定の監視アイコン設定で「モニタする」をチェックすると、設定した条件時に「簡易表示」が表示されるようになります。この「簡易表示」からプリンタの詳細を確認することができます。確認の方法は 220 ページをご覧ください。

## プリンター一覧ウィンドウ

設定されたプリンタの状態を表示しています。カラーアイコンを使用していますので、色の変化によりプリンタの状態が一目で分かります。



### メニュー

**プリンタ (P)** : 「プリンター一覧」ウィンドウの中から選択したプリンタの「プリンタ詳細」、「ジョブ管理 (Windows95 のみ)」、のウィンドウを開きます。

**表示 (V)** : 「プリンター一覧ウィンドウ」の表示方法を設定します。「最新の情報に更新」をクリックすると、プリンタの最新の状態をチェックし、表示します。

**設定 (S)** : 「環境設定」「表示プリンタの追加」「表示プリンタの削除」など動作環境の設定をします。また、監視アイコンの登録等もここで設定します。

**ヘルプ (H)** : EPSON プリンタウィンドウ!2 に関する説明を表示します。

### ツールバー

アイコンをクリックすることで各機能が実行されます。アイコンの上にポインタを移動させると、そのアイコンの機能が表示されます。

「プリンタ名」「状態」「印刷待ちジョブ数」

監視するプリンタが複数ある場合、各ボタンをクリックするとプリンタの表示順が変わります。

- コンピュータの動作に負担をかけるため、必要のない時は画面を閉じてください。
- プリンタの印刷先を変更した場合は「EPSONプリンタウィンドウ!2を停止するには」(221ページ)の手順に従って停止させたあと、再起動してください。

## 使用プリンタ

コンピュータにインストールされているプリンタを表示します。

プリンタ名 : コンピュータにインストールされているプリンタの一覧を表示します。

状態 : コンピュータにインストールされているプリンタの状態を表示します。

印刷待ちジョブ数 : プリンタの印刷待ちの件数を表示します。

プリンタアイコン : プリンタの状態を色で表示します。

緑 - 印刷可能です。

黄 - 印刷可能ですが、プリンタになんらかの処置をとらないと印刷不可能になることがあります。

赤 - 印刷不可能です。プリンタに異常があります。

グレー - プリンタが監視出来ない状態です。



ポイント

通常接続しないプリンタは不必要にコンピュータの動作に負担をかけるため、「設定」メニューの「表示プリンタ削除」で削除してください。このとき、プリンタドライバは削除されません。

## プリンタの詳細をみるには

### 「ステータス詳細」シート

「ステータス詳細」シートでは、選択したプリンタの状態をチェックすることができます。またプリンタに問題のある時はその対処方法も表示されます。



イメージアイコン : プリンタの状態をグラフィックで表示します。

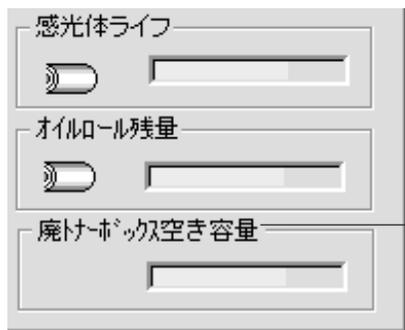
ステータス表示ウィンドウ : 選択したプリンタの状態が表示されます。

対処方法ウィンドウ : プリンタに問題のあるときの対処方法を表示します。

## 「消耗品情報」シート



- 用紙残量** : 各給紙装置にセットされている用紙残量の目安と用紙サイズを表示します。
- トナー残量** : 各色のトナー残量の目安を表示します。
- 感光体ライフ** : 感光体ユニットの残り寿命の目安を表示します。
- 定着オイルロール残量** : 定着オイルロールのオイル残量の目安を表示します。
- 廃トナーボックス空き容量** : 本項目は、通常は表示されません。  
 廃トナーボックスの空き容量が少なくなり、残り寿命が約 500 ページ印刷分になると、下図のように表示されます。(A4 サイズ、各色 5%、モノクロ : カラー = 1 : 1 での印刷の場合)



## 「プリンタ情報」シート

選択したプリンタの機能やオプション情報を表示します。



**情報リスト** : プリンタの情報、プリントサーバの情報など確認できる情報の一覧を表示します。

**詳細ウインドウ** : 情報リストで選択された情報の詳細を表示します。

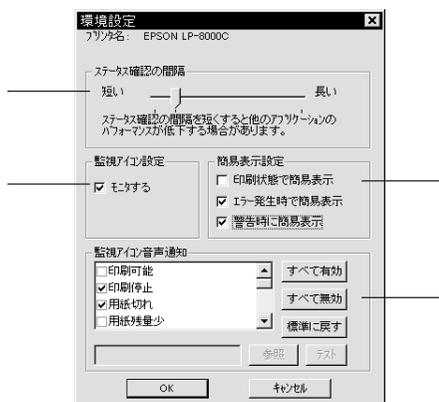


ポイント

ローカル接続の場合、画面が変わるのに少し時間がかかる場合があります。

## 環境を設定するには

ここではEPSONプリンタウィンドウ!2上における各プリンタの動作環境を設定します。



- ステータス確認の間隔** : コンピュータがプリンタの状態をチェックする間隔を設定します。(最短設定2秒:初期設定値10秒:最長設定60秒)
- 監視アイコン設定** : 「モニタする」をチェックすると、選択したプリンタの監視がはじまります。監視アイコンを停止している場合は選択できませんのでご注意ください。
- 簡易表示設定** : 監視アイコンから簡易表示を表示する場合の条件を設定します。簡易表示については220ページをご覧ください。
- 監視アイコン音声通知** : プリンタの状態のチェックボックスをクリックしてチェック印をつけると「簡易表示」が表示される時に音声でアナウンスする機能が有効になります。



ポイント

- お使いのコンピュータにサウンド機能がない場合、音声通知機能は使用できません。
- プリンタの監視を停止している場合には、監視アイコン・簡易表示( ~ )の設定はできません。「EPSONプリンタウィンドウ!2を停止するには」(221ページ)の手順に従って「現在より監視する」を選択して監視アイコンの監視を開始してください。

## 監視アイコンと簡易表示について

環境設定の監視アイコン設定で「モニタする」をチェックすると、選択したプリンタの監視が開始されます。監視が開始されるとタスクバー上の監視アイコンの色が選択したプリンタの状況に応じて変化し、「簡易表示」が表示されます。

### 監視アイコン

選択したプリンタの状況に応じてアイコンの色が変化します。

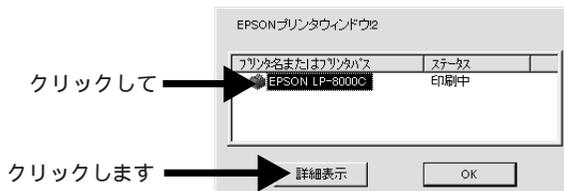


- 緑 - 印刷可能です。
- 黄 - 印刷可能ですが、プリンタになんらかの処置をとらないと印刷不可能になることがあります。
- 赤 - 印刷不可能です。

- 監視アイコンを停止している場合は、監視アイコンと簡易表示機能はご利用になれません。「EPSONプリンタウィンドウ!2を停止するには」(221ページ)の手順で[現在より監視する]を選択して、環境設定(219ページ)の「監視アイコン設定」で「モニタする」をチェックしてください。
- 監視アイコンをポイントしてマウスの右ボタンをクリックすると、監視アイコンの設定が行えます。クリックして実行してください。  
「手前に表示する」：簡易表示を開いているウィンドウの一番手前に表示します。  
「監視を中止する」：監視アイコンの監視を中止します。

### 簡易表示

環境設定で設定した条件時のみ「簡易表示」が監視アイコン上部に表示されます。プリンタ名をクリックし、「詳細表示」ボタンをクリックすると「ステータス詳細シート」が開きます。



📖 本書「プリンタの詳細をみるには」216ページ

## EPSON プリントウィンドウ!2 を停止するには

Win

EPSONプリントウィンドウ!2は、監視アイコンによって監視設定したプリンタに対して常時監視を行います。プリンタの監視を停止するには以下の手順に従ってください。

1

タスクバーの右端にあるプリンタの形をした「監視」アイコンをダブルクリックします。



ダブルクリックします

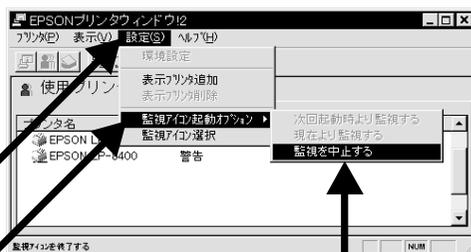
監視アイコンにマウスマウスカーソルを合わせ、マウスの右ボタンをクリックし「監視を中止する」をクリックすると、監視アイコンを停止します。

2

「設定メニュー」をクリックし、「監視アイコン起動オプション」をポイントし、「監視を中止する」をクリックします。

クリックし

ポイントして



クリックします

3

プリンタメニュー をクリックし「閉じる(C)」をクリックします。

クリックし

クリックします



監視を中止した後で、再度監視を行う場合は「次回起動時より監視する」または「現在より監視する」をクリックします。監視を停止するとタスクバーの監視アイコンが消去されますので、再起動する場合は「操作手順」(213ページ)の手順に従ってスタートメニューから起動してください。

## EPSON プリンタウィンドウ!2 の削除

「EPSONプリンタウィンドウ!2」を削除する場合は次の手順に従ってください。



ポイント

他のソフトウェア（ウイルス検知プログラムなど）が起動している場合は、各ソフトウェア取扱説明書を参照して停止させてから削除を行ってください。

1

「EPSONプリンタウィンドウ!2を停止するには」(221ページ)に従ってEPSONプリンタウィンドウ!2を停止させます。

2

画面左下の「スタート」ボタンをクリックし、[設定(S)]にカーソルを合わせ、「コントロールパネル(C)」をクリックします。

3

「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリックします。



ダブルクリックします

4

「EPSONプリンタウィンドウ!2」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリックします。



クリックして

クリックします

5

この後は画面の指示に従って削除を進めます。

# プリンタウインドウ 2(Macintosh)

プリンタウインドウ 2とは、プリンタの状態を確認して、印刷の状態や発生したエラーを表示するユーティリティです。また、印刷データの停止や再開などを実行することもできます。



ポイント

プリンタウインドウ2は、プリンタドライバと同時にインストールされます。プリンタウインドウのインストール終了後、デスクトップ上に[プリンタウインドウ2のエイリアス]が作成されます。



プリンタウインドウ2のエイリアス

Mac

## プリンタウインドウ 2 の起動方法

### 印刷時に自動的に起動 / 終了させる場合

セレクトで「バックグラウンドプリント」を「入」に設定します。印刷を実行すると自動的に起動し印刷が終了すると自動的に画面を閉じます。



クリックします

### 任意に起動 / 終了させる場合

デスクトップ上に作成された「プリンタウインドウ2のエイリアス」をダブルクリックします。終了させる場合は、[ファイル]メニューの[終了]をクリックしてください。



プリンタウインドウ2のエイリアス

ダブルクリックします



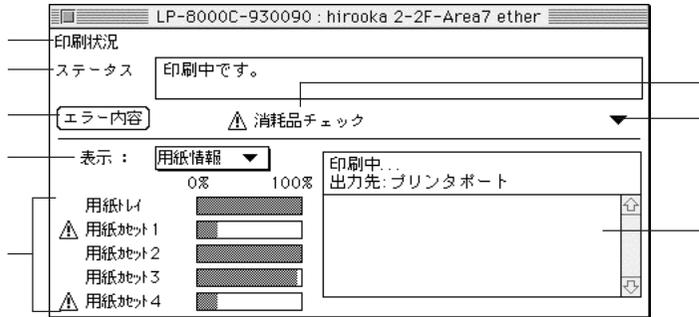
ポイント

「プリンタウインドウ2のエイリアス」から起動した場合は、印刷が終了しても、自動的に終了しません。[ファイル]メニューから終了させてください。

## ステータスウインドウ

Mac

ステータスウインドウでは、次のように印刷の状況とプリンタの状態（ステータス）を見ることができます。



### 印刷状況

印刷中の書類名と印刷中のページを表示します。

### ステータス

現在のプリンタの状態を表示します。

### エラー内容

プリンタがエラー状態の場合、「エラー内容」ボタンをクリックするとエラーの内容を表示します。

### 消耗品チェック

各消耗品のうち残り寿命が少なくなったものがあると、このアイコンが表示されます。

### 三角アイコン

アイコンをクリックするたびに下半分のウインドウ（ 、 、 ）を表示する / しないが切り換わります。

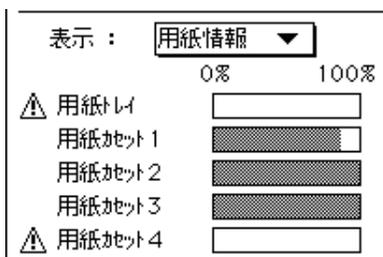
### 表示

ウインドウの左下に表示する、消耗品等の情報を選択します。三角アイコンをクリックし、表示されるメニューから、「用紙情報」、「トナー情報」、「その他」のどれかをクリックします。

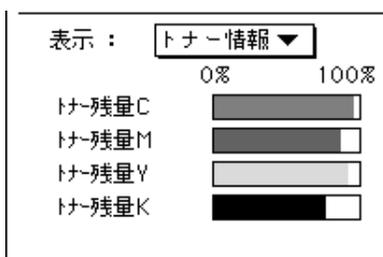
### 消耗品残量

で選択した項目に従って、消耗品の残量が表示されます。

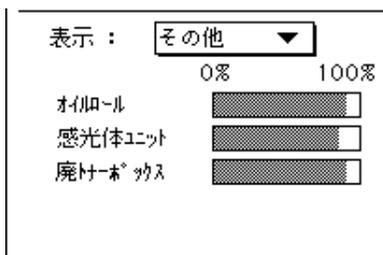
- 「用紙情報」の場合  
各給紙装置の用紙残量が表示されます。



- 「トナー情報」の場合  
各色のトナーの残量が表示されます。



- 「その他」の場合  
感光体ユニット、定着オイルロール、廃トナーボックスの残り寿命が表示されます。廃トナーボックスは、通常は表示されません。廃トナーボックスにトナーがたまり、空き容量が約500ページ印刷分になると表示されます。(A4サイズ、各色5%、モノクロ：カラー＝1：1での印刷の場合)



### 出力待ちスプールファイル

バックグラウンドプリントで印刷待ちをしている書類を表示します。印刷をキャンセルするときは、書類をダブルクリックで指定して削除します。

## 「ファイル」メニュー

Mac

プリンタウインドウ2の「ファイル」メニューには次の機能があります。



### 開く・閉じる

プリンタウインドウ2のステータスウインドウを開閉します。

### 印刷停止・印刷再開

印刷の一時停止・再開をします。

### ファイルをプリント

指定した出力ファイルを印刷します。

### テスト印刷

テストページ（Macintoshの構成）を印刷します。

### 初期設定

プリンタウインドウ2の初期条件を設定します。

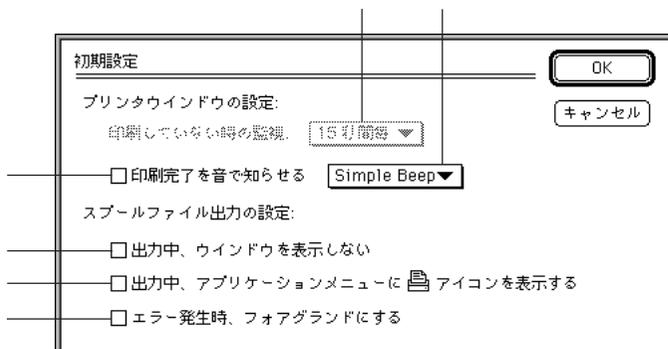
📖 本書「初期設定ダイアログ」227ページ

### 終了

プリンタウインドウ2を終了します。

## 初期設定ダイアログ

プリントウィンドウ2を起動した後、画面左上にある「ファイル」メニューから「初期設定...」を選択すると、初期設定ダイアログが開きます。



### 印刷していない時の監視

プリンタウィンドウ2を起動していると、プリンタの状態を常時監視することができます。ここでは、メニューから監視する間隔(時間)を選択します。「監視しない」を選択すると印刷実行時以外の監視をしません。

### 印刷完了を音で知らせる

クリックしてチェックマークをつけると、印刷終了時に音を鳴らして知らせます。

印刷終了時に鳴らす音が、メニューから選択できます。

### 出力中、ウィンドウを表示しない

クリックしてチェックマークをつけると、印刷中にステータスウィンドウを表示しません。

### 出力中、アプリケーションメニューに [印刷機] アイコンを表示する

クリックしてチェックマークをつけると、印刷中はアプリケーションメニューのプリンタアイコンが点滅します。

### エラー発生時フォアグラウンドにする

エラーが発生した場合に、開いているウィンドウの一番手前にプリンタウィンドウ2を表示します。

# EPSON BarCode フォント (Windows95/NT4.0/NT3.5x)

Win

## BarCode フォントについて

EPSON BarCode フォントは、各種のバーコードを簡単に作成、印刷するためのものです。

通常の場合、バーコードを作成するにはデータキャラクタ（バーコードに登録する文字）のほかに様々なコードやキャラクタを指定したり、OCR-B\*1（バーコード下部の文字）を指定する必要がありますが、EPSON BarCode フォントの場合はこれらのコードやキャラクタを自動的に設定し、各バーコードの規格に従ってバーコードシンボルを作成、印刷します。このためEPSON BarCode フォントでは、データキャラクタとして必要な文字のみを入力することでバーコードシンボルの作成を簡単に行うことができます。

EPSON BarCode フォントは、次の種類のバーコードをサポートしています。

バーコードの規格	フォント名称	OCR-B <sup>*1</sup>	チェックデジット	備考
JAN	EPSON JAN-8	あり	あり	JAN(短縮バーション)のバーコードを作成します。
	EPSON JAN-8 Short	あり	あり	JAN(短縮バーション)のバーコードの高さを短くしたバーコードを作成します。 日本国内でのみ使用可能です。
	EPSON JAN-13	あり	あり	JAN(標準バーション)のバーコードを作成します。
	EPSON JAN-13 Short	あり	あり	JAN(標準バーション)のバーコードの高さを短くしたバーコードを作成します。 日本国内でのみ使用可能です。
UPC-A	EPSON UPC-A	あり	あり	UPC-Aのバーコードを作成します。
UPC-E	EPSON UPC-E	あり	あり	UPC-Eのバーコードを作成します。
Code39	EPSON Code39	なし	なし	OCR-B、チェックデジットの有無をフォント名称で指定できます。
	EPSON Code39 CD	なし	あり	
	EPSON Code39 CD Num	あり	あり	
	EPSON Code39 Num	あり	なし	
Code128	EPSON CODE128	なし	あり	Code128のバーコードを作成します。
Interleaved 2of5	EPSON ITF	なし	なし	OCR-B、チェックデジットの有無をフォント名称で指定できます。
	EPSON ITF CD	なし	あり	
	EPSON ITF CD Num	あり	あり	
	EPSON ITF Num	あり	なし	
NW-7 (CODABAR)	EPSON NW-7	なし	なし	OCR-B、チェックデジットの有無をフォント名称で指定できます。
	EPSON NW-7 CD	なし	あり	
	EPSON NW-7 CD Num	あり	あり	
	EPSON NW-7 Num	あり	なし	
新郵便番号	EPSON J-Postal Code	なし	あり	1998年2月からの新郵便番号への変更に伴い、郵便物の宛先をバーコードで扱えるようになります。 この新郵便番号に対応したバーコードを作成します。

\*1 OCR-B : 光学的文字認識に用いる目的で開発されJISX9001に規定された書体の名称。

\*2 チェックデジット : 読み取りの正確性を保つために、所定の計算式に基づいて計算されたキャラクタ。

## 注意事項

### システム条件

BarCodeフォントの使用には、次の条件が必要です。

コンピュータ	: CPUにi386SX以上を搭載したIBM PC、NEC PC-9801/9821シリーズ。およびその互換機。
オペレーティングシステム	: • Microsoft Windows95 • Microsoft Windows NT3.5x/NT4.0
ハードディスク	: 15 ~ 30KByteの空き容量 (書体ごとに異なります。)
プリンタの動作モード	: ESC/Pageモード



ポイント

- BarCode フォントは、Windows3.1 上では使用できません。
- BarCodeフォントは、プリンタドライバでモノクロ印刷に設定して印刷してください。カラー印刷に設定している場合、バーコードを黒で印刷しても正しく読みとられない場合があります。

### プリンタドライバの設定について

バーコードを印刷する際は、プリンタドライバ上で次のように設定してください。

色	: 黒( Windows95/NT4.0 )
印刷モード	: 標準( Windows95/NT4.0 )
解像度	: 600DPK(きれい)
トナーセーブ機能	: OFF
拡大/縮小印刷	: OFF
重ね合せ描画の優先処理	: OFF( WindowsNT3.5x )

### 文字の装飾 / 配置について

- 文字の装飾( ボールド/イタリック/アンダーラインなど ) 網掛けは行わないでください。
- 色刷色、背景色について、黒と白のみ指定してください。
- 文字の回転を行う場合、回転角度は90度、180度、270度以外は指定しないでください。
- 文字間隔の変更を行わないでください。
- アプリケーションソフトウェアが文字間隔の自動調整機能や、スペース( 空白 ) 部分で単語間隔の自動調整機能を持っている場合、その機能を使用しないように設定してください。
- 文字の縦あるいは横方向のみの拡大/縮小機能の禁止
- アプリケーションソフトウェアのオートコレクト機能禁止( 例 < = > ⇔ ⇔ )

## 入力時の注意について

- バーコードに変換する文字は、半角文字で入力してください。
- Code39、Code128において、1つの行に2つ以上のバーコードを印刷する場合、バーコードとバーコードの間はTABで区切ってください。スペース(空白)で区切る場合はBarCodeフォント以外の書体を選択してスペースを入力してください。

BarCodeフォントを選択したままスペースを入力すると、スペースがバーコードの一部となる場合があります、バーコードとして使用できません。

- アプリケーションソフトウェアで改行を示すマークの表示/非表示を選択できる場合、バーコードの部分とそうでない部分が区別しやすいよう、改行マークが表示される設定で使用することをお勧めします。
- 入力した文字をバーコードに変換する際に、バーコードとして必要なキャラクタを自動的に追加するため、バーコードの長さは文字入力時よりも長くなる場合があります。

バーコードの周囲の文字列がバーコードと重複しないように注意してください。

- Code39、Code128、Interleaved 2of5、NW-7は、バーコードの高さがバーコード全長の15%以上になるようにサイズを自動調整します。

このため印刷されるバーコードの高さが入力時よりも下方向に大きくなる場合があるため、バーコードの周囲の文字列がバーコードと重複しないように注意してください。

- Code128において、アプリケーションソフトが行末に存在するスペースを削除したり、連続する複数のスペースをタブに置き換える等の処理を自動的に行うと、スペースを含むCode128のバーコードは正しく出力されないことがあります。
- バーコードのフォントサイズは、本書「各バーコードについて」の表中に記載されている保証サイズで作成していただくことをお勧めします。保証サイズ以外のサイズで作成した場合、読み取り機で読み取れないことがあります。

📖 本書「各バーコードについて」235ページ



注意

印刷されたバーコードは、トナーの濃度や紙質によって全ての読み取り機では読み取れない場合があります。ご利用の際は、読み取り機でのご確認をお勧めします。

## インストール

EPSONバーコードフォントを使用すると、各種のバーコードを簡単に作成、印刷できます。

ここでは、EPSONバーコードフォントのインストール方法を説明します。

1

コンピュータの電源をオン( )にし、Windowsを起動します。

2

EPSON ESC/Pageカラープリンタソフトウェア CD-ROMをコンピュータにセットします。

Windows95/NT4.0をご利用の場合は、③の画面が自動的に表示されます。

3

バーコードフォントのインストールをダブルクリックします。

<画面は、Windows95の場合です>



ダブルクリック  
します



ポイント

上記の画面が自動的に表示されない場合は、以下の手順に従ってください。

[ファイル名を指定して実行]ダイアログを開きます。

Windows95/NT4.0の場合 スタート ボタンをクリックし、[ファイル名を指定して実行(R)]をクリックします。

WindowsNT3.5xの場合 [プログラムマネージャ]の[アイコン(E)]メニューから[ファイル名を指定して実行(R)]をクリックします。

ディスクをセットしたドライブ名と、実行コマンドを半角文字で入力し、OK ボタンをクリックします。フロッピーディスクの場合は ④ に進みます。



CD-ROM		フロッピーディスク	
セット先	入力	セット先	入力
Dドライブ	D:\EPSETUP	Aドライブ	A:\SETUP
Eドライブ	E:\EPSETUP	Bドライブ	B:\SETUP

## 4

インストールするバーコードフォントをクリックしてチェックし、**セットアップ実行(R)** ボタンをクリックします。

これで、EPSON バーコードフォントが、Windowsのフォントフォルダにインストールされました。



## バーコードの作成

ここではWindows95に添付の「ワードパッド」を例に、EPSON BarCodeフォントを使用して、バーコードの印刷の手順を説明します。

# 1

「ワードパッド」を起動し、バーコード変換する文字を入力します。半角文字で入力してください。



# 2

入力した文字をマウスでドラッグして選択します。

選択した範囲が反転表示になります。

クリックしたまま移動します



# 3

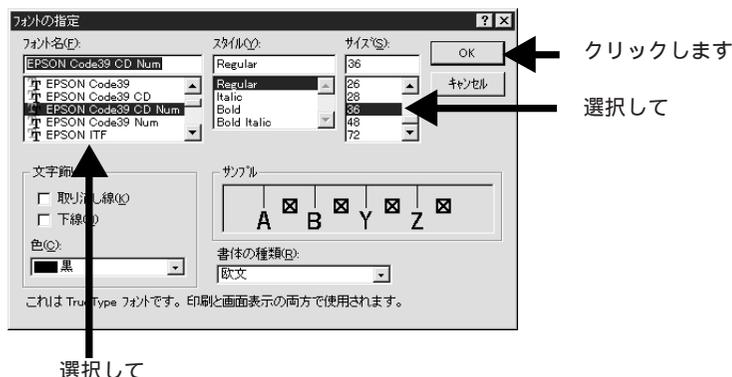
「書式(O)」メニューをクリックし、「フォント(F)」をクリックします。

クリックして  
クリックします



4

「フォント名(F)」の一覧から印刷したいEPSON BarCodeフォントを選択し、「サイズ(S)」でフォントのサイズを設定し、**OK** ボタンをクリックします。



注意

WindowsNT4.0/3.5xでは96pt以上のフォントは使用できません。

5

②で選択したデータがバーコードフォントに置き換わり、画面上で次のように表示されます。



6

印刷を実行します。

入力したデータがバーコードとして印刷されます。



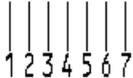
ポイント

入力したデータが不適当な場合などプリンタドライバがエラーと判断した場合は、画面表示と同様のフォントが出力されます。この場合バーコードとして読み取りはできません。

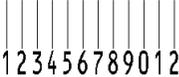
## 各バーコードについて

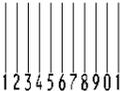
各バーコードの仕様や、入力するデータキャラクタの詳細 / 構成等については、それぞれのバーコードの規格に関する文献を参照してください。

JAN-8 ( JAN 短縮バージョン )			
<ul style="list-style-type: none"> <li>• JAN-8は「 JIS X 0501 」として規格化されたJANの短縮バージョン( 8桁 )です。</li> <li>• EPSON BarCodeフォントは末尾のチェックキャラクタを自動的に挿入するため、入力するキャラクタは7桁です。</li> </ul>			
入力可能なキャラクタ	数字( 0 ~ 9 )		
入力するキャラクタの桁数	7桁		
キャラクタのサイズ	52pt ~ 130pt。( WindowsNTは96ptまで ) 保証サイズは52pt、65pt( 標準 )、97.5pt、130ptです。		
<p>次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• レフト / ライトマージン</li> <li>• センターバー</li> <li>• OCR-B</li> <li>• レフト / ライトガードバー</li> <li>• チェックキャラクタ</li> </ul>			
印刷例	入力時	EPSON JAN-8に変換	印刷
	1234567		

JAN-8 Short ( JAN 短縮バージョン トランケーション )			
<ul style="list-style-type: none"> <li>• JAN-8 ShortはJAN-8のバーコードの高さを標準ポイントで11mmにしたもので、それ以外はJAN-8と同じ仕様です。</li> <li>• バーコードを挿入するスペースがせまい場合などに使用します。</li> <li>• 日本国内でのみ使用可能です。JISX0501では定められていません。</li> </ul>			
入力可能なキャラクタ	数字( 0 ~ 9 )		
入力するキャラクタの桁数	7桁		
キャラクタのサイズ	36pt ~ 90pt。 保証サイズは36pt、45pt( 標準 )、67.5pt、90ptです。		
<p>次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• レフト / ライトマージン</li> <li>• センターバー</li> <li>• OCR-B</li> <li>• レフト / ライトガードバー</li> <li>• チェックキャラクタ</li> </ul>			
印刷例	入力時	EPSON JAN-8 Shortに変換	印刷
	1234567		

JAN-13 (標準バージョン)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>• JAN-13は「JIS X 0501」として規格化されたJANの標準バージョン(13桁)です。</li> <li>• EPSON BarCodeFontでは末尾のチェックキャラクタを自動的に挿入するため、入力するキャラクタは12桁です。</li> </ul>			
入力可能なキャラクタ	数字(0~9)		
入力するキャラクタの桁数	12桁		
キャラクタのサイズ	60pt ~ 150pt。(WindowsNTは96ptまで) 保証サイズは60pt、75pt(標準)、112.5pt、150ptです。		
次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• レフト / ライトマージン</li> <li>• センターバー</li> <li>• OCR-B</li> <li>• レフト / ライトガードバー</li> <li>• チェックキャラクタ</li> </ul>			
印刷例	入力時	EPSON JAN-13に変換	印刷
	123456789012		

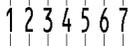
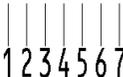
JAN-13 Short (JAN短縮バージョン トランケーション)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>• JAN-13 ShortはJAN-13のバーコードの高さを標準ポイントで11mmにしたもので、それ以外はJAN-13と同じ仕様です。</li> <li>• バーコードを挿入するスペースがせまい場合などに使用します。</li> <li>• 日本国内でのみ使用可能です。JISX0501では定められていません。</li> </ul>			
入力可能なキャラクタ	数字(0~9)		
入力するキャラクタの桁数	12桁		
キャラクタのサイズ	36pt ~ 90pt。 保証サイズは36pt、45pt(標準)、67.5pt、90ptです。		
次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• レフト / ライトマージン</li> <li>• センターバー</li> <li>• OCR-B</li> <li>• レフト / ライトガードバー</li> <li>• チェックキャラクタ</li> </ul>			
印刷例	入力時	EPSON JAN-13 Shortに変換	印刷
	123456789012		

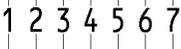
UPC-A			
<ul style="list-style-type: none"> <li>• UPC-Aは、アメリカのUniversal Product Codeで制定されたUPC-AのRegularタイプです。(UPC Symbol Specification Manual)</li> <li>• Regular UPCコードのみサポートし、補足コードはサポートしていません。</li> </ul>			
入力可能なキャラクタ	数字(0～9)		
入力するキャラクタの桁数	11桁		
キャラクタのサイズ	60pt～150pt。(WindowsNTは96ptまで) 保証サイズは60pt、75pt(標準)、112.5pt、150ptです。		
次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• レフト / ライトマージン</li> <li>• センターバー</li> <li>• OCR-B</li> <li>• レフト / ライトガードバー</li> <li>• チェックデジット</li> </ul>			
印刷例	入力時	EPSON UPC-Aに変換	印刷
	12345678901		

UPC-E			
UPC-Eは、アメリカのUniversal Product Codeで制定されたUPC-AのZero Suppression(余分な0を削除)タイプです。(UPC Symbol Specification Manual)			
入力可能なキャラクタ	数字(0～9)		
入力するキャラクタの桁数	6桁		
キャラクタのサイズ	60pt～150pt。(WindowsNTは96ptまで) 保証サイズは60pt、75pt(標準)、112.5pt、150ptです。		
次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• レフト / ライトマージン</li> <li>• チェックデジット</li> <li>• ナンバーシステム「0」のみ</li> <li>• レフト / ライトガードバー</li> <li>• OCR-B</li> </ul>			
印刷例	入力時	EPSON UPC-Eに変換	印刷
	123456		

Code39			
<ul style="list-style-type: none"> <li>• Code39は「JIS X 0503」として規格化されたものです。</li> <li>• EPSON BarCodeフォントはチェックデジットの有無、OCR-Bの有無で4種類のフォントを用意しています。</li> <li>• 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON BarCodeフォントはCode39の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の15%以上になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。</li> <li>• Code39ではスペースを“<u>  </u>”(アンダーライン)に割り当てています。スペースを表すバーコードを入力したい場合は、“<u>  </u>”(アンダーライン)を入力してください。</li> <li>• Code39で1行に2つ以上のバーコードを入力する場合、バーコード間はTABで区切ってください。スペースで区切る場合は、バーコードフォント以外のフォントを選択して入力してください。Code39を選択したままスペースを入力するとスペースがバーコードの一部となりバーコードとして使用できません。</li> </ul>			
入力可能なキャラクタ	英数字( A ~ Z, 0 ~ 9 ) 記号( - . スペース \$ / + % )		
入力するキャラクタの桁数	制限なし		
キャラクタのサイズ	OCR-Bなしの場合 : 26pt以上。 保証サイズは26pt、52pt、78pt、104pt ( WindowsNTは96ptまで )  OCR-Bありの場合 : 26pt以上。 保証サイズは36pt、72pt、108pt、144pt ( WindowsNTは96ptまで )		
次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 左 / 右クワイエットゾーン</li> <li>• スタート / ストップキャラクタ</li> <li>• チェックデジット</li> </ul>			
印刷例	入力時	EPSON Code39に変換	印刷
	1234567	1 2 3 4 5 6 7 	
		EPSON Code39 CDNumに変換	印刷
		1 2 3 4 5 6 7 	

Code128			
<ul style="list-style-type: none"> <li>• Code128は「JIS X 0504」として規格化されたものです。</li> <li>• EPSON BarCode フォントはコードセット A、B、Cをサポートしています。入力するキャラクタのコードセットが途中で変わった場合、自動的にコードセットの変換コードを挿入します。</li> <li>• 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON BarCode フォントはCode128の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の15%になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。</li> <li>• アプリケーションによっては行末に存在するスペースを削除したり、連続する複数個のスペースをタブなどに置き換えるなどの処理を自動的に行うものがあります。これらのアプリケーションでは、スペースを含むバーコードが正しく印刷されない場合があります。</li> <li>• Code128で1行に2つ以上のバーコードを入力する場合、バーコード間はTABで区切ってください。スペースで区切る場合は、バーコードフォント以外のフォントを選択して入力してください。Code128を選択したままスペースを入力するとスペースがバーコードの一部となりバーコードとして使用できません。</li> </ul>			
入力可能なキャラクタ	全てのASCII文字( 95文字 )		
入力するキャラクタの桁数	制限なし		
キャラクタのサイズ	26pt ~ 104pt。(WindowsNTは96ptまで) 保証サイズは26pt、52pt、78pt、104ptです。		
<p>次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 左 / 右クワイエットゾーン</li> <li>• スタート / ストップキャラクタ</li> <li>• チェックデジット</li> <li>• コードセットの変更キャラクタ</li> </ul>			
印刷例	入力時	EPSON Code128に変換	印刷
	1234567	1 2 3 4 5 6 7 	

Interleaved 2of5			
<ul style="list-style-type: none"> <li>• Interleaved 2of5は、アメリカで規格化されたものです。(USS Interleaved 2-of-5)</li> <li>• EPSON BarCodeフォントはチェックデジットの有無、OCR-Bの有無で4種類のフォントを用意しています。</li> <li>• 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON BarCodeフォントはInterleaved 2of5の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の15%以上になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。</li> <li>• Interleaved 2of5は、キャラクタを2個一組で扱います。キャラクタの合計数が奇数個の場合、EPSON BarCodeフォントは自動的にキャラクタの先頭に0を追加して偶数個になるようにします。</li> </ul>			
入力可能なキャラクタ	数字(0～9)		
入力するキャラクタの桁数	制限なし		
キャラクタのサイズ	OCR-Bの有無により異なります。(WindowsNTは96ptまで) OCR-Bなし:26pt以上。保証サイズは26pt、52pt、78pt、104pt。 OCR-Bあり:36pt以上。保証サイズは36pt、72pt、108pt、144pt。		
<p>次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力不要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 左 / 右クワイエットゾーン</li> <li>• スタート / ストップキャラクタ</li> <li>• チェックデジット</li> <li>• 文字列先頭への0の挿入 (合計文字数が偶数でない場合のみ)</li> </ul>			
印刷例	入力時	EPSON ITF に変換	印刷
	1234567		
		EPSON ITF CD Num に変換	印刷
			

NW-7(CODABAR)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>• NW-7は「JIS X 0503」として規格化されたものです。</li> <li>• EPSON BarCodeフォントはチェックデジットの有無、OCR-Bの有無で4種類のフォントを用意しています。</li> <li>• 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON BarCodeフォントはNW-7の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の15%以上になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。</li> <li>• スタート / ストップキャラクタのどちらかを入力すると、EPSON BarCodeフォントは残りのスタート / ストップキャラクタが同じになるように自動的に挿入されます。</li> <li>• スタート / ストップキャラクタを入力しない場合は、両方とも自動的にAを挿入します。</li> </ul>			
入力可能なキャラクタ	数字(0~9) 記号( - \$ : / . + )		
入力するキャラクタの桁数	制限なし		
キャラクタのサイズ	OCR-Bの有無により異なります。(WindowsNTは96ptまで) OCR-Bなし:26pt以上。保証サイズは26pt、52pt、78pt、104pt。 OCR-Bあり:36pt以上。保証サイズは36pt、72pt、108pt、144pt。		
次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。			
• 左 / 右クワイエットゾーン • スタート / ストップキャラクタ(入力しない場合) • チェックデジット			
印刷例	入力時	EPSON NW-7に変換	印刷
	1234567	1 2 3 4 5 6 7 	
		EPSON NW-7CDNumに変換	印刷
		1 2 3 4 5 6 7 	

新郵便番号(カスタマ・バーコード)			
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 1998年2月2日より、郵便番号が新しくなります。これに伴い、郵便番号と住所をバーコードでハガキや封筒に印刷して発送することができるようになります。</li> <li>• バーコードの詳細については、郵政省より発行の資料を参照してください。</li> <li>• EPSON BarCodeフォントで入力する場合、次のように新郵便番号(3桁) - 新郵便番号(4桁) - 住所表示番号(バーコードに変換後13桁まで)を入力します。</li> <li>• 住所表示番号は入力時は桁数の制限はありませんが、バーコードに変換後13桁を超える部分は省略されます。また住所表示番号が13桁に満たない場合は、13桁になるように末尾にコードを挿入します。</li> <li>• アプリケーションソフトにおいて、印刷領域やレイアウト枠は余裕をもって設定してください。</li> </ul>			
入力可能なキャラクタ	数字(0~9) 英文字(A~Z) 記号(-)		
入力するキャラクタの桁数	制限なし。ただし住所表示番号については、バーコードに変換後13桁を超える桁数の文字は省略されます。		
キャラクタのサイズ	8pt ~ 11.5pt。 保証サイズは8pt、9pt、10pt、11.5ptです。		
次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力不要です。			
<ul style="list-style-type: none"> <li>• バーコードの上下左右2mmの空白</li> <li>• スタート / ストップコード</li> <li>• チェックデジット</li> <li>• 入力時の-(ハイフン)の削除</li> <li>• 住所表示番号の13桁調整</li> </ul>			
印刷例	入力時	EPSON J-Postal Codeに変換	印刷
	123-4567	1' 2' 3' 1- 4' 5' 6' 7' 	

# EPSON Remote! について

ここでは、パネル設定ユーティリティ「EPSON Remote!」の使い方について説明します。

## EPSON Remote!の概要

プリンタの各種設定をコンピュータから変更することができるユーティリティソフトウェアです。

- EPSON Remote!は、コンピュータを使用している環境に応じて、DOS版、NetWare版の中からどれかを選んで使用します。

DOS版 (98用、DOS/V用)	DOSアプリケーションを使って印刷する場合に使用します。 印刷の基本的な設定はアプリケーションソフトで行います。 しかし、ソフトによっては一部設定が変更できないことがあります。そのような場合に、EPSON Remote!をご利用ください。
NetWare版	NetWare環境下で印刷する場合に使用します。

- EPSON Remote!は、設定する内容や目的に応じて次のユーティリティを選択することができます。

スタートアップユーティリティ (DOS版 (98用、DOS/V用)のみ)  
プリンタの初期設定値(電源投入時の設定)を変更するユーティリティです。  
プリンタのパネル設定で行えるほとんどすべての設定が変更できます。  
変更した内容はプリンタに記憶されます。電源をオフにしても、設定は保持されます。

設定ユーティリティ

使用頻度の高い項目のみ設定できます。

設定した内容はプリンタに記憶されます。電源をオフにしても、設定は保持されます。



ポイント

スタートアップユーティリティと設定ユーティリティで同じ項目を設定した場合、あとから設定した内容が有効になります。

簡易設定ユーティリティ

設定ユーティリティで設定した内容をファイルとして保存できます。

印刷する前にファイルの実行コマンドを実行するだけで、プリンタの各種設定を一度に変更できます。

設定を変更しても、リセット / 電源オフ / プリンタモード変更のいずれかの操作によって変更前の状態に戻ります。

# EPSON Remote!(DOS版)

## システム条件

### 動作可能コンピュータ

エプソン PC シリーズ (NEC PC-9801 シリーズ 互換機)  
NEC PC-9800 シリーズ、PC98XL<sup>2</sup>・RL シリーズ、PC-H98 シリーズ (ディスプレイ解像度: ノーマル / ハイレゾモード)

\* PC-98LT/DO は使用できません。

各社 DOS/V 対応パソコン

DOS



ポイント

DOS/V 対応パソコンで EPSON Remote! を使用する場合は、以下の点に注意してください。

- CONFIG.SYS ファイルに [DEVICE=PRNESC.P.SYS\*] がある場合は、これを削除してください。
- CONFIG.SYS ファイルに [DEVICE=ANSI.SYS\*] がない場合は、これを追加してコンピュータを再起動してください。
- DOS/V の動作モードは、日本語モードにしておいてください。

\* お使いの DOS のバージョンなどにより、異なる場合があります。

### 動作可能 OS

MS-DOS Ver3.1 以上

DOS/V Ver5.X 以上

\* Windows 上の DOS プロンプト上での動作は保証外です。

EPSON Remote!(DOS版)

## インストール方法

1

EPSON ESC/Pageカラープリンタソフトウェア CD-ROMをセットします。

フロッピーディスクをお使いの場合は、EPSON Remote!のセットアップディスクをセットします。

2

DOS プロンプトで、ディスクをセットしたドライブ名と実行コマンド (SETUP)を半角で入力し、**リターン** キーを押します。

セットアップ画面が表示されます。

入力例) Bドライブにディスクをセットした場合

A:¥>B:¥SETUP[ ]/REMOTE

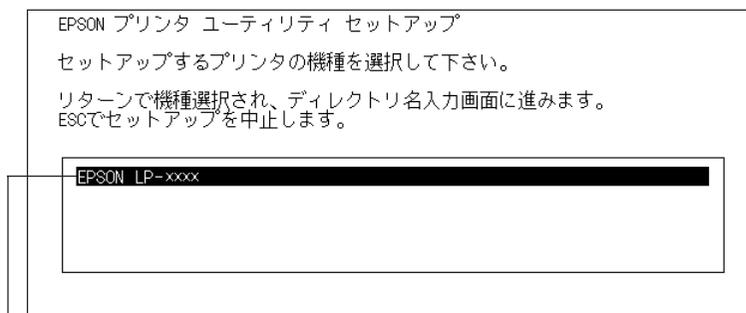
下線部のドライブは機種により異なります。

CD-ROMの場合		フロッピーディスクの場合	
セットしたドライブ	入力	セットしたドライブ	入力
Dドライブ	D:¥SETUP[ ]/REMOTE	Aドライブ	A:¥SETUP[ ]/REMOTE
Eドライブ	E:¥SETUP[ ]/REMOTE	Bドライブ	B:¥SETUP[ ]/REMOTE
:	:	:	:
:	:	:	:

[ ]は半角スペースを表します。

3

お使いの機種名にカーソルを移動し、**リターン** キーを押します。



お使いの機種名にカーソルを移動し、**リターン** キーを押します。

4

インストール先ディレクトリを確認し、**リターン**キーを押してインストールを実行します。

インストール実行中にディスク交換のメッセージが表示された場合は、画面の指示に従ってディスクを交換します。

```
EPSON プリンタ ユーティリティ のセットアップ
コピー先のディレクトリを入力してください。
リターンでセットアップを開始し、ESC で中止します。
ユーティリティ ファイルのディレクトリ:
[ A: %EPREMOTE ]
```

ここにインストール先のディレクトリ名が表示されます。変更する場合は、ここに変更するディレクトリ名を入力してから**リターン**キーを押します。

5

終了のメッセージが表示されたら何かキーを押します。DOS プロンプトに戻ります。



ポイント

- インストール先ディレクトリについて  
初期値では、ルートディレクトリにEPREMOTEディレクトリを作成し、その中にユーティリティをインストールします。
- ユーティリティの起動用バッチファイルについて  
ユーティリティの起動用バッチファイルはルートディレクトリにインストールされます。起動用バッチファイルは以下の通りです。  
スタートアップユーティリティ : PRNSET.BAT  
設定ユーティリティ : PANEL.BAT
- バッチファイルを実行してもEPSON Remote!が起動しない場合、バッチファイルのあるディレクトリ(初期値はルートディレクトリ)がパスに指定されていないことがあります。パスの指定を確認してください。

## EPSON Remote (DOS版) の使い方

ここでは、トレイ紙サイズの変更のしかたを例に、スタートアップユーティリティと設定ユーティリティの具体的な使い方を説明します。



ポイント

- スタートアップユーティリティと設定ユーティリティの使い方は基本的に同じです。どちらも以下の手順に従ってください。
- トレイ紙サイズ以外の項目の変更のしかたも、基本的に同じです。以下の手順を参考にして、設定変更してください。

1

DOSプロンプト(A:¥>など)で、ユーティリティの起動用バッチファイルを実行します。

ユーティリティが起動し、プリンタ選択画面が表示されます。

スタートアップユーティリティの場合：PRNSET

例：A:¥>PRNSET (下線部のみ入力します)

設定ユーティリティの場合：PANEL

例：A:¥>PANEL (下線部のみ入力します)

DOS/V対応パソコンを使用していて、ユーティリティが起動しない場合は、本書「システム条件」243ページを参照してください。



ポイント

ユーティリティの起動が2回目以降のときは、プリンタ選択画面は表示されず、最初から設定画面が表示されます。このときは、**4**に進んでください。

2

お使いの機種名にカーソルを移動し、**リターン**キーを押します。

3

選択するプリンタモードにカーソルを移動し、**リターン**キーを押します。

設定画面が表示されます。



ポイント

プリンタモードは、基本的にESC/PSを選択してください。ESC/PSを選択して設定変更しても意図した印刷結果が得られない場合は、次の表を参照してプリンタモードを変更してください。

アプリケーションでのプリンタの設定	プリンタモード
ESC/Page( LP系 )	ESC/Page
ESC/P( VP系 )	ESC/P
PC-PR-201H	ESC/PS

4

ユーティリティの設定を確認します。

選択されているプリンタ・プリンタモード・出力ポート(画面右上に表示)が、ご使用のプリンタの設定と異なる場合は、ご使用のプリンタの設定に変更します。

プリンタ、プリンタモード **f・10** キーを何回か押すことで、変更可能な画面に移ります。

出力ポート **f・4** キーを押すことで変更されます。



ポイント

設定ユーティリティの場合、出力先をファイルにすると、これから変更する設定をファイルとして保存します。保存したファイルは、簡易設定ユーティリティで使用できます。

 本書「簡易設定ユーティリティの使い方」257ページ

5

トレイ用紙サイズにカーソルを移動し、**リターン** キーを押します。

用紙サイズの一覧が表示されます。

6

実際にセットしてある用紙サイズにカーソルを移動し、**リターン** キーを押します。

7

設定実行キー **f・1** を押します。

8

**Y** キーを押して設定を実行します。

EPSON Remote!で変更した内容は、電源をオフにしてもプリンタに記憶されます。  
他の人とプリンタを共有している場合は、設定を元に戻しておくことをお勧めします。

ユーティリティが終了し、DOSプロンプトに戻ります。これで設定変更は終了です。この後、アプリケーションソフトウェアから印刷を実行してください。

# EPSON Remote!(NetWare 版)

## NetWare 版 EPSON Remote!について

NetWare 版 EPSON Remote!は、NetWare 環境下で印刷する場合にお使いください。

NetWare 版 EPSON Remote!には、エプソン PC シリーズ / NEC PC-9800 シリーズ用の MS-DOS 版と、DOS/V コンピュータ用の DOS/V 版があります。クライアント側のシステムに合わせて選択してください。

また、NetWare 版 EPSON Remote!は、スーパーバイザ(ネットワーク管理者)による設定とクライアントマシン設定が必要です。インストールする場合は必ずスーパーバイザにご相談ください。



ポイント

NetWare 版 EPSON Remote!を使用する際は、以下の点に注意してください。

- プリンタモードは、必ず ESC/P モードに変更してください。
- コード変換：非変換の環境で使用してください。  
CAPTURE コマンドで CONV オプション(コード変換：変換)を使用しないでください。もし、使用した場合は、必ず CONV オプションで再度 CAPTURE コマンドを実行してください。NetWare コマンドについては、NetWare に付属のプリントサーバマニュアルを参照してください。
- NetWare 版の EPSON Remote!は、クライアント側の操作で、プリンタの設定状態を変更するだけでなく CAPTURE 機能の実行/終了も指定できます。CAPTURE 機能の実行を利用することで、CAPTURE コマンドオプションのパラメータを詳しく知らなくても、EPSON Remote!と同じ操作でオプションが指定できるので便利です。
- NetWare 版の EPSON Remote!にはスタートアップユーティリティの機能はありません。プリンタの電源投入時の設定を変更したい場合は DOS 版を使用してください。

DOS 版のスタートアップユーティリティの機能を使用する場合

DOS 版の EPSON Remote!をインストールします(244 ページ参照)。  
EPSON Remote!のプログラムがあるディレクトリに変更します。

例：A:¥>CD EPREMOTE

(ディレクトリが A:¥EPREMOTE の場合)

次の手順でスタートアップユーティリティを起動します。

A:¥>CASTOFF ALL

A:¥>PRNSET

CASTOFF ALL を実行した後は、サーバーおよび他のワークステーションからのメッセージはすべて無視されますのでご注意ください。

プリンタの各機能を設定します。

設定終了後に次のコマンドを入力します。

A:¥>CASTON

## システム条件について



ポイント

サーバ/クライアントコンピュータおよびドライバは、ノベル株式会社による認定品が必要です。

DOS

- サーバコンピュータ : • NEC PC-9800 シリーズ, PC-H98 シリーズ, SV-H98 シリーズ  
• SONY QuaterL シリーズ  
• 日本 IBM PS/55 PS/V シリーズ  
• 日本 DEC DEC PC シリーズ  
• 各社 DOS/V 対応パソコン
- NOS : • NetWare 3.1J, 3.11J または 3.12J  
• ESC/P プリンタドライバ
- クライアントコンピュータ : NetWare( MS-DOS )版  
• エプソンPCシリーズ( NEC PC-9801 シリーズ互換機 )  
• NEC PC-9800 シリーズ  
( ディスプレイ解像度: ノーマル/ハイレゾモード )  
NetWare( DOS/V )版  
• 日本 IBM PS/55 PS/V シリーズ  
• SONY QuaterL シリーズ  
• 日本 DEC DEC PC シリーズ  
( ディスプレイ解像度: VGA モード )  
• 各社 DOS/V 対応パソコン
- クライアント OS : NetWare( MS-DOS )版  
• MS-DOS 3.1 以上  
NetWare( DOS/V )版  
• IBM DOS J5.02/V 以上  
• MS-DOS 5.0/V 以上
- クライアントドライバ : • IPX ドライバ  
• ODI ドライバ
- プリンタ接続状態 : • リモート、ローカルの双方の形態に適用

## スーパーバイザによるインストール

スーパーバイザは、一般ユーザーの使用に先立って、ネットワークドライブ(ボリューム:SYS)に対して、次のようにインストールプログラムを実行してください。

1

EPSON ESC/Pageカラープリンタソフトウェア CD-ROMをセットします。

2

DOS プロンプトで、ディスクをセットしたドライブ名と実行コマンド (SETUP [ ] /SUPER) を半角で入力し、**リターン**キーを押します。

入力例) Bドライブにディスクをセットした場合

```
A: ¥>B: ¥SETUP [ ] /SUPER
```

下線部のドライブは機種により異なります。

[ ] は半角スペースを表します。

3

この後は、画面の指示に従ってインストールしてください。



ポイント

NetWare版 EPSON Remote!を使用する場合、PrinterResetBufferとPrinterSetupBufferに十分なメモリを確保するため、NetWareのコンフィグレーションファイルSHELL.CFGまたはNET.CFGに次の2行を追加しておいてください。

```
PRINT HEADER=255
```

```
PRINT TAIL=26以上*
```

\* EPSON Remote!を使用するには、26のPRINT TAILが必要になります。他のシステム条件も合わせて、この値を設定してください。

## 一般ユーザーのインストール

一般ユーザーは、各クライアントマシンで、次のようにインストールプログラムを実行してください。

# 1

EPSON ESC/Pageプリンタソフトウェア CD-ROMをセットします。

# 2

ディスクをセットしたドライブ名と実行コマンド (SETUP [ ] /  
NETWARE) を半角で入力し、**リターン**キーを押します。

セットアップ画面が表示されます。

入力例) Bドライブにディスクをセットした場合

A:¥>B:¥SETUP [ ] /NETWARE

下線部のドライブは機種により異なります。

CD-ROMの場合		フロッピーディスクの場合	
セットしたドライブ	入力	セットしたドライブ	入力
Dドライブ	D:¥SETUP [ ] /NETWARE	Aドライブ	A:¥SETUP [ ] /NETWARE
Eドライブ	E:¥SETUP [ ] /NETWARE	Bドライブ	B:¥SETUP [ ] /NETWARE
⋮	⋮	⋮	⋮
⋮	⋮	⋮	⋮

[ ]は半角スペースを表します。

# 3

お使いの機種名にカーソルを移動し、**リターン**キーを押します。

EPSON プリンタ ユーティリティ セットアップ

セットアップするプリンタの機種を選択して下さい。

リターンで機種選択され、ディレクトリ名入力画面に進みます。  
ESCでセットアップを中止します。

EPSON LP-xxxx

お使いの機種名にカーソルを移動し、**リターン**キーを押します。

4

インストール先ディレクトリを確認し、**リターン**キーを押してインストールを実行します。

インストール実行中にディスク交換のメッセージが表示された場合は、画面の指示に従ってディスクを交換します。

```
EPSON プリンタ ユーティリティ のセットアップ
コピー先のディレクトリを入力してください。
リターンでセットアップを開始し、ESC で中止します。
ユーティリティ ファイルのディレクトリ:
[ A: %EPREMOTE ]
```

ここにインストール先のディレクトリ名が表示されます。変更する場合は、ここに変更するディレクトリ名を入力してから**リターン**キーを押します。

5

終了のメッセージが表示されたら何かキーを押します。DOS プロンプトに戻ります。

インストール先ディレクトリについて  
初期値では、ルートディレクトリにEPREMOTEディレクトリを作成し、その中にユーティリティをインストールします。

## EPSON Remote!( NetWare 版 ) の使い方

設定ユーティリティは、クライアントマシンからCAPTURE機能を実行したり、プリンタの設定状態を変更できます。設定した内容は、印刷時に印刷データと一緒にプリンタへ出力され、プリンタに記憶されます。

DOS



ポイント

- アプリケーションソフトウェアを起動する前に設定ユーティリティを実行し、各設定をしてください。
- NetWare版 EPSON Remote!で設定すると、CAPTUREコマンドなどで設定されたプリントジョブ環境に上書きするため、前の設定は無効になります。

### 設定ユーティリティの操作手順

1

MS-DOS の画面から NetWare にログインします。

NetWare のファイルサーバにログインした後、画面にプロンプト (A:¥> など) が表示された状態にします。

2

ユーティリティの起動用バッチファイルを実行します。

MS-DOS 版の場合 : EPREMOTE 98

例: A:¥>EPREMOTE 98

(下線部のみ入力します。□はスペース)

DOS/V 版の場合 : EPREMOTE DOSV

例: A:¥>EPREMOTE DOSV

(下線部のみ入力します。□はスペース)

プリンタの選択画面が表示されます。中止する場合は **ESC** キーを押してください。

3

プリンタ名を選択します。

矢印キーでカーソルをお使いの機種名に移動し、**リターン** キーを押して選択します。

**4**

プリンタモードを選択します。

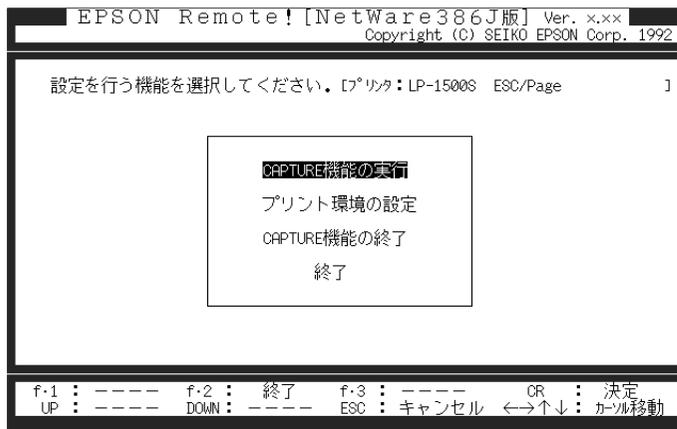
矢印キーでカーソルを使用するプリンタモードに移動し、**リターン**キーを押して選択します。機能選択画面が表示されます。

**5**

機能を選択します。

矢印キーでカーソルを使用する機能に移動し、**リターン**キーを押すと、機能が実行されます。この画面から、前のプリンタ選択画面に戻るときは**ESC**キーを、設定を終了するときには**f・2**キーを押します。

(表示画面の例)



各機能を実行します。

CAPTURE 機能の実行	255 ページ
プリント環境の設定	256 ページ
CAPTURE 機能の終了	255 ページ

**6**

設定後、ユーティリティを終了します。

各機能で設定を終了すると、❸の画面に戻ります。ここで、「終了」を選択するか**f・2**キーを押すと設定が有効になり、設定ユーティリティを終了します。

## CAPTURE 機能の実行

機能選択画面で「CAPTURE 機能の実行」を選択すると、CAPTURE コマンドで指定できる CAPTURE オプションが設定できる画面になります。ここでは、プリントバナーやタイムアウト、オートエンドキャップなどのオプションがまとめて設定できます。

**1**

ファイルサーバ名とプリントキュー名を指定します。

ファイルサーバ名とプリントキュー名をそれぞれ該当欄に入力します。

**2**

オプションを選択します。

矢印キーで変更するオプションにカーソルを移動して **リターン** キーを押すと、変更できる設定値の一覧が表示されます。画面下の説明欄には、現在指定しているオプションの説明が表示されます。

**3**

設定を変更します。

矢印キーで設定値を選択して **リターン** キーを押すと、設定が変更されます。変更しないときは、**ESC** キーを押すと、設定値を変更せずに項目選択画面に戻ります。

**4**

実行項目を選択します。

**f・1**、**f・3** のファンクションキーで実行項目を選択します。  
ファンクションキーには、次のような機能があります。

f・1： 設定した内容を記憶し、CAPTURE 機能を実行します。

f・3： ユーティリティ上の設定を購入時の設定に戻します。

## CAPTURE 機能の終了

機能選択画面で「CAPTURE 機能の終了」を選択すると、CAPTURE を終了するポートを選択する画面になります。

矢印キーでポートにカーソルを移動して **リターン** キーを押すと、CAPTURE 機能が終了します。

## プリント環境の設定

機能選択画面で「プリント環境の設定」を選択すると、プリンタの設定状態が変更できる画面になります。

ここでは、給紙選択や縮小、節電などの設定がまとめて設定できます。

1

項目を選択します。

矢印キーで変更する項目にカーソルを移動して「リターン」キーを押すと、変更できる設定値の一覧が表示されます。画面下の説明欄には、現在カーソルが指定している設定項目の説明が表示されます（すべてが表示されないときは、画面左下に「UP:前ページ」、「DOWN:次のページ」などの指示がでますので「ROLL UP」/「PAGE UP」、「ROLL DOWN」/「PAGE DOWN」キーでページを切り替えてください）。

2

設定を変更します。

矢印キーで設定値を選択して「リターン」キーを押すと、設定が変更されます。変更しないときは、「ESC」キーを押すと、設定値を変更せずに項目選択画面に戻ります。

3

実行項目を選択します。

f・1 ~ f・3 のファンクションキーで実行項目を選択します。  
ファンクションキーには、次のような機能があります。

f・1: 設定した内容を記憶し、プリンタの状態を変更します。

f・2: コンピュータ本体の出力ポートを切り替えます。押すたびに、画面右上の出力の欄が変更します。

出力ポートではファイルも選択できます。ファイルを選択すると、簡易設定ユーティリティで使用する出力ファイルを作成できます。簡易設定ユーティリティについては次ページを参照してください。

f・3: ユーティリティ上の設定を購入時の設定に戻します。

# 簡易設定ユーティリティの使い方

EPSON Remote! DOS 版（98 用、DOS/V 用）および NetWare 版には、設定ユーティリティで設定した内容を実行ファイルとして保存しておき、印刷前に実行することができます。

## 実行ファイルの作成

DOS

1

設定ユーティリティを起動し、設定を変更します。

設定ユーティリティについては下記のページを参照してください。

🔗 本書「EPSON Remote( DOS 版 ) の使い方」246 ページ

🔗 本書「EPSON Remote( NetWare 版 ) の使い方」253 ページ

2

[出力]先をファイルにします。

MS-DOS 版の場合は **f・4** キーを、NetWare 版の場合は **f・2** キーを押して、画面右上の [出力] をファイルにします。

3

設定を実行します。

**f・1** キーを押して設定を実行します。

画面下の説明欄に確認のメッセージが表示されますので、メッセージに従って「サブディレクトリ名」と「ファイル名」を入力します。



ポイント

- ファイル名の拡張子は自動的に「\_PR」になるので、入力不要です。
- ファイル名は、「A4.\_PR」や「B5.\_PR」のように設定値がわかるような名称にしておくと便利です。
- 複数のプリンタを使用するときは、プリンタごとに専用のサブディレクトリを作成して、ファイルをまとめておくと間違えずに使えます。

## 簡易設定ユーティリティの実行

ここでは、ドライブ A に EPSON Remote! がインストールされている場合について説明します。

1

MS-DOS または DOS/V を起動します。

画面にプロンプト (A> など) が表示された状態にします。

2

コマンドを入力して、**リターン** キーを押します。

実行コマンドは DOS 版 (98 用)、DOS 版 (DOS/V 用) と NetWare 版では異なります。

### DOS 版 (98 用)

```
A>PSET [ファイル名] [オプション] ↵  
( [ ] はスペース)
```

[ファイル名] : 出力データファイルの名前。サブディレクトリがある場合は、ディレクトリ名を指定してください。

拡張子が \_PR の場合は、拡張子を省略できます。

[オプション] : 設定を実行するポートの指定。省略すると /P に指定されます。

パラレルインターフェイスの場合 ..... /P

シリアルインターフェイスの場合 ..... /S

例) A>PSET [ ] LP-XXXX¥A4.\_PR [ ] /P ( [ ] はスペース)



## DOS 版 (DOS/V 用)

A>PSETDV [ファイル名] [オプション] [ ]  
( [ ] はスペース )

[ファイル名] : 出力データファイルの名前。サブディレクトリがある場合は、ディレクトリ名を指定してください。

拡張子が \_PR の場合は、拡張子を省略できます。

[オプション] : 設定を実行するポートの指定。省略すると /LPT1 に指定されます。

パラレルインターフェイスの場合 ..... /LPT1, /LPT2, /LPT3

シリアルインターフェイスの場合 ..... /COM1, /COM2, /COM3, /COM4

例) A>PSETDV [ ] LP-XXXX¥A4.\_PR [ ] /LPT1 ( [ ] はスペース)



## NetWare 版

A>PNETSET [ファイル名] [オプション] [ ]  
( [ ] はスペース )

[ファイル名] : 出力データファイルの名前。サブディレクトリがある場合は、ディレクトリ名を指定してください。

拡張子が \_PR の場合は、拡張子を省略できます。

[オプション] : 設定を実行するポートの指定。省略すると /LPT1 に指定されます。

例) A>PNETSET [ ] LP-XXXX¥A4.\_PR [ ] /LPT1 ( [ ] はスペース)



出力ファイルが実行され、プリンタの設定状態が変更されます。



# オプションについて

---

ここでは、オプションについて説明しています。

オプションの紹介 .....	262
増設メモリ /ROMモジュールの取り付け .....	269
インターフェイスカードの取り付け .....	273
給紙装置の取り付け .....	275

# オプションの紹介

## オプションの入手方法について

本機で使用可能なオプションを購入される場合は、本機をお買い上げになった販売店にお問い合わせください。

## パラレルインターフェイスケーブル

使用するパラレルインターフェイスケーブルは、コンピュータによって異なります。主なコンピュータの機種（シリーズ）でご使用いただけるパラレルインターフェイスケーブルは、次の通りです。

メーカー	コンピュータ	接続ケーブル	対応
EPSON	PCシリーズデスクトップ( 9801シリーズ互換機 )	#8238	*1*2
	NOTEシリーズ( 9801シリーズ互換機 )	市販品 ( ハーフピッチ20ピン ) をご使用ください。	*1*2*3
	オフィスシリーズ / Vividy / プロスパートシリーズ( DOS/V 仕様機 )	PRCB4N	
NEC	PC98-NXシリーズ	PRCB4N	
	PC-9821シリーズ、PC-H98( ハーフピッチ36ピン )	PRCB5N	*1
	PC-9801シリーズデスクトップ( 14ピン )	#8238	*1*2*3
	PC-9801シリーズNOTE( ハーフピッチ20ピン )	市販品 ( ハーフピッチ20ピン ) をご使用ください。	*1*2*3
東芝	J-3100シリーズ	PRCB4N	
IBM	DOS/V 仕様機、PC XT/AT、PS/2	PRCB4N	
各社	DOS/V 仕様機、AX 仕様機	PRCB4N	

\*1：拡張漢字( 表示専用7921～7C7E )は印刷できません。

\*2：Windows95の双方向通信機能およびEPSON プリンタウィンドウ!2 は、コンピュータの機能制限により対応できません。

\*3：ハーフピッチ36ピンのコンピュータにはPRCB5Nをご使用ください。



ポイント

- NEC PC-98LT/DOシリーズとは接続できません。
- NEC PC-9801LV/LX/LS/NシリーズはNEC製の専用ケーブルを使用してください。
- 富士通 FM/R、FM TOWNSは富士通製の専用ケーブルを使用してください。
- 推奨ケーブル以外のケーブル、プリンタ切替機、ソフトウェアのコピー防止のためのプロテクタ(ハードウェアキー)などを、コンピュータとプリンタの間に装着すると、プラグアンドプレイやデータ転送が正常にできない場合があります。
- ECPモード対応コンピュータをECPモードで接続する場合、PRCB4Nをご使用ください。

## 用紙カセット

本機に標準で装着されているカセットの代わりに差し込んで使用することができます。

型番	商品名	備考
LPCYC1W	用紙カセット (A3W (ノビ))	使用できる用紙サイズ:A3W (ノビ) 用紙セット容量:最大 250 枚



ポイント

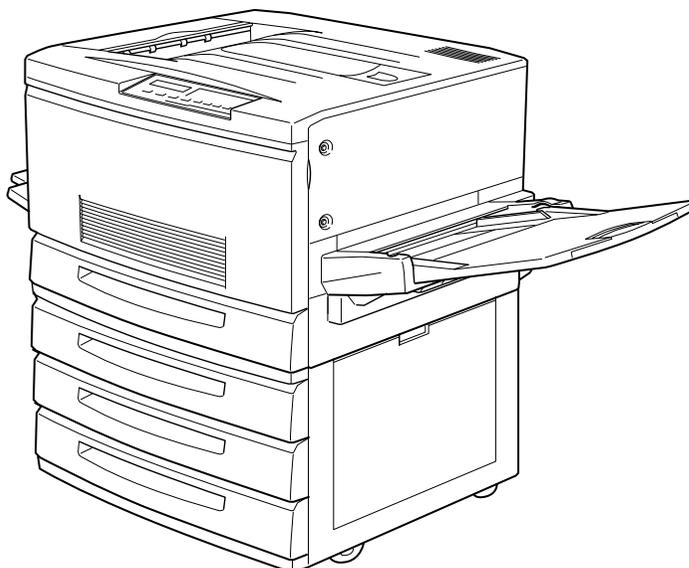
用紙カセット (A3W (ノビ)) は、オプションの増設カセットユニット : LPCWC1 には装着できません。

また、使用可能な用紙サイズは A3W (ノビ): 328mm × 453mm のみです。  
A3 ノビ: 329mm × 483mm は使用できません。

## 用紙カセットユニット

本機に標準装備の用紙カセットと同じ用紙カセットが3基装備されたユニットです。プリンタ下部に装着することにより、標準で装着されているものも含めて最大4段にすることができます。

型番	商品名	備考
LPCWC1	増設カセットユニット (用紙カセット(容量250枚)×3段)	使用できる用紙サイズ: A3、A4、B4、B5、B、LT、LGL 用紙カセット容量:最大250枚



## 増設メモリ

本機は、市販のDIMM<sup>\*1</sup>を使用することにより、最大 256MB まで内部メモリを増設することができます。メモリを増設することにより、複雑な印刷データも高解像度で印刷できるようになります。また、コンピュータを早く解放したり、アウトラインフォント使用時の処理を高速化できます。

使用できるDIMMの種類は以下の通りです。詳しくはFAXインフォメーションをご利用ください。FAXインフォメーションの問い合わせ先は巻末をご覧ください。

- DRAMタイプ : DRAM (シンクロナスDRAM)
- 容量 : 32、64、128MB
- 形状 : 168ピンDIMM (デュアルインラインパッケージ)
- データバス幅 : 64bit
- アクセスタイム : 66.66MHz以上
- 電源 : 3.3V
- SPD : 使用
- バッファ : なし
- JEDEC準拠  
(パリティ機能のないものも使用できます)



ポイント

増設できるDIMMは2枚です。  
本機が扱えるメモリは最大256MBです。標準のメモリ(32MB)とDIMMの合計が256MBより大きい場合、256MBを超えた分のメモリは使用されません。

## フォントROMモジュール

オプションのフォントROMモジュールです。  
オプションのROMモジュールは2枚装着することができます。

型番	商品名
LPFR1	正楷書体アウトラインフォントROMモジュール
LPFR2	行書体アウトラインフォントROMモジュール
LPFR3	教科書体アウトラインフォントROMモジュール
LPFR4	丸ゴシック体アウトラインフォントROMモジュール
LPFR5	太角ゴシック体・太明朝体アウトラインフォントROMモジュール
LPFR6	太丸ゴシック体アウトラインフォントROMモジュール
LPFR7	太行書体アウトラインフォントROMモジュール
LPFROCB	OCRフォント/バーコードROMモジュール

## フォームオーバーレイユーティリティ

フォームオーバーレイとは、フォーム（書式）とデータを個々に作成し、両者を重ね合わせて印刷することを指します。フォームとデータを同時に印刷するため、フォームが印刷済みの用紙を用意しなくても帳票などを印刷することができます。

フォームオーバーレイユーティリティ「EPSON Form!3」は、フォームデータを作成、登録するためのユーティリティです。作成したフォームデータを使用しての印刷はWindows プリンタドライバ上で行います。

型番	商品名
EPFORM3	EPSON Form!3(カラーのフォームデータを作成できます。 Windows95/NT4.0上で使用可能です。)

## オーバーレイROMモジュール

オプションの専用フォームエディタEPSON Form!3で作成したフォームデータ（書式のデータ）を登録するためのROMモジュールです。

モノクロのフォームデータのみ登録できます。

フォームオーバーレイROMモジュールに登録したフォームデータは、Windows プリンタドライバ上で呼び出して使用できます。

フォームオーバーレイROMモジュールからフォームデータを呼び出す場合、ROMモジュールソケットA/Bどちらに装着してもかまいません。フォームオーバーレイROMモジュールにフォームデータを登録する場合は、ROMモジュール用ソケットAに装着したフォームオーバーレイROMモジュールに対してのみ可能です。

型番	商品名
LPFOLR1M	フォームオーバーレイROMモジュール(1MB)
LPFOLR4M	フォームオーバーレイROMモジュール(4MB)



ポイント

- ・フォームオーバーレイROMモジュールには、モノクロのフォームデータのみ登録可能です。
- ・フォームデータの登録は、ROMモジュール用ソケットAに装着したフォームオーバーレイROMモジュールに対してのみ可能です。
- ・モノクロのフォームデータはモノクロ印刷でのみ使用できます。Windows95/NT4.0でモノクロのフォームデータを使用する場合は、プリンタドライバでモノクロ印刷の設定にしてください。([基本設定]画面で「色」を「黒(B)」に設定。)

## インターフェイスカード

プリンタに標準装備されていないインターフェイスを使用したい場合や、インターフェイスを増設したい場合に使用します。

設定等についてはそれぞれのカードの取扱説明書を参照してください。

型番	名称	解説
PRIF4	シリアルI/Fカード (バッファ:32KB)	本機をシリアルで接続するためのオプションです。接続には市販のプリンタ用シリアルインターフェイスケーブルが別途必要です。
PRIF5N	IEEE1284双方向 パラレルI/Fカード	本機にIEEE1284規格準拠の双方向パラレルインターフェイスをもう1つ増設するためのオプションです。接続にはプリンタケーブルが別途必要です。
PRIF6	IEEE488 I/Fカード (バッファ:32KB)	本機をIEEE488規格準拠のインターフェイスで接続するためのオプションです。接続にはプリンタケーブルが別途必要です。
PRIF13	IBM5577プリンタ エミュレーションカード	IBM5577プリンタエミュレーションカードです。 接続にはプリンタケーブルが別途必要です。
PRIFNW1	マルチプロトコル Ethernet I/Fカード	本機をEthernetで接続するためのオプションです。 IPX/SPX( Netware, Windows95/NT4.0/NT3.5x ) TCP/IP( Windows95/NT4.0/NT3.5x ) AppleTalk( Macintosh )
PRIFNW2	100Base マルチプロトコル Ethernet I/Fカード	NetBEUI( Windows95/NT4.0/NT3.5x, OS2/Warp )に対応 しています。



ポイント

本機をEthernet接続するためには、次のいずれかのケーブルが別途必要です。

PRIFNW1:

Ethernet 10Base2シン ( THIN ) 同軸ケーブル

Ethernet 10Base-Tツイストペアケーブル

PRIFNW2:

Ethernet 10Base-Tツイストペアケーブル ( カテゴリー 5 )

## Macintosh 接続用オプション

アップルコンピュータ社 Macintosh シリーズにエプソンプリンタを接続して使用するためのオプションとして以下のものがあります。



ポイント

本プリンタを Macintosh シリーズと接続して使用する際は、プリンタ本体に同梱されている Macintosh 用プリンタドライバをお使いください。

型番	名称	解説
LTIFS2	LocalTalk I/Fセット2	本機をLocalTalkプリンタとして使用するためのセットです。接続にはAppleComputer社製LocalTalkロックングコネクタが別途必要となります。 取りつけ方については273ページからの説明を、その他の設定等についてはLocalTalk I/Fセット2の取扱説明書を参照してください。  なお、大きな画像データやカラーデータを印刷する場合には、PRIFNW1、PRIFNW2のご使用をおすすめします。
PRIFNW1	マルチプロトコル Ethernet I/Fカード	本機をEthernetで接続するためのオプションです。 IPX/SPX(Netware, Windows95/NT4.0/NT3.5x)
PRIFNW2	100Base マルチプロトコル Ethernet I/Fカード	TCP/IP(Windows95/NT4.0/NT3.5x) AppleTalk(Macintosh) NetBEUI(Windows95/NT4.0/NT3.5x, OS2/Warp)に対応しています。



ポイント

本機を Ethernet 接続するためには、次のいずれかのケーブルが必要です。

PRIFNW1:

Ethernet 10Base2シン (THIN) 同軸ケーブル

Ethernet 10Base-Tツイストペアケーブル

PRIFNW2:

Ethernet 10Base-Tツイストペアケーブル ( カテゴリー 5 )

## リファレンスマニュアル

プリンタ制御コマンドの説明書です。コントロールコードを使用してプログラムを作成する方を対象としています。

型番	商品名
PAGEML	ESC/Page リファレンスマニュアル(モノクロ印刷のコードのみ)
ESCPML1	ESC/P リファレンスマニュアル

# 増設メモリ / ROM モジュールの取り付け



ポイント

本機が扱えるメモリは最大 256MB です。標準のメモリ ( 32MB ) と DIMM の合計が 256MB より大きい場合、256MB を超えた分のメモリは使用されません。



## 注意

カバーの内側や内部のパネなどで、手などを傷付けないように注意しながら作業を行ってください。

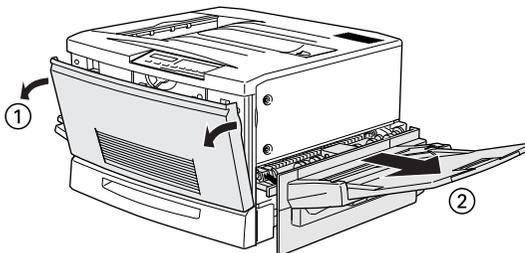


注意

増設メモリ / ROM モジュールの装着作業の前に、接地されている金属に手を触れるなどして身体に帯電している静電気を放電してください。身体に静電気が帯電している状態で増設メモリ / ROM モジュールにさわると、静電気放電によって部品を損傷するおそれがあります。

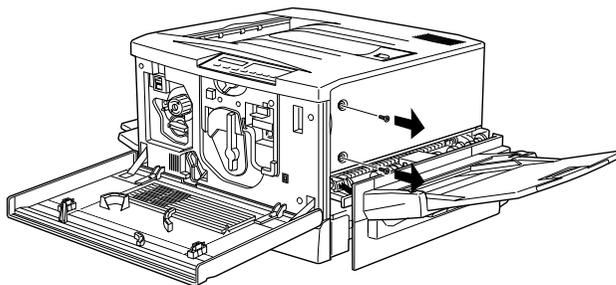
1

前カバーを開け、紙送りユニットを 10cm 以上引き出します。



2

右上カバーのネジ ( 2 本 ) を外します。

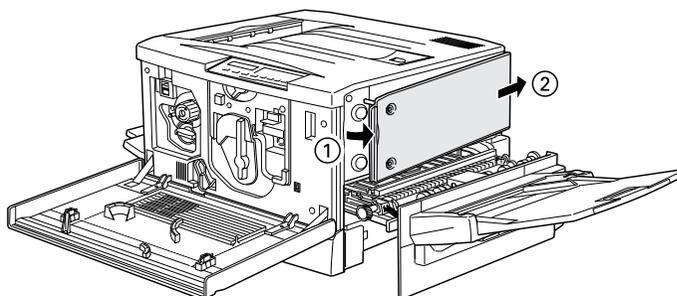


# 3

次の手順で右上カバーを外します。

右上カバーの、プリンタ後方側を支点にしてプリンタ正面側を図のように20°～30°回転させるように開きます。

右上カバーをプリンタ後方にずらして取り外します。



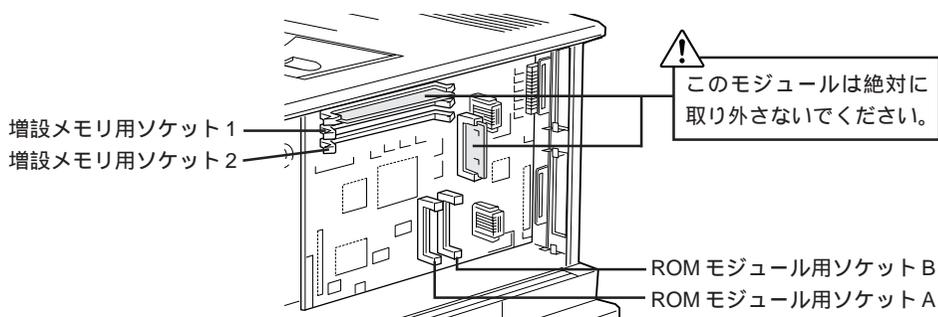
# 4

増設メモリ用ソケットまたはROMモジュール用ソケットの位置を確認します。



注意

プリンタ内部にはじめから装着されている増設メモリやROMモジュールは絶対に取り外さないでください。取り外すと、プリンタが動作しなくなります。



# 5

次の手順で増設メモリまたはROMモジュールを装着します。



注意

- 増設メモリ / ROMモジュールを装着する際に、必要以上に力をかけないでください。部品を損傷するおそれがあります。作業は慎重に行ってください。
- 増設メモリ / ROMモジュールは、逆差ししないように注意してください。

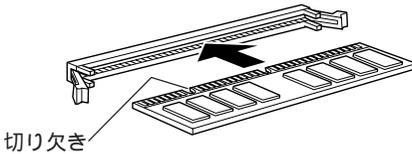
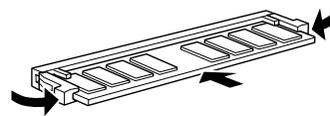
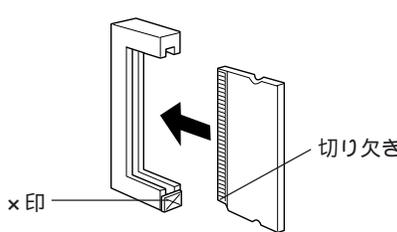
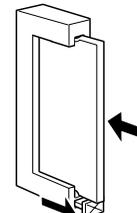


ポイント

本機に装着できる増設メモリの仕様は、以下の通りです。

- DRAMタイプ : SDRAM (シンクロナス DRAM)
- 容量 : 32、64、128MByte
- 形状 : 168ピン DIMM

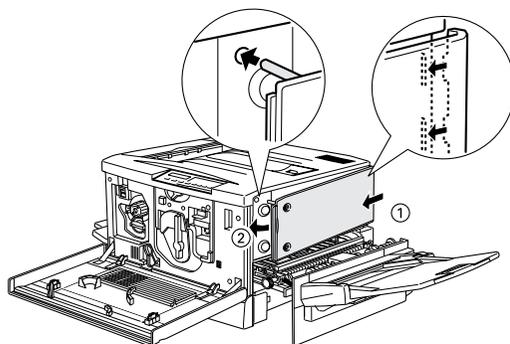
メモリは最大 256MByte (128MByte × 2枚) まで増設できます。使用できるSDRAMについては、インフォメーションセンターまでお問い合わせください。インフォメーションセンターについては取扱説明書の裏表紙をご覧ください。

増設メモリの装着の場合	ROMモジュールの装着の場合
<p>ソケット1または2のどちらから装着してもかまいません。また1枚のみの装着でもかまいません。</p> <p>増設メモリをまっすぐにソケットに差し込みます。</p>  <p>増設メモリが正しく差し込まれると、ソケット左右のツメが増設メモリの左右の切り欠きにかみ合い、固定されます。</p> 	<p>フォームオーバーレイROMモジュールにフォームを登録する場合はソケットAに装着します。それ以外の場合はどちらのソケットに装着してもかまいません。</p> <p>ROMモジュールの切り欠きのある側を、ソケット端の×印のある側に向け、図のようにまっすぐソケットに差し込みます。</p>  <p>ROMモジュールが正しく装着されると、ソケット端の×印の部分が飛び出した状態になります。</p> 

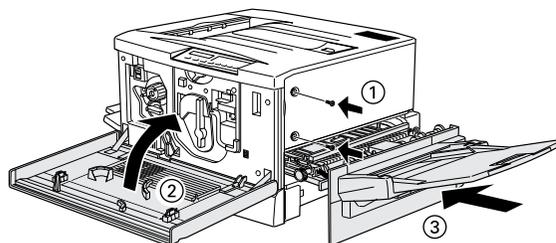
**6**

次の手順で右上カバーを取り付けます。

右上カバーのプリンタ後方側のフックをプリンタ本体の溝に引っかけます。  
右上カバー内側の突起とプリンタ本体の穴の位置を合わせて、カバーを閉じます。

**7**

右上カバーをネジ（2本）で固定してから、前カバーと紙送りユニットを閉じます。



# インターフェイスカードの取り付け



注意

- インターフェイスカードの取り付けの前に、接地されている金属に手を触れるなどして身体に帯電している静電気を放電してください。  
身体に静電気が帯電している状態で作業を行うと、静電気放電によって部品を損傷するおそれがあります。
- 必ずプリンタの電源をオフにして作業を行ってください。

1

プリンタの電源をオフ（ ）にします。

2

インターフェイスカードの取扱説明書を参照して、カード上のスイッチ類などの設定を行います。

3

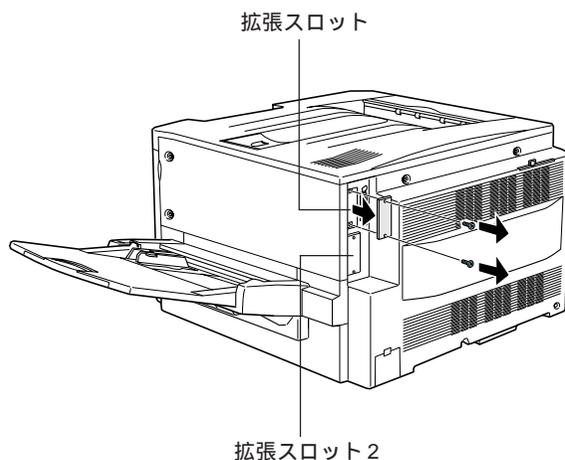
プリンタ本体背面のコネクタカバーのネジ（2本）を外し、コネクタカバーを取り外します。

どちらのスロットに装着してもかまいません。



ポイント

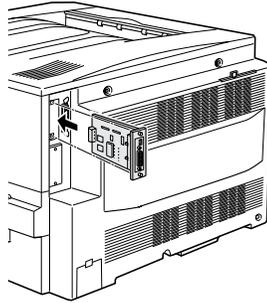
PRIFNW1、PRIFNW2は、2枚同時に取り付けることはできません。



取り外したコネクタカバーは大切に保管しておいてください。

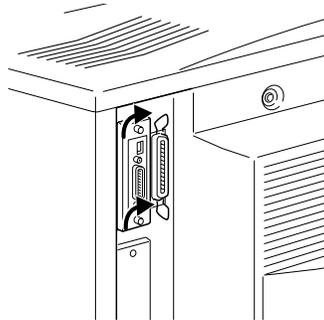
4

インターフェイスカードの上面を外側に向け、スロット内部の溝に合わせてまっすぐに差し込みます。



5

インターフェイスカードを、ネジ（2本）で固定します。



# 給紙装置の取り付け

オプションの「用紙カセット (A3W (ノビ))」や「増設カセットユニット」の取り付けは、各オプションに同梱の取扱説明書を参照して行ってください。なお、「用紙カセット (A3W (ノビ))」は、本機への装着のみ可能です。「増設カセットユニット」には装着できないため、注意してください。



# 付録

---

プリンタの仕様 .....	278
コントロールコードについて .....	287
用語集 .....	288

# プリンタの仕様

プリンタの仕様について記載しています。参照資料としてお役立てください。

## 基本仕様

### プリント方式

半導体レーザービーム走査 + 乾式二成分非磁性トナー電子写真方式

### プリントモード

B/Wモード : 黒のトナーのみを使用するモノクロ印刷モード  
最高の速度で印刷を行う

カラーモード : 4色(イエロー、マゼンタ、シアン、黒)のトナーを使用するカラー印刷モード

### スピードモード

標準モード : 各プリントモードの最高の速度で印刷を行う

半速モード : 特殊紙の使用時、トナーの定着性を維持するために減速して用紙を搬送する

### プリント速度

プリントモード	スピードモード	A4 サイズ (横置き)	A3 サイズ (縦置き)
B/W モード	標準モード	16PPM	8PPM
	半速モード	2.7PPM	1.3PPM
カラーモード	標準モード	4PPM	2PPM
	半速モード	1.8PPM	0.9PPM

(PPM=枚/分)

### ファーストプリント

排紙装置	プリントモード	ファーストプリント
フェイスアップトレイ	B/W モード	19.9 秒 (A4 サイズ横置き)
	カラーモード	42.6 秒 (A4 サイズ横置き)
フェイスダウントレイ	B/W モード	24.9 秒 (A4 サイズ横置き)
	カラーモード	47.6 秒 (A4 サイズ横置き)

### ウォームアップタイム

300秒以内(22℃、定格電圧にて)

### 稼働音

稼働時 : 約54.8dB(A)以下

待機時 : 約38.3dB(A)以下

節電レベル1時 : 約38.3dB(A)以下

節電レベル2時 : 約35.0dB(A)以下

## 文字仕様

### 文字コード

JISX0208-1990 準拠

### 書体

#### 欧文

ローマン、サンセリフ

Windows対応TrueType互換14書体

- DutchTM 801 (Medium/Italic/Bold/Bold Italic)
- SwissTM 721 (Medium/Italic/Bold/Bold Italic)
- Courier (Medium/Italic/Bold/Bold Italic)
- Symbol
- WingBats

#### 和文

明朝、ゴシック

## 用紙関係

### 給紙方法

用紙トレイまたは用紙カセットユニットによる自動給紙

### 用紙容量

#### 用紙トレイ

150枚(または15mm) : 普通紙またはEPSON製カラーレーザープリンタ用上質普通紙(60g/m<sup>2</sup> ~ 105g/m<sup>2</sup>)

75枚 : ラベル紙、EPSON製カラーレーザープリンタ用OHPシート、厚紙、ハガキ(105g/m<sup>2</sup> ~ 220g/m<sup>2</sup>)

20枚 : 封筒

#### 用紙カセット(標準)

: 250枚(または28mm)

#### 用紙カセット(A3W(ノビ))オプション)

普通紙またはEPSON製カラーレーザープリンタ用上質普通紙(60g/m<sup>2</sup> ~

#### 増設カセットユニット(オプション)

105g/m<sup>2</sup>)

### 排紙方法

フェイスダウン/フェイスアップ

### 排紙容量

#### フェイスダウン

250枚(B5サイズ以上)

#### フェイスアップ

150枚(A4サイズ以下)/50枚(A4サイズ以上)

## 用紙の種類

(用紙を大量に購入する場合、購入前に通紙印字チェックをしてください。)

### 普通紙

- 60g/m<sup>2</sup> ~ 105g/m<sup>2</sup>
- 一般に適用しているコピーペーパー、再生紙
- EPSON製カラーレーザープリンタ用上質普通紙

### 特殊紙(用紙トレイからのみ給紙できます)

- ラベル紙
- 官製ハガキ
- 封筒
- EPSON製カラーレーザープリンタ用OHPシート\*
- 厚紙(105g/m<sup>2</sup> ~ 220g/m<sup>2</sup>)
- 不定形紙

\* OHPシートは、このOHPシートのみ使用可能です。

## 用紙サイズと給紙方法

用紙サイズ		用紙 トレイ	用紙 カセット <sup>*1</sup>	用紙カセット <sup>*2</sup> (A3W(ノビ))
A3W(ノビ) <sup>*3</sup>	328mm × 453mm		-	
A3	297mm × 420mm			-
A4	210mm × 297mm	<sup>*4</sup>	<sup>*4</sup>	-
A5	148mm × 210mm	<sup>*4</sup>	-	-
B4	257mm × 364mm			-
B5	182mm × 257mm	<sup>*4</sup>	<sup>*4</sup>	-
Letter( LT )	215.9mm{8.5インチ} × 279.4mm{11インチ}	<sup>*4</sup>	<sup>*4</sup>	-
Half-Letter( HLT )	139.7mm{5.5インチ} × 215.9mm{8.5インチ}	<sup>*4</sup>	-	-
Legal( LGL )	215.9mm{8.5インチ} × 355.6mm{14インチ}			-
Executive( EXE )	184.15mm{7.25インチ} × 266.7mm{10.5インチ}	<sup>*4</sup>	-	-
Government Legal( GLG )	215.9mm{8.5インチ} × 330.2mm{13インチ}		-	-
Government Letter( GLT )	203.2mm{8インチ} × 266.7mm{10.5インチ}	<sup>*4</sup>	-	-
Ledger( B )	279.4mm{11インチ} × 432mm{17インチ}			-
F4	210mm × 330mm		-	-
不定形紙	90 ~ 139.7mm × 330.2 ~ 483mmまで	<sup>*5</sup>	-	-
官製ハガキ	100mm × 148mm		-	-
封筒 <sup>*6</sup>	Monarch( MON )	98.43mm{3 7/8インチ} × 190.5mm{7 1/2インチ}	<sup>*4</sup>	-
	Commercial-10( C10 )	104.78mm{4 1/8インチ} × 241.3mm{9 1/2インチ}	<sup>*4</sup>	-
	DL	110mm × 220mm	<sup>*4</sup>	-

<sup>\*1</sup> 標準添付のカセットユニットおよびオプションの増設カセットユニットに添付の用紙カセットです。

<sup>\*2</sup> オプションのA3W(ノビ)サイズ専用の用紙カセットです。

<sup>\*3</sup> A3W(ノビ)は328mm × 453mmです。A3ノビサイズ(329mm × 483mm)とはサイズが異なります。

<sup>\*4</sup> 用紙の給紙方向に対して横長になる向きでセットします。

<sup>\*5</sup> アプリケーションソフトウェアで任意の用紙サイズを指定できない場合は印刷できません。

<sup>\*6</sup> 封筒は、必ずフラップ(閉じ口)を開き、フラップのある側を給紙方向に対し後ろに向けてセットします。

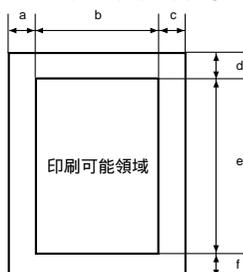
## 用紙サイズと排紙方法

用紙	用紙サイズ	フェイスダウン	フェイスアップ	
普通紙	A3W(ノビ)			
	A3			
	A4			
	A5	-		
	B4			
	B5			
	Letter(LT)			
	Half-Letter(HLT)	-		
	Legal(LGL)			
	Executive(EXE)			
	Government Legal(GLG)			
	Government Letter(GLT)			
	Ledger(B)			
	F4			
特殊紙	不定形紙 (給紙方向に対し、長さ182mm未満、幅210mm未満)	-		
	不定形紙 (給紙方向に対し、長さ182mm以上、幅210mm以上)			
	専用 OHP シート	-		
	官製ハガキ	-		
	厚紙	-		
	封	Monarch(MON)	-	
	筒	Commercial-10(C10)	-	
	DL	-		

フェイスダウンに排紙できない用紙の場合、排紙トレイがフェイスダウントレイに指定されていると、印刷実行時に自動的にフェイスアップトレイに切り替わります。

## 印刷可能領域

印刷可能領域は、印刷の実行のみを保証する領域。  
用紙の各端面から 5mm を除く領域に印刷可能。



定形紙(単位:ドット、600DPI)

名称	a	b	c	d	e	f	
A3W(ノビ)	120	7508	120	120	10460	120	
A3	120	6776	120	120	9680	120	
A4	120	4720	120	120	6776	120	
A5	120	3256	120	120	4720	120	
B4	120	5832	120	120	8360	120	
B5	120	4060	120	120	5832	120	
Letter( LT )	120	4860	120	120	6360	120	
Half Letter( HLT )	120	3060	120	120	4860	120	
Legal( LGL )	120	4860	120	120	8160	120	
Executive( EXE )	120	4110	120	120	6060	120	
Government Legal( GLG )	120	4860	120	120	7560	120	
Government Letter( GLT )	120	4560	120	120	6060	120	
Ledger( B )	120	6360	120	120	9960	120	
F4	120	4720	120	120	7556	120	
官製ハガキ	120	2122	120	120	3256	120	
封筒	Monarch( MON )	120	2084	120	120	4260	120
	Commercial-10( C10 )	120	2234	120	120	5460	120
	DL	120	2358	120	120	4956	120

不定形紙

名称	a	b	c	d	e	f
最小サイズ	120	1886	120	120	3060	120
最大サイズ	120	7508	120	120	10460	120

- 図と表は、ESC/Pageモードの場合です。他のモードでは、多少違う場合があります。
- アプリケーションソフトウェアで任意の用紙長を指定できない場合は、不定形紙への印刷はできません。

## 印刷保証領域

印刷保証領域は、印刷の実行と印刷結果の画質を保証する領域。

A3W(ノビ) 不定形紙(最大サイズ)のみ、印刷可能領域との値が異なる。

A3W(ノビ) 不定形紙(最大サイズ)以外は、用紙の各端面から5mmを除く領域に印刷可能。



定形紙(単位:ドット、600DPI)

名称	a	b	c	d	e	f
A3W(ノビ)	390	7016	342	120	10174	406
A3	120	6776	120	120	9680	120
A4	120	4720	120	120	6776	120
A5	120	3256	120	120	4720	120
B4	120	5832	120	120	8360	120
B5	120	4060	120	120	5832	120
Letter(LT)	120	4860	120	120	6360	120
Half Letter(HLT)	120	3060	120	120	4860	120
Legal(LGL)	120	4860	120	120	8160	120
Executive(EXE)	120	4110	120	120	6060	120
Government Legal(GLG)	120	4860	120	120	7560	120
Government Letter(GLT)	120	4560	120	120	6060	120
Ledger(B)	120	6360	120	120	9960	120
F4	120	4720	120	120	7556	120
官製ハガキ	120	2122	120	120	3256	120
封筒	Monarch(MON)	120	2084	120	4260	120
	Commercial-10(C10)	120	2234	120	5460	120
	DL	120	2358	120	4956	120

## 不定形紙

名 称	a	b	c	d	e	f
最小サイズ	120	1886	120	120	3060	120
最大サイズ	390	7016	342	120	10174	406

- 図と表は、ESC/Pageモードの場合です。他のモードでは、多少違う場合があります。
- アプリケーションソフトウェアで任意の用紙長を指定できない場合は、不定形紙への印刷はできません。

## 電気関係

### 定格電圧

AC100V ± 10%

### 定格電流

11A

### 周波数

50 ~ 60Hz ± 3Hz (国内向)

### 消費電力

最大 : 1,100W 以下

待機時 : 100W 以下

モノクロ印刷時平均 : 500W 以下

カラー印刷時平均 : 400W 以下

節電レベル 2 時 : 45W 以下

## 環境使用条件

### 動作時

温度 : 10 ~ 32

湿度 : 20 ~ 80% (ただし結露しないこと)

気圧 (高度) : 740hpa 以上 (2500m 以下)

水平度 : 前後傾き 0.5° 以下、左右傾き 1° 以下

照度 : 3000lux 以下

周囲スペース : 左側方 503mm、右側方 551mm、後方 150mm  
上方 150mm、前方 835mm

### 保存・輸送時

温度 : 0 ~ 35

湿度 : 20 ~ 80%

## コントローラ基本仕様

### CPU

R4700( 133MHz )

### RAM

標準:32MByte

オプション増設時:最大256MByte

### 2ソケット

### インターフェイス

標準 : セントロニクス 双方向パラレル

IEEE 1284準拠 ニブルモード、ECPモード

オプション : Type B I/F( 2スロット )

### オプションROMモジュールソケット

### 2ソケット

### プリンタ設定

パネル設定およびパネル設定ユーティリティにて保存

### 内蔵モード

#### 標準

ESC/Page モード( Color対応:双方向機能 )

ESC/Pモード( モノクロのみ:VP-1000エミュレーション )

ESC/PSモード( モノクロのみ:PC-PR201HエミュレーションとESC/Pを自動判別 )

#### その他

EJLモード( 双方向機能 )

## 外観仕様

### 外形寸法

幅691<sup>1</sup>mm×奥行641mm×高さ492mm

\*1 延長トレイ、フェイスアップトレイを最大に伸ばすと1355mmになります。

### 重量

約69kg ( 消耗品を含む )

## パラレルインターフェイス仕様

転送形式	: 8 ビットパラレル (IEEE1284準拠)
同期方法	: 外部供給ストロークパルス信号
ハンドシェイク	: ACKNLG または BUSY 信号
ロジックレベル	: TTL レベルと同等
適合コネクタ	: 57-30360 AMPHENOL相当

信号説明:

ピン番号	信号名	I/O
1	STROBE	I
2	DATA1	I
3	DATA2	I
4	DATA3	I
5	DATA4	I
6	DATA5	I
7	DATA6	I
8	DATA7	I
9	DATA8	I
10	ACKNLG	O
11	BUSY	O
12	PE	O
13	SLCTOUT	O
14	AUTOFEED	I
15	NC	-
16	GND* <sup>1</sup>	-
17	CHASSIS-GND* <sup>1</sup>	-
18	+ 5V* <sup>2</sup>	-
19 ~ 30	GND	-
31	INIT	I
32	ERROR	O
33	GND	-
34	NC	-
35	+ 5V* <sup>2</sup>	-
36	SLCTIN	I

I = 入力信号、O = 出力信号、NC = 未使用  
 LOWアクティブ信号の場合、信号名の上に横棒が入っています。

\*<sup>1</sup> CHASSIS-GNDとGNDはプリンタ内でつながっています。

\*<sup>2</sup> 電源ではありません。

# コントロールコードについて

## ESC/Page コントロールコード

ESC/Page コントロールコードについては、オプションの「ESC/Page リファレンスマニュアル-第4版」をご覧ください。

型番	商品名
PAGEML	ESC/Page リファレンスマニュアル-第4版-

## 機種固有情報について

リファレンスマニュアルの情報にはすべての機種に共通な情報と機種固有の情報があります。本機の機種固有情報につきましては、リファレンスマニュアル内の「LP-9200S」の項目をご覧ください。

## ESC/P コントロールコード

ESC/P コントロールコードについては、オプションの「ESC/P リファレンスマニュアル-第2版」をご覧ください。

型番	商品名
ESCPML1	ESC/P リファレンスマニュアル-第2版-

## 機種固有情報について

LP-8000C はESC/P J84 に分類されます。

以下に説明されている用語の中には、エプソンプリンタ独自の用語で、一般的に使われている語意とは多少異なるものがあります。

## アルファベット

### A ACKNLG (アクノレッジ)

データを正しく受け取ったことを知らせる信号です。

### B Byte (バイト)

コンピュータやプリンタの中で扱う情報の単位。8ビットで構成されており、1バイトは通常1文字または1コードに対応しています。

### C ColorSync (カラーシンク)

アップルコンピュータ社が提供する、Macintosh用のカラーマネジメント機能のうちの1つ。原画(印刷データ) ディスプレイ上の表示、印刷結果の色の合わせ込みを行う。

ColorSyncの機能を100%発揮させるためには、入力機器(スキャナなど)、印刷データ、ディスプレイ、出力機器(プリンタ)の全てが、ColorSyncに対応している必要がある。

### CPGI (Color Photo&Graphics Improvement / シーピージーアイ)

画像を構成する各ドットをさらに分割して制御することで、色の割合をより細かく制御し、微妙な色調の印刷を可能にするEPSON独自の技術。

### CPI (Characters Per Inch/シーピーアイ)

25.4mm{1インチ}の横幅に印字できる文字数を表す単位です。文字ピッチを示す単位として使います。

### CPL (Characters Per Line/シーピーエル)

1行に印字できる文字数を表す単位です。文字ピッチを示す単位として使います。

### CPU (Central Processing Unit/シーピーユー)

プログラムを解読し、演算を行う中枢部のことです。

### CR (Carriage Return/キャリッジリターン)

1行の印字を行ったあとに次の印字位置をその行の先頭に戻す制御コードです。ASCIIまたはJISコードの0DH(10進数の13)です。

### D DPI (Dots Per Inch/ディーピーアイ)

25.4mm{1インチ}幅に印字できるドット数を表す単位です。解像度を示す単位として使います。

- E<sup>2</sup>PROM (Electrical Erasable Programmable ROM/イーイーピーロム)  
電氣的に内容を消去することができる PROM のこと。  
PROM を参照。

ESC/P<sup>®</sup> (EPSON Standard Code for Printer/イーエスシーピー)  
エプソンによって標準化された、印字するためにコンピュータからプリンタに送る命令 (コントロールコード) 体系。

ESC/Page<sup>®</sup>  
(EPSON Standard Code for Page Printer/イーエスシーページ)  
エプソンによって標準化された、コンピュータからページプリンタに送る命令 (コントロールコード) 体系。

ESC/P エミュレーションモード  
プリンタが ESC/P のコントロールコードで動作する状態のことで、エプソン 24 ドット漢字プリンタに対応したアプリケーションソフトウェアのほとんどを使用することができます。

ESC/P スーパーモード  
プリンタが ESC/P または PC-PR201H のコントロールコードで動作する状態です。エプソン 24 ドット漢字プリンタまたは日本電気株式会社の PC-PR201H に対応したアプリケーションソフトウェアのほとんどを使用することができます。

ET カートリッジ 印刷用のトナーを容器に入れ、プリンタへの脱着が簡単に行えるようにしたもの。

EtherTalk (イーサトーク)  
Macintosh を Ethernet (イーサネット) に接続するための AppleTalk の通信規約。LocalTalk でネットワーク接続した場合よりもデータの通信速度が速い。

- FF (Form Feed/フォームフィード)  
改ページを行う制御コードで、ASCII または JIS コードの 0CH (10 進数の 12) です。

- IEEE インターフェイス (IEEE-488)  
IEEE (Institute of Electrical and Electronics Engineers) によって、デジタル機器の接続用標準バスとして定められているインターフェイス。同様なバスとして、GP-IB (General Purpose Interface Bus) や HP-IB (Hewlett-Packard Interface Bus) などがあります。

- J** JIS ( Japanese Industrial Standard/ジス)  
日本国内の文字コードや漢字コードを規定している、日本工業規格の略称です。
- K** KB ( kilobyte/ キロバイト)  
データ量やメモリ容量の単位です。1KBは1024バイトになります。
- L** LF ( Line Feed/ ラインフィード)  
改行を行う制御コードで、ASCIIまたはJISコードの0AH ( 10進数では10 ) です。
- LocalTalk®  
Apple Computer社のMacintoshシリーズ用のネットワーク( AppleTalk®)を構成する各種デバイスを接続するための、ケーブルを中心としたシステム。
- M** MB ( megabyte/ メガバイト)  
データ量やメモリ容量の単位です。1MBは1024 × 1024バイト ( = 1024KB ) になります。
- O** OCR  
人間が読みとれる数字や文字をそのまま機械に認識させる方式。
- OCR-B  
光学的文字認識に用いる目的で開発されJISX9001に規定された書体の名称。
- OHPシート  
オーバーヘッドプロジェクタ用の透明フィルム。
- P** PGI ( Photo&Graphics Improvement / ピージーアイ)  
画像データが持つ微妙な陰影やグラデーションを鮮明に印刷するために、階調表現をより細かく制御するEPSON独自の機能。
- PPM ( Pages Per Minute/ ピーピーエム)  
1分間に印刷できる用紙の枚数。
- PROM ( Programmable ROM/ ピーロム)  
プログラムなどを書き込むことができるROMのこと。ROMを参照。
- R** RAM ( Random Access Memory/ ラム)  
データなどを読み書きできるメモリです。
- ROM ( Read Only Memory/ ロム)  
データなどの読み出し専用のメモリです。
- RS-232C  
コンピュータとプリンタをケーブルで接続する標準的なシリアルインターフェイスです。

## 数字

## 2進法 (binary : バイナリ)

0と1の2つの数字だけを使用して、数値を数える体系です。基数(数表現するために使う記号の数)は2になります。コンピュータシステムの全情報はバイナリ形式で処理されます。バイナリの数字はビットと呼ばれます。0~255までの任意の数字は、8ビットの2進数で表現されます(0~11111111)。

## 10進法 (decimal : デシマル)

数字の0、1、2、3、4、5、6、7、8および9を使用して、数値を数える体系です。基数は10になります。ごく一般的に使用される、数の数えかたです。

## 16進法 (Hexadecimal : ヘキサデシマル、Hexと略される)

10進法の0~9までは10進法と同じ数字を使い、10~15をA~Fのアルファベット文字で表現して、数値を数える体系です。基数は16になります。ふつう16進数の数の表記では、数字の末尾にHまたはhを付けます(例:0AHは、10進数の10に相当します)。プログラムなどでおもに使用される数えかたで、0~255の数は2桁の16進数で表現できます(0H~FFH)。

付録の英数カナ文字コード表などでは、たとえば文字コード0AHの文字(LF文字)は、横軸の0と縦軸のAが合わさる位置に配置されます。ただし、EPSON JIS83漢字横書き、縦書きの両セットの表では、縦軸と横軸の関係が逆になります。

## アイウエオ

## ア アウトラインフォント

数式によって定義されているフォント。アウトラインフォントでは、サイズや方向など、文字の属性を変更することができます。

## アプリケーションソフトウェア

コンピュータ上で動作する、実際の業務や作業をするためのソフトウェア。ワードプロセッサや表計算ソフトウェア。通常の印刷は、アプリケーションソフトウェアを使用して行います。

- イ インターフェイス コンピュータとプリンタとの間の接続のために使用するハードウェアやソフトウェア。パラレルインターフェイスはデータを1文字、あるいは一度にデータを1コード(8ビット)ずつ送信します。シリアルインターフェイスは、データを一度に1ビットずつ送信します。

インターフェイスケーブル

コンピュータとプリンタをインターフェイスで接続するケーブル。

インターフェイスコネクタ

インターフェイスケーブルを差し込む端子。

- エ 液晶ディスプレイ 液晶板を使用した表示装置。本機では操作パネルに使用されています。

エラーメッセージ 液晶ディスプレイに表示される異常状態のメッセージのことです。

- オ オプション  
オフセット 利用者が自由に選択して購入できる部品のことです。  
印字位置を上下左右に移動させる量。

- カ カラーマッチング 原画(印刷データ)、ディスプレイ上の表示、印刷結果の色を合わせ込む機能。

- キ キャッシュ  
給紙 フォントキャッシュを参照してください。  
用紙をプリンタに供給すること。

- シ 初期設定 プリンタの電源をオンにしたり、プリンタを初期化したときに有効になる設定。プリンタの工場出荷時設定と同じです。

書体 明朝、ゴシックなどの文字のデザイン。

シリアルインターフェイス

データを1ビットずつ転送するインターフェイス。

シリアルプリンタ 1文字ずつ印字する方式のプリンタ。

- ス ステータスシート プリンタの設定状態を印刷した用紙です。

- ソ 双方向通信 2つの機器の間で、同時にデータの送信と受信を行うことです。

- チ 調歩同調式 データにスタートビットと、ストップビットを付加した、シリアルデータ転送方式。

- チェックデジット 読み取りの正確性を保つために所定の計算式に基づいて計算されたキャラクタ。
- ツ 坪量 用紙の厚さを表す単位です (1 平方メートル / グラム)。
- テ 定形紙 JISなどの規格で定められた大きさの用紙 (A4、B5など)。  
定着器 用紙上のトナーを熱と圧力で定着させる機構。
- ト トナー 印刷のために用紙に定着させる着色樹脂粉末。  
トランケーション (truncation=先を切ること)  
印刷スペースやデザインなどの都合で、天地方向の寸法を縮めたバーコードシンボル。
- ハ 排紙 用紙をプリンタから排出することです。  
排紙トレイ プリンタから排出された用紙を受けるところ。  
バーコード 太さの異なるバーとスペースとの組み合わせにより、数字や文字などを機械的に解読可能な形で表現したもの。  
バイナリ 2進法を参照してください。  
バッファ 一時的にデータを記憶させておくメモリ。  
パネル設定 操作パネルで行う、プリンタ機能の設定。  
パラレルインターフェイス コンピュータからプリンタへデータを転送する際に、データを8ビットずつ転送する方式です。  
パリティチェック データ転送の際に起きるエラーのチェック。  
ハンドシェイク 送信と受信の制御情報をデータとは別途にやりとりすることによって、互いの状態を確認する方法。
- ヒ ビット 1バイナリディジット (0または1)。プリンタやコンピュータによって使用される最小単位のことです。  
ビットマップフォント ドット (点) の集合体として記憶されているフォント。  
アウトラインフォント参照。
- フ フォント 書体のこと。  
フォント ROM モジュール 各種フォントが内蔵された ROM モジュール。  
フォントキャッシュ プリンタで内部的に生成した文字 (フォント) をプリンタのメモリに記憶する機能。

- プリンタドライバ アプリケーションソフトウェアのコマンドを、プリンタで使用されるコマンドに変換するソフトウェア。
- プロトコル 通信制御のために使われる、信号をやりとりするときの決まりごと。
- ⤴ ページプリンタ ページ単位で印刷する方式のプリンタ。
- Ⓜ ホストコンピュータ ネットワークシステムの中心になるコンピュータ。
- ボーレート データ転送の速度を示す尺度。コンピュータとプリンタの間で、シリアルインターフェイスを設定するときに使います。
- ⓧ メモリ 情報を保存するために使用される記憶装置。プリンタに装備されているメモリは、プリンタの動作をコントロールするための情報を入れたり(この情報の変更はできません)、コンピュータからプリンタに送られるデータ(例えばダウンロードフォントやグラフィックス)を一時的に保存するために使用されます。E2PROM、RAMおよびROM参照。
- Ⓡ リセット 印刷を中止し、メモリに保存された印刷データの破棄と、エラーの解除を行います。  
現在稼働中のインターフェイスのみに有効となります。  
キャッシュに保存されたフォントは記憶しています。
- リセットオール 印刷を中止し、メモリに保存された印刷データの破棄と、エラーの解除を行います。  
すべてのインターフェイスに対して有効となります。

# 索引

---



# 索引

参照ページがKxxとなっているものは「困ったときにお読みください」の該当ページを示します。数字のみのものは本書中のページを示します。

## 数字

#8238 .....	262
16進ダンブ .....	202
180度回転 .....	96
300DPI 解像度( ハヤイ ) .....	76,107,125,140
600DPI 解像度( キレイ ) .....	76,107,125,140

## アルファベット

<b>A</b> ACKハバ .....	191
AC インレット .....	7
<b>B</b> BarCodeフォント .....	228
<b>C</b> Code39 .....	238
Code128 .....	239
ColorSync .....	49,113
CPI機能 .....	2,75,107
CPU .....	281
CR .....	195
<b>D</b> DIMM .....	264
DOSアプリケーションで印刷する プリンタの設定 .....	64
<b>E</b> ECPモード .....	191,285
EPSONバーコードフォント .....	228
EPSONプリンタウィンドウ!2 .....	206
EPSON Form!2 .....	83
EPSON Form!3 .....	265
EPSONプリンタウィンドウ!2での トラブル .....	K92
EPSON Remote! .....	242
EPSON Remoteモード(P) リファレンスマニュアル .....	268
ESC/P ESC/P( プリンタモード ) .....	186
ESC/Pコントロールコード .....	287
ESC/Pリファレンスマニュアル ...	268
ESC/Page ESC/Page( プリンタモード ) .....	186

ESC/Pageキャンキョウメニュー ....	195
ESC/Pageコントロールコード ....	287
ESC/Pageリファレンスマニュアル .....	268

ESC/PS ESC/PS( プリンタモード ) .....	186
ESC/PSキャンキョウメニュー .....	193
ESCPML1 .....	268
EthernetI/Fカード .....	266,267
ETカートリッジの交換 .....	K7

<b>F</b> FF .....	195
<b>I</b> ICM .....	78,( 13 )

I/Fキリカエ .....	184
I/Fタイムアウト .....	184
IEEE1284双方向パラレル I/Fカード .....	266
IEEE488I/Fカード .....	266
interleaved 2 of 5 .....	240

<b>J</b> JAN-8 .....	235
JAN-8 Short .....	235
JAN-13 .....	236
JAN-13 Short .....	236

<b>L</b> LF .....	195
LocalTalkI/Fセット2 .....	267
LPCA3ETC1C .....	K2
LPCA3ETC1K .....	K2
LPCA3ETC1M .....	K2
LPCA3ETC1Y .....	K2
LPCA3HTB1 .....	K2
LPCA3KUT1 .....	K2
LPCA3TOR1 .....	K2
LPCOHPS1 .....	K2
LPCPPA3 .....	K2
LPCPPA3W .....	K2
LPCPPA4 .....	K2
LPCPPB4 .....	K2
LPCWC1 .....	263
LPCYC1W .....	263
LPFOLR1M .....	265
LPFOLR4M .....	265
LPFR1 .....	264

LPFR2 .....	264
LPFR3 .....	264
LPFR4 .....	264
LPFR5 .....	264
LPFR6 .....	264
LPFR7 .....	264
LPFROCB .....	264
LTFS2 .....	267
<b>M</b> Macintosh 接続用オプション .....	267
<b>N</b> NetWare 版 EPSONRemote! .....	248
NW-7 .....	241
<b>O</b> OCR フォント/バーコード	
ROM モジュール .....	264
OHP シートへの印刷 .....	168
<b>P</b> PAGEML .....	268
PC-PR201H( プリンタモード ).....	186
PGI 機能 .....	2,75,107,129,140
PRCB4N .....	262
PRCB5N .....	262
PRIF4 .....	266
PRIF5N .....	266
PRIF6 .....	266
PRIFNW1 .....	266
PRIFNW2 .....	266
PRIF13 .....	266
<b>R</b> RAM( 仕様 ).....	285
RAM の増設 増設メモリ .....	264
REMOTEPML .....	268
RIT .....	80,134,143,189
RIT 機能 .....	3
ROM モジュール	
ROM モジュールA カキコミチュウ ..	K41
ROM モジュールA カキコミエラー ..	K48
ROM モジュールA(B) ジョウホウ ...	184
ROM モジュールの取り付け .....	269
ROM モジュールx	
フォーマットエラー .....	K42
ROM モジュールx リードエラー ...	K48
フォームオーバーレイ	
ROM モジュール .....	265
フォント ROM モジュール .....	264
<b>T</b> TrueType フォント .....	86

<b>U</b> UPC-A .....	237
UPC-E .....	237
<b>V</b> VP-1000( プリンタモード ).....	186

## アイウエオ

<b>ア</b> 厚紙 カミシュ ..	72,109,134,143,190
厚紙への印刷 .....	167
安全にお使いいただくために .....	1
安全上のご注意 .....	1
<b>イ</b> 移動 .....	K53
イメージホセイ .....	188
印刷開始位置	
オフセット .....	189
キュウシイチ .....	194
印刷可スイッチ .....	173
印刷可ランプ .....	173
インサツカノウ .....	K41
印刷可能領域( 仕様 ).....	282
印刷した結果の問題 .....	K83
印刷しない .....	K73
印刷中止/リセットスイッチ .....	173
印刷できる用紙の種類 .....	146
印刷できる用紙のサイズと給紙方法 ...	148
印刷できる領域 .....	149
印刷の中止方法 .....	97,119,135,144
印刷品質の問題 .....	K87
インターフェイス( 仕様 ) .....	285
インターフェイスカード .....	266
インターフェイスカードの取り付け ..	273
インターフェイスケーブル .....	262
インターフェイスの選択 .....	197
インターフェイス自動切り替え機能 ...	184
<b>ウ</b> ウエオフセット .....	189
ウォームアップ .....	K41
ウォームアップ時間 .....	278
運搬 .....	K53
<b>エ</b> 英語表示 ヒョウジゲンゴ .....	185
液晶ディスプレイ .....	173
エラー表示 .....	K44
エラー解除スイッチ .....	173

- エラー解除ランプ ..... 173  
 エラーコード ..... 196  
 エラーメッセージ ..... K44
- オ** 往復ハガキへの印刷 ..... 164  
 オートフォトファイン2 ..... 78,( 9 )  
 オーバーレイ ..... 83  
 オプション ..... 262  
 オプションI/Fカードエラー ..... K44  
 オプションI/Fセットイメメニュー ..... 192  
 オプションヨウ ..... 183  
 オフセット ..... 134,143  
 重さ(仕様) ..... 285
- カ** 外観仕様 ..... 285  
 外形寸法 ..... 285  
 階層設定モード ..... 179  
 階層設定モードランプ ..... 173  
 カイゾウド(解像度) ..... 188  
 カイゾウドヨオトシマシタ ..... K42  
 カイページ ..... 195  
 拡大縮小 ..... 94  
 各部の名称と働き ..... 6  
 カスタマ・バーコード ..... 241  
 カセット1ヨウシサイズ ..... 185  
 カセット2ヨウシサイズ ..... 185  
 画像反転印刷 ..... 118  
 カッコクモジ ..... 194  
 稼働音 ..... 278  
 カミシュ(紙種) ..... 190  
 簡易設定ユーティリティ ..... 257  
 環境使用条件(仕様) ..... 284  
 感光体ユニットの交換 ..... K16  
 官製ハガキ ハガキへの印刷 ..... 164  
 環境設定 ..... 85  
 カンジシヨタイ ..... 195  
 監視アイコン ..... 220  
 簡易表示 ..... 220
- キ** 基本仕様 ..... 278  
 基本設定 ..... 70,124  
 キュウシ ..... 187  
 キュウシイチ ..... 194  
 給紙装置の選択 ..... 72,108,125,139  
 給紙装置の関係 ..... 149
- キュウシミスデ  
 ヨウシガツマリマシタ ..... K45  
 キョウソウメニュー ..... 184  
 キョウソウメニュー2 ..... 186
- ク** グラフィックス ..... 128  
 クリーニング  
 給紙ローラのクリーニング ..... K67  
 プリンタの清掃 ..... K66
- コ** 故障かな?と思ったら ..... K70  
 コネクタカバー ..... 7  
 コピーミスウ ..... 188  
 困ったときは ..... K69  
 コントローラ基本仕様 ..... 285
- サ** サービスコールエラー ..... K50  
 再生紙 ..... 146
- シ** システムチェック ..... K41  
 シドウエラーカイジョ ..... 191  
 シドウハイシ ..... 189  
 周波数 ..... 284  
 重量 ..... 285  
 ジュシンバッファ ..... 192  
 シュクショウ ..... 188  
 仕様 ..... 278  
 消費電力 ..... 284  
 消耗品 ..... K2  
 消耗品情報 ..... 217  
 初期設定 ..... 227  
 ショキカメニュー ..... 183  
 書体 カンジシヨタイ ..... 195  
 書体(仕様) ..... 279  
 ジョブキャンセル ..... K41  
 シリアルI/Fカード ..... 266  
 新郵便番号 ..... 241
- ス** スイッチ(操作パネル) ..... 173  
 スクリーン ..... 3  
 スタンプマーク ..... 90,116  
 ステータスシート ..... 184,201  
 ステータスシートの印刷 ..... 201  
 ステータス詳細 ..... 216  
 ステータスメッセージ ..... K41
- セ** 接続ケーブル ..... 262  
 接続用オプション( Mac ) ..... 267

- 設置上のご注意 ..... K55  
 セッテイシヨキカ ..... 183  
 セッテイセンタク ..... 183  
 セツデン ..... 185,199  
 節電の設定 ..... 115,199  
 節電レベル1 ..... 199  
 節電レベル2 ..... 199  
 設定変更について ..... 172  
 ゼロ ..... 194  
 ゼンセッテイ ..... 183
- ソ** ソウホウコウ ..... 191  
 双方向通信機能 ..... 30  
 操作パネル ..... 173  
 操作パネルでの設定変更 ..... 174  
 増設メモリ ..... 264  
 増設メモリの取り付け ..... 269
- テ** データランプ ..... 173  
 定格電圧 ..... 279  
 定格電流 ..... 279  
 定着オイルロールの交換 ..... K12  
 ディスプレイ ..... 173  
 テスト印刷  
     ステータスシートの印刷 ..... 201  
 テストインサツメニュー ..... 184  
 デバイスメニュー ..... 189  
 電気関係(仕様) ..... 284  
 電源スイッチ ..... 7
- ト** 動作の確認  
     ステータスシートの印刷 ..... 201  
 特殊紙への印刷 ..... 164  
 トレイヨウシサイズ ..... 185  
 トナーカードリッジコウカン ..... K44  
 トナーガスクナクナリマシタ ..... 42  
 トナーザンリョウ ..... 186  
 トナーセーブ ..... 77,109,134,143,189  
 トナーの交換  
     ETカートリッジの交換 ..... K7  
 トラブル ..... K70
- ニ** ニブル ..... 191
- ノ** ノベインサツマイスウ ..... 186
- ハ** ハーフトーン ..... 110,128,140  
 排紙スイッチ ..... 173
- ハイシブデヨウシガツマリマシタ ..... K46  
 排紙容量 ..... 279  
 廃トナーボックスの交換 ..... K21  
 ハガキへの印刷 ..... 164  
 ハクシセツヤク ..... 189  
 ハジメメニュー ..... 183  
 パネル ドライバ ..... 134,143  
 パネル 操作パネル ..... 173  
 パネル設定  
     操作パネルでの設定変更 ..... 174  
 パネルメッセージ ..... 39  
 パラレルI/Fセッテイメニュー ..... 191  
 パラレルインターフェイスケーブル ..... 262  
 パラレルインターフェイスコネクタ ..... 7  
 パラレルインターフェイス仕様 ..... 286
- ヒ** ピアトウピア ..... 31  
 ヒダリオフセット ..... 189  
 ヒョウジゲンゴ ..... 185
- フ** ファーストプリント ..... 278  
 封筒への印刷 ..... 166  
 フェイスアップトレイ ..... 7,156  
 フェイスダウントレイ ..... 6,156  
 フォーム ..... 127,143  
 フォームオーバーレイ ..... 83,127,143,196  
 フォームオーバーレイ  
     ROMモジュール ..... 265  
 フォームバンゴウ ..... 196  
 フォント ..... 86  
 フォントタイプ ..... 196  
 フォントROMモジュール ..... 264  
 普通紙 ..... 146  
 フッキカイギョウ ..... 195  
 不定形紙への印刷 ..... 167  
 プリントウインドウ2 ..... 223  
 プリンター一覧ウインドウ ..... 215  
 プリント情報 ..... 218  
 プリントセットアップ ..... 115  
 プリントの運搬 ..... K53  
 プリントの仕様 ..... 278  
 プリントの清掃 ..... K66  
 プリントの設定変更 ..... 172  
 プリントモード ..... 186

- プリンタモードメニュー ..... 186
- プリント速度 ..... 278
- プリント方式 ..... 278
- Ⓐ ページエラーオーバーラン ..... K47
- ページエラーカイヒ ..... 191
- ページ設定 ..... 139
- ⓗ 本機の特長 ..... 2
- マ マルチプロトコルEthernetI/Fカード .. 266
- ミ ミギマーシ ..... 194
- メ メモリ(仕様) ..... 285
- メモリの増設 ..... 269
- メモリオーバーメモリガタリマセン ... K47
- メモリノゾウセツヲオススメシマス ... K43
- メンテナンスサービスコール ..... K49
- モ 文字コード ..... 194,279
- 文字仕様 ..... 279
- ユ 輸送上の注意 ..... K52
- ユーティリティ ..... 89,205
- ユーザー定義サイズ ..... 72,124,141
- ヨ ヨウシイチ ..... 194
- 用紙カセット ..... 155
- 用紙カセットユニット ..... 263
- 用紙カセットへの用紙のセット ..... 158
- ヨウシガツマリマシタ ..... K46
- 用紙関係(仕様) ..... 279
- ヨウシコウカン ..... K47
- ヨウシサイズ ..... 187
- ヨウシサイズエラー ..... K43
- ヨウシサイズフリー ..... 190
- 用紙サイズ ..... 280
- 用紙トレイへの用紙のセット ..... 161
- ヨウシナシ ..... K48
- 用紙について ..... 146
- 用紙のセット ..... 158
- ヨウシハイシチュウ ..... K41
- 用紙の保管 ..... 151
- ヨウシホウコウ ..... 187
- 用紙のセット方向 ..... 151
- 用紙容量 ..... 279
- ラ ラベル紙への印刷 ..... 167
- ランプ ..... 173
- リ リセット ..... 203
- リセットオール ..... 204
- リセットシテクダサイ ..... K41
- リファレンスマニュアル ..... 268
- レ レイアウト ..... 82,126
- レンゾクシ ..... 193
- ワ ワーニングメッセージ ..... K42
- 割り付け ..... 93,117,126
- ワンタッチ設定モード ..... 175,177
- ワンタッチ設定モードランプ ..... 173





# パネル設定一覧表

□部分はオプション装着時に表示されます。

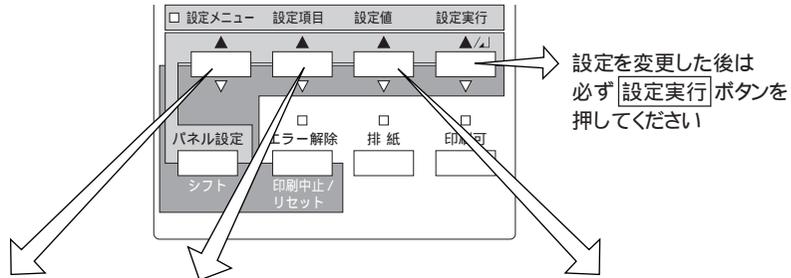
## ワンタッチ設定モード1

給紙装置	用紙サイズ	縮小	用紙方向
ジドウ トレイ カセット1 <input type="checkbox"/> カセット2	ジドウ A4 A3 A5 B4 B5 ハガキ LT HLT LGL GLT GLG B EXE F4 MON C10 DL C5	OFF 80%	タテ ヨコ

## ワンタッチ設定モード2

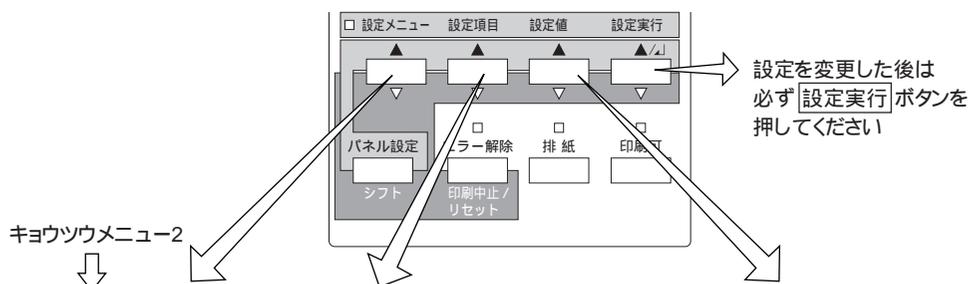
プリンタモード	コピー枚数	トレイ紙サイズ	トナーセーブ
ESC/PS ESC/P ESC/Page <input type="checkbox"/> EP-GL	1 ~ 255	A4 A3 A5 B4 B5 ハガキ LT HLT LGL GLT GLG B EXE F4 MON C10 DL C5	シナイ スル

## 階層設定モード



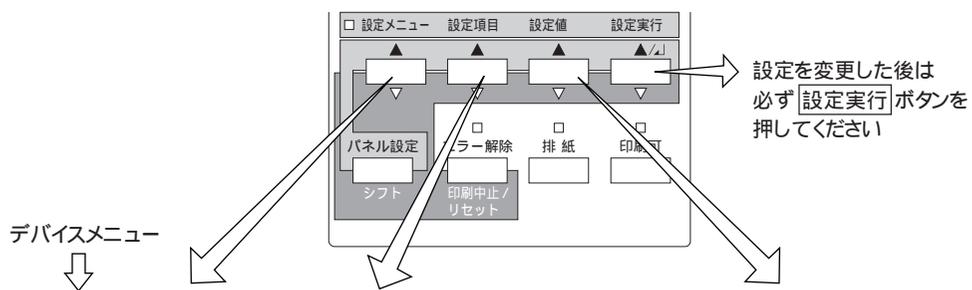
設定メニュー	設定項目	設定値
ハジメメニュー	セッテイセンタク	パラレルヨウ シリアルヨウ <b>オプションヨウ</b>
ショキカメニュー	セッテイショキカ=パラレルヨウ	
	セッテイショキカ=シリアルヨウ	
	セッテイショキカ=オプションヨウ	
	セッテイショキカ=ゼンセッテイ	
テストインサツメニュー	ステータスシート	
	EP-GLステータスシート	
	ROMモジュールAジョウホウ	
	ROMモジュールBジョウホウ	
キョウツウメニュー	I/Fキリカエ	ジドウ パラレル シリアル <b>オプション</b>
	I/Fタイムアウト	20 ~ 600ピョウ
	セツデン	60ブン OFF 5ブン 15ブン 30ブン
	トレイヨウシサイズ	A4 A3 A5 B4 B5 ハガキ LT HLT LGL GLT GLG B EXE F4 MON C10 DL C5 A4
	カセット1ヨウシサイズ	
	カセット2ヨウシサイズ	
	ヒョウジゲンゴ	ニホンゴ ENGLISH
キョウツウメニュー2	トナーザンリョウ	
	トナーザンリョウリセット	
	ノベインサツマイスウ	
	トナーコウカンエラーヒョウジ	シナイ スル

↓  
プリンタモードメニュー



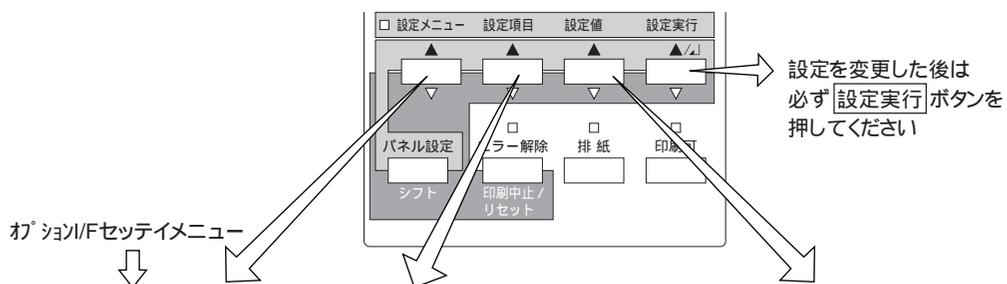
設定メニュー	設定項目	設定値
プリンタモードメニュー	プリンタモード	ESC/PS ESC/P ESC/Page <b>EP-GL</b>
インサツメニュー	キュウシ	ジドウ トレイ カセット1 カセット2
	ヨウシサイズ	ジドウ A4 A3 A5 B4 B5 ハガキ LT HLT LGL GLT GLG B EXE F4 MON C10 DL C5 ジドウ A4
	ヨウシホウコウ	タテ ヨコ
	コピーマイスウ	1 ~ 255
	シュクショウ	OFF 80%
	カイゾウド	ハヤイ キレイ
	イメージホセイ	1 2
	ハクシセツヤク	スル シナイ
	ジドウハイシ	スル シナイ
デバイスメニュー	RIT	ON OFF
	トナーセーブ	シナイ スル
	ウエオフセット	-9.0mm ~ 10.0mm
	ヒダリオフセット	-9.0mm ~ 10.0mm
	カミシュ	フツウ アツガミ
	ヨウシサイズフリー	OFF ON
	ジドウエラーカイジョ	シナイ スル
	ページエラーカイヒ	OFF ON

↓  
パラレルI/Fセットイメニュー



設定メニュー	設定項目	設定値
パラレル/Fセットイメメニュー	ACKハバ	ミジカイ ヒョウジュン
	ソウホウコウ	ニブル ECP OFF
	ジュシンバッファ	ヒョウジュン サイダイ サイショウ
シリアル/Fセットイメメニュー	データチョウ	8ビット 7ビット
	ボーレート	9600 19200 38400 57600 76800 115200 300 600 1200 2400 4800
	パリティビット	ナシ EVEN ODD
	ストップビット	1ビット 2ビット
	XON/XOFF	ON OFF
	ENQ/ACK	OFF ON
	DTR	ON OFF
	DSR	OFF ON
	ジュシンバッファ	ヒョウジュン サイダイ サイショウ
オプション/Fセットイメメニュー	ジュシンバッファ	ヒョウジュン サイダイ サイショウ

↓  
ESC/PSキャンセルメニュー



設定メニュー	設定項目	設定値
ESC/PSがキョウメニュー	レンゾクシ	OFF 「F15 B4ヨコ」「F15 A4ヨコ」 「F10 A4タテ」
	モジコード	カタカナ グラフィック
	キュウシイチ	8.5mm 22mm
	カックモジ	ニホン アメリカ イギリス ドイツ スウェーデン
	ゼロ	0 φ
	ヨウシイチ	ヒダリ チュウオウ チュウオウ-5 チュウオウ+5
	ミギマージン	ヨウシハバ 136ケタ
	カンジショタイ	ミンチョウ ゴシック セイカイシヨ マルゴシック キョウカシヨ ギョウシヨ
ESC/Pageがキョウメニュー	フッキカイギョウ	スル シナイ
	カイページ	スル シナイ
	CR	CR/≡ CR+LF
	LF	CD+LF LF/≡
	FF	CR+FF FF/≡
	エラーコード	OFF ON
	フォントタイプ	1 2 3
	フォームオーバーレイ	OFF ON
	フォームバンゴウ	1~512

オプションのEP-GLモジュール装着時に表示される項目です。

設定メニュー	設定項目	設定値
EP-GLカギョウメニュー	コマンドモード	エンハンスト スタンダード
	カンジショタイ	ミンチョウ ゴシツク セイカイショ マルゴシツク キョウカシヨ ギョウショ ナシ
	ゲンテンイチ	ヨウシスミ チュウオウ
	カイテンカク	0ド 90ド 180ド 270ド
	ミラー	OFF ON
	ジドウスケーリング	OFF A0 A1 A2 A3 A4 B1 B2 B3 B4 IP
	ニンイスケーリング	OFF A0 A1 A2 A3 A4 B1 B2 B3 B4
	ニンイバイリツ	-25 ~ 200%
	ヨコホセイ	-1.00 ~ 1.00%
	タテホセイ	-1.00 ~ 1.00%
	ペンモード	コテイ1 コテイ2 ホセイ
	ペン1ハバ ~ ペン8ハバ	0.00 ~ 5.00mm
	ペン1ノウド ~ ペン8ノウド	0 ~ 100%
	センシュウタン	ナシ シカク サンカク マル
	センセツゴウ	ナシ マイター マイターベベル マル サンカク
	マウターチョウ	1 ~ 5
	オーバーレイ	OFF ON
	SPハイシ	ON OFF
	カルーゼルバンゴウ	1 ~ 5
	ブンカツインサツ	OFF A0 A1 A2 A3 B1 B2 B3
ブンカツジクリップ	ハシ キントウ シュクショウ	